
平成28年度人権啓発活動等に関する効果検証等業務

報 告 書

平成29年3月

楽天リサーチ株式会社

< 目 次 >

第1章 調査の概要

1 調査の目的	3
2 調査の概要	3
3 回答者の概要	4
4 業務実施期間	5
5 調査実施機関	5
6 本調査における分析・効果検証の視点	6
7 本報告書を読むにあたっての注意事項	8

第2章 調査結果の総括

1 人権問題についての認識状況	11
1-1 人権問題への関心度	11
1-2 人権問題への関与度	11
1-3 人権侵害の発生状況についての認識	13
1-4 最も強く人権が侵害されていると感じる内容	13
1-5 人権が侵害されていると感じて取った行動	14
1-6 一定の知識や理解があると考え人権課題	15
1-7 特に対策を講ずるべきと考え人権課題	16
2 人権擁護体制の認知度	17
2-1 人権イメージキャラクターの認知度	17
2-2 法務局・地方法務局が人権擁護業務を行っていることの認知度	17
2-3 法務局・地方法務局に人権擁護相談窓口があることの認知度	18
2-4 法務局・地方法務局の人権擁護相談窓口について知っていること	19
2-5 法務局・地方法務局の人権擁護相談窓口を知ったきっかけ	21
2-6 人権擁護委員の認知度	22

2-7 人権擁護委員について知っていること	23
2-8 人権擁護委員を知るようになったきっかけ	24
3 人権擁護のための各活動の認知度・認識	26
3-1 各活動の認知度	26
3-2 各活動に対する認識	27
4 人権啓発広告について	30
4-1 各広告の認知度	30
4-2 各広告を見ての興味・関心度	31
4-3 各広告を見ての印象度	32
4-4 各広告を見ての理解・関心の深まり	33
4-5 各広告を見て思ったこと・理解したこと	34
5 人権啓発資料について	37
5-1 各資料の認知度	37
5-2 資料による理解・関心の深まり	38
5-3 資料を見て思ったこと、理解したこと	39
6 インターネット上の人権侵害	42
6-1 インターネット上の被害の有無	42
6-2 被害後の相談状況	42
6-3 被害を受けた際の相談意向	43
6-4 法務省がインターネット上の人権問題の相談を受けていることの認知度	43
6-5 法務局の削除方法助言、プロバイダ等への削除要請の認知度	44
7 啓発物品の使用意向	45
8 効果的と思う啓発活動	46
9 情報入手源	47
10 人権啓発活動についての考察	49
10-1 活動・広告・資料の認知度について	49
10-2 活動・広告・資料を見ての理解・関心の深まりについて	52
10-3 広告・資料を見て思ったこと、理解したこと	55
10-4 人権啓発活動の効果向上へ向けて	57

第3章 集計結果の詳細

1 人権問題への関心度 等	67
Q1 人権問題への関心度(SA)	67
Q2 人権問題に関心を持って行うことの頻度(SA)	68
2 人権擁護体制の認知度 等	71
Q3 人権イメージキャラクター(人KENまもる君、人KENあゆみちゃん)の認知度(SA)	71
Q4 法務局・地方法務局が人権擁護に関する業務を行っていることの認知度(SA)	72
Q5 法務局・地方法務局に人権擁護に関する相談窓口があることの認知度(SA)	73
Q6 法務局・地方法務局の人権擁護相談窓口について知っていること(MA)	74
Q7 法務局・地方法務局の人権擁護相談窓口を知ったきっかけ(MA)	75
Q8 人権擁護委員の認知度(SA)	77
Q9 人権擁護委員について知っていること(MA)	78
Q10 人権擁護委員を知るようになったきっかけ(MA)	80
3 直轄事業の認知度、推進についての意向	82
Q11 各取組の認知度(SA)	82
Q12 各取組についての評価(SA)	88
4 資料(教材・コンテンツ 6種類)について	95
Q13 教材・コンテンツの認知度(SA)	95
Q14 教材・コンテンツによる理解・関心の深まり(SA)	99
Q15 教材・コンテンツを見て思ったこと、理解したこと(SA)	104
5 ポスター(啓発 5種類)について	140
Q16 広告の認知度と興味関心度(SA)	140
Q17 非認知者の広告への興味関心度(SA)	145
Q18 ポスターを見て思ったこと、理解したこと(SA)	150
6 新聞広告(2種類)について	179
Q19 新聞広告の認知度と興味関心度(SA)	179
Q20 非認知者の新聞広告についての印象度、理解関心度(SA)	181
Q21 新聞広告を見て思ったこと、理解したこと(SA)	183

7 インターネット広告(3種類)について.....	192
Q22 インターネット広告の認知度(SA)	192
Q23 インターネット広告のリンク先である法務省サイトによる理解・関心の深まり(SA)	194
8 人権啓発活動ネットワーク協議会 HP について.....	196
Q24 人権啓発活動ネットワーク協議会のHPの認知度(SA)	196
Q25 人権啓発活動ネットワーク協議会のHPを見ての印象(SA)	197
9 資料(調査救済制度の冊子・リーフレット 2種類)について.....	201
Q26 冊子・リーフレットの認知度(SA)	201
Q27 冊子・リーフレットを見て思ったこと、理解したこと(SA)	203
10 資料(じんけん自己診断のリーフレット・ホームページ)について.....	215
Q28 リーフレット(ホームページ)の認知度.....	215
Q29 じんけん自己診断のリーフレット(ホームページ)を見て思ったこと、理解したこと(SA)	216
11 ポスター(調査救済・委員制度周知 7種類)について.....	226
Q30 ポスター(*)の認知度と理解度(SA)	226
Q31 非認知者のポスターについての印象度、理解度(SA)	233
Q32 ポスターを見て思ったこと、理解したこと(SA)	240
12 地方委託事業について	276
Q33 法務省が自治体と連携して実施している活動の中で見聞き、参加したもの(MA)	276
Q34 活動の見聞き・参加による理解・関心の深まり(SA)	278
13 啓発物品の使用意向	288
Q35 保険会社・銀行等が配布する無償物品の使用実態(SA)	288
Q36 法務局・地方法務局が配布する啓発物品の使用意向(SA)	293
14 効果的と思う啓発活動	299
Q37 人権啓発推進に効果的と思う広報活動(MA)	299
15 人権侵害の発生状況認識、対応 等.....	301
Q38 あなたやあなたの身の回りで人権が侵害されていると感じること(SA)	301
Q39 最も強く人権が侵害されていること(SA)	302
Q40 その後とった行動(SA)	303

16 インターネット上の人権侵害の実態、相談状況 等	305
Q41 インターネット上での被害 (SA)	305
Q42 インターネット上での被害後の相談状況 (SA)	306
Q43 インターネット上での非被害者の被害時の相談意向 (SA)	307
Q44 法務局がインターネット上の人権問題の相談を受けていることの認知度 (SA)	308
Q45 法務局の削除方法助言、プロバイダ等への削除要請の認知度 (SA)	309
17 人権課題についての知識・理解 等	310
Q46 知識や理解があると考え人権課題 (MA)	310
Q47 特に対策を講ずべき人権課題 (MA)	313
18 人権に関する取組や広告についての意見・感想	315
Q48 人権に関する取組や広告についての意見・感想	315
19 情報入手源	319
Q49 普段、情報を入手する際に利用する情報源 (MA)	319

第 1 章 調査の概要

1 調査の目的

法務省が自ら実施している人権啓発活動（以下「直轄事業」という。）、法務省が公益財団法人人権教育啓発推進センターに委託して実施している人権啓発活動（以下「中央委託事業」という。）及び法務省が地方公共団体に委託して実施している人権啓発活動（以下「地方委託事業」という。）について、アンケート調査を実施し、人権啓発活動等に関する効果の測定、調査結果の集計・分析及び効果の検証等を行うことによって、より一層の効果的な人権啓発活動等を実施するための情報を得ることを目的として本調査を実施した。

2 調査の概要

(1)調査方法

本調査は、インターネットを活用したモニター調査によって実施した。

具体的には、作成した調査票をインターネット上で公開し、調査対象者が当該調査票にアクセスして回答する方式とした。

(2)調査対象標本数

18,000 人

(3)調査対象標本の属性別配分

標本計 18,000 人は、全国を対象とし、以下に示す各種の属性別比率が、日本の人口構成比率に近くなるように配分した。

- ①年代（10・20・30・40・50・60・70 歳代の 7 階級）
- ②性別（男女）
- ③居住地域（都道府県単位）

(4)調査内容の概要

人権啓発活動についての接触状況、認知状況及び当該活動等に接触したことによる意識の変容状況等。

(5)インターネット調査実施期間

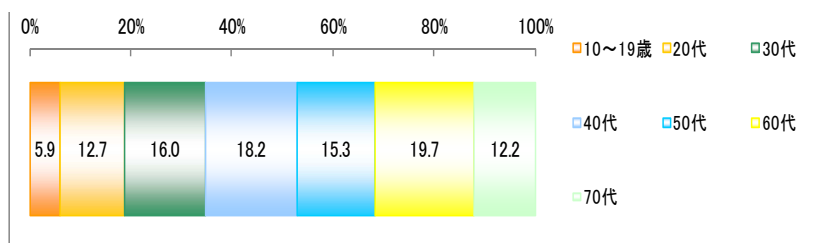
平成 28 年 12 月 22 日（木）～平成 29 年 1 月 18 日（水）

3 回答者の概要

回答者の属性別分布を以下に示す。

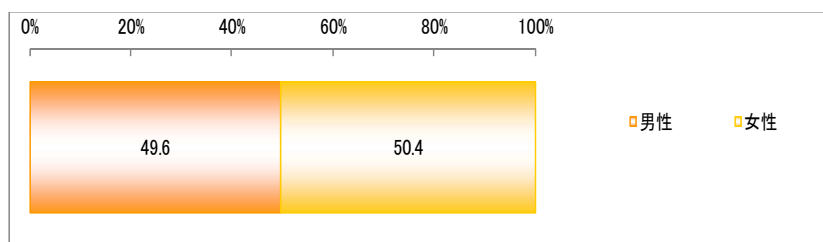
(1)年代別分布

	n	%
全体	18000	100.0
10～19歳	1069	5.9
20代	2293	12.7
30代	2871	16.0
40代	3269	18.2
50代	2755	15.3
60代	3551	19.7
70代	2192	12.2



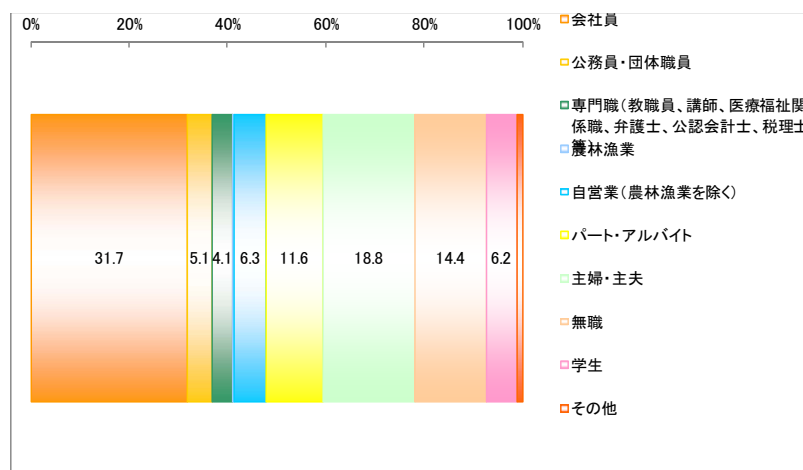
(2)性別分布

	n	%
全体	18000	100.0
男性	8921	49.6
女性	9079	50.4



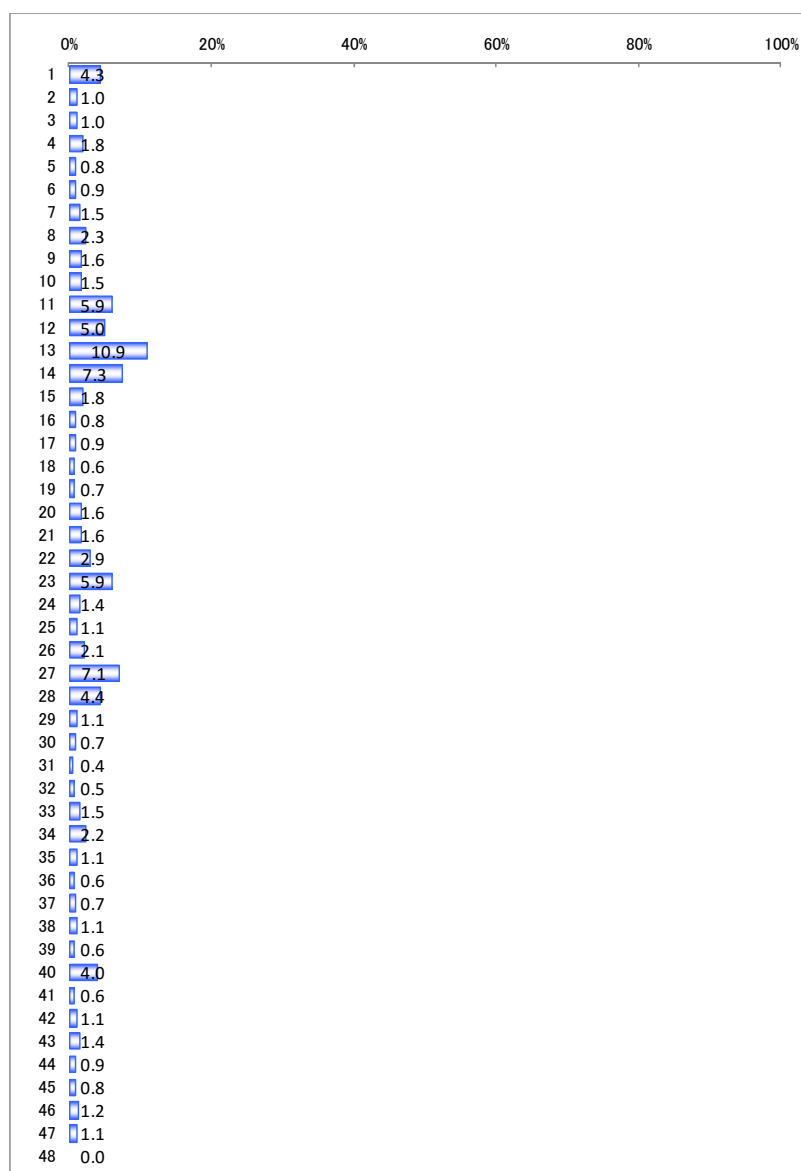
(3)職業別分布

	n	%
全体	18000	100.0
会社員	5702	31.7
公務員・団体職員	917	5.1
専門職(教職員、講師、医療福祉関係職、弁護士、公認会計士、税理士等)	732	4.1
農林漁業	83	0.5
自営業(農林漁業を除く)	1139	6.3
パート・アルバイト	2083	11.6
主婦・主夫	3375	18.8
無職	2597	14.4
学生	1124	6.2
その他	248	1.4



(4)都道府県別分布

	n	%
全体	18000	100.0
北海道	769	4.3
青森県	187	1.0
岩手県	176	1.0
宮城県	328	1.8
秋田県	143	0.8
山形県	155	0.9
福島県	268	1.5
茨城県	415	2.3
栃木県	282	1.6
群馬県	278	1.5
埼玉県	1054	5.9
千葉県	897	5.0
東京都	1963	10.9
神奈川県	1313	7.3
新潟県	320	1.8
富山県	150	0.8
石川県	160	0.9
福井県	107	0.6
山梨県	119	0.7
長野県	289	1.6
岐阜県	285	1.6
静岡県	520	2.9
愛知県	1063	5.9
三重県	256	1.4
滋賀県	198	1.1
京都府	369	2.1
大阪府	1271	7.1
兵庫県	784	4.4
奈良県	195	1.1
和歌山県	133	0.7
鳥取県	77	0.4
島根県	95	0.5
岡山県	265	1.5
広島県	393	2.2
山口県	194	1.1
徳島県	106	0.6
香川県	134	0.7
愛媛県	193	1.1
高知県	99	0.6
福岡県	715	4.0
佐賀県	115	0.6
長崎県	191	1.1
熊本県	246	1.4
大分県	161	0.9
宮崎県	152	0.8
鹿児島県	224	1.2
沖縄県	193	1.1
海外	0	0.0



4 業務実施期間

平成 28 年 10 月 5 日から平成 29 年 3 月 17 日

5 調査実施機関

楽天リサーチ株式会社

6 本調査における分析・効果検証の視点

(1)設問の構成

本調査における設問事項の概要を次頁に示すが、設問は大きくは以下の3事項に分類される。

- ①人権問題・人権擁護体制についての認識・対応状況
- ②各種人権啓発活動についての認知度、考え
- ③各種人権啓発広告についての認知度、考え（広告活動に関連する回答者の性向把握設問を含む）

(2)集計結果の分析・効果検証の視点

①一般的認識状況の把握

人権問題についての認識・対応状況ならびに人権の擁護体制に対する認知状況を、前項(1)①の設問に対する回答結果から把握する。

②効果の測定

前項(1)②の設問、とくに法務省主体の活動（直轄事業）の認知度は、本年度に限らないこれまでの人権啓発活動の積み重ねによる結果として把握する。

今年度の人権啓発活動の効果としては、人権啓発活動の目的が「国民に基本的人権について正しい認識を広めること」にあることから、その効果を前項(1)③の本年度実施の各種広告活動についての設問に対する回答結果（理解度、興味関心の喚起度、理解関心の深まり、印象、思ったこと理解したこと）から測る。

しかしながら、そこでの効果は各種広告を見た回答者にあらわれたものであり、各種広告の実際的な効果を見るに当たっては、それら広告をどれだけの人が見たかと言う割合（認知度）も重要な要素となる。

従って、本調査では、本年度実施の各種広告の効果は『見た人に与えた効果』×『認知度（見た人の割合）』という観点で見る。

③効果の検証

各種広告の効果を『見た人に与えた効果』×『認知度（見た人の割合）』としたとき、それら2つの要素は広告の種類（広告媒体の違い等）によって異なることから、広告の種類ごとに『見た人に与えた効果』『認知度（見た人の割合）』のそれぞれを見ることにする。

そして、広告による効果・認知度の違いの理由を、それぞれの広告が持つ特性・特徴から推測する。

【設問の概要】

設問テーマ			設 問 内 容									
			認 知 度	知 っ て い る こ と	知 っ た き っ か け	理 解 の 度 合	喚 起 の 度 合	（ 評 価 の 推 進 の 是 非 ）	理 解 の 度 合	理 解 の 度 合	理 解 の 度 合	理 解 の 度 合
人 権 制 度 の 理 解	人権擁護体制について	① 人権イメージキャラクター	Q3									
		② 法務局・地方法務局の人権擁護業務	Q4									
		③ 法務局・地方法務局の相談窓口	Q5	Q6	Q7							
		④ 人権擁護委員	Q8	Q9	Q10							
人 権 啓 発 活 動	直轄事業	① 全国中学生人権作文コンテスト	Q11					Q12				
		② 人権週間										
		③ 人権教室										
		④ 子どもの人権SOSモニター										
		⑤ みんなの人権110番										
		⑥ 子どもの人権110番										
		⑦ 女性の人権ホットライン										
		⑧ インターネット人権相談受付窓口										
	地方委託事業	① 講演会・研修会	Q33						Q34			
		② 啓発資料(冊子・リーフレット等)の作成・配布										
		③ テレビCM・ラジオCM										
		④ インターネット広告										
		⑤ 電車・バス等における車内広告										
		⑥ 新聞広告										
		⑦ 地域情報誌(ミニコミ誌・フリーペーパー等)における広告										
		⑧ リーグ等のスポーツ組織と連携協力した人権啓発活動										
		⑨ 人権フェスティバル										
		⑩ 人権の花運動										
		⑪ その他										
広 告 関 連	教材・コンテンツ	① 人権の擁護	Q13						Q14		Q15	
		② みんなとどっち										
		③ 「いじめ」しないさせない見逃さない										
		④ 全国中学生人権作文コンテスト										
		あなたは大丈夫？ 考えよう！ インターネットと人権										
		⑤ いっしょに学ぼう！ 障害のある人の人権										
	ポスター	① 啓発活動重点目標・調査救済制度周知ポスター	Q16					Q16 Q17			Q18	
		② 人権週間ポスター										
		③ 北朝鮮人権侵害問題啓発週間ポスター										
		④ 外国人の人権キャッチコピーコンテストポスター										
		⑤ ヘイトスピーチ許さないポスター										
	新聞広告	① 全国中学生人権作文コンテスト・北朝鮮人権侵害問題啓発週間新聞広告	Q19						Q19 Q20		Q21	
	インターネット広告	② ハンセン病問題啓発新聞広告	Q22						Q23			
		③ ヘイトスピーチ対策										
		④ インターネットを悪用した人権侵害をなくしよう										
	人権啓発活動ネットワーク協議会HP	人権啓発活動ネットワーク協議会HP	Q24							Q25		
	冊子・リーフレット(調査救済制度)	① 調査救済制度広報用リーフレット(簡易版)	Q26								Q27	
		② 調査救済制度広報用リーフレット(詳細版)										
		③ 人権擁護委員あなたの街の相談パートナー										
	じんけん自己診断リーフレット(ホームページ)	① リーフレット	Q28								Q29	
		② ホームページ										
		③ ホームページ										
	ポスター(調査救済・委員制度周知)	① 子どもの人権相談窓口	Q30								Q32	
		② 子どもの人権110番強化週間										
		③ みんなの人権110番										
		④ 高齢者・障害者強化週間										
		⑤ 女性の人権ホットライン										
	啓発物品	⑥ 女性の人権ホットライン強化週間	Q30 Q31									
		⑦ 人権擁護委員制度周知ポスター										
		各種物品	Q35									
	効果的な広報活動	各種媒体・活動等	Q36									
	意見・感想	人権に関する取組や広告	Q37									
認 識 ・ 答 者 の 等	人権問題について	人権問題への関心度	Q38									
		人権問題への関与度	Q39									
		人権問題の発生認識	Q40									
		最も強い人権侵害分野	Q41									
		その後取った行動	Q42									
		知識や理解があると考える人権課題	Q43									
		特に対策を講ずべき人権課題	Q44									
	インターネット上の被害	被害の有無	Q45									
		被害後の相談状況	Q46									
		被害を受けた際の相談意向	Q47									
		インターネット上の人権侵害の相談窓口の認知度	Q48									
		削除方法助言、プロバイダ等への削除要請の認知度	Q49									
	情報源	普段、情報を入手する際に利用する情報源	Q50									

④人権啓発活動の効果向上

上述の②③を踏まえて、人権啓発活動をより一層効果的に実施するための方策を考察する。

7 本報告書を読むにあたっての注意事項

(1)本報告書の集計結果は原則として小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合がある。

(2)複数回答設問では、割合の合計が 100%を超える場合がある。

(3)『 』内は、度合・レベルの異なる同一趣旨の回答を統合したことを示す。

(4)割合（%）の差はポイント（文中では「P」と略称）で示した。

(5)クロス集計を行うに当たり、Q 2 での人権問題に関心を持って行うことの頻度によって回答者を以下の層に分類した。

①高関与層：Q 2 で示した 4 つの行動の内の 1 つ以上について「1. 日常的に行っている」もしくは「2. よく行っている」を選択した回答者

②中関与層：上記の高関与層を除いた回答者で、Q 2 で示した 4 つの行動の内の 1 つ以上について「3. 時々行っている」を選択した回答者

③低関与層：高関与層・中関与層以外の回答者（Q 2 で示した 4 つの行動の全てについて「4. ほとんど行っていない」を選択した回答者）

(6)以下の 8 つのエリア間で 10P 以上の差が出現した場合は、報告書に記載した。

①北海道地方：北海道

②東北地方：宮城県、福島県、山形県、岩手県、秋田県、青森県

③関東甲信越地方：東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県、静岡県、山梨県、長野県、新潟県

④中部地方：愛知県、三重県、岐阜県、福井県、石川県、富山県

⑤近畿地方：大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県

⑥中国地方：広島県、山口県、岡山県、鳥取県、島根県

⑦四国地方：香川県、徳島県、高知県、愛媛県

⑧九州・沖縄地方：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、鹿児島県、宮崎県、沖縄県

(7)本報告書で使用した符号は以下の通り。

n：回答者数

SA：単一回答設問

MA：複数回答設問

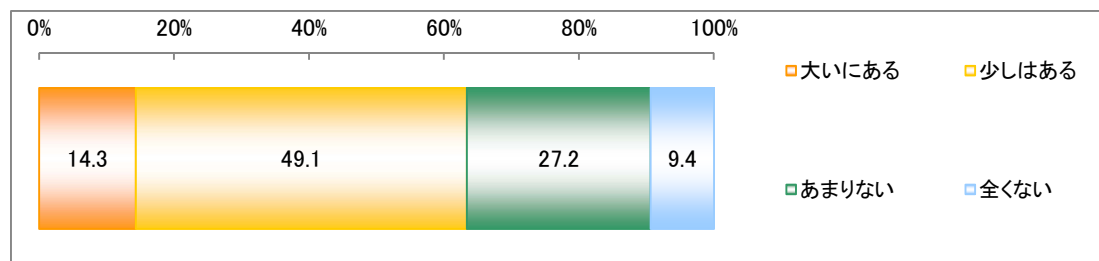
第2章 集計結果の総括

1 人権問題についての認識状況

1-1 人権問題への関心度

(1)全体

➤人権問題に『関心あり』は 63.4%で、回答者のほぼ 2/3 を占めた。



(2)属性別の傾向

- 人権問題への関心度は、男性（64.4%）が女性（62.5%）よりやや高い。
- 人権問題への関心度は、年代が上がるにつれて上昇する（10 歳代 55.1%→20～50 歳代 60%前後→60 歳代 68.1%→70 歳代 75.5%）。

(3)対昨年度比較

➤人権問題への関心度は、昨年度と比べて若干低下した。

【人権問題への関心】

		関心あり			関心なし		
			大いにある	少しはある		あまりない	全くない
n							
H26年度	9000	65.0	14.5	50.5	34.9	27.2	7.7
H27年度	9000	66.0	15.6	50.5	34.0	25.9	8.1
H28年度	18000	63.4	14.3	49.1	36.6	27.2	9.4

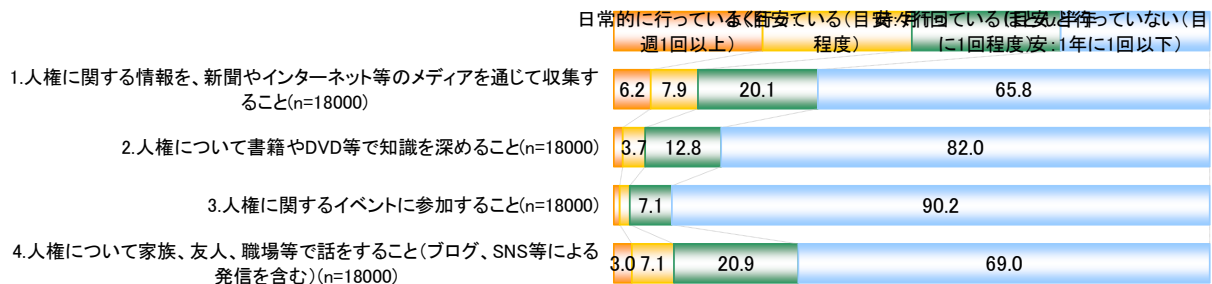
1-2 人権問題への関与度

(1)全体

➤人権問題に関心を持って行うこととして提示した 4 つの行動について、行うことが多い層（高関与層）が多い順は以下であった。

- 1 位 人権に関する情報を新聞やインターネット等のメディアを通じて収集：14.1%
- 2 位 人権について家族・友人、職場等で話をする：10.1%
- 3 位 人権について書籍やDVD等で知識を深める：5.3%
- 4 位 人権に関するイベントに参加すること：2.7%

➤強い目的意識が必要でかつ負荷の重い行動（3位・4位）については、高関与層は6%未満に留まっている。



(2)属性別の傾向

- 高関与層は、提示した4つの行動の全てについて男性が女性よりやや多い。
- 各年代で高関与層が占める割合は、「情報をメディアを通じて収集」「家族・友人、職場等で話をする」では40・50歳代が少なく年代が上がる下がるにつれて漸増し70歳代が最も多い。目的意識を持った行動である「書籍やDVD等で知識を深める」「イベントに参加する」では同様な傾向はあるものの20歳代が最も多くなる。

(3)対昨年度比較

- 本年度は、高関与層・中関与層の割合が、昨年度に比べて若干減少した。

【人権問題への関与度 Q2】

※人権問題に関心を持って以下のいずれかのことを行う頻度で関与度を分類。

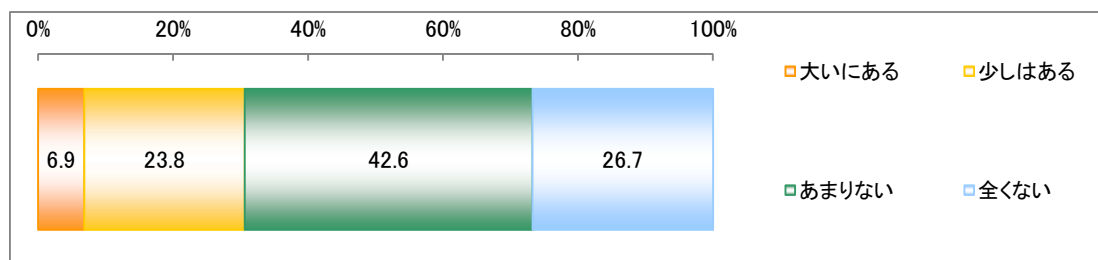
- ① 人権に関する情報を新聞やインターネット等のメディアを通じて収集
- ② 人権について書籍やDVD等で知識を深める
- ③ 人権に関するイベントに参加する
- ④ 人権について家族、友人、職場等で話をする（ブログ・SNS等による発信を含む）

n		高関与層	中関与層	低関与層
		日常的に（週1回以上）、あるいはよく行う（月1回程度）	ときどき行う（半年に1回程度）	ほとんど行わない（年に1回以下）
平成26年度	9000	14.2	22.0	63.9
平成27年度	9000	19.5	27.0	53.5
平成28年度	18000	17.4	25.8	56.8

1-3 人権侵害の発生状況についての認識

(1)全体

➤自身や身の回りで人権が侵害されていると感じることが『ある』は 30.6%であった。



(2)属性別の傾向

- 『ある』に男女差はない。
- 『ある』は 20 歳代 (35.2%) が最も多く、年代が上がる下がるにつれて少なくなり、70 歳代 (23.6%) が最も少ない。

(3)対昨年度比較

➤自身や身の回りで人権が侵害されていると感じることが『ある』割合は、昨年度とほとんど変化はない。

【自身や身の回りでの人権侵害の発生に関する認識 Q38】

	n	ある		ない		
		大いにある	少しはある	あまりない	全くない	
平成26年度	9000	29.8	6.6	23.2	70.3	43.4
平成27年度	9000	31.5	6.7	24.8	68.5	42.9
平成28年度	18000	30.7	6.9	23.8	69.3	42.6

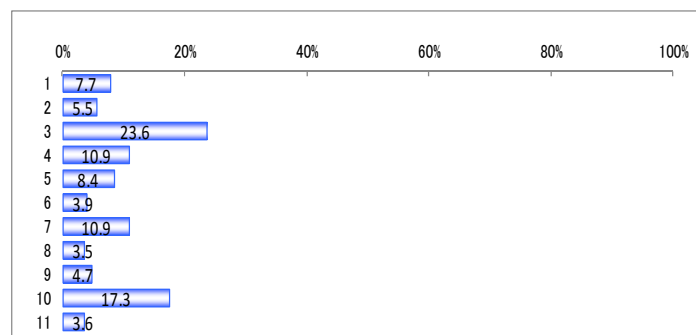
1-4 最も強く人権が侵害されていると感じる内容

(1)全体

➤人権が侵害されていると感じることの内容については回答がやや分散したが、なかでは 2 割前後が「学校における人権侵害（いじめ、体罰など） 23.6%」「職場における人権侵害（パワハラなど） 17.3%」を挙げて他に比べて多い。

1 位	学校における人権侵害（いじめ、体罰など）	: 23.6%
2 位	職場における人権侵害（パワハラなど）	: 17.3%
3 位	女性に対する人権侵害（セクハラ、ストーカーなど）	: 10.9%
4 位	障害者に対する人権侵害（虐待、差別など）	: 10.9%
5 位	児童に対する人権侵害（虐待、ネグレクトなど）	: 8.4%
6 位	近隣住民間における人権侵害	: 7.7%
7 位	公務員による人権侵害（警察官、刑務官、一般公務員など）	: 5.5%
8 位	外国人に対する人権侵害（差別など）	: 4.7%
9 位	高齢者に対する人権侵害（虐待など）	: 3.9%
10 位	同和に対する人権侵害（差別など）	: 3.5%

	n	%
全体	13187	100.0
近隣住民間における人権侵害	1021	7.7
公務員による人権侵害（警察官、刑務官、一般公務員）	721	5.5
学校における人権侵害（いじめ、体罰など）	3112	23.6
女性に対する人権侵害（セクハラ、ストーカーなど）	1437	10.9
児童に対する人権侵害（虐待、ネグレクトなど）	1107	8.4
高齢者に対する人権侵害（虐待など）	514	3.9
障害者に対する人権侵害（虐待、差別など）	1434	10.9
同和に対する人権侵害（差別など）	460	3.5
外国人に対する人権侵害（差別など）	623	4.7
職場における人権侵害（パワハラなど）	2287	17.3
その他	471	3.6



(2)属性別の傾向

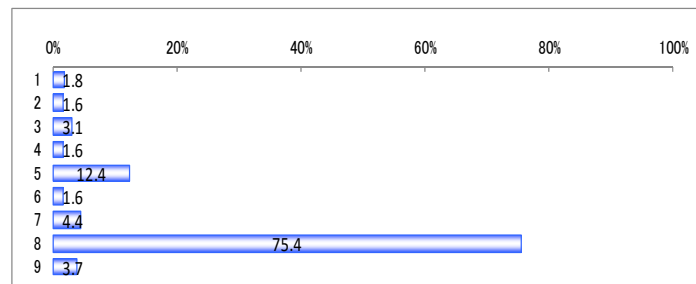
- 男女差は小さいが、「女性に対する人権侵害（セクハラ、ストーカーなど）」については、女性（14.7%）が男性（6.8%）より 8P 多い。
- ほとんどの年代で「学校における人権侵害」が最も多いが（21～43%）、40 歳代では「職場における人権侵害」が最も多い（23.4%）。

1-5 人権が侵害されていると感じて取った行動

(1)全体

- 人権が侵害されていると感じた後に取った行動としては、「何もしなかった」が 75.4% で、3/4 を占めて最も多い。
- これ以外では「友人等の知り合いに相談した」が 12.4%、その他の行動は 5%未満であった。

	n	%
全体	13187	100.0
法務局の人権相談窓口相談した	235	1.8
国(法務局以外)の相談窓口相談した	208	1.6
地方公共団体の相談窓口相談した	409	3.1
NPO法人等の民間団体の相談窓口相談した	207	1.6
友人等の知り合いに相談した	1629	12.4
弁護士に相談した	212	1.6
自分で加害者と話し合い解決した	574	4.4
何もしなかった	9941	75.4
その他	494	3.7



(2)属性別の傾向

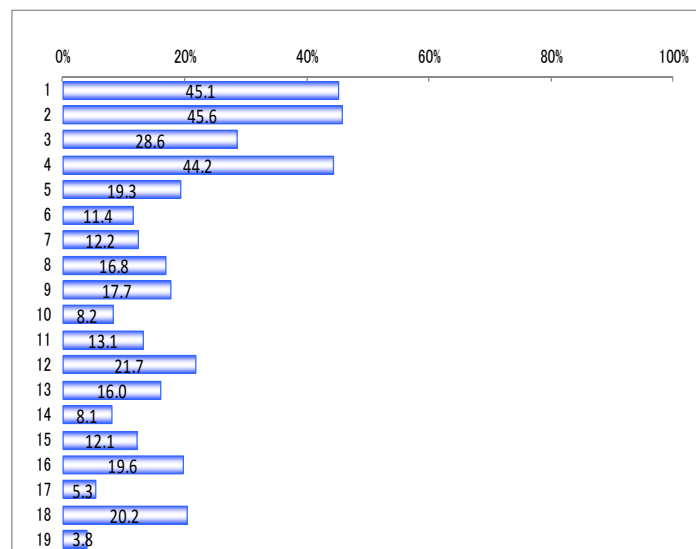
- 男女差は小さい。
- 年代間の差は小さい。

1-6 一定の知識や理解があると考える人権課題

(1)全体

- 一定の知識や理解があるとして選択された人権課題の上位3つは、「子ども 45.6%」「女性 45.1%」「障害のある人 44.2%」で、その他の人権課題については 30%未満であった。

	n	%
全体	18000	100.0
女性	8123	45.1
子ども	8212	45.6
高齢者	5146	28.6
障害のある人	7950	44.2
同和問題	3481	19.3
アイヌの人々	2060	11.4
外国人	2203	12.2
ヘイトスピーチ	3015	16.8
HIV感染者・ハンセン病患者等	3187	17.7
刑を終えて出所した人	1468	8.2
犯罪被害者等	2365	13.1
インターネットによる人権侵害	3900	21.7
北朝鮮当局によって拉致された被害者等	2886	16.0
ホームレス	1453	8.1
性的指向	2181	12.1
性同一性障害者	3528	19.6
人身取引(トラフィッキング)	958	5.3
震災に起因する人権問題	3636	20.2
その他	687	3.8



(2)属性別の傾向

- 一定の知識や理解があるとして最も多く選択された人権課題は男女で異なり、男性は「障害のある人 43.2%」、女性は「女性 53.8%」であった。
- 一定の知識や理解があるとして最も多く選択された人権課題は年代によって異なり、

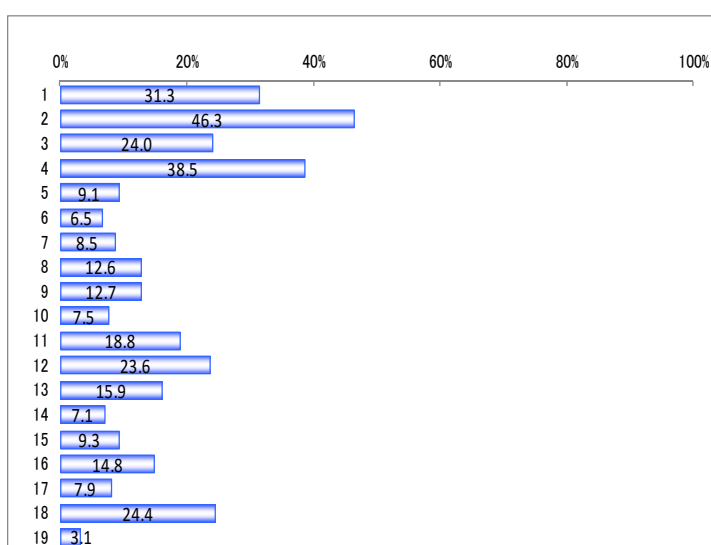
10・50 歳代では「子ども 45.8%」、20～40 歳代では「女性 47～50%」、60・70 歳代では「障害のある人 49～52%」であった。一定の知識や理解があるとした回答者は、ほとんどの人権課題について 60・70 歳代が他年代に比べて多いが、「女性」「外国人」「性的指向」「性同一性障害者」については 20～40 歳代が他年代に比べて多い。

1-7 特に対策を講ずるべきと考える人権課題

(1)全体

➤特に対策を講ずべきとして選択された人権課題の上位 3 つは、「子ども 46.3%」「障害のある人 38.5%」「女性 31.3%」で、他の人権課題は 25%未満であった。

	n	%
全体	18000	100.0
女性	5637	31.3
子ども	8331	46.3
高齢者	4328	24.0
障害のある人	6936	38.5
同和問題	1645	9.1
アイヌの人々	1165	6.5
外国人	1535	8.5
ヘイトスピーチ	2271	12.6
HIV感染者・ハンセン病患者等	2294	12.7
刑を終えて出所した人	1353	7.5
犯罪被害者等	3384	18.8
インターネットによる人権侵害	4247	23.6
北朝鮮当局によって拉致された被害者等	2865	15.9
ホームレス	1272	7.1
性的指向	1667	9.3
性同一性障害者	2672	14.8
人身取引(トラフィッキング)	1426	7.9
震災に起因する人権問題	4385	24.4
その他	550	3.1



(2)属性別の傾向

➤男女で上位 1～3 位まで同順位であった。

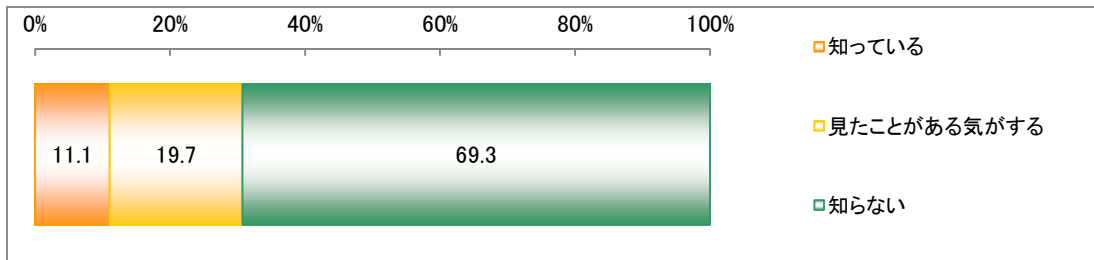
➤10 歳代では「障害のある人 39.2%」が最も多いが、20 歳代以上では「子ども 40～51%」が最も多い。

2 人権擁護体制の認知度

2-1 人権イメージキャラクターの認知度

(1)全体

➤人権イメージキャラクターの認知度は 30.7%であった。



(2)属性別の傾向

➤認知度は、女性（32.4%）が男性（29.0%）よりやや高い。

➤認知度は、50 歳代（22.6%）が最も低く、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代（56.0%）が最も高い。

(3)対昨年度比較

➤人権イメージキャラクターの認知度は、昨年度と比べてほとんど変化はない。

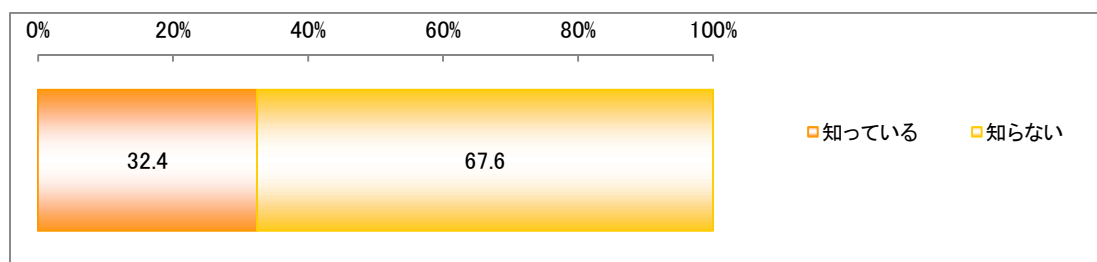
【人権イメージキャラクターの認知度 Q3】

	n	知 っ て い る	見 た こ と が あ る		知 ら な い
			知 っ て い る	気 が す る	
平成26年度	9000	31.5	10.8	20.7	68.5
平成27年度	9000	31.2	11.1	20.1	68.8
平成28年度	18000	30.7	11.1	19.7	69.3

2-2 法務局・地方法務局が人権擁護業務を行っていることの認知度

(1)全体

➤法務局・地方法務局が人権擁護業務を行っていることの認知度は 32.4%であった。



(2)属性別の傾向

- 認知度の男女差は大きく、男性（37.1%）が女性（27.9%）より 9P 高い。
- 認知度の年代差は大きく、30 歳代（22.0%）が最も低く、年代が上がる下がるにつれて高くなり、70 歳代（55.2%）が最も高い。

(3)対昨年度比較

- 法務局・地方法務局が人権擁護業務を行っていることの認知度は、昨年比べてやや低下した。

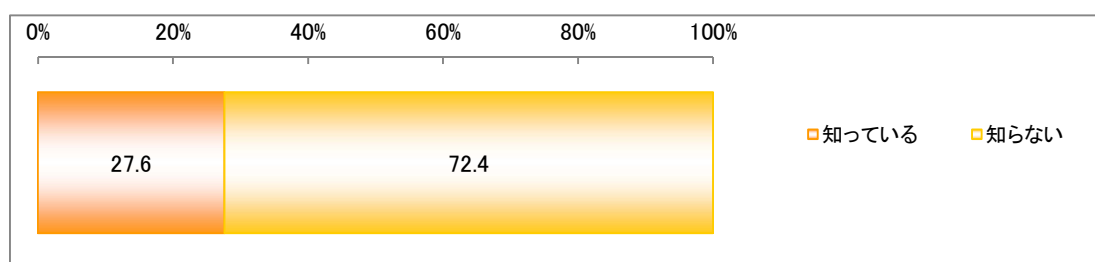
【法務局・地方法務局が人権擁護に関する業務を行っていることの認知度 Q4】

	n	知っている	知らない
平成26年度	9000	33.5	66.5
平成27年度	9000	34.7	65.3
平成28年度	18000	32.4	67.6

2-3 法務局・地方法務局に人権擁護相談窓口があることの認知度

(1)全体

- 法務局・地方法務局に人権擁護窓口があることの認知度は 27.6%へと低下する。



(2)属性別の傾向

- 認知度の男女差は大きく、男性（31.4%）が女性（23.9%）より 8P 高い。
- 認知度の年代差は大きく、10～40 歳代では 21%前後だが、そこから年代が上がるに連れて高くなり、70 歳代（48.2%）が最も高い。

(3)対昨年度比較

- 法務局・地方法務局に人権擁護窓口があることの認知度は、昨年度に比べて若干低下した。

【法務局・地方法務局に人権に関する相談窓口があることの認知度 Q5】

	n	知っている	知らない
平成26年度	9000	28.3	71.7
平成27年度	9000	29.4	70.6
平成28年度	18000	27.6	72.4

2-4 法務局・地方法務局の人権擁護相談窓口について知っていること

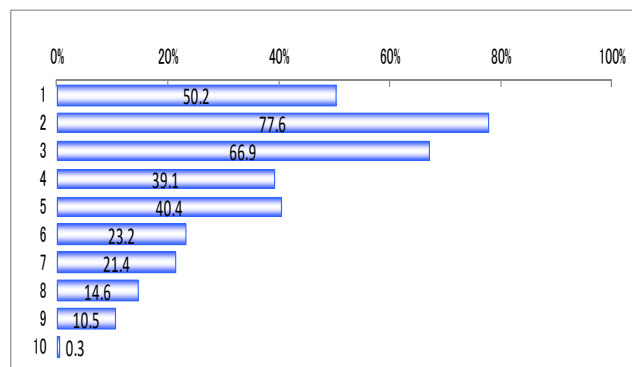
(1)全体

- 法務局・地方法務局に人権擁護相談窓口があることを知っているとした回答者（27.6%）が相談窓口について知っていることは、多い順に以下であった。

1 位	相談は無料	: 77.6%
2 位	秘密は厳守される	: 66.9%
3 位	法務局職員または人権擁護委員が対応	: 50.2%
4 位	電話で相談できる	: 40.4%
5 位	相談窓口で面談により相談できる	: 39.1%
6 位	Eメールで相談できる	: 23.2%
7 位	「子どもの人権 SOS ミニレター」で相談できる	: 21.4%
8 位	外国語の相談にも対応している	: 14.6%
9 位	内容までは知らない	: 10.5%

- 1 位・2 位は誰もが常識的な前提として認識している事項と考えれば、人権擁護相談窓口の存在を知っている人（27.6%）であっても、相談窓口の具体的な対応のそれぞれについての認知者は半数もしくはそれ以下であった。

	n	%
全体	4971	100.0
人権相談には、法務局職員又は人権擁護委員が対応すること	2495	50.2
相談は無料であること	3859	77.6
相談内容について、秘密は厳守されること	3327	66.9
法務局・地方法務局の相談窓口で、面談により相談できること	1943	39.1
電話により相談できること	2006	40.4
インターネット(メール)により相談できること	1154	23.2
「子どもの人権SOSミニレター」により相談できること(小・中学生の場合)	1063	21.4
外国語(英語・中国語)の相談にも対応していること	727	14.6
人権相談窓口の存在は知っているが、内容までは知らない	524	10.5
その他:	16	0.3



(2)属性別の傾向

- 認知度順位は男女で1～3位まで同じで、各項目で大きな違いはないが、「子どもの人権 SOS ミニレターで相談できる」では、女性（26.7%）が男性（17.3%）より 9P 多い。
- 認知度順位は全年代で1～2位まで同じで、ほとんどの項目で60・70歳代の認知度が他年代に比べて高いが、「電話により相談できる」「インターネットにより相談できる」「子どもの人権 SOS ミニレターで相談できる」では10・20歳代が他年代に比べて高い。

(3)対昨年度比較

- 法務局・地方法務局に人権擁護相談窓口があることを知っているとした回答者（27.6%）が相談窓口について「知っている」とした割合は、昨年度と比べて大きな変化はない。

【法務局・地方法務局の人権相談窓口について知っていること Q6】

	平成28年度		平成27年度	平成26年度
	全体	対平成27年度変化	2650	2543
人権相談には、法務局職員又は人権擁護委員が対応すること	50.2	↑	48.8	48.2
相談は無料であること	77.6	↑	76.7	72.8
相談内容について、秘密は厳守されること	66.9	↑	66.6	63.0
法務局・地方法務局の相談窓口で、面談により相談できること	39.1	↓	41.4	37.9
電話により相談できること	40.4	↑	37.8	36.5
インターネット(メール)により相談できること	23.2	↓	23.4	20.9
「子どもの人権SOSミニレター」により相談できること(小・中学生の場合)	21.4	↑	20.6	21.8
外国語の相談にも対応していること	14.6	—	—	—
人権相談窓口の存在は知っているが、内容までは知らない	10.5	↓	11.6	13.7
その他:	0.3	↑	0.1	0.3

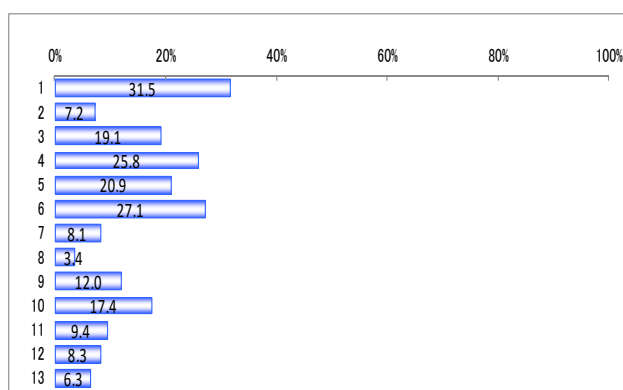
2-5 法務局・地方法務局の人権擁護相談窓口を知ったきっかけ

(1)全体

➤法務局・地方法務局に人権擁護相談窓口があることを知っているとした回答者（27.6％）が相談窓口を知ったきっかけは多様だが、上位3つは「テレビで見た 31.5％」「広報誌・チラシ・パンフレットで見た 27.1％」「インターネットで見た 25.8％」であった。

1位	テレビで見た	: 31.5%
2位	広報誌・チラシ・パンフレットで見た	: 27.1%
3位	インターネットで見た	: 25.8%
4位	ポスターで見た	: 20.9%
5位	新聞広告で見た	: 19.1%
6位	行政に教えてもらった	: 17.4%
7位	家族・知人等から教えてもらった	: 12.0%

	n	%
全体	4971	100.0
テレビで見たから	1566	31.5
ラジオで聞いたから	358	7.2
新聞広告で見たから	947	19.1
インターネットで見たから	1281	25.8
ポスターで見たから	1041	20.9
広報誌・チラシ・パンフレットで見たから	1349	27.1
「子どもの人権SOSミニレター」で見たから	404	8.1
電車内で放映されていたCMを見たから	170	3.4
家族・知人等から教えてもらったから	596	12.0
行政(国・都道府県・市町村等)に教えてもらったから	865	17.4
講演会や人権フェスティバルなどのイベントに参加したから	465	9.4
人権相談の電話番号が印刷された物品を持っている(もらった)から	412	8.3
その他:	314	6.3



(2)属性別の傾向

➤きっかけは、男女いずれも「テレビで見た（30%前後）」が最も多いが、2位以下の順位は異なる。

➤きっかけは、ほとんどの年代で「テレビで見た」が最も多いが（28～38%）、30・40歳代では「インターネットで見た」が最も多い（28～35%）。

(3)対昨年度比較

➤法務局・地方法務局に人権擁護相談窓口があることを知っているとした回答者（27.6％）が相談窓口を知ったきっかけの回答割合は、昨年度と比べて大きな変化はない。

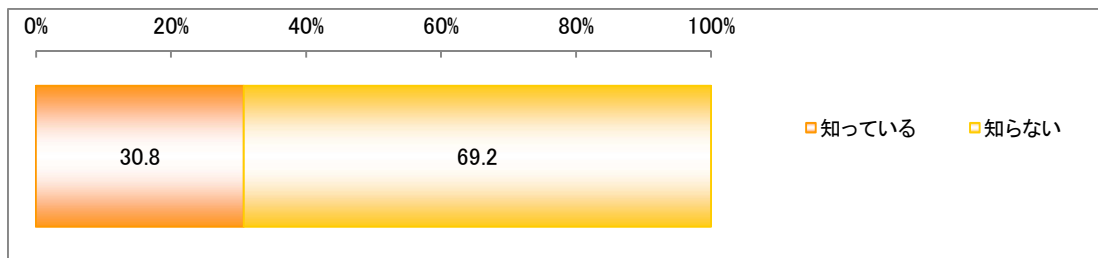
【法務局・地方法務局の人権相談窓口について知るようになったきっかけ Q7】

	全体	平成28年度		平成27年度	平成26年度
		4971	対平成27年度変化	2650	2543
テレビで見たから		31.5	↑	30.7	26.7
ラジオで聞いたから		7.2	↓	8.1	7.1
新聞広告で見たから		19.1	↓	19.5	20.4
インターネットで見たから		25.8	↑	24.9	22.6
ポスターで見たから		20.9	↑	19.9	17.7
広報誌・チラシ・パンフレットで見たから		27.1	↑	25.8	28.4
「子どもの人権SOSミニレター」で見たから		8.1	↑	7.1	7.5
電車で放映されていたCMを見たから		3.4	↓	3.9	3.2
家族・知人等から教えてもらったから		12.0	↑	11.1	10.2
行政(国・都道府県・市町村等)に教えてもらったから		17.4	↓	18.2	18.3
講演会や人権フェスティバルなどのイベントに参加したから		9.4	↑	8.9	8.5
人権相談の電話番号が印刷された物品を持っている(もらった)から		8.3	↑	8.0	—
その他:		6.3	↓	6.7	7.0

2-6 人権擁護委員の認知度

(1)全体

➤人権擁護委員の認知度は30.8%であった。



(2)属性別の傾向

- 認知度の男女差はやや大きく、男性（34.4%）が女性（27.2%）より7P多い。
- 認知度の年代差は大きく、10～40歳代では20%前後だが、そこから年代が上がるにつれて高くなり、70歳代（53.7%）が最も高い。

(3)対昨年度比較

➤人権擁護委員の認知度は、昨年度に比べてやや低下した。

【人権擁護委員の認知度 Q8】

	n	知っている	知らない
平成26年度	9000	31.6	68.4
平成27年度	9000	33.1	66.9
平成28年度	18000	30.8	69.2

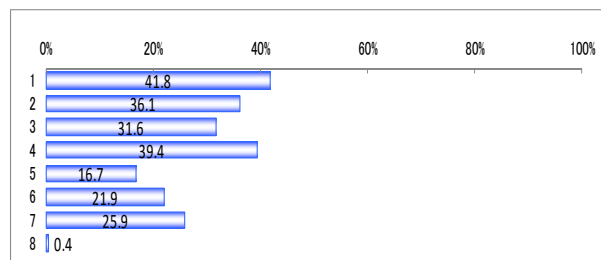
2-7 人権擁護委員について知っていること

(1)全体

➤人権擁護委員を知っていると回答者（30.8%）が人権擁護委員について知っていることは、多い順に以下となり、4割前後が「地域で人権思想を広め住民の人権を守ろうとする人」「地域の住民から人権相談を受けている」を挙げた。

- | | | |
|----|-----------------------------|---------|
| 1位 | 地域で人権思想を広め、住民の人権を守ろうとする人 | : 41.8% |
| 2位 | 地域の住民から人権相談を受けている | : 39.4% |
| 3位 | 法務大臣が委嘱した民間の人 | : 36.1% |
| 4位 | 全国の市町村、特別区に配置されている | : 31.6% |
| 5位 | 地域に人権の考えを広めるための人権啓発活動を行っている | : 21.9% |
| 6位 | 法務局職員と協力して、人権侵犯事件の解決を図っている | : 16.7% |

	n	%
全体	5542	100.0
地域で人権思想を広め、住民の人権を守ろうとする人たちである	2316	41.8
法務大臣が委嘱した民間の人たちである	2001	36.1
全国の市町村、特別区に配置されている	1750	31.6
地域の住民から人権相談を受けている	2181	39.4
法務局職員と協力して、人権侵犯事件の解決を図っている	927	16.7
地域に人権の考えを広めるための人権啓発活動を行っている	1216	21.9
人権擁護委員の存在は知っているが、どのような活動を行っているのかは知らない	1434	25.9
その他:	23	0.4



(2)属性別の傾向

- 提示した6事項の全てについて、「知っている」は男性が女性より多い。
- 「知っている」が多い順位は年代によって異なり、年代別に最も多く選択された事項は、10～30・50歳代は「地域で人権思想を広め、住民の人権を守ろうとする人 40～47%」、40・60歳代は「地域の住民から人権相談を受けている 39～40%」、70歳代は「法務大臣が委嘱した民間の人 47.4%」であった。

(3)対昨年度比較

➤人権擁護委員を知っているとした回答者（30.8%）が人権擁護委員について「知っている」とした割合は、昨年度と比べて大きな変化はない。

【人権擁護委員について知っていること Q9】

	全体	平成28年度		平成27年度	平成26年度
		5542	対平成27年度変化	2981	2841
地域で人権思想を広め、住民の人権を守ろうとする人たちである		41.8	↑	40.3	35.3
法務大臣が委嘱した民間の人たちである		36.1	↓	37.2	32.4
全国の市町村、特別区に配置されている		31.6	↑	31.3	29.9
地域の住民から人権相談を受けている		39.4	↑	39.2	35.7
法務局職員と協力して、人権侵害事件の解決を図っている		16.7	↓	19.2	17.0
地域に人権の考えを広めるための人権啓発活動を行っている		21.9	↓	23.3	21.0
人権擁護委員の存在は知っているが、どのような活動を行っているのかは知らない		25.9	←	25.9	30.6
その他:		0.4	↑	0.2	0.2

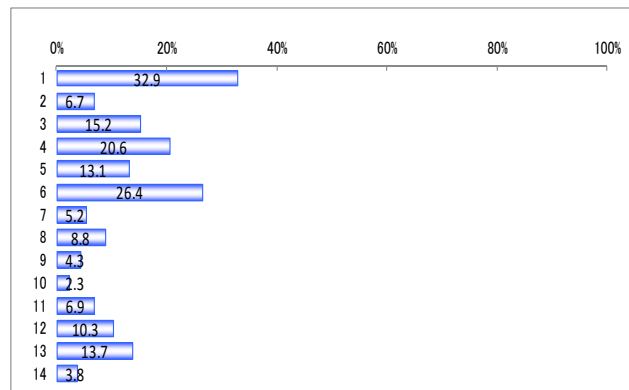
2-8 人権擁護委員を知るようになったきっかけ

(1)全体

➤人権擁護委員を知っているとした回答者（30.8%）が人権擁護委員を知るようになったきっかけは多様だが、多い順に以下となり、3割強が「テレビで見た」を挙げて最も多い。

1位	テレビで見た	: 32.9%
2位	広報誌・チラシ・パンフレットで見た	: 26.4%
3位	インターネットで見た	: 20.6%
4位	新聞広告で見た	: 15.2%
5位	行政に教えてもらった	: 13.7%
6位	ポスターで見た	: 13.1%
7位	家族・知人等から教えてもらった	: 10.3%

	n	%
全体	5542	100.0
テレビで見たから	1821	32.9
ラジオで聞いたから	373	6.7
新聞広告で見たから	840	15.2
インターネットで見たから	1141	20.6
ポスターで見たから	726	13.1
広報誌・チラシ・パンフレットで見たから	1463	26.4
「子どもの人権SOSミニレター」で見たから	290	5.2
講演会や人権フェスティバルなどのイベントに参加したから	485	8.8
人権擁護委員が実施する人権教室や人権の花運動等に参加したから	238	4.3
人権相談に行った際に、人権擁護委員が対応したから	127	2.3
知人等が人権擁護委員だから	380	6.9
家族・知人等から教えてもらったから	572	10.3
行政(国・都道府県・市町村等)に教えてもらったから	758	13.7
その他:	209	3.8



(2)属性別の傾向

- きっかけは、男女で上位 1～4 位まで同順位で、回答割合の男女差は大きくないが、「インターネットで見た」については男性（24.1%）が女性（16.2%）より 8P 多い。
- きっかけは、全ての年代で「テレビで見た」が最も多い（28～37%）。

(3)対昨年度比較

- 人権擁護委員を知っているとした回答者（30.8%）が人権擁護委員を知るようになったきっかけの回答割合は、昨年度と比べて大きな変化はない。

【人権擁護委員について知るようになったきっかけ Q10】

	全体	平成28年度		平成27年度	平成26年度
		5542	対平成27年度変化	2981	2841
テレビで見たから		32.9	←	32.9	28.8
ラジオで聞いたから		6.7	↓	7.4	6.1
新聞広告で見たから		15.2	↓	15.3	16.2
インターネットで見たから		20.6	↓	21.7	18.0
ポスターで見たから		13.1	↑	12.2	10.8
広報誌・チラシ・パンフレットで見たから		26.4	↓	27.6	28.4
「子どもの人権SOSミニレター」で見たから		5.2	↑	4.1	4.4
講演会や人権フェスティバルなどのイベントに参加したから		8.8	↑	7.8	7.5
人権擁護委員が実施する人権教室や人権の花運動等に参加したから		4.3	↓	4.7	3.2
人権相談に行った際に、人権擁護委員が対応したから		2.3	↑	1.9	1.2
知人等が人権擁護委員だから		6.9	↓	7.0	6.0
家族・知人等から教えてもらったから		10.3	↑	9.6	8.9
行政(国・都道府県・市町村等)に教えてもらったから		13.7	↓	14.3	14.7
その他:		3.8	↓	4.2	4.0

3 人権擁護のための各活動の認知度・認識

3-1 各活動の認知度

3-1-1 全体

- 人権擁護活動を「直轄事業」「人権啓発活動ネットワーク協議会（以下、人権NW協議会と略称）のホームページ」「地方委託事業」に3分類して見ると、「直轄事業」の認知度（17～57%）が他の活動（3～17%）に比べて相対的に高い。
- 「直轄事業」の中では「人権週間」の認知度が 56.5%で最も高く、「全国中学生人権作文コンテスト」「子どもの人権 110 番」「女性の人権ホットライン」「みんなの人権 110 番」の認知度も 31～38%であるが、「子どもの人権 SOS ミニレター」「人権教室」の認知度は 17～20%へと低下する。
- 「地方委託事業」については「見聞きあるいは参加した」割合だが、「テレビ CM・ラジオ CM」の見聞き度が 16.8%で最も高い。それ以外も、見る対象である「広告」類の見聞き度は概ね 10%を超えているが、参加する対象である「活動（人権フェスティバル、人権の花運動 等）」類への参加度は概ね 10%を下回っている。
- 「人権NW協議会のホームページ」の認知度は 16.0%であった。

【活動の認知度】

		認知度 H28	備考
n		18000	
直轄事業 (Q11)	人権週間	56.5	「知っている」「聞いたことがある気がする」の合計
	全国中学生人権作文コンテスト	37.7	
	子どもの人権110番	37.3	
	女性の人権ホットライン	36.9	
	みんなの人権110番	30.9	
	子どもの人権SOSミニレター	19.7	
	人権教室	16.7	
人権NW協議会(Q24)	ホームページ	16.0	「知っている」「見たことがある気がする」の合計
地方委託事業 (Q33)	テレビCM・ラジオCM	16.8	見聞き・参加したことがある
	啓発資料(冊子・リーフレット等)の作成・配布	12.8	
	新聞広告	11.7	
	講演会・研修会	11.1	
	電車・バス等における車内広告	10.6	
	インターネット広告	10.2	
	地域情報紙(ミニコミ誌・フリーペーパー等)における広告	9.0	
	人権フェスティバル	7.6	
	Jリーグ等のスポーツ組織と連携協力した人権啓発活動	3.3	
	人権の花運動	3.2	
	その他:	0.4	

3-1-2 認知度の属性別傾向

(1)直轄事業

- 認知度の男女差は少ないが、「女性の人権ホットライン」では女性の認知度（40.9%）が男性（32.8%）より 8P 高い。
- 認知度は、全ての活動について概ね 30～50 歳代の認知度が低く、それより年代が上がる下がるにつれて高くなる。

(2)人権NW協議会のホームページ

- 認知度は、男性（18.1%）が女性（13.9%）より高い。
- 認知度は、40 歳代（12.9%）が最も低く、それより年代が上がる下がるにつれて高くなり、10 歳代（20.7%）が最も高い。

(3)地方委託事業

- 見聞き・参加率の男女差は小さい。
- 見聞き・参加率は、ほとんどの活動において高年代（60・70 歳代）が他年代に比べて高いが、「インターネット広告」では若年代（10～20 歳代）が中・高年代に比べて高い。

3-2 各活動に対する認識

3-2-1 直轄事業

(1)評価全般

- 全ての活動について「推進すべき」が半数を超えた。
- とくに「子どもの人権 110 番」「女性の人権ホットライン」「みんなの人権 110 番」については、「推進すべき」は 60%を超えており、他の活動に比べて評価が高い。

【各活動についての評価 Q12】

	n	推進すべきである			推進すべきではない			わからない
		推進すべきである	積極的に推進すべきである	どちらかと言えば推進すべきである	推進すべきではない	どちらかと言えば推進すべきではない	この様な活動はやめるべきである	
子どもの人権110番	18000	61.1	29.7	31.4	4.1	2.7	1.4	34.8
女性の人権ホットライン	18000	60.3	28.0	32.3	4.5	3.0	1.6	35.2
みんなの人権110番	18000	60.2	26.8	33.4	4.1	2.9	1.3	35.7
子どもの人権SOSミニレター	18000	57.1	24.4	32.7	4.5	3.1	1.4	38.4
人権週間	18000	56.8	21.4	35.4	5.9	4.1	1.8	37.3
全国中学生人権作文コンテスト	18000	53.4	17.8	35.6	6.1	4.2	1.9	40.5
人権教室	18000	53.0	17.5	35.5	6.1	4.3	1.8	40.9

(2)評価の属性別傾向

- 評価は、全ての活動に対して女性が男性より 5～10P 高い。
- 評価は、全ての活動について概ね 60・70 歳代が 10～50 歳代に比べて高い。

3-2-2 人権NW協議会のホームページを見た印象

(1)印象全般

- 全ての印象項目について、「そう思う」は半数を下回り 40%前後であった。

【NW協議会ホームページを見た印象 Q25】

	n	印象		
		そう思う	そう思う	うややそう思
1.好感が持てる	18000	41.1	5.9	35.3
2.興味がわく	18000	32.9	5.2	27.7
3.わかりやすい	18000	39.7	6.4	33.3
4.便利だと思う	18000	39.3	6.3	33.0
5.よいホームページだと思う	18000	43.4	7.3	36.1

(2)印象の属性別傾向

- 全ての印象項目について、好印象度は女性が男性より 7～12P 高い。
- 全ての印象項目について、好印象度は 30 歳代が最も低く、それより年代が上がる下がるにつれて高くなる。

3-2-3 地方委託事業の見聞き・参加による理解・関心の深まり

(1)理解関心の深まり全般

- 地方委託事業の見聞き・参加による理解・関心の深まりの度合は極めて高く、全ての活動について『深まった』は 63～81%強を占めた。
- なかでも参加型の活動である「講演会・研修会」「Jリーグ等のスポーツ組織と連携協力した人権啓発活動」では『深まった』は 80%前後に達し、また、「啓発資料（冊子・リーフレット等）」でも 78.5%を占めている。

【法務省・自治体連携活動を見聞き・参加しての理解・関心の深まり Q34】

	n	深 ま っ た	深まなかった	
			深 ま っ た	深 ま あ っ た
講演会・研修会	1999	80.6	24.3	56.3
啓発資料(冊子・リーフレット等)の作成・配布	2307	78.5	16.2	62.3
Jリーグ等のスポーツ組織と連携協力した人権啓発活動	586	78.2	23.5	54.6
地域情報紙(ミニコミ誌・フリーペーパー等)における広告	1614	75.3	16.9	58.5
人権フェスティバル	1366	74.6	23.0	51.6
人権の花運動	568	72.7	24.8	47.9
新聞広告	2113	72.3	13.4	58.9
インターネット広告	1842	72.0	14.9	57.1
テレビCM・ラジオCM	3023	68.0	11.3	56.7
電車・バス等における車内広告	1913	62.7	11.1	51.6

(2)理解関心の深まりの属性別傾向

- 理解・関心の深まりの度合は、ほとんどの活動において女性の方が高いが、「Jリーグ等のスポーツ組織と連携協力した人権啓発活動」では男性の方が高い。
- 理解・関心の深まりの度合は、ほとんどの連携活動について 30～40 歳代が低く、それより年代が上がる下がるにつれて高くなる。

4 人権啓発広告について

4-1 各広告の認知度

4-1-1 全体

➤ 広告の認知度は、高い順に「ポスター（啓発）」→「ポスター（調査救済・委員制度周知）」→「新聞広告（啓発）」→「インターネット広告（啓発）」であった。

1 位	ポスター（啓発）	: 21～37%（平均 28.8%）
2 位	ポスター（調査救済・委員制度周知）	: 21～27%（平均 23.9%）
3 位	新聞広告（啓発）	: 23%前後（平均 22.8%）
4 位	インターネット広告（啓発）	: 18～29%（平均 21.9%）

【広告の認知度】

			n	見たことはある	備考
Q16	ポスター (啓発)	「ヘイトスピーチ許さない」ポスター	18000	36.6	「印象に残っているし興味関心を持った」「印象には残っているが興味関心は持たなかった」「印象には残っていない」の合計
		人権週間ポスター	18000	36.5	
		北朝鮮人権侵害問題啓発週間ポスター	18000	25.2	
		啓発活動重点目標・調査救済制度周知ポスター	18000	25.0	
		外国人の人権キャッチコピーコンテストポスター	18000	20.6	
Q30	ポスター (調査救済・委員制度周知)	子どもの人権110番強化週間	18000	26.8	「印象に残っているし相談する場所があることもわかった」「印象には残っているが相談する場所があることはわからなかった」「印象には残っていない」の合計
		みんなの人権110番	18000	25.4	
		子どもの人権相談窓口	18000	25.1	
		女性の人権ホットライン	18000	23.5	
		女性の人権ホットライン強化週間	18000	23.2	
		高齢者・障害者強化週間	18000	22.4	
		人権擁護委員制度周知ポスター	18000	21.2	
Q19	新聞広告 (啓発)	ハンセン病問題啓発新聞広告	18000	23.2	「印象に残っているし理解関心も深まった」「印象には残っているが理解関心は深まっていない」「印象には残っていない」の合計
		全国中学生人権作文コンテスト・北朝鮮人権侵害問題啓発週間新聞広告	18000	22.3	
Q22	インターネット広告 (啓発)	ヘイトスピーチ対策パナー広告	18000	28.5	「見たことがある」「見たことがある気がする」の合計
		子どもの人権を守りましょう	18000	19.7	
		インターネットを悪用した人権侵害をなくしましょう	18000	17.5	

4-1-2 認知度の属性別傾向

(1)ポスター（啓発）

- 認知度は、全てのポスターについて男性が女性よりやや高い。
- 認知度は、全てのポスターについて 30～50 歳代が低く、年代が上がる下がるにつれて高くなり、概ね 10 歳代が最も高い。

(2)ポスター(調査救済・委員制度周知)

- 認知度の男女差はほとんどない。
- 認知度は、全てのポスターについて 30～60 歳代が低く、これより年代が上がる下がるにつれて高くなり、10 歳代が最も高い。

(3)新聞広告(啓発)

- 認知度は、いずれの新聞広告についても、男性が女性よりやや高い。
- 認知度は、いずれの新聞広告についても 30～50 歳代が低く、これより年代が上がる下がるにつれて高くなり、70 歳代が最も高い。

(4)インターネット広告(啓発)

- 認知度は、全てのインターネット広告について、男性が女性よりやや高い。
- 認知度は、全てのインターネット広告について 30～60 歳代が低く、これより年代が上がる下がるにつれて高くなる。

4-2 各広告を見ての興味・関心度

(ポスター啓発5種類)

4-2-1 全体

- ポスター（啓発）5 種類について、「興味や関心を持った」割合は「北朝鮮人権侵害問題啓発週間ポスター」が 31.1%で最も多かった。

【広告を見ての興味・関心度】

			n	持し印 つ、象 た興に 味残 やつ 関て 心い をる
Q16	ポスター (啓発)	北朝鮮人権侵害問題啓発週間ポスター	4534	31.1
		ヘイトスピーチ許さないポスター	6591	25.4
		外国人の人権キャッチコピーコンテストポスター	3715	24.5
		啓発活動重点目標・調査救済制度周知ポスター	4501	23.8
		人権週間ポスター	6577	22.9

4-2-2 興味・関心度の属性別傾向

- 「興味や関心を持った」は、全てのポスターについて男性が女性よりやや多い。
- 「興味や関心を持った」は、全てのポスターについて30～50歳代が少なく、これより年代が上がる下がるにつれて多くなる。

4-3 各広告を見ての印象度

(ポスター啓発5種類、ポスター調査救済・委員制度周知7種類、新聞広告2種類)

4-3-1 全体

- 各広告を見て「印象に残った」は、多い順に「ポスター（啓発）」→「ポスター（調査救済・委員制度周知）」→「新聞広告（啓発）」となった。

- 1位 ポスター（啓発） : 13～21%（平均 16.4%）
- 2位 ポスター（調査救済・委員制度周知） : 13～16%（平均 14.5%）
- 3位 新聞広告（啓発） : 13～14%（平均 13.7%）

【広告を見ての印象】

			残 印 つ 象 た に	備 考	
n					
Q16	ポスター (啓発)	ヘイトスピーチ許さないポスター	18000	20.6	「印象に残っているし、興味や関心を持った」「印象には残っているが、興味や関心は持たなかった」の合計
		人権週間ポスター	18000	19.3	
		北朝鮮人権侵害問題啓発週間ポスター	18000	15.9	
		啓発活動重点目標・調査救済制度周知ポスター	18000	13.8	
		外国人の人権キャッチコピーコンテストポスター	18000	12.5	
Q30	ポスター (調査救済・委員 制度周知)	子どもの人権110番強化週間ポスター	18000	15.6	「印象に残っているし、相談する場所があることも分かった」「印象には残っているが、相談する場所があることはわからなかった」の合計
		みんなの人権110番ポスター	18000	15.1	
		子どもの人権相談窓口ポスター	18000	14.8	
		女性の人権ホットラインポスター	18000	14.5	
		女性の人権ホットライン強化週間ポスター	18000	14.3	
		高齢者・障害者強化週間ポスター	18000	13.7	
		人権擁護委員制度周知ポスター	18000	13.3	
Q19	新聞広告 (啓発)	ハンセン病問題啓発新聞広告	18000	14.0	「印象に残っているし、理解も関心も深まった」「印象には残っているが、理解や関心は深まっていない」の合計
		全国中学生人権作文コンテスト・北朝鮮人権侵害問題啓発週間新聞広告	18000	13.3	

4-3-2 印象の属性別傾向

(1)ポスター(啓発)

- 印象度は、ポスター 5 種類の全てで、男性が女性よりやや高い。
- 印象度は、ポスター 5 種類の全てについて、30～50 歳代が低く、これより年代が上がる下がるにつれて高くなり、10 歳代が最も高い。

(2)ポスター(調査救済・委員制度周知)

- 印象度は、ほとんどのポスターで、女性が男性よりやや高い。
- 印象度は、ポスター 7 種類の全てについて、30～60 歳代が低く、これより年代が上がる下がるにつれて高くなり、10 歳代が最も高い。

(3)新聞広告(啓発)

- 印象度は、新聞広告 2 種類のいずれも、男性が女性よりやや高い。
- 印象度は、新聞広告 2 種類のいずれも、30～50 歳代が低く、これより年代が上がる下がるにつれて高くなり、10 歳代が最も高い。

4-4 各広告を見ての理解・関心の深まり

(法務省サイト2種類、新聞広告2種類)

4-4-1 全体

- 各広告を見て「理解・関心が深まった」は、多い順に「法務省サイト」→「新聞広告」であった。

- 1 位 法務省サイト : 45%前後
- 2 位 新聞広告 : 28%前後

【広告による理解・関心の深まり】

		n	深 ま っ た	深 非 常 に ま っ た	深 ま あ っ た
新聞広告 (Q19)	全国中学生人権作文コンテスト・北朝鮮人権侵害問題啓発週間新聞広告	4010	28.5	—	—
	ハンセン病問題啓発新聞広告	4178	27.6	—	—
インターネット広告のリンク先の 法務省サイト (Q23)	子どもの人権を守りましょう	18000	46.2	8.0	38.2
	インターネットを悪用した人権侵害をなくしましょう	18000	43.9	6.4	37.5

4-4-2 理解・関心の深まりの属性別傾向

(1)新聞広告

- 「理解・関心が深まった」は、男女差はない。
- 「理解・関心が深まった」は、30～50 歳代が少なく、これより年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代が最も多い

(2)法務省サイト

- 「理解・関心が深まった」は、女性が男性より 11P 程度多い。
- 「理解・関心が深まった」割合は、30～50 歳代が少なく、これより年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代が最も多い

4-5 各広告を見て思ったこと・理解したこと

(ポスター啓発5種類、ポスター調査救済・委員制度周知7種類、新聞広告2種類)

4-5-1 全体

- 調査救済・委員制度周知ポスターでは、7 種類のポスター全てで、提示した 7 項目中の 4 項目について『あてはまる』とした割合が 50%を超えた。とくに「相談する場所があることが分かった」は、ほとんどのポスターで 60%近くに達している。
- 啓発ポスターでは、5 種類のポスター全てで、提示した 8 項目の全てについて『あてはまる』は 50%を下回った。
- 新聞広告では、提示した 6 項目の全てについて『あてはまる』は 50%を下回り、啓発ポスターとほぼ同等な結果となっている。

【広告を見て思った・理解したこと】 ※数値は「当てはまる」「やや当てはまる」とした回答者の合計割合

枠は50%超

			人権問題を意識するきっかけになった	人権問題について、もっと知りたくなった	人権問題について、家族や友人と話し合い（ブログ・SNS等）による発信を含む	人権問題で困ったとき、悩んだときには、法務局による相談を利用しようと思った	人権問題で困ったとき、悩んだときには、法務局による相談・救済制度を知るきっかけになった	人権問題で困ったとき、悩んだときには、法務局による相談・救済制度を知るきっかけになった	人権問題で困ったとき、悩んだときには、法務局による相談・救済制度を知るきっかけになった	人権問題で困ったとき、悩んだときには、法務局による相談・救済制度を知るきっかけになった	人権問題で困ったとき、悩んだときには、法務局による相談・救済制度を知るきっかけになった	人権問題で困ったとき、悩んだときには、法務局による相談・救済制度を知るきっかけになった	人権問題で困ったとき、悩んだときには、法務局による相談・救済制度を知るきっかけになった
Q18	ポスター（啓発）	啓発活動重点目標・調査救済制度周知ポスター	18000	41.6	31.9	25.4	20.8	45.4	44.9	43.1	46.8		
		人権週間ポスター	18000	44.9	34.1	27.0	21.8	46.7	48.0	44.1	45.8		
		北朝鮮人権侵害問題啓発週間ポスター	18000	45.4	36.1	28.9	22.5	45.6	41.2	39.7	40.3		
		外国人の人権キャッチコピーコンテストポスター	18000	41.3	32.9	26.4	21.3	44.0	41.8	39.7	40.6		
		ヘイトスピーチ許さないポスター	18000	45.8	35.4	28.5	21.8	46.0	42.0	39.6	40.4		
Q32	ポスター（調査救済・委員制度周知）	子どもの人権相談窓口	18000	49.0			38.9	53.9	58.9	50.7	52.5		44.8
		子どもの人権110番強化週間	18000	50.2			39.5	54.1	59.0	51.4	52.2		44.8
		みんなの人権110番	18000	50.1			39.3	53.8	58.5	51.4	51.9		45.2
		高齢者・障害者強化週間	18000	49.5			39.4	53.5	57.6	50.8	51.2		44.9
		女性の人権ホットライン	18000	49.7			39.5	53.4	58.1	51.1	51.8		45.2
		女性の人権ホットライン強化週間	18000	50.1			40.0	53.6	58.3	51.2	51.9		45.4
		人権擁護委員制度周知ポスター	18000	48.3			38.5	52.4	54.9	51.6	51.5		43.6
Q21	新聞広告（啓発）	全国中学生人権作文コンテスト・北朝鮮人権侵害問題啓発週間新聞広告	18000	39.9	31.8	24.8	19.6	43.9	39.4				
		ハンセン病問題啓発新聞広告	18000	43.4	34.2	26.2	20.6	46.1	42.1				

4-5-2 思ったこと・理解したことの属性別傾向

(1)ポスター（啓発）

- 啓発ポスター5種類では、「思った・理解した」割合の男女差は大きく、各ポスターについて提示した8項目中のすべてで、女性が男性より多く、その差は10Pもしくはそれ以上であることも多い。
- 「思った・理解した」割合は、各ポスターについて提示した8項目の全てについて、概ね30～50歳代が少なく、これより年代が上がる下がるにつれて多くなる。

(2)ポスター(調査救済・委員制度周知)

- 調査救済・委員制度周知ポスター7種類では、「思った・理解した」割合の男女差は大きく、各ポスターについてそれぞれ提示した7項目の全てで、女性が男性より多く、その差は10%もしくはそれ以上であることも多い。
- 「思った・理解した」割合は、各ポスターについて提示した7項目のすべてについて、概ね30～50歳代が少なく、これより年代が上がる下がるにつれて多くなる。

(3)新聞広告(啓発)

- 新聞広告(啓発)2種類では、「思った・理解した」割合の男女差は大きく、各新聞広告についてそれぞれ提示した6項目の全てで、女性が男性より多く、その差は10%もしくはそれ以上であることも多い。
- 「思った・理解した」割合は、各新聞広告について提示した6項目のすべてについて、概ね30～50歳代が少なく、これより年代が上がる下がるにつれて多くなる。

5 人権啓発資料について

5-1 各資料の認知度

(教材・コンテンツ6種類、冊子・リーフレット3種類、じんけん自己診断2種類)

5-1-1 全体

- 教材・コンテンツ6種類の認知度は差が大きく、『いじめ』しないさせない見逃さない」が22.6%で最も高く、「いっしょに学ぼう！障害のある人の人権」が9.6%で最も低い。
- 冊子・リーフレット3種類の認知度は、いずれも15%前後であった。
- リーフレット・ホームページ（じんけん自己診断）は、いずれも11%弱であった。

【資料の認知度】

		見たことがある	見たことがある	見たことがある	
n					
教材・コンテンツ (Q13)	「いじめ」しないさせない 見逃さない	18000	22.6	6.7	16.0
	人権の擁護	18000	16.5	4.9	11.6
	全国中学生人権作文コンテスト入賞作文集	18000	16.3	5.3	11.1
	みんなともだち	18000	12.0	3.3	8.7
	あなたは大丈夫？考えよう！インターネットと人権(改訂版)	18000	11.4	3.2	8.3
	いっしょに学ぼう！障害のある人の人権	18000	9.6	2.5	7.1
冊子・リーフレット (調査救済制度) (Q26)	人権擁護委員 あなたの街の相談パートナー	18000	16.5	3.9	12.5
	調査救済制度広報用リーフレット(簡易版)	18000	14.6	3.4	11.2
	調査救済制度広報用リーフレット(詳細版)	18000	14.1	3.3	10.8
リーフレット・ホームページ (じんけん自己診断) (Q28)	じんけん自己診断(リーフレット)	18000	10.9	2.7	8.2
	じんけん自己診断(ホームページ)	18000	10.5	2.7	7.8

5-1-2 認知度の属性別傾向

(1)教材・コンテンツ

- 認知度は、ほとんどの教材で男性の方がやや高いが、『いじめ』しないさせない見逃さない」では女性の方が若干高い。
- 認知度は、6種類全てについて40歳代が最も低く、年代が上がる下がるにつれて高くなる。

(2)冊子・リーフレット

- 認知度は、3種類全てについて男性の方がやや高い。
- 認知度は、3種類全てについて概ね30～50歳代が低く、そこから年代が上がる下がるにつれて高くなり、10歳代が最も高い。

(3)リーフレット・ホームページ(じんけん自己診断)

- 認知度は、リーフレット・ホームページのいずれも男性の方がやや高い。
- 認知度は、リーフレット・ホームページのいずれも、40～60歳代が低く、そこから年代が上がる下がるにつれて高くなり、10歳代が最も高い。

5-2 資料による理解・関心の深まり

(教材・コンテンツ6種類)

(1)全体

- 理解・関心が『深まった』は、『いじめ』しないさせない見逃さない」が47.0%で最も多く、他の5種類についてはいずれも41%前後であった。

【教材・コンテンツによる理解・関心の深まり】

		n	深 ま っ た	深 非 ま 常 っ た に た	深 ま あ っ た
教材・コンテンツ (Q14)	「いじめ」しないさせない見逃さない	18000	45.1	7.9	37.2
	あなたは大丈夫？考えよう！インターネットと人権(改訂版)	18000	41.0	5.8	35.2
	人権の擁護	18000	40.4	4.9	35.5
	いっしょに学ぼう！障害のある人の人権	18000	40.2	5.7	34.5
	みんなともだち	18000	39.5	4.8	34.7
	全国中学生人権作文コンテスト入賞作文集	18000	39.2	5.9	33.3

(2)理解・関心の深まりの属性別傾向

- 理解・関心が『深まった』は、6種類全てについて女性が男性よりやや多い。
- 理解・関心が『深まった』は、6種類全てについて10歳代が最も多く、20歳代以上になると減少する。

5-3 資料を見て思ったこと、理解したこと

(教材・コンテンツ6種類、冊子・リーフレット2種類、じんけん自己診断2種類)

5-3-1 全体

(1)教材・コンテンツ

➤教材・コンテンツを見て「思った・理解した」こととしては、提示した8事項中の「自分も人の人権を尊重しなくてはいけないと思った」については、6種類全てで『あてはまる』が半数を超えた。

➤一方、以下の3事項については、6種類全てで『あてはまる』は半数に満たなかった。

- ①人権問題についてもっと知りたくなった : 39～43%
- ②人権問題について家族や友人と話したいと思った : 31～35%
- ③人権に関する催し物（イベント）に参加してみたくなった : 23～27%

(2)冊子・リーフレット

➤資料・リーフレットを見て「思った・理解した」こととしては、『あてはまる』の割合は総じて教材・コンテンツと大きな違いはない。

➤提示した8事項の内の以下に示す5事項については、2種類いずれも『あてはまる』が半数を超えた。

- ①人権問題で困った時悩んだ時に相談する場所があることが分かった : 56%強
- ②自分も人の人権を尊重しなくてはいけないと思った : 53%強
- ③人権問題で困った時悩んだ時に人権擁護委員に相談できることがわかった : 53%前後
- ④法務局による相談・救済制度を知るきっかけになった : 52%前後
- ⑤人権擁護委員の存在を知るきっかけになった : 51%前後

➤一方、以下の3事項については、2種類いずれも『あてはまる』は半数に満たなかった。

- ①人権問題を意識するきっかけになった : 49%前後
- ②人権問題について困った時悩んだ時には法務局による相談を利用しようと思った : 46%前後
- ③人権問題について困った時悩んだ時には法務局による相談が利用できることを家族や友人に伝えたいと思った : 39%前後

(3)リーフレット・ホームページ(じんけん自己診断)

➤リーフレット・ホームページ（じんけん自己診断）資料・リーフレットを見て「思っ

た・理解した」こととしては、提示した6事項の全てについて『あてはまる』が74～78%で、極めて多い割合を占めた。

【資料を見て思った・理解したこと】

※数値は「あてはまる」「ややあてはまる」とした回答者の合計割合

は50%超

		n	人権問題を意識するきっかけになった	人権問題について、もっと知りたくなった	人権問題について、家族や友人と話し合いと思った（ブログ・SNS等による発信を含む）	人権問題で困ったとき、悩んだときには、法務局による相談（イベント）に、参加してみたくなった	人権問題で困ったとき、悩んだときには、家族や友人に伝えたいと思った（ブログ・SNS等による発信を含む）	自分も、人の人権を尊重しなくてはいけないと思った	あることが分かったとき、悩んだときに、相談する場所があることが分かった	人権擁護委員の存在を知りたくなった	人権問題で困ったとき、悩んだときに、人権擁護委員に相談できることが分かった	法務局による相談・救済制度を知りたくなった	人権問題で困ったとき、悩んだときには、法務局による相談を利用しようと思った	自分でも気づかないうちに他者の人権を侵害することがあることがわかった	人によっていろいろな受け止め方があるのがわかった	様々な人権問題があることがわかった
教材・コンテンツ (Q15)	人権の擁護	18000	53.5	40.6	31.4	22.6	55.9	56.8	53.4	54.9						
	みんなともだち	18000	51.8	40.4	32.6	24.8	53.6	53.0	50.3	51.6						
	「いじめ」しないさせない見逃さない	18000	54.3	42.6	35.3	26.5	55.0	54.2	51.4	52.7						
	全国中学生人権作文コンテスト入賞作文集	18000	49.7	39.4	32.8	25.7	51.7	48.9	47.5	48.1						
	あなたは大丈夫？考えよう！インターネットと人権(改訂版)	18000	50.9	41.0	33.5	26.1	52.8	51.2	48.9	50.2						
	いっしょに学ぼう！障害のある人の人権	18000	51.2	41.2	32.9	26.7	52.8	49.9	48.4	49.5						
冊子・リーフレット (調査救済制度) (Q27)	調査救済制度広報用リーフレット(簡易版)	18000	48.0			38.6	53.4	56.4	50.3	52.6	50.9	45.5				
	人権擁護委員 あなたの街の相談パートナー	18000	49.4			39.9	53.8	56.8	52.3	53.1	52.7	46.0				
リーフレット・ホームページ (じんけん自己診断) (Q29)	リーフレット	1959	74.2				76.0				74.2		75.4	76.8	76.0	
	ホームページ	1901	74.9				77.1				74.9		77.6	77.6	77.6	76.7

5-3-2 思ったこと・理解したこと属性別傾向

(1)教材・コンテンツ

- 「思った・理解した」割合の男女差は大きく、6種類中の5種類で、提示した8事項の全てについて女性が男性より5～13P程度多いが、「催し物に参加してみたくなった」では男女差は小さい。
- 「思った・理解した」割合は、6種類の全てで30～50歳代が少なく、これより年代が上がる下がるにつれて多くなる。

(2)冊子・リーフレット

- 「思った・理解した」割合の男女差は大きく、2種類いずれも、提示した8事項の全てについて女性が男性より11～16P多い。
- 「思った・理解した」割合は、2種類いずれも、60・70歳代が10～50歳代に比べて

多い。

(3) リーフレット・ホームページ(じんけん自己診断)

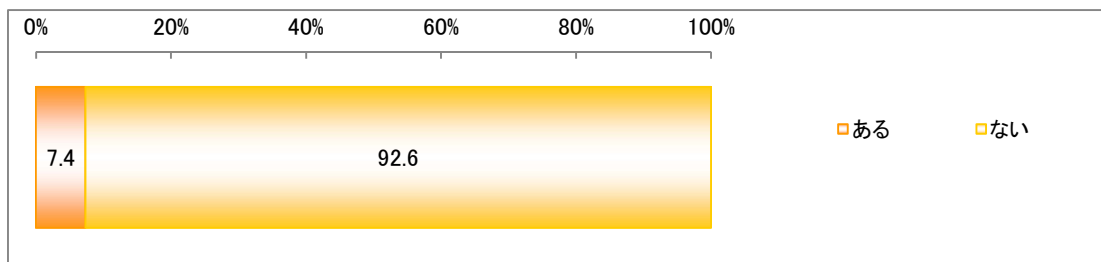
- 「思った・理解した」割合の男女差は大きく、リーフレット・ホームページのいずれも、提示した8事項の全てについて女性が男性より5～9P多い。
- 「思った・理解した」割合は、リーフレット・ホームページのいずれも、60・70歳代が10～50歳代に比べて多い。

6 インターネット上の人権侵害

6-1 インターネット上の被害の有無

(1)全体

- インターネット上での被害（悪口、写真・動画の無断掲載等）に遭ったことが「ある」は7.4%であった。



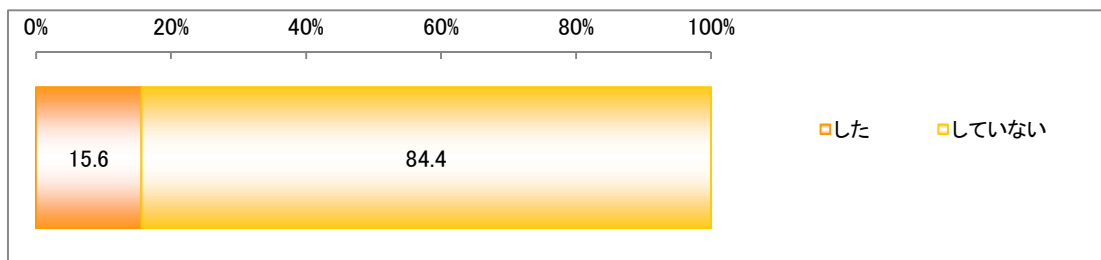
(2)属性別傾向

- 被害に遭ったことが「ある」割合に男女差はない。
- 被害に遭ったことが「ある」割合は、20歳代が17.7%で最も多く、10・30歳代も10%前後であるが、これより年代が上がるにつれて少なくなり、70歳代では2.6%になる。

6-2 被害後の相談状況

(1)全体

- インターネット上で被害に遭った回答者（7.4%）が、国や地方公共団体の相談窓口で「相談した」は15.6%であった。



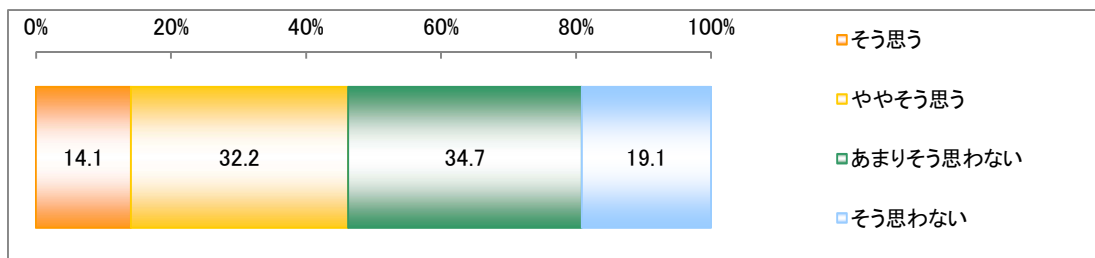
(2)属性別傾向

- 「相談した」は、男性（17.7%）が女性（13.5%）より多い。
- 「相談した」は、20～60歳代は15%前後に留まるが、10歳代では20.2%、70歳代では33.9%に上昇する。

6-3 被害を受けた際の相談意向

(1)全体

➤インターネット上での被害に遭ったことが無い回答者（92.6%）の、被害に遭った際の相談意向としては、『相談しようと思う』が 46.2%であった。



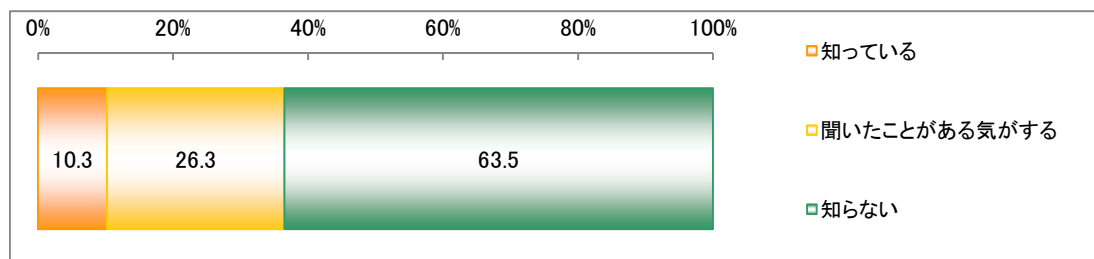
(2)属性別傾向

- 『相談しようと思う』は、女性（47.5%）が男性（44.9%）よりやや多い。
- 『相談しようと思う』は、20歳代（34.4%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70歳代（58.0%）が最も多い。

6-4 法務省がインターネット上の人権問題の相談を受けていることの認知度

(1)全体

➤法務省がインターネット上の人権問題の相談を受けていることについては、『知っている』は 36.5%であった。



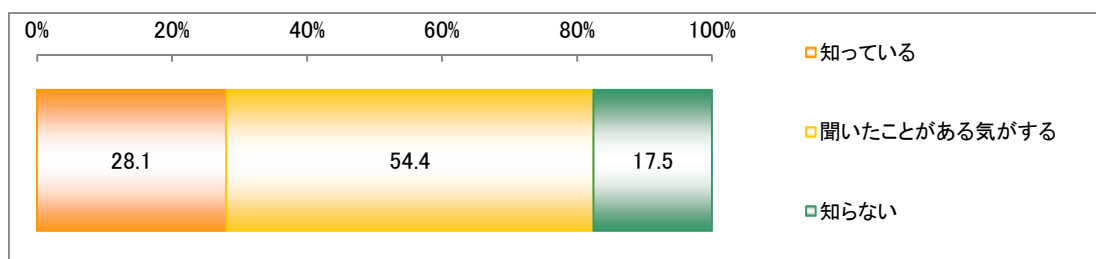
(2)属性別傾向

- 『知っている』は、男性（39.1%）が女性（34.0%）より 5P 多い。
- 『知っている』は、40歳代（31.7%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70歳代（44.8%）が最も多い。

6-5 法務局の削除方法助言、プロバイダ等への削除要請の認知度

(1)全体

➤法務局が削除方法を助言したり、違法性が認められる場合にはプロバイダ等に削除要請を行っていることについては、『知っている』は82.5%であった。



(2)属性別傾向

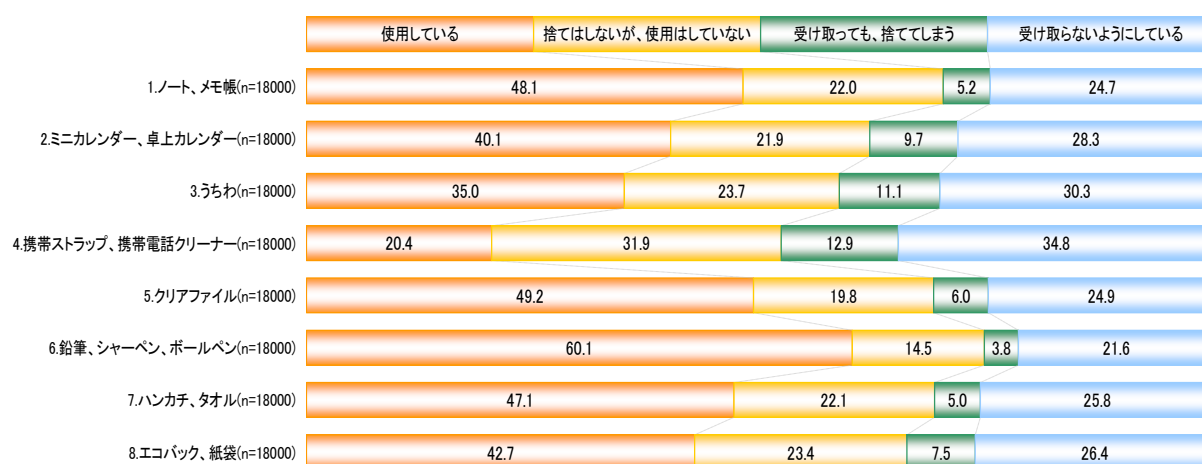
- 『知っている』は、男性（85.2%）が女性（79.4%）より6P多い。
- 『知っている』の年代差は小さいが、50歳代（85.7%）が最も多く、年代が上がる下がるにつれて少なくなり、10歳代（79.4%）が最も少ない。

7 啓発物品の使用意向

(1)全体

➤法務局・地方法務局が配布する啓発物品について、「使用すると思う」が多い順位は以下となり、「鉛筆、シャーペン、ボールペン 62.2%」「ノート、メモ帳 56.3%」「クリアファイル 50.5%」では半数を超えた。

1 位	鉛筆、シャーペン、ボールペン	: 62.2%
2 位	ノート・メモ帳	: 56.3%
3 位	クリアファイル	: 50.5%
4 位	ハンカチ・タオル	: 48.2%
5 位	エコバッグ・紙袋	: 43.3%
6 位	ミニカレンダー、卓上カレンダー	: 40.4%
7 位	うちわ	: 33.7%
8 位	携帯ストラップ、携帯電話クリーナー	: 25.7%



(2)属性別の傾向

- 「使用すると思う」は、全ての啓発物品について女性の方が多く、特に上位 1～3 位の物品ではその差は 9～15P ある。
- 「使用すると思う」は、ほとんどの啓発物品について年代が上がるにつれて多くなる。

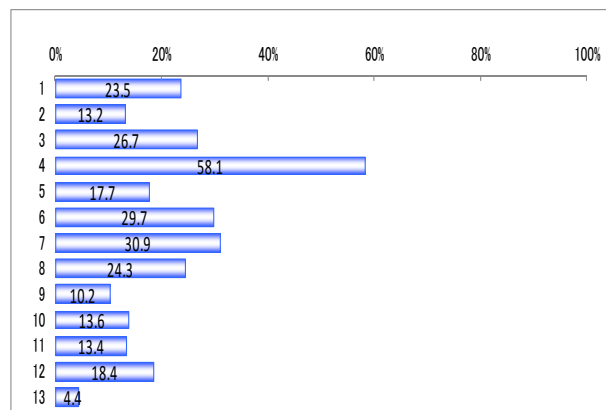
8 効果的と思う啓発活動

(1)全体

➤人権啓発を推進するための啓発広報活動として「効果的と思う」が多い順位は以下となり、6割弱が「テレビ・ラジオを利用した啓発活動」を挙げて、やや突出して多い。

1位	テレビ・ラジオを利用した啓発活動	: 58.1%
2位	インターネット・E-mailを利用した啓発活動	: 30.9%
3位	新聞・雑誌を利用した啓発活動	: 29.7%
4位	広報誌・パンフレット・ポスター	: 26.7%
5位	交通広告	: 24.3%
6位	講演会・シンポジウム・研修会等	: 23.5%
7位	自由な意見の交換ができる会合	: 18.4%
8位	映画・ビデオを利用した啓発活動	: 17.7%
9位	高齢者・障害者疑似体験	: 13.6%
10位	高齢者・障害者等との交流会	: 13.4%
11位	展示会（資料、写真等）	: 13.2%
12位	ワークショップ	: 10.2%

	n	%
全体	18000	100.0
講演会、シンポジウム、研修会等	4231	23.5
展示会(資料、写真等)	2370	13.2
広報誌、パンフレット、ポスター	4799	26.7
テレビ、ラジオを利用した啓発広報	10460	58.1
映画、ビデオを利用した啓発広報	3177	17.7
新聞、雑誌を利用した啓発広報	5343	29.7
インターネット、Eメール(メールマガジン等)を利用した啓発広報	5570	30.9
交通広告(電車やバス等の車内広告や車体広告、駅での広告等)	4379	24.3
ワークショップ(参加者による少人数の討論会や参加体験型の研修プログラム等)	1833	10.2
高齢者・障害者疑似体験	2455	13.6
高齢者・障害者等との交流会	2413	13.4
自由な意見の交換ができる会合	3319	18.4
その他:	787	4.4



(2)属性別の傾向

➤男女差は大きなものではない。

➤「効果的と思う」は、全ての年代で「テレビ・ラジオ等を利用した啓発活動」が最も多いが、これ以外の回答順位は年代によって異なる。

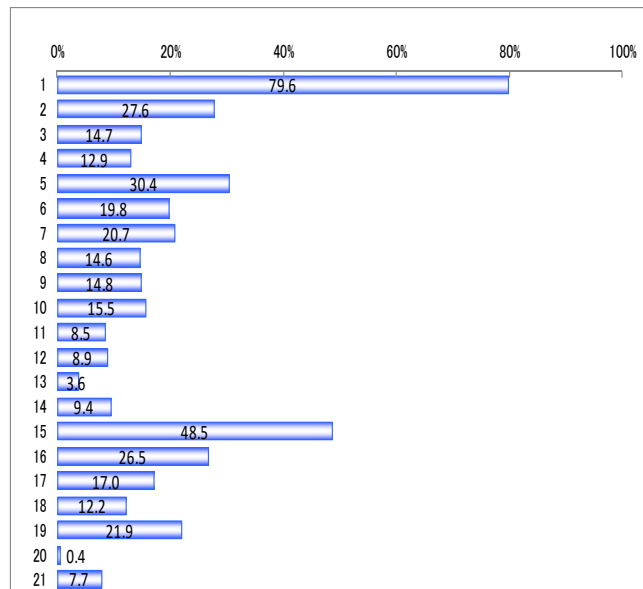
9 情報入手源

(1)全体

➤ 普段、情報入手する際の情報源は多い順に以下となり、8割が「テレビ（地上波）」を挙げて、やや突出して多く、次いで5割弱が「インターネットサイト（PC）」を挙げた。

1位	テレビ（地上波）	: 79.6%
2位	インターネットサイト（PC）	: 48.5%
3位	新聞（全国紙）	: 30.4%
4位	テレビ（BS・CS・CATV）	: 27.6%
5位	スマートフォンサイト	: 26.5%
6位	家族・友人・知人の口コミ	: 21.9%
7位	新聞折込チラシ	: 20.7%
8位	新聞（地方紙）	: 19.8%
9位	ブログ・SNS	: 17.0%
10位	交通広告	: 15.5%
11位	地域情報誌	: 14.8%
12位	ラジオ（AM）	: 14.7%
13位	雑誌	: 14.6%
14位	ラジオ（FM）	: 12.9%
15位	メールマガジン	: 12.2%
16位	ダイレクトメール	: 9.4%
17位	店舗内広告	: 8.9%
18位	屋外広告	: 8.5%
19位	シネアド	: 3.6%

	n	%
全体	18000	100.0
テレビ(地上波)	14334	79.6
テレビ(BS・CS・CATV)	4969	27.6
ラジオ(AM)	2640	14.7
ラジオ(FM)	2323	12.9
新聞(全国紙)	5470	30.4
新聞(地方紙)	3557	19.8
新聞折り込みチラシ	3729	20.7
雑誌	2620	14.6
地域情報誌(ミニコミ誌、フリーペーパー等)	2663	14.8
交通広告(電車やバス等の車内広告や車体広告、駅での広告等)	2786	15.5
屋外広告(屋外の看板、屋外大型ビジョン等)	1526	8.5
店舗内広告(スーパーやコンビニのレジ広告、店内放送等)	1599	8.9
シネアド(映画館CM)	653	3.6
ダイレクトメール	1700	9.4
インターネットサイト(PC)	8726	48.5
スマートフォンサイト	4778	26.5
ブログ・SNS(Twitter、Facebookなど)	3068	17.0
メールマガジン	2195	12.2
家族・友人・知人のクチコミ	3936	21.9
その他:	75	0.4
特に情報は入手しない	1392	7.7



(2)属性別の傾向

- 男女で上位 1～2 位まで同順位だが、10P 前後の差がある情報源としては、「家族・友人・知人の口コミ（女性 27.5%＞男性 16.1%）」「インターネットサイト（PC）（男性 53.3%＞女性 43.7%）」「地域情報誌（女性 19.1%＞男性 10.4%）」がある。
- 全ての年代で「テレビ（地上波）74～86%」が最も多いが、これ以外の順位は年代によって異なる。

10 人権啓発活動についての考察

10-1 活動・広告・資料の認知度について

(1)人権啓発のための活動について

(直轄事業)

- 法務省が自ら実施している人権啓発活動の認知度は、本年度のみでなくこれまでの活動の積み重ねによる結果と言えるが、認知度は活動の種類によって差があり、最も長い歴史を持つ「人権週間」の認知度が 56.5%で他の活動に比べて特別に高い。
- その他の活動の認知度は概ね 31～38%であるが、「子どもの人権 SOS ミニレター」「人権教室」の認知度は 17～20%と低くなる。

(中央委託事業・地方委託事業)

- 地方委託事業については、設問は「見聞き、参加したことがあるもの」であることから認知度と見ることはできないが、見聞き・参加率は直轄事業に比べて低い。
- 見聞きする対象である「広告」類の見聞き率は概ね 10%を超えたが、参加する対象である「イベント」類の参加率はそれよりも低く、「講演会・研修会」が 10%を超えたものの、他のイベント類については参加率は 3～8%であった。
- また、人権啓発活動ネットワーク協議会のホームページの認知度は 16.0%であった。

(2)広告・資料類について

(広告)

- 広告・資料については、特段の努力をしなくても目に入ってくる対象である広告類の認知度が資料類より高い。
- その広告類のなかでは「ポスター類」の認知度が 21～37%で最も高く、次いで「新聞広告」が 23%前後、「インターネット広告」が 18～29%であった。
- 「ポスター」は 1 枚紙で表示も大きく読みやすく、内容を把握する負荷も軽く、イラスト・写真類も使われていることからキャッチ力が強いが、「新聞広告」は新聞を読む本来の目的である各種の記事の中に他の広告と共に混在しており、また、文字も小さく見逃しやすいことがその背景にあると思われる。
- 「インターネット広告」も上述の新聞広告と同様の性格を持つが、無数にあるサイトの中の特定サイトでの広告であることを考えれば認知度はかなり高いと言え、認知度向

上へ向けてのポテンシャルは高いと思われる。

(資料類)

- 資料類の認知度は広告類に比べて低いが、冊子の場合は「入手場所が限定されている」、ネット上での入手・閲覧にあたって「一定以上の目的意識が必要」などから、やむを得ない結果と言えよう。

(3)対昨年度比較

- 人権啓発のための活動の認知度は、地方委託事業の一部（「講演会・研修会」「電車・バス等における車内広告」「スポーツ組織と連携協力した人権啓発活動」）では昨年度を若干上回ったが、その他の活動では昨年度を下回った。
- 資料類では、教材・コンテンツの「人権の擁護」は昨年を若干上回ったが、その他の資料類では昨年度を下回った。

【活動・広告・資料の認知度一覧】

※ 平成27年度のnは9000

は50%超
は30%以上～50%未満
は20%以上～30%未満

				n	認知度		備考	
					対平成27年度変化	平成27年度		
活動	Q11	法務省主体の活動	人権週間	18000	56.5	↓	57.3	「知っている」「聞いたことがある気がする」の合計
			全国中学生人権作文コンテスト	18000	37.7	↓	38.0	
			子どもの人権110番	18000	37.3	↓	39.5	
			女性の人権ホットライン	18000	36.9	↓	39.9	
			みんなの人権110番	18000	30.9	↓	33.2	
			子どもの人権SOSミニレター	18000	19.7	↓	20.2	
			人権教室	18000	16.7	↓	17.9	
	Q24	人権NW協議会	ホームページ	18000	16.0	↓	16.1	「知っている」「見たことがある気がする」の合計
	Q33	法務省・自治体連携活動	テレビCM・ラジオCM	18000	16.8	↓	17.8	見聞き・参加したことがある
			啓発資料(冊子・リーフレット等)の作成・配布	18000	12.8	↓	13.0	
			新聞広告	18000	11.7	↓	12.5	
			講演会・研修会	18000	11.1	↑	10.4	
			電車・バス等における車内広告	18000	10.6	↑	9.7	
			インターネット広告	18000	10.2	↓	11.7	
			地域情報紙(ミニコミ誌・フリーペーパー等)における広告	18000	9.0	↓	9.5	
			人権フェスティバル	18000	7.6	⇔	7.6	
			Jリーグ等のスポーツ組織と連携協力した人権啓発活動	18000	3.3	↑	3.2	
			人権の花運動	18000	3.2	⇔	3.2	
			その他:	18000	0.4	↑	0.3	
広告			Q16	ポスター(啓発)	「ヘイトスピーチ許さない」ポスター	18000	36.6	
	人権週間ポスター	18000			36.5	↓	38.9	
	北朝鮮人権侵害問題啓発週間ポスター	18000			25.2	↓	33.8	
	啓発活動重点目標・調査救済制度周知ポスター	18000			25.0	↓	36.1	
	外国人の人権キャッチコピーコンテストポスター	18000			20.6		—	
	Q30	ポスター(調査救済・委員制度周知)	子どもの人権110番強化週間	18000	26.8	↓	27.8	「印象に残っているし相談する場所があることもわかった」「印象には残っているが相談する場所があることはわからなかった」「印象には残っていない」の合計
			みんなの人権110番	18000	25.4	↓	28.9	
			子どもの人権相談窓口	18000	25.1	↓	29.0	
			女性の人権ホットライン	18000	23.5	↓	33.6	
			女性の人権ホットライン強化週間	18000	23.2	↓	28.7	
			高齢者・障害者強化週間	18000	22.4	↓	27.2	
			人権擁護委員制度周知ポスター	18000	21.2	↓	26.5	
	Q19	新聞広告(啓発)	ハンセン病問題啓発新聞広告	18000	23.2	↓	27.8	「印象に残っているし理解関心も深まった」「印象には残っているが理解関心は深まっていない」「印象には残っていない」の合計
			全国中学生人権作文コンテスト・北朝鮮人権侵害問題啓発週間新聞広告	18000	22.3	↓	25.9	
	Q22	インターネット広告(啓発)	ヘイトスピーチ対策バナー広告	18000	28.5		—	「見たことがある」「見たことがある気がする」の合計
			子どもの人権を守りましょう	18000	19.7	↓	19.9	
			(平成27年度は「いじめ等の子どもの人権問題に関するインターネッ	18000				
			インターネットを悪用した人権侵害をなくしましょう	18000	17.5	↓	20.0	
		(平成27年度は「インターネット人権侵害問題対策バナー広告」						
資料	Q13	教材・コンテンツ	「いじめ」しない させない 見逃さない	18000	22.6	↓	26.3	「見たことがある」「見たことがある気がする」の合計
			人権の擁護	18000	16.5	↑	15.2	
			全国中学生人権作文コンテスト入賞作文集	18000	16.3	↓	20.0	
			みんなともだち	18000	12.0	↓	12.1	
			あなたは大丈夫? 考えよう! インターネットと人権(改訂版)	18000	11.4	↓	13.1	
			いっしょに学ぼう! 障害のある人の人権	18000	9.6	↓	14.1	
			(平成27年度は「外国人人権問題啓発リーフレット」)					
	Q26	冊子・リーフレット(調査救済制度)	人権擁護委員 あなたの街の相談パートナー	18000	16.5	↓	19.2	
			調査救済制度広報用リーフレット(簡易版)	18000	14.6	↓	18.7	
			調査救済制度広報用リーフレット(詳細版)	18000	14.1	↓	17.5	
	Q28	リーフレット・ホームページ(じんけん自己診断)	じんけん自己診断(リーフレット)	18000	10.9		—	
			じんけん自己診断(ホームページ)	18000	10.5		—	

10-2 活動・広告・資料を見ての理解・関心の深まりについて

(1) 地方委託事業

- 地方委託事業を見聞き・参加して理解・関心が『深まった』の割合は、全ての活動について 63～81%の範囲にあり、広告・資料類に比べて極めて高い割合となっている。
- 本設問は、法務省・自治体連携活動を見聞きあるいは参加した回答者への設問であり、回答者に占める高・中関与層の割合が高いことから、後述する広告・資料類（教材・コンテンツ）の結果と一律に比較することはできないが、活動に参加した場合の理解・関心の深まり度合は極めて高いことがわかる。

(2) 広告

- 調査救済・委員制度周知ポスター 7 種類については、ここでは回答選択肢中の「相談する場所があることが分かった」を「理解・関心が『深まった』」と考えるが、同ポスターを見た回答者に占めるその割合は全てのポスターで 30%を超えている。次いで啓発ポスター 4 種類では「興味や関心を持った」が 23～31%、新聞広告 2 種類では同じく「興味や関心を持った」が 28%前後であった。
- 広告については、設問の表現が異なることから前述の地方委託事業（「理解・関心が深まった」か）と一概に比較はできないが、「調査救済・委員制度周知ポスター」では、自身に何かあった際の、あるいは自身以外であっても人権侵害の被害者に対して相談先・支援者を強調しており、その安心感は「啓発ポスター」「新聞広告」に比べて強いインパクトを与えていると思われる。
- また、「啓発ポスター」の中では、問題が具体的にイメージできる「北朝鮮人権侵害問題啓発週間ポスター」が、他の一般的な啓発ポスター 4 種類に比べて、理解・関心が『深まった』の割合が多い。
- そして、「新聞広告」は字が細かくて詰まっており全てを読むことの負荷が大きいことなどから、「興味や関心を持った」は調査救済・委員制度周知ポスターに比べてやや少なくなると思われる。

(3) 資料類（教材・コンテンツ、法務省サイト）

- 資料類を見て理解・関心が『深まった』の割合は、「教材・コンテンツ 6 種類」「法務省 2 サイト」のほとんどで 40%を超えており、広告類に比べるとかなり高い数値となっている。
- 資料（教材・コンテンツ）は読むに至るまで、そして読むこと自体についても負荷は広告類に比べて重いが、読んでさえもらえれば、人権啓発効果はポスター類を上回っ

ているものと考えられる。

- とくに、教材・コンテンツの『『いじめ』しないさせない見逃さない」、法務省サイトの「子どもの人権を守りましょう」については、『理解・関心が深まった』割合はいずれも46%前後で、他の教材・コンテンツ6種類が40%前後であることに比べて高い数値となっている。近年続発するいじめ関連自殺等による関心の高さがその背景にあると言えよう。

(4)対昨年度比較

- 理解や関心の深まり度合は、「調査救済・委員制度周知ポスター7種類」「新聞広告2種類」では昨年度に比べて上昇したが、「地方委託事業」「啓発ポスター」「資料類」では一部を除いて昨年度に比べて低下した。

【活動・広告・資料を見聞き、参加した回答者の理解・関心の深まり一覧】

				深 理 ま 解 っ た 関 心 が			備 考	
n					対平成27 年度変化	平成27 年度		
活動	Q34	法務省・自治体連携活動	講演会・研修会	1999	80.6	↓	81.0	数値は、人権に関する理解や関心が「非常に深まった」「まあ深まった」とした回答者の合計割合 (注)分母は以下の回答者・活動を見聞きしたことや参加したことがある
			啓発資料(冊子・リーフレット等)の作成・配布	2307	78.5	↓	79.0	
			Jリーグ等のスポーツ組織と連携協力した人権啓発活動	586	78.2	↓	82.1	
			地域情報紙(ミニコミ誌・フリーペーパー等)における広告	1614	75.3	↑	74.9	
			人権フェスティバル	1366	74.6	↑	73.6	
			人権の花運動	568	72.7	↑	71.7	
			新聞広告	2113	72.3	↓	73.4	
			インターネット広告	1842	72.0	↓	73.1	
			テレビCM・ラジオCM	3023	68.0	↓	70.7	
			電車・バス等における車内広告	1913	62.7	↓	67.4	
広告	Q16	ポスター(啓発)	北朝鮮人権侵害問題啓発週間ポスター	4534	31.1	↓	32.2	数値は、「人権問題に興味や関心を持った」とした回答者の割合 (注)分母は以下の回答者の合計 ①見たことはある気がするが印象は残っていない ②印象には残っているが興味や関心は持たなかった ③印象にも残っているし興味や関心を持った
			「ヘイトスピーチ許さない」ポスター	6591	25.4	↓	26.0	
			外国人の人権キャッチコピーコンテストポスター	3715	24.5		—	
			人権週間ポスター	6577	22.9	↑	22.4	
			啓発活動重点目標・調査救済制度周知ポスター	4501	23.8	↑	21.5	
	Q19	新聞広告(啓発)	全国中学生人権作文コンテスト・北朝鮮人権侵害問題啓発週間新聞広告	4010	28.5	↑	25.1	
			ハンセン病問題啓発新聞広告	4178	27.6	↑	24.8	
	Q30	ポスター(調査救済・委員制度周知)	子どもの人権110番強化週間	4816	32.1	↑	30.5	数値は、「相談する場所があることが分かった」とした回答者の割合 (注)分母は以下の回答者の合計 ①見たことはある気がするが印象は残っていない ②印象には残っているが相談する場所があることはわからなかった ③印象にも残っているし相談する場所があることも分かった
			みんなの人権110番	4576	32.5	↑	29.4	
			高齢者・障害者強化週間	4036	31.6	↑	29.3	
			人権擁護委員制度周知ポスター	3820	30.8	↑	28.3	
			女性の人権ホットライン強化週間	4179	32.3	↑	28.2	
			子どもの人権相談窓口	4511	33.1	↑	27.3	
			女性の人権ホットライン	4234	32.7	↑	25.9	
資料	Q14	教材・コンテンツ	「いじめ」しない させない 見逃さない	18000	45.1	↓	47.0	数値は、人権に関する理解や関心が「非常に深まった」「まあ深まった」とした回答者の合計割合 (注)分母は(回答時に教材・コンテンツを見た)回答者全員
			あなたは大丈夫？考えよう！インターネットと人権	18000	41.0	↓	42.0	
			人権の擁護	18000	40.4	↓	40.9	
			いっしょに学ぼう！障害のある人の人権	18000	40.2		—	
			みんなともだち	18000	39.5	↓	40.5	
			全国中学生人権作文コンテスト入賞作文集	18000	39.2	↓	40.7	
	Q23	法務省サイト	子どもの人権を守りましょう	18000	46.2	↓	47.8	数値は、人権に関する理解や関心が「非常に深まった」「まあ深まった」とした回答者の合計割合 (注)分母は(回答時に法務省サイトを見た)回答者全員
			インターネットを悪用した人権侵害をなくしましょう	18000	43.9	↓	46.2	

10-3 広告・資料を見て思ったこと、理解したこと

(1)全体

- 提示した事項について「思った」「理解した」割合は、「調査救済・委員制度周知ポスター」「資料類」では 50%を超えるケースが多く、とくに「リーフレット・ホームページ（じんけん自己診断）」では、提示した6事項の全てについて 70%を超えたが、「啓発ポスター」「新聞広告」では全ての提示事項について 50%を下回った。
- 「新聞広告」は字が細かく詰まっている、レイアウト的に読みやすさに欠ける等で全てを読むことにはかなりの負荷がかかる、つまり「読み」に入る人が少ないこと、「啓発ポスター」は調査救済・委員制度周知ポスターに比べてやや一般的・抽象的であることが、「思った」「理解した」の割合の低さにつながっているものと思われる。

(2)対昨年度比較

- 思った・理解したこととして提示した事項について『あてはまる』とした割合は、広告・資料類のほとんどについて昨年度をやや下回った。
- しかしながら、今年度の新規設問である「リーフレット・ホームページ（じんけん自己診断）」では『あてはまる』の割合は全ての提示事項について 70%を超えており、極めて高い割合となった。

枠は50%超(平成27年度)

56

10-4 人権啓発活動の効果向上へ向けて

10-4-1 人権啓発活動の必要性

人権啓発活動については、直轄事業の人権啓発活動7種類を提示して「推進の是非」を直接的に設問したが、全ての活動について『推進すべき』が半数を超えている（54～62%）。

『推進すべき』以外の多くは「わからない 35～41%」であり、そこでは活動の対コスト効果あるいは現在の人権問題の発生量を判断しかねていることなどが理由になっているのではないかと推測されるが、『推進すべきでない』は極めて少数（4～6%）に留まっている。

【各活動についての評価 Q12】

	n	ある 推進 すべきで ない	年 度 変 化	対 平 成 2 7	で 積 極 的 に 推 進 す べ き	推 進 す べ き と 言 え ば	は 推 進 す べ き で ない	推 進 す べ き と 言 え ば い	や め る べ き な 活 動 は	わ か ら な い
子どもの人権110番	H27年度 9000	62.2			30.4	31.8	3.8	2.7	1.1	33.9
	H28年度 18000	61.1	↓		29.7	31.4	4.1	2.7	1.4	34.8
女性の人権ホットライン	H27年度 9000	61.4			29.0	32.4	4.7	3.2	1.5	33.9
	H28年度 18000	60.3	↓		28.0	32.3	4.5	3.0	1.6	35.2
みんなの人権110番	H27年度 9000	61.2			27.9	33.3	3.9	2.8	1.2	34.9
	H28年度 18000	60.2	↓		26.8	33.4	4.1	2.9	1.3	35.7
人権週間	H27年度 9000	57.9			22.0	35.8	5.5	3.8	1.7	36.7
	H28年度 18000	56.8	↓		21.4	35.4	5.9	4.1	1.8	37.3
子どもの人権SOSミニレター	H27年度 9000	57.2			23.7	33.6	4.7	3.2	1.5	38.1
	H28年度 18000	57.1	↓		24.4	32.7	4.5	3.1	1.4	38.4
人権教室	H27年度 9000	54.2			18.2	36.1	5.7	3.9	1.8	40.1
	H28年度 18000	53.0	↓		17.5	35.5	6.1	4.3	1.8	40.9
全国中学生人権作文コンテスト	H27年度 9000	54.2			17.6	36.6	5.7	4.0	1.7	40.1
	H28年度 18000	53.4	↓		17.8	35.6	6.1	4.2	1.9	40.5

そして、それ以上に重視すべきこととして、自身や身の回りで人権が侵害されていると感じたことが『ある』が 30.6%を占めたこと、そして、自身や身の回りで人権が侵害されていると感じた際にとった行動として「何もしなかった」が 75.4%と 3/4 強を占めたことがある。

人権問題が存在する限りは、人権啓発活動は今後も継続して行われるべき活動であろう。

10-4-2 人権啓発広告・資料類の効果の検証

人権啓発活動の目的を「人権に対する人々の認識・理解を高めること」とすれば、その目的の達成度合（効果）は、各活動についての設問「理解・関心が深まったか」から測ることになる。

各種の広告・資料類を見て「理解・関心が深まった」とする割合は、広告（ポスター、新聞広告）では 23～33%、資料（教材・コンテンツ、法務省サイト）ではさらに多く 39～46%を占めており、一定の効果を上げていると考えることができる。

しかしながら、上記の割合は広告あるいは資料類を見た人の中での割合であって、広告・資料等を見た人は、各種広告では 18～37%、資料類（教材・コンテンツ、法務省サイト）では 11～23%に留まっている。

つまり、回答者全員を対象とした場合には、「理解・関心が深まった」とする割合は、各種広告・資料類のいずれも 4～12%程度に留まっている。

効果の目標設定が不明であるから効果の数値的な評価はできないが、あえて効果を測るとすれば上記のような数値になると思われる。

10-4-3 人権啓発活動の効果の向上へ向けて

人権啓発活動の効果を「認知度×理解関心の深まり度」と考えたとき、効果の向上へ向けては、「認知度」「理解関心の深まり度」のそれぞれの度合の向上が必要となる。

(1)認知度の向上

①媒体と認知度

調査対象とした各種の広告・資料類を、調査結果から以下のように「積極的広告」と「接触待ち広告」に分類して整理した。

広告分類	広告の性格	該当する媒体	広告の認知度に関わる要素							認知度
			発信期間	媒体利用者数	露出度	他情報との混在性	内容の一覧性	内容把握負荷		
積極的広告	人々が日常の生活において自然に認知するように、日常生活の様々なシーンの中で積極的に発信	ポスター	一定期間	中・少	高	単独	高	軽	⇒	高
		新聞広告	短期間 (1日～数日)	多	高	混在	中	中	⇒	中
		インターネット広告	一定期間	多	高	混在	中	軽	⇒	中
接触待ち広告	関心を持った人の能動的接触によって入手できるように情報を整理、提供	教材・コンテンツ (Webサイト)	常時	多	低	単独	低	重	⇒	低
		冊子・リーフレット (Webサイト)	常時	多	低	単独	中	中	⇒	低

積極的広告は露出度が高いことから接触待ち広告に比べて相対的に認知度が高いことは当然ではあるが、今回の調査結果からは、その積極的広告においても、認知度は媒体種類によって異なっており、「ポスター」の方が「新聞広告」「インターネット広告」よりやや高い。

「ポスター」は掲載場所が限定されており、潜在的閲覧者の数（見ることができる人の数）は「新聞広告」「インターネット広告」に比べて少ないと思われるが、それでも認知度は最も高い。

その背景には、ポスターの以下の特長があると思われる、そのことによって、相対的に少ない母数の中から他の媒体に比べて高い割合で認知者を獲得しているものと思われる。

- ・イラスト／写真等の使用によりキャッチ力が高い
- ・内容の把握負荷が軽い（字が大きい、読みやすい、一覧性が高い 等）
- ・他の広告との混在性が比較的薄い

一方、同じ積極的広告でも、認知度の点からは「新聞広告」「インターネット広告」はポスターに比べて以下のような弱点を持っていると思われる。

- ・読者／閲覧者の意識は新聞・サイトが発信するメイン情報の入手に集中しており、サブ情報である広告に目が行きにくい（新聞広告、インターネット広告）
 - ・人権啓発広告が他の多くの広告情報と混在しており、目に入りにくい（新聞広告、インターネット広告）
 - ・一般的に字が小さく、多く、内容把握のための負荷が重い（新聞広告）
- （今回の新聞広告例でも、瞬間的認知度が高い可能性はあるが、文字が小さく多く、かつ、情報発信の趣旨が瞬間的に読み取れないことから、読む行動に移行せず、後日には認知したことも忘れていく可能性も高い）

②認知度の向上へ向けて

接触待ち広告の認知度を上げることは、その低認知度の原因が露出度の低さにあることから、困難と言わざるを得ない。

従って、人権啓発広告の認知度を上げるためには積極的広告による発信が必須であり、そこでの認知度を今まで以上に上げることが課題となる。

調査結果から「普段、情報入手の際に利用する情報源」としてはテレビ（地上波）が突出して多い（79.6%）ことから、テレビ（地上波）を利用することが、認知度の上昇には最も効果的と思われる。

しかしながら、ここでは、今回調査対象とした広告媒体を今後も利用することを前

提として、認知度の上昇が期待できることとして以下の事項を挙げる。

ア) 認知度の数値的な上昇へ向けての「ポスター」広告の拡充

調査結果にあらわれた媒体別の広告認知度は「ポスター」が最も高い。従って、今回調査対象とした広告媒体の範囲内で考えるのであれば、「ポスター」利用の拡充（掲示場所の増加、掲示期間の延長 等）を図ることが、数値的な認知度の上昇へ向けては最も直接的な効果があると思われる。

また、認知度が若干低下傾向にあるので、キャッチ力の強化（「デザイン・レイアウトの斬新度の向上」「人を引きつける写真・キャラクターの活用」等によるキャッチ力の強化、内容の単純化等により閲覧者が趣旨を把握するための負荷を軽減 等）も今後の課題として挙げられる。今回の各種ポスターの中では「ヘイトスピーチ許さない」の認知度が 36.6%で、「人権週間ポスター36.5%」を除く他のポスター（21～27%）を大きく上回ったことの理由の1つには、同ポスターのデザインの斬新性が高かったことがあると推測される。

イ) 発信の広範性・公平性を持つ「新聞広告」「インターネット広告」の認知度上昇へ向けての改善

しかしながら、既に述べたように、「ポスター」はその発信対象（＝認知可能者）の広範性に欠ける欠点を持つ。

「ポスター」は、閲覧可能者の絶対数が「新聞広告」「インターネット広告」に比べて相対的に少ない中で、「キャッチ力の高さ」「内容の把握負荷の軽さ」「他広告との混在性の薄さ」等の特長によって、他の媒体に比べて高い割合で認知者を獲得していると思われる。

つまり、最終的な認知者の数は多いが、その認知者の母体は限定的かつ固定的であり、全国民に対する人権啓発という意味での広範性・公平性に欠けているとの見方もできる。

国民に対する人権啓発の広範性を考慮したときには、やはり情報源としての利用者がテレビ（79.6%）に次いで多い「インターネットサイト（PC 48.5%、スマートフォン 26.5%）」「新聞（全国紙 30.4%、地方紙 19.8%）」の重要性は高く、そこでの広告に接触する機会を持つ国民の広範性は「ポスター」をはるかに上回っている。

しかしながら、「インターネット広告」「新聞広告」広告の欠点は、「ポスター」と比較して広告認知者の獲得割合が低いという点にある。

インターネット広告においては、混在する他の広告と差別化し、いかに目立たせ、認知者を増やすかが課題となる。今回のインターネット広告3種類の中で、「ヘイトスピーチ対策バナー広告」の認知度は 28.5%で、他の2種類（19%前後）を大きく上回ったが、それはデザインの目立ち度の違いによるものと思われる。

新聞広告においては、瞬間的認知度は実際には高いと推測するので、その瞬間的認知を読む行動に結びつけるための工夫（広告趣旨・アピール要旨の明確化、文字の大型化・少数化、レイアウトの工夫による内容把握負荷の軽減化、イラスト・キャラクターの活用によるキャッチ力の強化 等々）が課題となる。

ウ) 低認知度層に適した媒体の活用による全体認知度の向上

今回の調査結果を見ると、認知度は、女性が男性より低く、中間年代層（30～50 歳代）が若・高年代に比べて低い傾向がある。

低認知度層の利用度が比較的高い以下のような媒体を利用することによって、低認知度層の認知度を上げ、全体認知度の向上を図りたい。

【女性】

- ・ 広報誌／パンフレット（人権啓発活動に効果的な広報活動として女性 29.1%が男性 24.2%より 5P 多い）
- ・ 新聞折込チラシ（情報を入手する際に利用する情報源として女性 23.9%が男性 17.5%より 6P 多い）
- ・ 地域情報誌（情報を入手する際に利用する情報源として女性 19.1%が男性 10.4%より 9P 多い）

【中間年代層】

- ・ 雑誌（中間年代層はほとんどの媒体で利用度トップ層ではないが、雑誌は他年代に比べて利用度が高い）

(2) 理解・関心の深まりの度合の向上

① 広告媒体と理解・関心の深まり度合

「理解・関心が深まった」の割合は以下のように多くなっていく。

啓発ポスター	: 23～31%
--------	----------

※啓発ポスターは概ね 23～25%で、人権侵害について具体的なイメージができる「北朝鮮人権侵害問題啓発週間ポスター」のみが 31.1%



新聞広告	: 28%前後
------	---------



調査救済・委員制度周知ポスター	: 31～33%
-----------------	----------



資料類	: 39～46%
-----	----------

「啓発ポスター」は一般的・抽象的な発信であるが、「調査救済・委員制度周知ポスター」では、相談先・支援者が強調されると同時に、人権侵害の具体例が発信されている。

そして、「資料類」では、日常のシーンの中での人権侵害に係る様々なテーマ・状況が具体的にわかりやすく紹介されている。読者の多くは日常生活の中での自身と人権侵害との関連性(自身もしくは周囲の人が人権侵害の加害者・被害者になる可能性)を容易に想起できるようになっている。

そのことが「理解・関心の深まり」の割合を上昇させている大きな要因ではないかと思われる。

②理解・関心の深まりの向上へ向けて

ア)無意識・無自覚の人権侵害に対する気づきの喚起

人権侵害は現在、人権認識の低さを背景に、人権を侵害しているとの自覚を持たずに他人を傷つけるケース、人権を侵害されているとの自覚を持たずに傷つけられているケースも多いのではないかと推測される。

そのような人々に対しては、できる限り多くの具体的なイメージを提示して「それは人権を侵害しているのだからやめなくてはいけない」「それは人権を侵害されているのだから立ち上がりなさい、相談しなさい」というメッセージを強く伝えることが重要ではないかと思われる。

今年度は、様々な人権侵害事例とそれに対する様々な対応事例を記載した「じんけん自己診断（リーフレット・ホームページ）」を新規に設問テーマとしたが、そこでは「見て思ったこと・理解したこと」として提示した6種類の事項全てについて『あてはまる』が70%を超えた。そして、提示した6事項の中の「自分でも気づかないうちに他者の人権を侵害することがあることが分かった」「人によっていろいろな受け止め方があるのが分かった」「様々な人権問題があることが分かった」については、『あてはまる』はいずれも77%前後の高い割合を占めた。

人権侵害に気付く人々の増加は、本人の言動に影響を及ぼすだけでなく、周囲の人々の気づきのきっかけともなり、人権問題の発生の抑止、解決にも大きな効果があると思われる。

イ)資料類の更なる拡充と積極的な誘引

資料類（教材、冊子、リーフレット、ホームページ等）は人権に対する理解・関心の深まりに最も効果的であることから、更に題材を掘り起こし、メニューを拡充し、具体的な事例として発信し続けることが望ましい。

しかしながら、これら接触待ち広告は露出度が低く、認知度が低いため、メニ

ューが拡充されても、そのままでは影響力を発揮することはできない。

積極的広告を行う際に、これら露出度の低い資料類の存在を常にアピールし、多くの人々を誘引することによって、人権啓発活動全体の効果が上がることを期待したい。

第 3 章 集計結果の詳細

1 人権問題への関心度 等

Q1 人権問題への関心度(SA)

(Q1 あなたは人権問題にどのくらい関心がありますか。)

(全体)

➢人権問題に『関心あり』は63.4%（「大いにある14.3%」＋「少しはある49.1%」。以下、同じ）を占めた。

(性別)

➢『関心あり』は、男性（64.4%）が女性（62.5%）よりやや多い。

(年代別)

➢『関心あり』は、10歳代が55.1%で最も少ないが、20～50歳代で60%前後になり、さらに、60歳代で68.1%、70歳代では75.5%に増加する。

(関与度別)

➢『関心あり』は、回答者の17.4%を占める高関与層では95.6%、同25.8%を占める中間関与層では90.2%で、いずれも90%を超えるが、その中の「大いにある」はそれぞれ51.1%と14.5%で、大きな差がついている。

➢また、低関与層では『関心あり』は41.4%に留まっている。

						関心あり	関心なし
		(n)	大いにある	少しはある	あまりない	全くない	
全体		(18000)	14.3	49.1	27.2	9.4	63.4 36.6
性別	男性	(8921)	16.8	47.6	25.2	10.4	64.4 35.6
	女性	(9079)	11.9	50.5	29.2	8.4	62.5 37.5
年代	10～19歳	(1069)	13.7	41.4	31.4	13.5	55.1 44.9
	20代	(2293)	14.8	45.6	24.6	15.0	60.4 39.6
	30代	(2871)	13.2	46.4	27.9	12.5	59.6 40.4
	40代	(3269)	11.8	47.0	30.7	10.4	58.9 41.1
	50代	(2755)	13.0	49.9	29.5	7.6	62.9 37.1
	60代	(3551)	15.1	52.9	26.8	5.1	68.1 31.9
	70代	(2192)	19.8	55.7	19.5	5.0	75.5 24.5
関与度	高関与層	(3133)	51.1	44.4	3.9		95.6 4.4
	中間関与層	(4652)	14.5	75.7	9.2		90.2 9.8
	低関与層	(10215)	3.0	38.4	42.5	16.1	41.4 58.6

Q2 人権問題に関心を持って行うことの頻度(SA)

(Q2 あなたが人権問題に関心を持って、以下のいずれかのことを行う頻度はどれくらいですか。)

※本問では、各行動を行う頻度によって回答者を以下に分類した。

- ①高関与層：「1. 日常的に行っている」もしくは「2. よく行っている」を選択した回答者
- ②中関与層：「3. 時々行っている」を選択した回答者
- ③低関与層：「4. ほとんど行っていない」を選択した回答者

(1)人権に関する情報を新聞やインターネット等のメディアを通じて収集

(全体)

➤高関与層が 14.1%、中関与層が 20.1%、低関与層が 65.8%であった。

(性別)

➤高関与層・中関与層はいずれも男性が女性よりやや多く、従って、低関与層は女性が男性より 7P 多い。

(年代別)

➤高関与層は 70 歳代 (19.1%) が 10～60 歳代 (15%前後) に比べて多く、また、中関与層も 70 歳代 (25.4%) が 10～60 歳代 (20%前後) に比べて多い。

		(n)	日常的に行っている(目安:週1回以上)	よく行っている(目安:月1回程度)	時々行っている(目安:半年に1回程度)	ほとんど行っていない(目安:1年に1回以下)
全体		(18000)	6.2	7.9	20.1	65.8
性別	男性	(8921)	6.9	9.3	21.5	62.3
	女性	(9079)	5.5	6.5	18.8	69.2
年代	10～19歳	(1069)	6.6	5.7	17.4	70.3
	20代	(2293)	7.3	9.2	18.3	65.2
	30代	(2871)	5.8	8.1	18.2	67.9
	40代	(3269)	5.4	6.5	18.4	69.7
	50代	(2755)	5.3	6.1	20.7	67.9
	60代	(3551)	6.3	8.0	21.6	64.1
	70代	(2192)	7.4	11.7	25.4	55.5

(2)人権について書籍やDVD等で知識を深める

(全体)

➤高関与層が 5.3%、中関与層が 12.8%、低関与層が 82.0%であった。

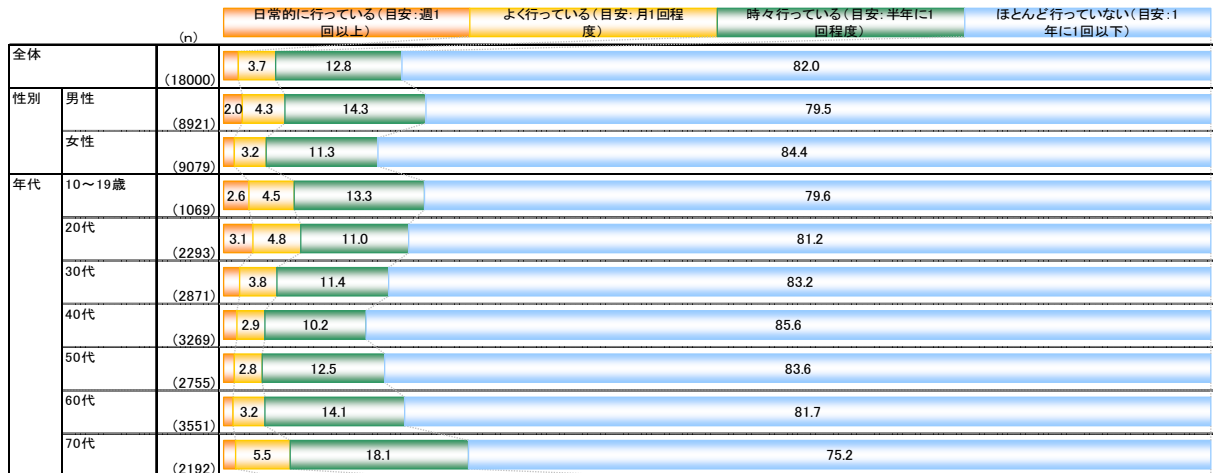
(性別)

➤高関与層・中関与層はいずれも男性が女性よりやや多く、従って、低関与層は女性が

男性より 5P 多い。

(年代別)

➢高関与層は 10～20 歳代及び 70 歳代（いずれも 7%前後）が 30～60 歳代（5%前後）に比べてやや多く、中関与層は 70 歳代（18.1%）が 10～60 歳代（12%前後）に比べて多い。



(3)人権に関するイベントに参加

(全体)

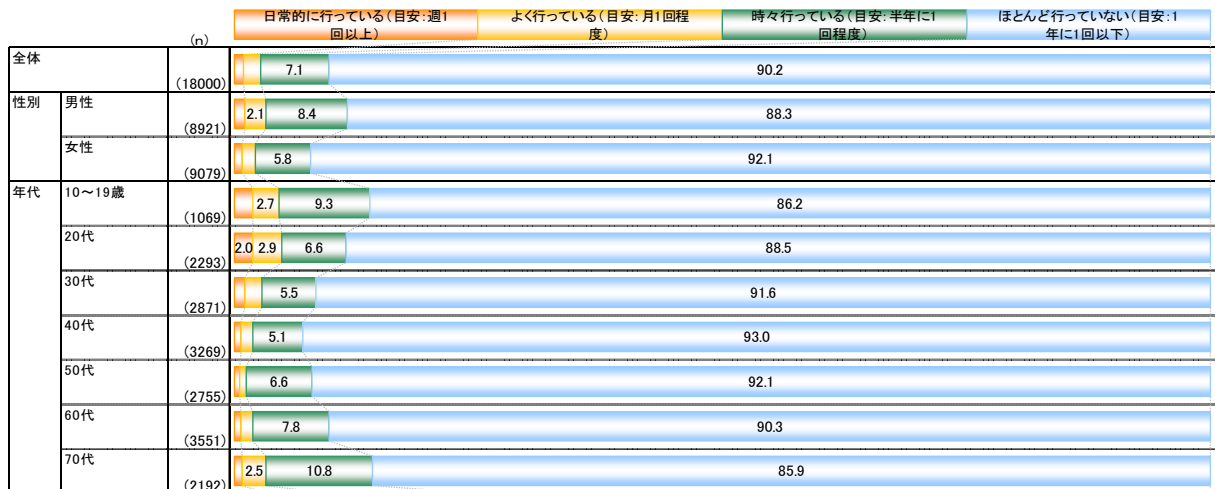
➢高関与層が 2.7%、中関与層が 7.1%、低関与層が 90.2%であった。

(性別)

➢高関与層・中関与層のいずれも男性の方がやや多く、従って、低関与層は女性の方が男性より 4P 多い。

(年代別)

➢高関与層は 50 歳代（1.3%）が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、20 歳代（4.9%）が最も多い。



(4)人権について家族、友人、職場等で話をする

(全体)

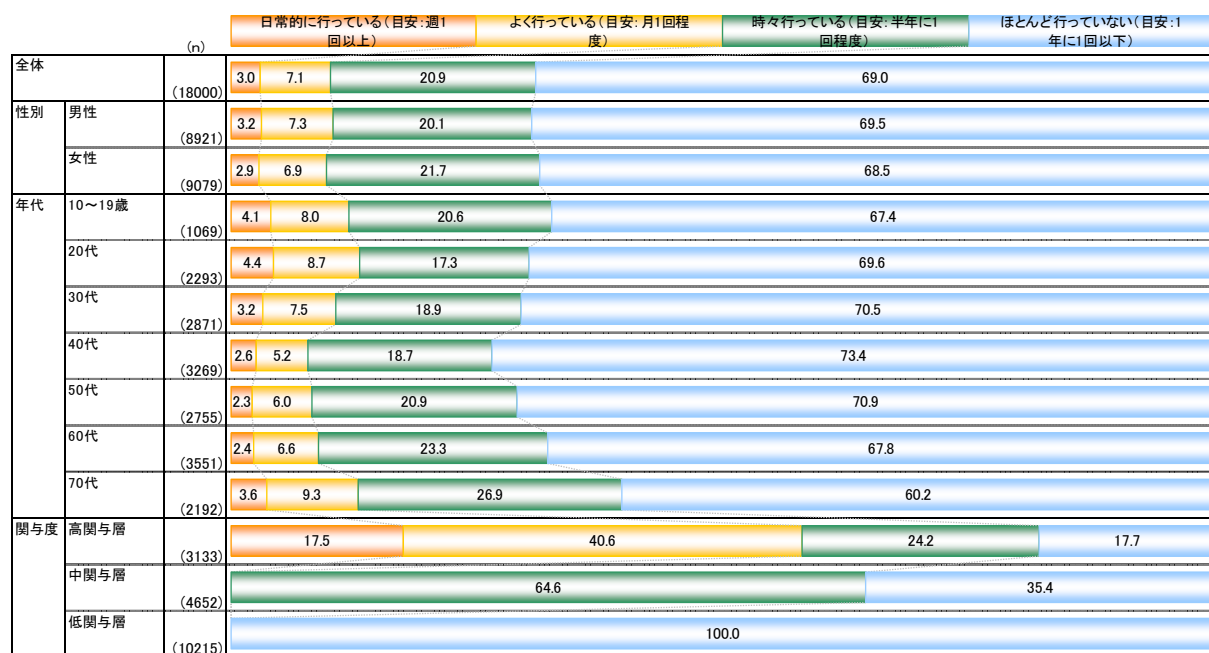
➤高関与層が 10.1%、中関与層が 20.9%、低関与層が 69.0%であった。

(性別)

➤男女で違いはほとんどない。

(年代別)

➤高関与層は 40 歳代（7.9%）が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、20 歳代（13.1%）が最も多い。



2 人権擁護体制の認知度 等

Q3 人権イメージキャラクター(人KENまもる君、人KENあゆみちゃん)の認知度(SA)

(Q3 あなたは、人権イメージキャラクター(人KENまもる君、人KENあゆみちゃん)を知っていますか。)

(全体)

➤人権イメージキャラクターを『知っている』は 30.7% (「知っている 11.1%」 + 「見たことがある気がする 19.7%」。以下、同じ) であった。

(性別)

➤『知っている』は、女性 (32.4%) が男性 (29.0%) よりやや多い。

(年代別)

➤『知っている』は、50 歳代 (22.6%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代 (56.0%) が半数を超えて最も多い。

(関与度別)

➤『知っている』は、高関与層が 55.5%で最も多く、関与度の低下に従って少なくなり、低関与層では 19.0%になる。

(エリア別)

➤以下のエリア間では『知っている』に 10P 以上の差が発生した。

・四国地方 48.7%、九州沖縄地方 36.8%>関東甲信越地方 26.4%

		(n)	知っている	見たことがある気がする	知らない	知っている	知らない
全体		(18000)	11.1	19.7	69.3	30.7	69.3
性別	男性	(8921)	9.5	19.5	71.0	29.0	71.0
	女性	(9079)	12.6	19.8	67.6	32.4	67.6
年代	10～19歳	(1069)	31.5	24.5	44.0	56.0	44.0
	20代	(2293)	20.4	25.8	53.9	46.1	53.9
	30代	(2871)	11.5	16.2	72.3	27.7	72.3
	40代	(3269)	10.2	16.8	73.0	27.0	73.0
	50代	(2755)	6.4	16.2	77.4	22.6	77.4
	60代	(3551)	5.4	18.3	76.3	23.7	76.3
	70代	(2192)	7.2	26.4	66.5	33.5	66.5
関与度	高関与層	(3133)	25.3	30.2	44.5	55.5	44.5
	中関与層	(4652)	12.9	27.0	60.1	39.9	60.1
	低関与層	(10215)	5.9	13.1	81.0	19.0	81.0

Q4 法務局・地方法務局が人権擁護に関する業務を行っていることの認知度(SA)

(Q4 あなたは、法務局・地方法務局が、人権擁護に関する業務を行っていることをしていますか。)

(全体)

➤法務局・地方法務局が人権擁護に関する業務を行っていることについては、「知っている」は32.4%であった。

(性別)

➤男女差は大きく、「知っている」は男性(37.1%)が女性(27.9%)より9P多い。

(年代別)

➤「知っている」は、30歳代(22.0%)が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70歳代(55.2%)が半数を超えて最も多くなる。

(関与度別)

➤「知っている」は、高関与層が62.6%で最も多く、関与度の低下に従って少なくなり、低関与層では17.1%になる。

		(n)	知っている	知らない
全体		(18000)	32.4	67.6
性別	男性	(8921)	37.1	62.9
	女性	(9079)	27.9	72.1
年代	10～19歳	(1069)	25.4	74.6
	20代	(2293)	24.5	75.5
	30代	(2871)	22.0	78.0
	40代	(3269)	24.8	75.2
	50代	(2755)	31.7	68.3
	60代	(3551)	41.6	58.4
	70代	(2192)	55.2	44.8
関与度	高関与層	(3133)	62.6	37.4
	中関与層	(4652)	45.9	54.1
	低関与層	(10215)	17.1	82.9

Q5 法務局・地方法務局に人権擁護に関する相談窓口があることの認知度(SA)

(Q5 あなたは、法務局・地方法務局に人権に関する相談窓口があることを知っていますか。)

(全体)

➤法務局・地方法務局に人権擁護に関する相談窓口があることについては、「知っている」は27.6%であった。

(性別)

➤男女差はやや大きく、「知っている」は男性(31.4%)が女性(23.9%)より8P多い。

(年代別)

➤「知っている」は、10～40歳代では21%前後だが、そこから年代が上がるにつれて多くなり、70歳代が48.2%で最も多くなる。

(関与度別)

➤「知っている」は、高関与層が57.3%で最も多く、関与度の低下に従って少なくなり、低関与層では13.3%になる。

(エリア別)

➤以下のエリア間では「知っている」に10P以上の差が発生した。

・四国地方 35.7%＞中部地方 25.6%、関東甲信越地方 25.7%

			(n)	
			知っている	知らない
全体			27.6	72.4
性別	男性	(8921)	31.4	68.6
	女性	(9079)	23.9	76.1
年代	10～19歳	(1069)	22.3	77.7
	20代	(2293)	22.7	77.3
	30代	(2871)	19.0	81.0
	40代	(3269)	21.0	79.0
	50代	(2755)	26.2	73.8
	60代	(3551)	33.8	66.2
	70代	(2192)	48.2	51.8
関与度	高関与層	(3133)	57.3	42.7
	中関与層	(4652)	39.0	61.0
	低関与層	(10215)	13.3	86.7

Q6 法務局・地方法務局の人権擁護相談窓口について知っていること(MA)

(Q6 以下のうち、法務局・地方法務局の人権相談窓口について、あなたが知っていることはどれですか。)

(全体)

➤法務局・地方法務局に人権擁護相談窓口があることを知っているとした回答者が相談窓口について知っていることは、多い順に以下であった。

1 位	相談は無料	: 77.6%
2 位	秘密は厳守される	: 66.9%
3 位	法務局職員または人権擁護委員が対応	: 50.2%
4 位	電話で相談できる	: 40.4%
5 位	相談窓口で面談により相談できる	: 39.1%
6 位	Eメールで相談できる	: 23.2%
7 位	「子どもの人権 SOS ミニレター」で相談できる	: 21.4%
8 位	外国語の相談にも対応している	: 14.6%
9 位	内容までは知らない	: 10.5%

(性別)

➤「知っている」が多い順位は男女で 1～3 位まで同じであった。

➤男女差が大きい項目としては以下がある。

〈男性>女性〉

・法務局職員または人権擁護委員が対応 : 7P 差 (男性 53.2%>女性 46.3%)

〈女性>男性〉

・子どもの人権 SOS ミニレターで相談できる : 9P 差 (女性 26.7%>男性 17.3%)

(年代別)

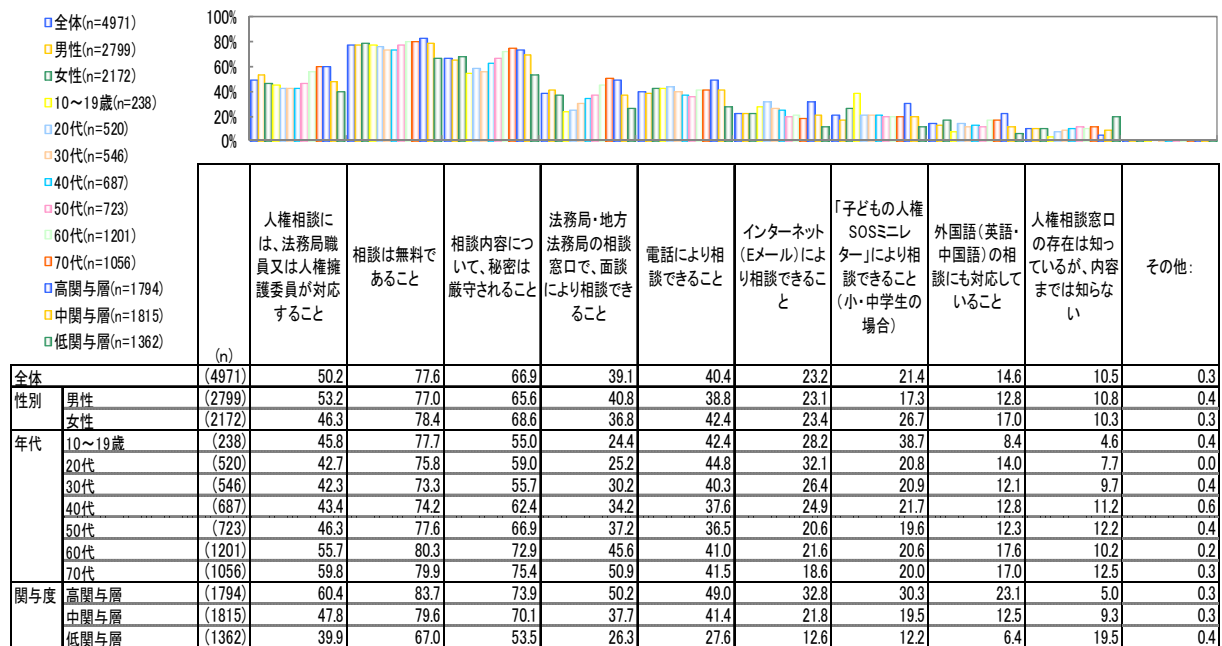
➤「知っている」が多い順位は全ての年代で 1～2 位まで同じであった。

➤「知っている」の割合は年代によって差があるが、10 歳代が最も多い項目は「子どもの人権 SOS ミニレターで相談できる 38.7%」、20 歳代が最も多い項目は「電話で相談できる 44.8%」「Eメールで相談できる 32.1%」、60 歳代が最も多い項目は「外国語の相談にも対応 17.6%」で、これら以外の項目は全て 70 歳代が最も多い。

(関与度別)

➤「知っている」は全ての事項について関与度が高くなるに従って多くなる。

➤高関与層と低関与層の差は、「面談により相談できる」が 24P 差で最大で、「相談は無料」が 17P 差で最少であった。



Q7 法務局・地方法務局の人権擁護相談窓口を知ったきっかけ(MA)

（Q7 あなたは何をきっかけとして、法務局・地方法務局の人権相談窓口について知ようになりましたか。）

（全体）

➤法務局・地方法務局に人権擁護相談窓口があることを知っているとした回答者（27.6%）が相談窓口を知ったきっかけは多様であるが、多い順に以下となり、これら以外のきっかけは10%未満であった。

1位	テレビで見た	： 31.5%
2位	広報誌・チラシ・パンフレットで見た	： 27.1%
3位	インターネットで見た	： 25.8%
4位	ポスターで見た	： 20.9%
5位	新聞広告で見た	： 19.1%
6位	行政に教えてもらった	： 17.4%
7位	家族・知人等から教えてもらった	： 12.0%

（性別）

➤きっかけは男女いずれも「テレビで見た（30%前後）」が最も多いが、2位以下の順位は男女で異なる。

➤以下のきっかけについては男女差がやや大きい。

(男性＞女性)

- ・インターネットで見た：7P 差（男性 28.9%＞女性 21.7%）
- ・行政に教えてもらった：7P 差（男性 20.3%＞女性 13.7%）

(女性＞男性)

- ・子どもの人権 SOS ミニレターで見た：7P 差（女性 11.8%＞男性 5.3%）

(年代別)

➤ほとんどの年代で「テレビで見た 28～38%」が最も多いが、30・40 歳代では「インターネットで見た 28～35%」が最も多い。

➤各きっかけについて、選択者が最も多い年代は以下であった。

(10 歳代が最も多いきっかけ)

- ・子どもの人権 SOS ミニレターで見た：24.8%
- ・ポスターで見た：22.7%
- ・家族・知人等から教えてもらった：17.6%
- ・啓発物品をもらった：11.3%

(20 歳代が最も多いきっかけ)

- ・テレビで見た：38.8%
- ・インターネットで見た：35.4%
- ・ラジオで聞いた：10.8%
- ・電車内放映 CM を見た：8.3%

(40 才代が最も多いきっかけ)

- ・ポスターで見た：22.7%

(70 歳代が最も多いきっかけ)

- ・広報誌・チラシ・パンフレットで見た：32.8%
- ・新聞広告で見た：29.4%
- ・ポスターで見た：22.7%
- ・行政に教えてもらった：21.9%
- ・イベントに参加した：11.7%

(関与度別)

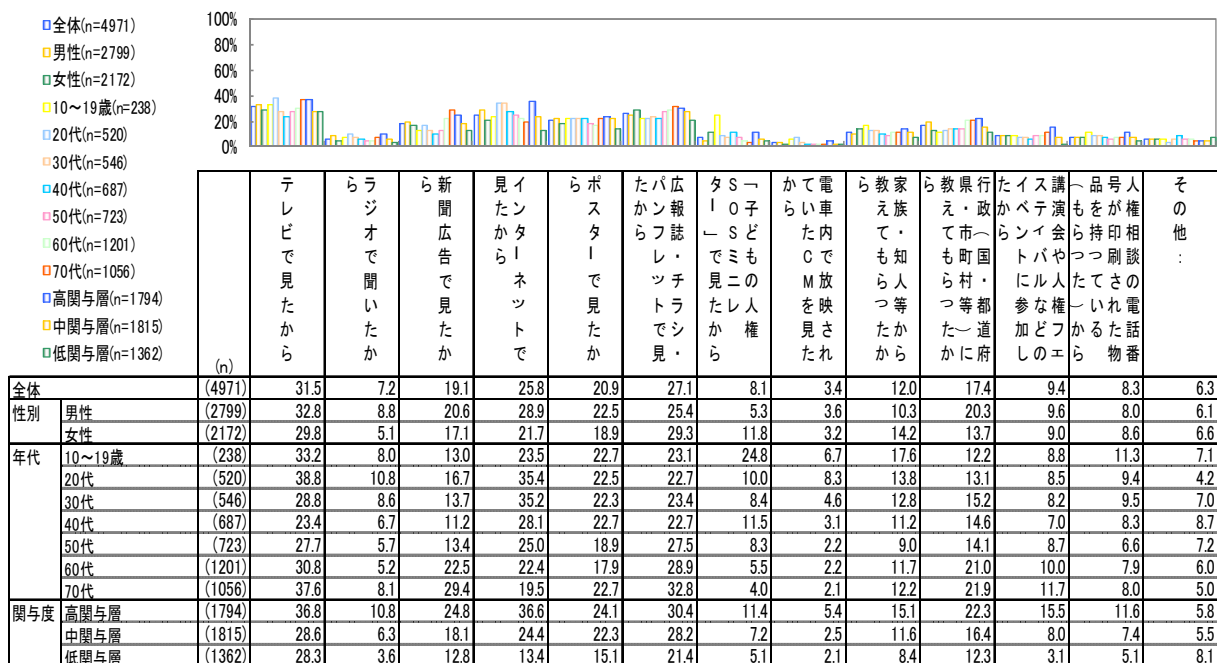
➤きっかけは関与度合に関わりなく「テレビで見た 28～37%」が最も多いが、これ以外のきっかけとしての回答割合順位は関与度合によって異なる。

➤全てのきっかけ項目について関与度が高まるにつれて回答割合は増加しており、関与度が高いほど幅広いきっかけによって人権相談窓口を認知するようになる。

(エリア別)

➤以下のきっかけについては、エリア間で 10P 以上の差が発生した。

・インターネットで見たから：関東甲信越地方 28.6%、北海道地方 27.3%、近畿地方 26.5%＞四国地方 15.8%



Q8 人権擁護委員の認知度(SA)

(Q 8 あなたは人権擁護委員がいることを知っていますか。)

(全体)

➤人権擁護委員がいることを「知っている」は30.8%であった。

(性別)

➤人権擁護委員の認知度の男女差はやや大きく、「知っている」は男性（34.4%）が女性（27.2%）より 7P 多い。

(年代別)

➤「知っている」は、10～40 歳代では 20%前後だが、そこから年代が上がるにつれて多くなり、70 歳代（53.7%）では半数を超えて最も多くなる。

(関与度別)

➤「知っている」は、高関与層が 61.5%で最も多く、関与度の低下に従って少なくなり、低関与層では 15.8%になる。

(エリア別)

➤以下のエリア間では「知っている」に 10P 以上の差が発生した。

- ・四国地方 41.9%、> 関東甲信越地方 27.7%

		(n)	知っている	知らない
全体		(18000)	30.8	69.2
性別	男性	(8921)	34.4	65.6
	女性	(9079)	27.2	72.8
年代	10～19歳	(1069)	20.8	79.2
	20代	(2293)	20.9	79.1
	30代	(2871)	19.4	80.6
	40代	(3269)	22.1	77.9
	50代	(2755)	29.6	70.4
	60代	(3551)	44.1	55.9
	70代	(2192)	53.7	46.3
関与度	高関与層	(3133)	61.5	38.5
	中間層	(4652)	42.9	57.1
	低関与層	(10215)	15.8	84.2

Q9 人権擁護委員について知っていること(MA)

(Q 9 以下のうち、人権擁護委員について、あなたが知っていることはどれですか。)

(全体)

➤人権擁護委員がいることを知っているとした回答者（30.8%）が人権擁護委員について知っていることは多い順に以下となり、一方、「存在は知っているが、どのような活動を行っているのかは知らない」が 25.9%を占めた。

- | | | |
|-----|-----------------------------|---------|
| 1 位 | 地域で人権思想を広め、住民の人権を守ろうとする人 | : 41.8% |
| 2 位 | 地域の住民から人権相談を受けている | : 39.4% |
| 3 位 | 法務大臣が委嘱した民間の人 | : 36.1% |
| 4 位 | 全国の市町村、特別区に配置されている | : 31.6% |
| 5 位 | 地域に人権の考えを広めるための人権啓発活動を行っている | : 21.9% |
| 6 位 | 法務局職員と協力して、人権侵犯事件の解決を図っている | : 16.7% |

(性別)

➤「知っている」が多い順位は男女で同じであったが、全ての事項について男性が女性より多い。

(年代別)

➤「知っている」が多い順位は年代によって異なり、10～30 歳代及び 50 歳代では「地域で人権思想を広め、住民の人権を守ろうとする人 40～47%」、40・60 歳代では「地

域の住民から人権相談を受けている 39～40%」、70 歳代では「法務大臣が委嘱した民間の人 47.4%」が最も多い。

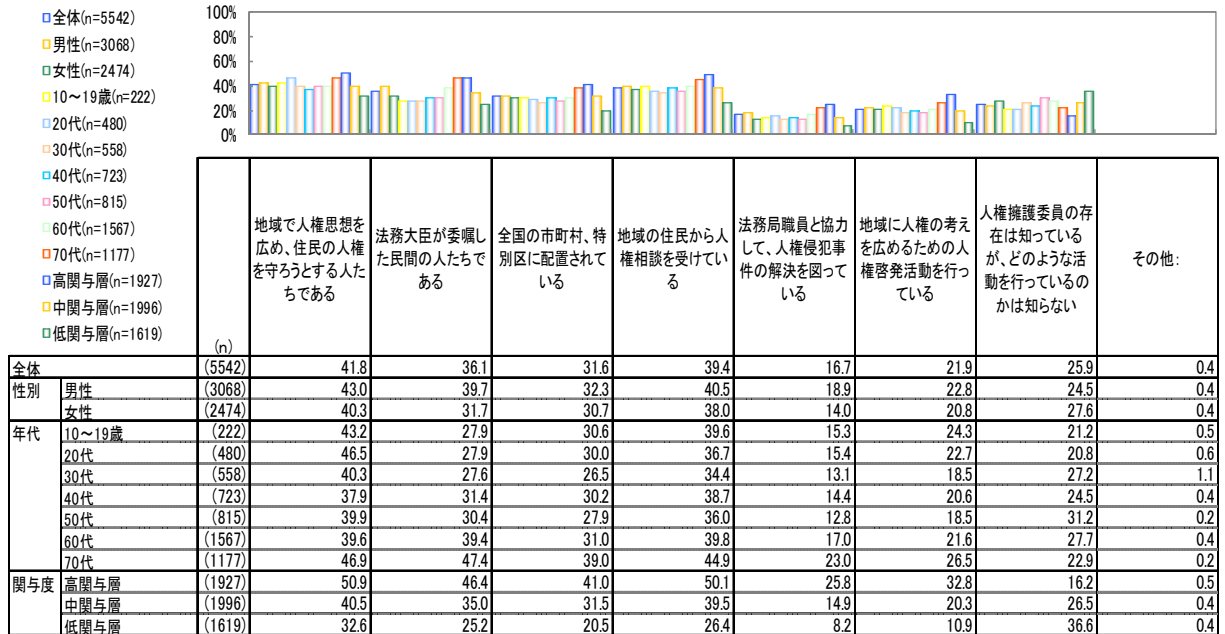
(関与度別)

➤全ての項目について、関与度が高まるにつれて「知っている」が多くなる。

(エリア別)

➤以下の事項については、エリア間で「知っている」に 10P 以上の差がついた。

- ・法務大臣が委嘱した民間の人たち : 東北地方 44.8% > 中部地方 31.0%、四国地方 31.4%、近畿地方 33.4%
- ・全国の市町村、特別区に配置 : 東北地方 37.4% > 中部地方 26.6%
- ・地域の住民から人権相談を受けている : 北海道・東北地方 44.4% > 中部地方 32.7%



Q10 人権擁護委員を知るようになったきっかけ(MA)

(Q10 あなたは何をきっかけとして、人権擁護委員について知るようになりましたか。)

(全体)

➤人権擁護委員がいることを知っているとした回答者(30.8%)が人権擁護委員を知るようになったきっかけは多様だが、多い順に以下となり、これら以外のきっかけは9%未満であった。

1位	テレビで見た	: 32.9%
2位	広報誌・チラシ・パンフレットで見た	: 26.4%
3位	インターネットで見た	: 20.6%
4位	新聞広告で見た	: 15.2%
5位	行政に教えてもらった	: 13.7%
6位	ポスターで見た	: 13.1%
7位	家族・知人等から教えてもらった	: 10.3%

(性別)

➤きっかけは、男女で上位1~4位まで同じであった。

➤以下のきっかけについては男女差が大きい。

(男性>女性)

- ・インターネットで見た: 8P 差 (男性 24.1%>女性 16.2%)
- ・行政に教えてもらった: 5P 差 (男性 15.9%>女性 10.9%)

(年代別)

➤きっかけは、全ての年代で「テレビで見た 28~37%」が最も多い。

➤各きっかけについて、選択者が最も多い年代は以下であった。

(10歳代が最も多いきっかけ)

- ・子どもの人権 SOS ミニレターで見た: 17.1%
- ・家族・知人等から教えてもらった: 15.8%
- ・イベントに参加した: 11.7%

(20歳代が最も多いきっかけ)

- ・テレビで見た: 36.5%
- ・インターネットで見た: 33.3%
- ・ポスターで見た: 18.3%
- ・ラジオで聞いた: 12.5%
- ・人権相談に行った: 5.4%
- ・人権教室や人権の花運動等に参加: 5.2%

(70 歳代が最も多いきっかけ)

- ・ 広報誌・チラシ・パンフレットで見た：33.1%
- ・ 新聞広告で見た：22.6%
- ・ 知人等が人権擁護委員：9.0%

(関与度別)

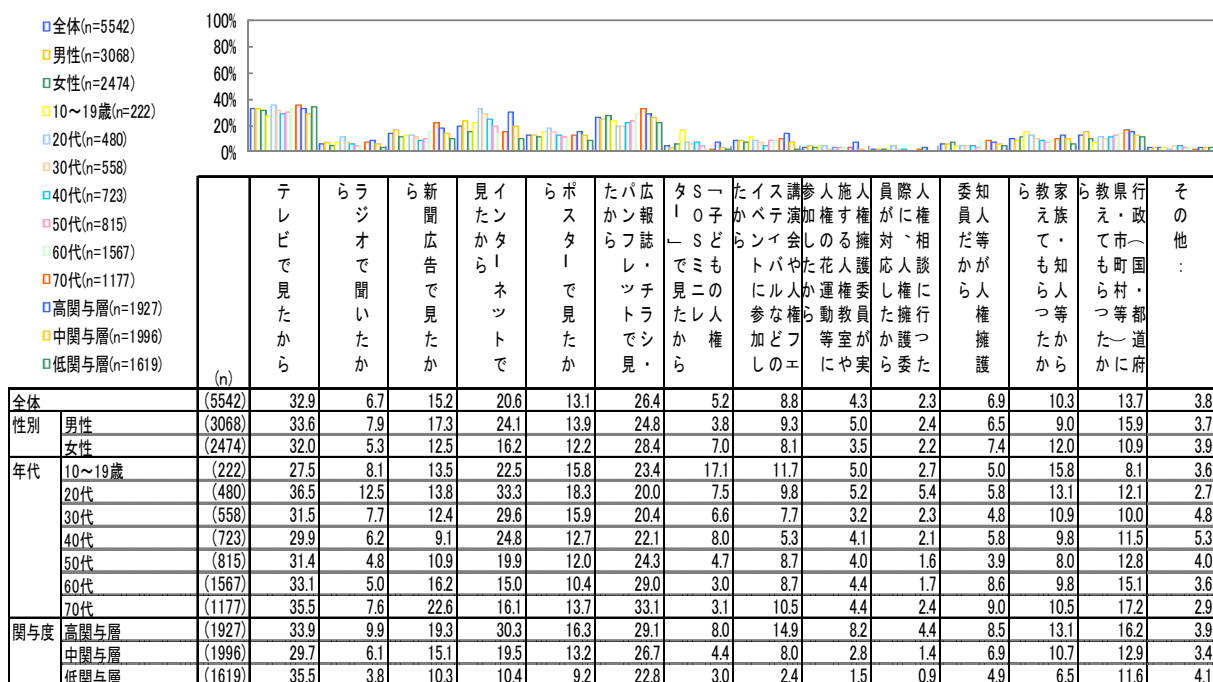
➤きっかけは関与度合に関わりなく「テレビで見た 30～36%」が最も多いが、これ以外のきっかけ項目についての選択割合順位は関与度合によって異なる。

➤「テレビで見た」を除く全てのきっかけ項目について、関与度が高まるにつれて選択割合は増加しており、関与度が高いほど幅広いきっかけによって人権擁護委員を認知しているようになっている。

(エリア別)

➤以下のきっかけについては、以下のエリア間で 10P 以上の差が発生した。

- ・ インターネットで見たら：関東甲信越地方 23.0%＞四国地方 13.0%



3 直轄事業の認知度、推進についての意向

Q11 各取組の認知度(SA)

(Q11 以下の取組についてお伺いします。あなたはこのような取組が行われていることを知っていますか。)

(1)全国中学生人権作文コンテスト

(全体)

➤全国中学生人権作文コンテストを『知っている』は 37.7% (「知っている 14.9%」 + 「聞いたことがある気がする 22.8%」。以下、同じ) であった。

(性別)

➤『知っている』は、女性 (40.1%) が男性 (35.2%) よりやや多い。

(年代別)

➤『知っている』は、50 歳代 (31.3%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代 (52.0%) が最も多い。

(関与度別)

➤『知っている』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 46P であった。

(エリア別)

➤以下のエリア間では『知っている』に大きな差が発生した。

・四国地方 54.1%、九州・沖縄地方 47.7% > 関東甲信越地方 33.3%、東北地方 33.9%、北海道地方 34.5%、中部地方 37.9%、中国地方 38.0%、近畿地方 41.2%

		(n)	知っている			聞いたことがある気がする	知らない	知 っ て い る	知 ら な い
全体		(18000)	14.9	22.8	62.3			37.7	62.3
性別	男性	(8921)	13.5	21.7	64.8			35.2	64.8
	女性	(9079)	16.3	23.7	59.9			40.1	59.9
年代	10～19歳	(1069)	30.0	22.0	48.0			52.0	48.0
	20代	(2293)	19.9	22.7	57.4			42.6	57.4
	30代	(2871)	14.3	21.7	64.1			35.9	64.1
	40代	(3269)	11.1	20.4	68.5			31.5	68.5
	50代	(2755)	11.1	20.1	68.7			31.3	68.7
	60代	(3551)	13.3	24.2	62.5			37.5	62.5
	70代	(2192)	16.1	29.1	54.7			45.3	54.7
関与度	高関与層	(3133)	36.5	31.1	32.4			67.6	32.4
	中間層	(4652)	19.0	33.7	47.3			52.7	47.3
	低関与層	(10215)	6.5	15.2	78.4			21.6	78.4

(2)人権週間

(全体)

➤人権週間を『知っている』は 56.5%（「知っている 27.2%」＋「聞いたことがある気がする 29.4%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『知っている』は男女いずれも 56%強であった。

(年代別)

➤『知っている』は 20 歳代（48.8%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（70.3%）が最も多い。

(関与度別)

➤『知っている』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 43P であった。

(エリア別)

➤以下のエリア間では『知っている』に大きな差が発生した。

・九州・沖縄地方 70.1%、四国地方 69.0%＞北海道地方 45.3%、東北地方 46.4%、関東甲信越地方 51.5%、中部地方 56.6

			(n)			知っている	聞いたことがある気がする	知らない	知っている	知らない
全体			(18000)			27.2	29.4	43.5	56.5	43.5
性別	男性		(8921)			27.7	29.1	43.2	56.8	43.2
	女性		(9079)			26.6	29.7	43.8	56.2	43.8
年代	10～19歳		(1069)			28.3	25.7	45.9	54.1	45.9
	20代		(2293)			25.0	23.9	51.2	48.8	51.2
	30代		(2871)			23.5	26.4	50.2	49.8	50.2
	40代		(3269)			24.8	27.4	47.8	52.2	47.8
	50代		(2755)			25.7	30.5	43.8	56.2	43.8
	60代		(3551)			29.4	33.9	36.7	63.3	36.7
	70代		(2192)			35.3	35.0	29.7	70.3	29.7
関与度	高関与層		(3133)			57.1	26.0	16.9	83.1	16.9
	中関与層		(4652)			38.8	36.7	24.6	75.4	24.6
	低関与層		(10215)			12.7	27.1	60.3	39.7	60.3

(3)人権教室

(全体)

➤人権教室を『知っている』は 16.7%（「知っている 4.5%」＋「聞いたことがある気がする 12.2%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『知っている』は、男性（18.6%）が女性（14.8%）よりやや多い。

(年代別)

➤『知っている』は 40 歳代（12.5%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代（23.9%）が最も多い。

(関与度別)

➤『知っている』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 36P であった。

(エリア別)

➤以下のエリア間では『知っている』に大きな差が発生した。

・四国地方 25.8%、九州・沖縄地方 24.7%＞北海道地方 13.1%、東北地方 13.1%、関東甲信越地方 13.6%

		(n)	知っている			聞いたことがある気がする			知らない			知 っ て い る	知 ら な い
全体		(18000)	4.5	12.2	83.3							16.7	83.3
性別	男性	(8921)	4.9	13.8	81.4							18.6	81.4
	女性	(9079)	4.1	10.7	85.2							14.8	85.2
年代	10～19歳	(1069)	8.1	15.7	76.1							23.9	76.1
	20代	(2293)	5.8	12.6	81.6							18.4	81.6
	30代	(2871)	3.8	10.0	86.1							13.9	86.1
	40代	(3269)	3.7	8.8	87.5							12.5	87.5
	50代	(2755)	3.4	10.8	85.8							14.2	85.8
	60代	(3551)	4.4	13.4	82.3							17.7	82.3
	70代	(2192)	5.0	17.9	77.1							22.9	77.1
関与度	高関与層	(3133)	15.1	27.1	57.8							42.2	57.8
	中間与層	(4652)	4.7	17.9	77.5							22.5	77.5
	低関与層	(10215)	5.1		93.8							6.2	93.8

(4)子どもの人権 SOS ミニレター

(全体)

➤子どもの人権 SOS ミニレターを『知っている』は 19.7%（「知っている 7.1%」＋「聞いたことがある気がする 12.6%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『知っている』は、男女いずれも 20%前後であった。

(年代別)

- 『知っている』は、20～60 才代は 16～19%であるが、70 歳代は 26.9%になり、そして 10 歳代が 35.8%で最も多い。

(関与度別)

- 『知っている』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 39P であった。

		(n)	知っている 聞いたことがある気がする 知らない			知 っ て い る	知 ら な い
全体		(18000)	7.1	12.6	80.3	19.7	80.3
性別	男性	(8921)	5.7	12.8	81.5	18.5	81.5
	女性	(9079)	8.6	12.4	79.1	20.9	79.1
年代	10～19歳	(1069)	20.2	15.6	64.2	35.8	64.2
	20代	(2293)	6.2	12.6	81.1	18.9	81.1
	30代	(2871)	6.9	9.6	83.5	16.5	83.5
	40代	(3269)	7.4	10.2	82.4	17.6	82.4
	50代	(2755)	5.6	9.9	84.5	15.5	84.5
	60代	(3551)	5.3	13.6	81.1	18.9	81.1
	70代	(2192)	6.4	20.5	73.1	26.9	73.1
関与度	高関与層	(3133)	20.8	26.0	53.2	46.8	53.2
	中関与層	(4652)	8.4	19.1	72.5	27.5	72.5
	低関与層	(10215)	2.4	5.5	92.1	7.9	92.1

(5)みんなの人権 110 番

(全体)

- みんなの人権 110 番を『知っている』は 30.9%（「知っている 10.2%」＋「聞いたことがある気がする 20.7%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『知っている』は男女いずれも 31%前後であった。

(年代別)

- 『知っている』は 30 歳代（24.1%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（43.8%）が最も多い。

(関与度別)

- 『知っている』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 51P であった。

					知 っ て い る	知 ら な い	
		(n)	知っている		聞いたことがある気がする	知らない	
全体		(18000)	10.2	20.7	69.1	30.9	
性別	男性	(8921)	10.1	20.6	69.2	30.8	
	女性	(9079)	10.2	20.8	68.9	31.1	
年代	10～19歳	(1069)	18.4	19.7	61.8	38.2	
	20代	(2293)	11.6	18.0	70.4	29.6	
	30代	(2871)	8.8	15.3	75.9	24.1	
	40代	(3269)	7.7	16.6	75.7	24.3	
	50代	(2755)	7.9	20.0	72.1	27.9	
	60代	(3551)	10.1	25.5	64.4	35.6	
	70代	(2192)	13.2	30.6	56.2	43.8	
関与度	高関与層	(3133)	31.2		33.6	35.2	64.8
	中関与層	(4652)	12.6		33.1	54.3	45.7
	低関与層	(10215)	2.7	11.1	86.2	13.8	

(6)子どもの人権 110 番

(全体)

➤子どもの人権 110 番を『知っている』は 37.3% (「知っている 13.2%」 + 「聞いたことがある気がする 24.1%」。以下、同じ) であった。

(性別)

➤『知っている』は男女いずれも 37%前後であった。

(年代別)

➤『知っている』は 30 歳代 (30.2%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (47.4%) が最も多い。

(関与度別)

➤『知っている』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 49P であった。

						知 っ て い る	知 ら な い
(n)			知っている	聞いたことがある気がする	知らない		
全体		(18000)	13.2	24.1	62.7	37.3	62.7
性別	男性	(8921)	12.2	24.1	63.7	36.3	63.7
	女性	(9079)	14.2	24.1	61.7	38.3	61.7
年代	10～19歳	(1069)	22.0	23.8	54.3	45.7	54.3
	20代	(2293)	14.1	19.7	66.2	33.8	66.2
	30代	(2871)	11.0	19.2	69.8	30.2	69.8
	40代	(3269)	11.3	21.1	67.6	32.4	67.6
	50代	(2755)	11.4	24.0	64.6	35.4	64.6
	60代	(3551)	12.9	29.7	57.4	42.6	57.4
	70代	(2192)	16.4	30.9	52.6	47.4	52.6
関与度	高関与層	(3133)	35.6 33.8 30.6			69.4	30.6
	中関与層	(4652)	17.3 35.8 46.9			53.1	46.9
	低関与層	(10215)	4.5 15.8 79.7			20.3	79.7

(7)女性の人権ホットライン

(全体)

➤女性の人権ホットラインを『知っている』は 36.9%（「知っている 12.5%」＋「聞いたことがある気がする 24.4%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『知っている』は女性（40.9%）が男性（32.8%）より 8P 多い。

(年代別)

➤『知っている』は 10～50 歳代は 35%前後だが、それより年代が上がるにつれて増加し、70 歳代（44.7%）が最も多い。

(関与度別)

➤『知っている』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 50P であった。

						知 っ て い る	知 ら な い
			知っている	聞いたことがある気がする	知らない		
全体		(18000)	12.5	24.4	63.1	36.9	63.1
性別	男性	(8921)	10.3	22.5	67.2	32.8	67.2
	女性	(9079)	14.6	26.3	59.1	40.9	59.1
年代	10～19歳	(1069)	14.3	19.4	66.3	33.7	66.3
	20代	(2293)	14.3	20.8	65.0	35.0	65.0
	30代	(2871)	12.8	21.9	65.3	34.7	65.3
	40代	(3269)	11.4	22.5	66.0	34.0	66.0
	50代	(2755)	11.3	24.7	64.1	35.9	64.1
	60代	(3551)	11.8	27.6	60.6	39.4	60.6
	70代	(2192)	13.5	31.2	55.3	44.7	55.3
関与度	高関与層	(3133)	34.8	34.4	30.7	69.3	30.7
	中関与層	(4652)	16.7	36.6	46.8	53.2	46.8
	低関与層	(10215)	3.7	15.8	80.5	19.5	80.5

(8)インターネット人権相談受付窓口

(全体)

➤インターネット人権相談受付窓口を『知っている』は 23.5%（「知っている 7.1%」＋「聞いたことがある気がする 16.4%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『知っている』は男女いずれも 24%前後であった。

(年代別)

➤『知っている』は 50 歳代（21.1%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（28.2%）が最も多い。

(関与度別)

- 『知っている』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 46P であった。

		(n)	知っている 聞いたことがある気がする 知らない			知 っ て い る	知 ら な い
全体		(18000)	7.1	16.4	76.5	23.5	76.5
性別	男性	(8921)	7.5	16.6	75.9	24.1	75.9
	女性	(9079)	6.7	16.1	77.1	22.9	77.1
年代	10～19歳	(1069)	10.7	17.2	72.1	27.9	72.1
	20代	(2293)	10.6	15.6	73.8	26.2	73.8
	30代	(2871)	8.4	13.5	78.1	21.9	78.1
	40代	(3269)	6.2	15.1	78.7	21.3	78.7
	50代	(2755)	5.0	16.1	78.9	21.1	78.9
	60代	(3551)	5.4	17.3	77.3	22.7	77.3
	70代	(2192)	6.8	21.4	71.8	28.2	71.8
関与度	高関与層	(3133)	23.6	31.2	45.2	54.8	45.2
	中関与層	(4652)	8.6	26.4	65.0	35.0	65.0
	低関与層	(10215)	7.3		91.3	8.7	91.3

Q12 各取組についての評価(SA)

(Q 1 2 この取組についてどのように考えますか。)

(1)全国中学生人権作文コンテスト

(全体)

- 全国中学生人権作文コンテストを『推進すべき』は 53.4% (「積極的に推進 17.8%」 + 「どちらかといえば推進 35.6%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『推進すべき』は女性 (56.3%) が男性 (50.4%) より 6P 多い。

(年代別)

- 『推進すべき』は 40 歳代 (48.6%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (63.4%) が最も多い。

(関与度別)

- 『推進すべき』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 41P であった。

		(n)	積極的に推進すべきである	どちらかと言えば推進すべきである	どちらかと言えば推進すべきではない	このような活動はやめるべきである	わからない
全体		(18000)	17.8	35.6	4.2	40.5	
性別	男性	(8921)	16.6	33.8	4.7	42.2	
	女性	(9079)	18.9	37.4	3.7	38.9	
年代	10～19歳	(1069)	19.7	32.1	4.5	41.6	
	20代	(2293)	18.5	36.1	5.9	36.9	
	30代	(2871)	16.0	34.7	5.1	41.6	
	40代	(3269)	14.7	33.9	3.8	45.8	
	50代	(2755)	15.9	34.5	3.5	44.0	
	60代	(3551)	18.5	37.2	3.9	39.1	
	70代	(2192)	24.0	39.4	2.8	32.7	
関与度	高関与層	(3133)	39.5	38.7	5.7	13.6	
	中関与層	(4652)	22.4	49.9	4.7	21.5	
	低関与層	(10215)	9.0	28.1	3.5	57.5	

(2)人権週間

(全体)

➤人権週間を『推進すべき』は 56.8%（「積極的に推進 21.4%」＋「どちらかといえば推進 35.4%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『推進すべき』は、女性（59.3%）が男性（54.3%）より 5P 多い。

(年代別)

➤『推進すべき』は、30 歳代（51.3%）が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（69.5%）が最も多い。

(関与度別)

➤『推進すべき』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 42P であった。

		(n)	積極的に推進すべきである	どちらかと言えば推進すべきである	どちらかと言えば推進すべきではない	このような活動はやめるべきである	わからない
全体		(18000)	21.4	35.4	4.1	37.3	
性別	男性	(8921)	20.9	33.4	4.8	38.3	
	女性	(9079)	22.0	37.4	3.3	36.2	
年代	10～19歳	(1069)	20.1	32.3	5.2	41.2	
	20代	(2293)	19.4	35.4	6.1	36.9	
	30代	(2871)	17.7	33.6	5.2	41.0	
	40代	(3269)	17.3	34.9	3.6	42.4	
	50代	(2755)	20.7	35.0	3.3	39.1	
	60代	(3551)	24.3	37.1	3.4	33.8	
	70代	(2192)	31.6	37.9	2.7	26.4	
関与度	高関与層	(3133)	46.7	35.0	5.2	11.0	
	中関与層	(4652)	28.4	48.4	4.8	16.6	
	低関与層	(10215)	10.5	29.6	3.4	54.7	

(3)人権教室

(全体)

➤人権教室を『推進すべき』は 53.0%（「積極的に推進 17.5%」＋「どちらかといえば推進 35.5%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『推進すべき』は、女性（55.8%）が男性（50.2%）より 5P 多い。

(年代別)

➤『推進すべき』は 30 歳代（48.6%）が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（62.7%）が最も多い。

(関与度別)

➤『推進すべき』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 41P であった。

		(n)	積極的に推進すべきである	どちらかと言えば推進すべきである	どちらかと言えば推進すべきではない	このような活動はやめるべきである	わからない
全体		(18000)	17.5	35.5	4.3		40.9
性別	男性	(8921)	16.3	33.9	5.0	2.5	42.4
	女性	(9079)	18.7	37.0	3.6		39.5
年代	10～19歳	(1069)	18.6	31.0	4.8		44.4
	20代	(2293)	17.9	35.2	5.8	2.1	39.1
	30代	(2871)	15.1	33.5	4.8	2.3	44.2
	40代	(3269)	14.9	33.8	3.9		45.7
	50代	(2755)	16.9	34.8	3.6	2.1	42.6
	60代	(3551)	19.0	37.5	4.1		38.2
	70代	(2192)	22.2	40.5	3.7		32.2
関与度	高関与層	(3133)	40.4	38.0	5.4	2.4	13.9
	中関与層	(4652)	22.4	49.0	5.3		21.8
	低関与層	(10215)	8.3	28.5	3.5		57.9

(4)子どもの人権 SOS ミニレター

(全体)

➤子どもの人権 SOS ミニレターを『推進すべき』は 57.1%（「積極的に推進 24.4%」＋「どちらかといえば推進 32.7%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『推進すべき』は、女性（60.9%）が男性（53.2%）より 8P 多い。

(年代別)

➤『推進すべき』は 40 歳代（53.5%）が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（64.8%）が最も多い。

(関与度別)

- 『推進すべき』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 41P であった。

			積極的に推進すべきである どちらかと言えば推進すべきである どちらかと言えば推進すべきではない このような活動はやめるべきである わからない				
(n)							
全体		(18000)	24.4	32.7	3.1		38.4
性別	男性	(8921)	21.2	32.1	3.9	2.0	40.9
	女性	(9079)	27.6	33.3	2.3		35.9
年代	10～19歳	(1069)	25.8	28.4	3.2		41.3
	20代	(2293)	25.1	32.6	4.0	2.0	36.3
	30代	(2871)	23.3	31.1	3.6	2.0	40.1
	40代	(3269)	22.2	31.3	2.5		42.7
	50代	(2755)	22.4	33.0	2.6		40.5
	60代	(3551)	25.8	33.9	3.0		36.4
	70代	(2192)	28.1	36.7	3.1		30.8
関与度	高関与層	(3133)	50.2		31.4	4.1	12.7
	中関与層	(4652)	31.9	44.5	3.3		19.0
	低関与層	(10215)	13.1	27.7	2.7		55.1

(5)みんなの人権 110 番

(全体)

- みんなの人権 110 番を『推進すべき』は 60.2%（「積極的に推進 26.8%」＋「どちらかといえば推進 33.4%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『推進すべき』は、女性（64.1%）が男性（56.2%）より 8P 多い。

(年代別)

- 『推進すべき』は 10～50 歳代は 60%未満だが、それより年代が上がるにつれて多くなり、70 歳代（69.2%）が最も多い。

(関与度別)

- 『推進すべき』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 42P であった。

			積極的に推進すべきである	どちらかと言えば推進すべきである	どちらかと言えば推進すべきではない	このような活動はやめるべきである	わからない
全体			(n)				
性別	男性	(18000)	26.8	33.4	2.9	35.7	
	女性	(8921)	23.6	32.6	3.7	38.2	
年代	10～19歳	(9079)	30.0	34.1	2.0	33.1	
	20代	(1069)	27.3	28.6	3.2	39.4	
	30代	(2293)	28.3	30.8	4.1	34.9	
	40代	(2871)	25.0	31.3	3.5	38.7	
	50代	(3269)	23.3	33.1	2.2	40.2	
	60代	(2755)	24.5	34.4	2.2	37.7	
	70代	(3551)	28.9	35.4	2.8	32.1	
	70代	(2192)	32.3	36.9	2.6	27.1	
関与度	高関与層	(3133)	55.3	29.7	3.9	9.7	
	中間層	(4652)	35.1	45.5	2.8	15.5	
	低関与層	(10215)	14.3	29.0	2.6	52.8	

(6)子どもの人権 110 番

(全体)

➤子どもの人権 110 番を『推進すべき』は 61.1%（「積極的に推進 29.7%」＋「どちらかといえば推進 31.4%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『推進すべき』は、女性（64.8%）が男性（57.4%）より 7P 多い。

(年代別)

➤『推進すべき』は 10～50 歳代は 60%未満だが、それ湯おり年代が上がるにつれて多くなり、70 歳代（69.7%）が最も多い。

(関与度別)

➤『推進すべき』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 42P であった。

			積極的に推進すべきである	どちらかと言えば推進すべきである	どちらかと言えば推進すべきではない	このような活動はやめるべきである	わからない
全体			(n)				
性別	男性	(18000)	29.7	31.4	2.7	34.8	
	女性	(8921)	26.2	31.2	3.3	37.4	
年代	10～19歳	(9079)	33.1	31.6	2.1	32.3	
	20代	(1069)	28.7	28.2	3.4	38.3	
	30代	(2293)	30.2	29.7	4.0	34.3	
	40代	(2871)	27.7	29.8	3.0	37.6	
	50代	(3269)	26.0	31.2	2.1	39.6	
	60代	(2755)	27.6	32.2	2.3	36.7	
	70代	(3551)	32.3	33.2	2.4	31.2	
	70代	(2192)	36.3	33.4	2.5	26.6	
関与度	高関与層	(3133)	58.1	27.9	3.2	9.3	
	中間層	(4652)	40.3	41.2	2.8	14.4	
	低関与層	(10215)	16.2	28.0	2.5	52.0	

(7)女性の人権ホットライン

(全体)

➤女性の人権ホットラインを『推進すべき』は 60.3%（「積極的に推進 28.0%」＋「どちらかといえば推進 32.3%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『推進すべき』は、女性（65.0%）が男性（55.5%）より 10P 多い。

(年代別)

➤『推進すべき』は 10～50 歳代までは 60%未満だが、それより年代が上がるにつれて多くなり、70 歳代（68.8%）が最も多い。

(関与度別)

➤『推進すべき』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 41P であった。

			(n)				
			積極的に推進すべきである		どちらかと言えば推進すべきである		わからない
全体		(18000)	28.0	32.3	3.0	35.2	
性別	男性	(8921)	23.3	32.1	3.9	38.3	
	女性	(9079)	32.5	32.5	2.0	32.1	
年代	10～19歳	(1069)	25.6	28.9	3.7	39.9	
	20代	(2293)	28.7	30.0	4.6	34.1	
	30代	(2871)	26.7	29.7	3.5	38.0	
	40代	(3269)	24.8	31.7	2.3	39.6	
	50代	(2755)	26.5	33.1	2.3	36.8	
	60代	(3551)	30.3	34.6	2.5	31.7	
	70代	(2192)	32.8	36.0	2.6	27.3	
関与度	高関与層	(3133)	55.1	29.2	4.0	9.8	
	中間層	(4652)	37.9	43.0	2.9	14.8	
	低関与層	(10215)	15.1	28.4	2.7	52.2	

(8)インターネット人権相談受付窓口

(全体)

➤インターネット人権相談受付窓口を『推進すべき』は 59.6%（「積極的に推進 26.8%」＋「どちらかといえば推進 32.8%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『推進すべき』は、女性（63.4%）が男性（55.8%）より 8P 多い。

(年代別)

➤『推進すべき』は 10～50 歳代までは 60%未満だが、それより年代が上がるにつれて多くなり、70 歳代（67.4%）が最も多い。

(関与度別)

➤『推進すべき』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 41P

であった。

			積極的に推進すべきである どちらかと言えば推進すべきである どちらかと言えば推進すべきではない このような活動はやめるべきである わからない				
全体		(n)					
		(18000)	26.8	32.8	3.1		36.0
性別	男性	(8921)	23.7	32.0	3.8		38.6
	女性	(9079)	29.8	33.5	2.4		33.3
年代	10～19歳	(1069)	25.6	28.4	3.8		40.8
	20代	(2293)	29.0	30.1	4.1	2.3	34.5
	30代	(2871)	26.8	30.1	3.2		38.2
	40代	(3269)	24.4	31.7	2.5		40.3
	50代	(2755)	25.4	33.0	2.8		37.5
	60代	(3551)	27.0	36.0	3.0		32.9
	70代	(2192)	30.0	37.4	3.1		28.7
関与度	高関与層	(3133)	54.3	29.9	4.3		10.1
	中関与層	(4652)	35.6	44.3	3.1		15.9
	低関与層	(10215)	14.4	28.5	2.8		53.0

4 資料(教材・コンテンツ 6種類)について

Q13 教材・コンテンツの認知度(SA)

(Q13 法務局・地方法務局が配布しており、また、インターネット上でも閲覧・ダウンロードが可能な以下の冊子(又はリーフレット)についてお尋ねします。あなたはこの冊子(又はリーフレット)を見たことはありますか。)

(1)人権の擁護

(全体)

➤人権の擁護を『見たことがある』は16.5%（「見た4.9%」＋「見たことがある気がする11.6%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『見たことがある』は男女いずれも16%前後であった。

(年代別)

➤『見たことがある』は40歳代(12.9%)が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10歳代(23.1%)が最も多い。

(関与度別)

➤『見たことがある』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は37Pであった。

										あ 見 た こ と が	な 見 た こ と は	
		(n)	見たことがある		見たことがある気がする		見たことはない					
全体		(18000)	4.9	11.6	83.5						16.5	83.5
性別	男性	(8921)	5.0	12.1	82.9						17.1	82.9
	女性	(9079)	4.8	11.1	84.1						15.9	84.1
年代	10～19歳	(1069)	7.1	16.0	76.9						23.1	76.9
	20代	(2293)	6.1	13.1	80.8						19.2	80.8
	30代	(2871)	4.7	9.7	85.6						14.4	85.6
	40代	(3269)	3.9	9.0	87.1						12.9	87.1
	50代	(2755)	3.6	9.8	86.6						13.4	86.6
	60代	(3551)	4.3	12.4	83.2						16.8	83.2
	70代	(2192)	6.7	15.1	78.3						21.7	78.3
関与度	高関与層	(3133)	17.4		25.3		57.3				42.7	57.3
	中関与層	(4652)	4.9	17.3	77.8						22.2	77.8
	低関与層	(10215)	4.8	94.2						5.8	94.2	

(2)みんなともだち

(全体)

➤みんなともだちを『見たことがある』は 12.0%（「見た 3.3%」＋「見たことがある気がする 8.7%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『見たことがある』は、男性（13.1%）が女性（10.8%）よりやや多い。

(年代別)

➤『見たことがある』は 40 歳代（8.7%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代（20.2%）が最も多い。

(関与度別)

➤『見たことがある』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 29P であった。

			(n)			見たことがある	見たことがある気がする	見たことはない	あ 見 た こ と が	な い 見 た こ と は
全体			(18000)			3.3	8.7	88.0	12.0	88.0
性別	男性		(8921)			3.7	9.4	86.9	13.1	86.9
	女性		(9079)			2.8	8.0	89.2	10.8	89.2
年代	10～19歳		(1069)			6.4	13.8	79.8	20.2	79.8
	20代		(2293)			4.7	8.6	86.7	13.3	86.7
	30代		(2871)			2.6	6.9	90.5	9.5	90.5
	40代		(3269)			2.4	6.3	91.3	8.7	91.3
	50代		(2755)			2.5	6.8	90.7	9.3	90.7
	60代		(3551)			2.8	9.2	88.1	11.9	88.1
	70代		(2192)			4.0	14.0	82.1	17.9	82.1
関与度	高関与層		(3133)			12.0	20.8	67.2	32.8	67.2
	中関与層		(4652)			3.2	12.3	84.5	15.5	84.5
	低関与層		(10215)			3.4		96.0	4.0	96.0

(3)「いじめ」しないさせない見逃さない

(全体)

➤「いじめ」しないさせない見逃さないを『見たことがある』は 22.6%（「見た 6.7%」＋「見たことがある気がする 16.0%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『見たことがある』は、男女いずれも 23%前後であった。

(年代別)

➤『見たことがある』は 40 歳代（18.1%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代（33.7%）が最も多い。

(関与度別)

- 『見たことがある』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は41Pであった。

		(n)	見たことがある	見たことがある気がする	見たことはない	あ 見 た こ と が	な 見 た こ と は
全体		(18000)	6.7	16.0	77.4	22.6	77.4
性別	男性	(8921)	6.9	15.3	77.8	22.2	77.8
	女性	(9079)	6.4	16.7	76.9	23.1	76.9
年代	10～19歳	(1069)	9.6	24.0	66.3	33.7	66.3
	20代	(2293)	7.3	14.3	78.4	21.6	78.4
	30代	(2871)	6.6	13.1	80.3	19.7	80.3
	40代	(3269)	5.0	13.1	81.9	18.1	81.9
	50代	(2755)	6.0	14.2	79.8	20.2	79.8
	60代	(3551)	6.7	17.8	75.5	24.5	75.5
	70代	(2192)	7.8	21.3	70.9	29.1	70.9
関与度	高関与層	(3133)	21.3	29.1	49.6	50.4	49.6
	中関与層	(4652)	8.0	23.9	68.0	32.0	68.0
	低関与層	(10215)	8.4		90.1	9.9	90.1

(4)全国中学生人権作文コンテスト入賞作文集

(全体)

- 全国中学生人権作文コンテスト入賞作文集を『見たことがある』は16.3%（「見た5.3%」＋「見たことがある気がする11.1%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『見たことがある』は、男女いずれも16%前後であった。

(年代別)

- 『見たことがある』は40歳代（12.3%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10歳代（27.2%）が最も多い。

(関与度別)

- 『見たことがある』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は37Pであった。

		(n)	見たことがある			見たことがある気がする	見たことはない	あ 見 た こ と が	な 見 た こ と は
全体		(18000)	5.3	11.1	83.7			16.3	83.7
性別	男性	(8921)	5.6	11.3	83.1			16.9	83.1
	女性	(9079)	5.0	10.8	84.2			15.8	84.2
年代	10～19歳	(1069)	10.1	17.1	72.8			27.2	72.8
	20代	(2293)	8.3	12.2	79.5			20.5	79.5
	30代	(2871)	4.8	10.6	84.5			15.5	84.5
	40代	(3269)	3.9	8.4	87.7			12.3	87.7
	50代	(2755)	3.7	9.5	86.8			13.2	86.8
	60代	(3551)	4.4	10.7	84.8			15.2	84.8
	70代	(2192)	6.0	13.8	80.2			19.8	80.2
関与度	高関与層	(3133)	18.1	24.1	57.8			42.2	57.8
	中間層	(4652)	6.0	17.2	76.7			23.3	76.7
	低関与層	(10215)	4.2		94.7			5.3	94.7

(5)あなたは大丈夫？考えよう！インターネットと人権

(全体)

➤あなたは大丈夫？考えよう！インターネットと人権（改訂版）を『見たことがある』は11.4%（「見た3.2%」＋「見たことがある気がする8.3%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『見たことがある』は、男性（12.7%）が女性（10.2%）よりやや多い。

(年代別)

➤『見たことがある』は40歳代（8.1%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10歳代（19.5%）が最も多い。

(関与度別)

➤『見たことがある』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は31Pであった。

		(n)	見たことがある			見たことがある気がする	見たことはない	あ 見 た こ と が	な 見 た こ と は
全体		(18000)	3.2	8.3	88.6			11.4	88.6
性別	男性	(8921)	3.5	9.1	87.3			12.7	87.3
	女性	(9079)	2.8	7.4	89.8			10.2	89.8
年代	10～19歳	(1069)	5.6	13.8	80.5			19.5	80.5
	20代	(2293)	5.1	9.4	85.6			14.4	85.6
	30代	(2871)	3.1	7.3	89.6			10.4	89.6
	40代	(3269)	2.6	5.5	91.9			8.1	91.9
	50代	(2755)	2.6	6.6	90.7			9.3	90.7
	60代	(3551)	2.4	8.4	89.2			10.8	89.2
	70代	(2192)	2.9	11.6	85.5			14.5	85.5
関与度	高関与層	(3133)	12.5	21.1	66.3			33.7	66.3
	中間層	(4652)	2.8	12.2	85.0			15.0	85.0
	低関与層	(10215)	2.5		97.0			3.0	97.0

(6)いっしょに学ぼう！障害のある人の人権～パラリンピックへ向けて～

(全体)

➤いっしょに学ぼう！障害のある人の人権～パラリンピックへ向けて～を『見たことがある』は9.6%（「見た2.5%」＋「見たことがある気がする7.1%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『見たことがある』は、男性（10.7%）が女性（8.5%）よりやや多い。

(年代別)

➤『見たことがある』は、40歳代（6.2%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70歳代（14.4%）が最も多い。

(関与度別)

➤『見たことがある』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は28Pであった。

					見たことがある	見たことがある気がする	見たことはない	見たことがある	見たことはない
(n)									
全体		(18000)	2.5	7.1	90.4			9.6	90.4
性別	男性	(8921)	2.8	7.9	89.3			10.7	89.3
	女性	(9079)	2.1	6.3	91.5			8.5	91.5
年代	10～19歳	(1069)	3.8	9.7	86.4			13.6	86.4
	20代	(2293)	3.2	8.4	88.4			11.6	88.4
	30代	(2871)	2.5	6.1	91.4			8.6	91.4
	40代	(3269)	4.5		93.8			6.2	93.8
	50代	(2755)	5.8		92.3			7.7	92.3
	60代	(3551)	2.1	7.4	90.5			9.5	90.5
	70代	(2192)	3.4	11.0	85.6			14.4	85.6
関与度	高関与層	(3133)	10.2	19.7	70.1			29.9	70.1
	中関与層	(4652)	2.1	10.0	87.9			12.1	87.9
	低関与層	(10215)	2.0		97.8			2.2	97.8

Q14 教材・コンテンツによる理解・関心の深まり(SA)

(Q14 この冊子（又はリーフレット）を見たことで、人権問題の理解や関心は深まりましたか。)

(1)人権の擁護

(全体)

➤人権の擁護を見て理解や関心が『深まった』は40.1%（「非常に深まった4.9%」＋「まあ深まった35.5%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『深まった』は、女性（42.8%）が男性（38.0%）よりやや多い。

(年代別)

➤『深まった』は 50 歳代（38.7%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代（44.6%）が最も多い。

(関与度別)

➤『深まった』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 38P であった。

							深 ま っ た	深 ま ら な い
			非常に深まった	まあ深まった	あまり深まらない	全く深まらない		
全体		(18000)	4.9	35.5	30.7	28.8	40.4	59.6
性別	男性	(8921)	4.7	33.3	29.1	32.8	38.0	62.0
	女性	(9079)	5.0	37.7	32.3	24.9	42.8	57.2
年代	10～19歳	(1069)	7.8	36.9	27.3	28.1	44.6	55.4
	20代	(2293)	6.5	36.2	27.3	30.0	42.7	57.3
	30代	(2871)	4.3	34.8	27.6	33.3	39.1	60.9
	40代	(3269)	4.3	34.8	29.6	31.4	39.1	60.9
	50代	(2755)	4.1	34.6	33.5	27.8	38.7	61.3
	60代	(3551)	4.4	35.7	34.3	25.6	40.1	59.9
	70代	(2192)	5.2	37.3	32.6	24.9	42.5	57.5
関与度	高関与層	(3133)	15.9	49.3	21.4	13.4	65.2	34.8
	中関与層	(4652)	4.9	48.6	30.4	16.1	53.5	46.5
	低関与層	(10215)	25.4	33.7	39.4		26.9	73.1

(2)みんなともだち

(全体)

➤みんなともだちを見て理解や関心が『深まった』は 39.4%（「非常に深まった 4.8%」＋「まあ深まった 34.7%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『深まった』は、女性（41.9%）が男性（36.9%）より 5P 多い。

(年代別)

➤『深まった』は 30 歳代（37.1%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代（43.4%）が最も多い。

(関与度別)

➤『深まった』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 32P であった。

		(n)	非常に深まった	まあ深まった	あまり深まらない	全く深まらない	深まった	深まらない
全体		(18000)	4.8	34.7	30.7	29.8	39.4	60.6
性別	男性	(8921)	4.6	32.3	29.5	33.6	36.9	63.1
	女性	(9079)	4.9	37.0	32.0	26.1	41.9	58.1
年代	10～19歳	(1069)	9.3	34.1	28.0	28.6	43.4	56.6
	20代	(2293)	5.9	33.8	29.2	31.1	39.6	60.4
	30代	(2871)	4.2	32.9	27.9	35.0	37.1	62.9
	40代	(3269)	3.9	34.6	29.3	32.1	38.6	61.4
	50代	(2755)	4.1	33.4	33.5	29.0	37.5	62.5
	60代	(3551)	4.1	36.2	33.5	26.2	40.2	59.8
	70代	(2192)	5.3	37.5	31.6	25.7	42.7	57.3
関与度	高関与層	(3133)	14.1	45.9	24.2	15.8	60.0	40.0
	中関与層	(4652)	5.2	46.5	30.9	17.4	51.7	48.3
	低関与層	(10215)		25.9	32.7	39.8	27.6	72.4

(3)「いじめ」しないさせない見逃さない

(全体)

➤「いじめ」しないさせない見逃さないを見て理解や関心が『深まった』は 45.1%（「非常に深まった 7.9%」＋「まあ深まった 37.2%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『深まった』は、女性（48.2%）が男性（42.0%）より 5P 多い。

(年代別)

➤『深まった』は、40 歳代（42.9%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（49.5%）が最も多い。

(関与度別)

➤『深まった』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 35P であった。

		(n)	非常に深まった	まあ深まった	あまり深まらない	全く深まらない	深まった	深まらない
全体		(18000)	7.9	37.2	26.8	28.1	45.1	54.9
性別	男性	(8921)	7.3	34.7	25.8	32.1	42.0	58.0
	女性	(9079)	8.4	39.8	27.7	24.1	48.2	51.8
年代	10～19歳	(1069)	10.9	36.9	24.9	27.3	47.8	52.2
	20代	(2293)	8.7	36.7	24.9	29.8	45.4	54.6
	30代	(2871)	6.8	36.6	24.2	32.4	43.4	56.6
	40代	(3269)	6.3	36.6	26.7	30.4	42.9	57.1
	50代	(2755)	6.9	36.8	28.8	27.5	43.7	56.3
	60代	(3551)	7.8	38.4	29.2	24.6	46.1	53.9
	70代	(2192)	10.9	38.6	26.6	23.9	49.5	50.5
関与度	高関与層	(3133)	21.1	45.5	19.8	13.6	66.6	33.4
	中関与層	(4652)	9.7	50.1	25.0	15.2	59.8	40.2
	低関与層	(10215)	3.0	28.9	29.8	38.4	31.9	68.1

(4)全国中学生人権作文コンテスト入賞作文集

(全体)

- 全国中学生人権作文コンテスト入賞作文集を見て理解や関心が『深まった』は 39.2%（「非常に深まった 5.9%」＋「まあ深まった 33.3%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『深まった』は、女性（42.2%）が男性（36.2%）より 6P 多い。

(年代別)

- 『深まった』は、30～50 歳代（37%強）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代（43.4%）が最も多い。

(関与度別)

- 『深まった』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 34P であった。

		(n)	非常に深まった	まあ深まった	あまり深まらない	全く深まらない	深まった	深まらない
全体		(18000)	5.9	33.3	31.0	29.8	39.2	60.8
性別	男性	(8921)	5.3	30.8	29.9	33.9	36.2	63.8
	女性	(9079)	6.4	35.8	32.1	25.7	42.2	57.8
年代	10～19歳	(1069)	9.1	34.3	27.3	29.3	43.4	56.6
	20代	(2293)	8.1	33.8	27.7	30.4	41.8	58.2
	30代	(2871)	5.4	31.8	28.9	33.9	37.2	62.8
	40代	(3269)	4.6	33.0	30.4	31.9	37.7	62.3
	50代	(2755)	4.9	32.3	33.8	29.0	37.2	62.8
	60代	(3551)	5.2	34.2	33.7	26.9	39.4	60.6
	70代	(2192)	6.9	34.5	32.1	26.5	41.4	58.6
関与度	高関与層	(3133)	17.0	43.8	24.4	14.8	60.8	39.2
	中関与層	(4652)	6.7	44.3	31.2	17.8	51.0	49.0
	低関与層	(10215)	2.1	25.1	33.0	39.8	27.2	72.8

(5)あなたは大丈夫？考えよう！インターネットと人権

(全体)

- あなたは大丈夫？考えよう！インターネットと人権(改訂版)を見て理解や関心が『深まった』は 41.1%（「非常に深まった 5.8%」＋「まあ深まった 35.2%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『深まった』は、女性（44.4%）が男性（37.7%）より 7P 多い。

(年代別)

- 『深まった』は、50 歳代（38.8%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて漸増し、20 歳代（44.8%）が最も多い。

(関与度別)

- 『深まった』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 35P

であった。



(6)いっしょに学ぼう！障害のある人の人権～パラリンピックへ向けて～

(全体)

➤いっしょに学ぼう！障害のある人の人権～パラリンピックへ向けて～を見て理解や関心が『深まった』は40.3%（「非常に深まった5.7%」＋「まあ深まった34.5%」。以下、同じ）であった。

(性別)

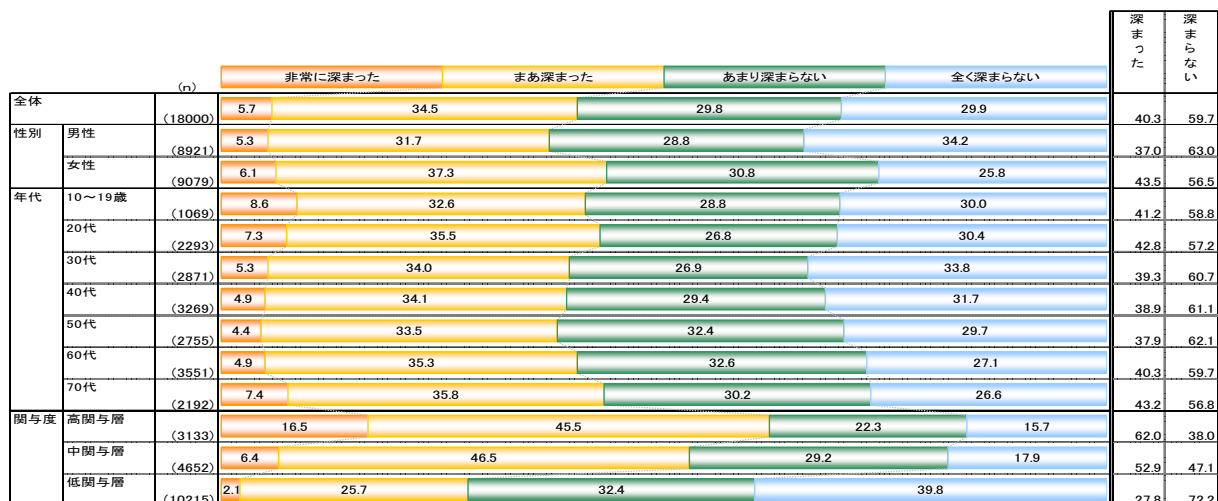
➤『深まった』は、女性（43.5%）が男性（37.0%）より7P多い。

(年代別)

➤『深まった』は、50歳代（37.9%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて増加し、70歳代（43.2%）が最も多い。

(関与度別)

➤『深まった』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は34Pであった。



Q15 教材・コンテンツを見て思ったこと、理解したこと(SA)

(Q15 冊子をご覧になって、思ったことや理解したことはどんなことでしたか。以下の項目について、当てはまるものをひとつずつお選びください。)

(1)人権の擁護

①人権問題を意識するきっかけになった

(全体)

➤『あてはまる』は 53.5% (「あてはまる 9.6%」 + 「ややあてはまる 43.9%」。以下、同じ) であった。

(性別)

➤『あてはまる』は、女性 (58.2%) が男性 (48.7%) より 10P 多い。

(年代別)

➤『あてはまる』は 40 歳代 (50.2%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (58.4%) が最も多い。

(関与度別)

➤『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 35P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	9.6	43.9	23.5	23.1	53.5	46.5
性別	男性	(8921)	8.5	40.2	24.2	27.1	48.7	51.3
	女性	(9079)	10.8	47.4	22.7	19.1	58.2	41.8
年代	10～19歳	(1069)	11.6	43.5	23.7	21.2	55.1	44.9
	20代	(2293)	10.5	44.6	22.2	22.6	55.1	44.9
	30代	(2871)	9.3	42.4	21.6	26.8	51.6	48.4
	40代	(3269)	8.3	41.9	23.9	25.9	50.2	49.8
	50代	(2755)	8.1	42.4	25.8	23.7	50.5	49.5
	60代	(3551)	9.1	46.6	24.2	20.1	55.8	44.2
	70代	(2192)	13.0	45.5	22.2	19.3	58.4	41.6
関与度	高関与層	(3133)	25.0	49.3	15.8	9.9	74.3	25.7
	中関与層	(4652)	11.9	57.9	19.3	10.9	69.8	30.2
	低関与層	(10215)	3.9	35.8	27.7	32.6	39.7	60.3

②人権問題についてもっと知りたくなった

(全体)

- 『あてはまる』は 40.6% (「あてはまる 6.8%」 + 「ややあてはまる 33.8%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (43.4%) が男性 (37.7%) より 6P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、40 歳代 (37.0%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (45.1%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 42P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	6.8	33.8	34.9	24.5	40.6	59.4
性別	男性	(8921)	6.4	31.3	33.8	28.5	37.7	62.3
	女性	(9079)	7.1	36.4	36.0	20.5	43.4	56.6
年代	10～19歳	(1069)	9.5	34.9	33.1	22.5	44.4	55.6
	20代	(2293)	8.5	35.7	31.5	24.3	44.2	55.8
	30代	(2871)	6.7	33.4	31.4	28.5	40.1	59.9
	40代	(3269)	5.9	31.1	35.9	27.1	37.0	63.0
	50代	(2755)	5.3	32.7	36.8	25.2	38.0	62.0
	60代	(3551)	5.8	34.2	38.5	21.4	40.1	59.9
	70代	(2192)	8.3	36.8	34.4	20.5	45.1	54.9
関与度	高関与層	(3133)	21.0	46.9	22.5	9.6	67.9	32.1
	中関与層	(4652)	7.3	47.1	33.8	11.8	54.4	45.6
	低関与層	(10215)	2.1	23.8	39.2	34.8	25.9	74.1

③家族や友人と話したいと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 31.4% (「あてはまる 5.0%」 + 「ややあてはまる 26.4%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (33.7%) が男性 (29.1%) よりやや多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、50 歳代 (28.9%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代 (35.2%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 39P であった。

			(n)				あてはまる	あてはまらない
							あてはまる	あてはまらない
全体		#####	5.0	26.4	39.3	29.2	31.4	68.6
性別	男性	(892)	4.7	24.4	37.7	33.2	29.1	70.9
	女性	(9079)	5.4	28.4	40.9	25.3	33.7	66.3
年代	10～19歳	(1069)	7.1	28.1	37.2	27.6	35.2	64.8
	20代	(2293)	7.1	26.0	36.8	30.1	33.1	66.9
	30代	(2871)	5.0	26.6	35.1	33.3	31.6	68.4
	40代	(3269)	4.8	25.5	38.0	31.8	30.3	69.7
	50代	(2755)	4.0	24.9	40.8	30.3	28.9	71.1
	60代	(3551)	3.6	26.3	44.6	25.5	29.9	70.1
	70代	(2192)	5.8	29.3	40.3	24.5	35.1	64.9
関与度	高関与層	(3133)	17.4	40.3	29.0	13.3	57.7	42.3
	中間層	(4652)	4.7	37.9	41.2	16.2	42.6	57.4
	低関与層	#####	16.9	41.7	40.0		18.3	81.7

④人権に関する催し物に参加してみたくなった

(全体)

- 『あてはまる』は 22.6% (「あてはまる 3.3%」 + 「ややあてはまる 19.3%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、男女いずれも 23%弱であった。

(年代別)

- 『あてはまる』は、50 歳代 (20.3%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代 (28.6%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 27P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	3.3	19.3	43.2	34.3	22.6	77.4
性別	男性	(8921)	3.3	19.4	40.0	37.3	22.7	77.3
	女性	(9079)	3.2	19.2	46.2	31.3	22.5	77.5
年代	10～19歳	(1069)	5.8	22.8	39.5	31.9	28.6	71.4
	20代	(2293)	4.1	20.5	40.2	35.2	24.7	75.3
	30代	(2871)	3.0	18.4	38.5	40.0	21.5	78.5
	40代	(3269)	2.8	17.7	42.0	37.5	20.5	79.5
	50代	(2755)	3.1	17.2	44.9	34.8	20.3	79.7
	60代	(3551)	2.5	19.4	47.9	30.3	21.8	78.2
	70代	(2192)	3.7	22.5	45.9	27.9	26.2	73.8
関与度	高関与層	(3133)	10.7	30.7	39.5	19.1	41.4	58.6
	中関与層	(4652)	3.0	25.1	49.0	22.8	28.1	71.9
	低関与層	(10215)	13.2	41.6	44.1		14.3	85.7

⑤自分も人の人権を尊重しなくてはいけないと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 55.9% (「あてはまる 15.9%」 + 「ややあてはまる 40.0%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (61.6%) が男性 (50.1%) より 12P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、40 歳代 (52.5%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (63.1%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 37P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	15.9	40.0	21.2	22.9	55.9	44.1
性別	男性	(8921)	13.0	37.1	22.6	27.3	50.1	49.9
	女性	(9079)	18.7	42.9	19.8	18.6	61.6	38.4
年代	10～19歳	(1069)	18.3	37.9	21.9	21.9	56.2	43.8
	20代	(2293)	16.7	38.8	22.3	22.2	55.5	44.5
	30代	(2871)	15.8	36.8	20.2	27.2	52.6	47.4
	40代	(3269)	13.9	38.6	22.5	25.0	52.5	47.5
	50代	(2755)	13.8	39.6	22.1	24.4	53.4	46.6
	60代	(3551)	15.6	43.7	20.6	20.1	59.3	40.7
	70代	(2192)	19.8	43.3	18.8	18.1	63.1	36.9
関与度	高関与層	(3133)	35.4	42.8	13.3	8.5	78.2	21.8
	中関与層	(4652)	21.4	52.7	15.5	10.4	74.1	25.9
	低関与層	(10215)	7.3	33.4	26.2	33.0	40.8	59.2

⑥相談する場所があることが分かった

(全体)

- 『あてはまる』は 56.8% (「あてはまる 16.4%」 + 「ややあてはまる 40.4%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (63.0%) が男性 (50.5%) より 13P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、40 歳代 (53.8%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (63.9%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 37P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	16.4	40.4	20.7	22.5	56.8	43.2
性別	男性	(8921)	12.9	37.6	22.4	27.1	50.5	49.5
	女性	(9079)	19.8	43.1	19.0	18.0	63.0	37.0
年代	10～19歳	(1069)	16.2	38.3	23.7	21.9	54.4	45.6
	20代	(2293)	17.6	38.8	21.8	21.8	56.3	43.7
	30代	(2871)	16.9	37.9	18.4	26.8	54.9	45.1
	40代	(3269)	15.0	38.8	21.4	24.8	53.8	46.2
	50代	(2755)	14.8	39.9	21.8	23.4	54.8	45.2
	60代	(3551)	15.7	43.6	20.8	19.9	59.3	40.7
	70代	(2192)	19.9	43.9	18.3	17.8	63.9	36.1
関与度	高関与層	(3133)	35.7	43.5	12.2	8.6	79.2	20.8
	中関与層	(4652)	21.5	52.8	15.6	10.1	74.2	25.8
	低関与層	(10215)	8.2	33.8	25.6	32.4	42.0	58.0

⑦人権擁護委員の存在を知るきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 53.4% (「あてはまる 12.7%」 + 「ややあてはまる 40.7%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (59.3%) が男性 (47.4%) より 12P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、40 歳代 (50.2%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (59.9%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 34P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	12.7	40.7	23.2	23.4	53.4	46.6
性別	男性	(8921)	10.2	37.2	24.7	27.9	47.4	52.6
	女性	(9079)	15.2	44.1	21.7	19.0	59.3	40.7
年代	10～19歳	(1069)	13.8	37.4	26.0	22.8	51.2	48.8
	20代	(2293)	13.5	39.9	23.8	22.8	53.4	46.6
	30代	(2871)	12.0	39.6	21.0	27.4	51.5	48.5
	40代	(3269)	11.0	39.2	24.4	25.4	50.2	49.8
	50代	(2755)	11.9	39.1	24.2	24.8	51.0	49.0
	60代	(3551)	12.4	43.8	23.1	20.6	56.3	43.7
	70代	(2192)	16.3	43.7	21.2	18.9	59.9	40.1
関与度	高関与層	(3133)	27.7	46.4	15.9	10.0	74.1	25.9
	中関与層	(4652)	16.1	52.6	20.1	11.2	68.7	31.3
	低関与層	(10215)	6.6	33.5	26.8	33.1	40.1	59.9

⑧人権擁護委員に相談できることがわかった

(全体)

- 『あてはまる』は 54.9% (「あてはまる 14.1%」 + 「ややあてはまる 40.8%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (60.9%) が男性 (48.7%) より 12P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、40 歳代 (51.8%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (62.0%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 36P であった。

			(n)				あてはまる	あてはまらない
							あてはまる	あてはまらない
全体			(18000)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
性別	男性	(8921)	14.1	40.8	22.1	23.0	54.9	45.1
	女性	(9079)	10.8	37.9	23.8	27.5	48.7	51.3
年代	10～19歳	(1069)	17.2	43.7	20.4	18.7	60.9	39.1
	20代	(2293)	14.3	37.9	25.5	22.3	52.2	47.8
	30代	(2871)	14.2	40.2	23.2	22.4	54.4	45.6
	40代	(3269)	13.3	39.4	19.6	27.7	52.7	47.3
	50代	(2755)	12.2	39.6	22.9	25.3	51.8	48.2
	60代	(3551)	12.8	39.8	23.5	23.9	52.6	47.4
	70代	(2192)	14.3	43.6	22.0	20.1	57.9	42.1
	関与度	(3133)	18.8	43.2	19.7	18.2	62.0	38.0
関与度	高関与層	(3133)	30.6	46.1	14.0	9.3	76.6	23.4
	中関与層	(4652)	18.1	53.0	18.1	10.8	71.1	28.9
	低関与層	(10215)	7.1	33.6	26.4	32.8	40.8	59.2

(2)みんなともだち

①人権問題を意識するきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 51.8% (「あてはまる 9.5%」 + 「ややあてはまる 42.2%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (56.7%) が男性 (46.8%) より 10P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、50 歳代 (48.9%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (57.5%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 32P であった。

			(n)				あてはまる	あてはまらない
全体			(18000)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
性別	男性	(8921)	9.5	42.2	24.2	24.0	51.8	48.2
	女性	(9079)	8.0	38.7	25.1	28.2	46.8	53.2
年代	10～19歳	(1069)	11.0	45.7	23.4	19.9	56.7	43.3
	20代	(2293)	13.8	38.4	25.6	22.1	52.3	47.7
	30代	(2871)	11.0	40.9	24.1	24.0	51.9	48.1
	40代	(3269)	8.6	40.9	22.2	28.4	49.5	50.5
	50代	(2755)	8.0	41.0	24.8	26.2	49.0	51.0
	60代	(3551)	8.1	40.7	26.5	24.7	48.9	51.1
	70代	(2192)	8.7	45.8	24.7	20.7	54.6	45.4
	関与度	(10215)	12.6	44.9	22.0	20.5	57.5	42.5
関与度	高関与層	(3133)	23.4	47.4	18.0	11.2	70.8	29.2
	中関与層	(4652)	11.7	54.9	21.2	12.2	66.6	33.4
	低関与層	(10215)	4.3	34.9	27.5	33.3	39.1	60.9

②人権問題についてもっと知りたくなった

(全体)

- 『あてはまる』は 40.1% (「あてはまる 7.3%」 + 「ややあてはまる 33.1%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (43.6%) が男性 (37.1%) より 7P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、40 歳代 (37.8%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (45.3%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 40P であった。

			(n)				あてはまる	あてはまらない
全体			(18000)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
性別	男性	(8921)	7.3	33.1	33.6	26.0	40.4	59.6
	女性	(9079)	6.7	30.4	32.8	30.1	37.1	62.9
年代	10～19歳	(1069)	8.0	35.7	34.4	22.0	43.6	56.4
	20代	(2293)	12.5	30.1	34.0	23.4	42.7	57.3
	30代	(2871)	9.5	32.9	31.0	26.6	42.4	57.6
	40代	(3269)	6.9	32.8	30.2	30.1	39.8	60.2
	50代	(2755)	6.3	31.5	34.0	28.2	37.8	62.2
	60代	(3551)	5.8	32.1	34.8	27.4	37.9	62.1
	70代	(2192)	6.5	33.8	37.1	22.6	40.3	59.7
	関与度	(10215)	8.1	37.2	32.9	21.8	45.3	54.7
関与度	高関与層	(3133)	21.2	44.9	21.7	12.3	66.1	33.9
	中関与層	(4652)	8.4	45.1	33.2	13.3	53.5	46.5
	低関与層	(10215)	2.6	24.0	37.4	36.0	26.6	73.4

③家族や友人と話したいと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 32.6% (「あてはまる 5.9%」 + 「ややあてはまる 26.7%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (35.4%) が男性 (29.7%) より 6P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、50 歳代 (30.2%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (38.0%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 38P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	5.9	26.7	37.7	29.7	32.6	67.4
性別	男性	(8921)	5.0	24.7	36.5	33.8	29.7	70.3
	女性	(9079)	6.8	28.6	38.9	25.7	35.4	64.6
年代	10～19歳	(1069)	9.4	26.5	36.7	27.4	35.9	64.1
	20代	(2293)	7.5	26.1	34.9	31.5	33.6	66.4
	30代	(2871)	5.9	25.6	34.0	34.5	31.5	68.5
	40代	(3269)	5.0	26.0	36.7	32.2	31.1	68.9
	50代	(2755)	5.2	25.0	39.6	30.2	30.2	69.8
	60代	(3551)	4.7	26.9	42.7	25.8	31.6	68.4
	70代	(2192)	6.7	31.3	37.0	25.0	38.0	62.0
関与度	高関与層	(3133)	18.3	39.3	27.4	14.9	57.6	42.4
	中関与層	(4652)	6.3	37.9	38.4	17.3	44.3	55.7
	低関与層	(10215)	17.6	40.5	39.9		19.5	80.5

④人権に関する催し物に参加してみたくなった

(全体)

- 『あてはまる』は 24.8% (「あてはまる 4.0%」 + 「ややあてはまる 20.8%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、男女いずれも 25%前後であった。

(年代別)

- 『あてはまる』は、50 歳代 (22.2%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代 (30.1%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 27P であった。

		(n)	あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない				あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	4.0	20.8	41.3	34.0	24.8	75.3
性別	男性	(8921)	3.9	20.5	38.7	36.9	24.4	75.6
	女性	(9079)	4.0	21.1	43.8	31.1	25.1	74.9
年代	10～19歳	(1069)	6.0	24.1	39.6	30.3	30.1	69.9
	20代	(2293)	5.5	22.2	37.0	35.4	27.6	72.4
	30代	(2871)	3.8	19.9	36.5	39.8	23.7	76.3
	40代	(3269)	2.9	19.6	40.7	36.8	22.5	77.5
	50代	(2755)	3.3	18.9	43.5	34.3	22.2	77.8
	60代	(3551)	3.2	20.9	45.6	30.3	24.1	75.9
	70代	(2192)	5.4	22.7	43.8	28.1	28.1	71.9
関与度	高関与層	(3133)	12.4	30.8	36.6	20.2	43.2	56.8
	中関与層	(4652)	3.7	27.7	45.4	23.2	31.4	68.6
	低関与層	(10215)	14.6	40.8	43.2		16.0	84.0

⑤自分も人の人権を尊重しなくてはいけないと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 53.6% (「あてはまる 14.0%」 + 「ややあてはまる 39.7%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (59.3%) が男性 (47.8%) より 12P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、40 歳代 (50.4%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (60.1%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 35P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	14.0	39.7	22.4	24.0	53.6	46.4
性別	男性	(8921)	11.2	36.6	23.9	28.3	47.8	52.2
	女性	(9079)	16.7	42.6	20.9	19.8	59.3	40.7
年代	10～19歳	(1069)	16.5	35.7	24.9	22.9	52.2	47.8
	20代	(2293)	14.9	38.8	23.0	23.3	53.7	46.3
	30代	(2871)	13.4	37.1	21.0	28.5	50.5	49.5
	40代	(3269)	12.1	38.3	23.1	26.5	50.4	49.6
	50代	(2755)	12.7	38.6	23.7	25.0	51.3	48.7
	60代	(3551)	13.7	43.5	22.0	20.8	57.2	42.8
	70代	(2192)	17.2	43.0	20.5	19.4	60.1	39.9
関与度	高関与層	(3133)	30.7	43.9	14.6	10.9	74.5	25.5
	中関与層	(4652)	18.4	51.0	18.6	12.0	69.4	30.6
	低関与層	(10215)	6.8	33.2	26.5	33.5	40.0	60.0

⑥相談する場所があることが分かった

(全体)

- 『あてはまる』は 53.0% (「あてはまる 13.1%」 + 「ややあてはまる 39.9%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (59.3%) が男性 (46.6%) より 13P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、50 歳代 (50.1%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (59.0%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 33P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	13.1	39.9	23.0	24.0	53.0	47.0
性別	男性	(8921)	9.9	36.7	24.9	28.5	46.6	53.4
	女性	(9079)	16.2	43.1	21.1	19.5	59.3	40.7
年代	10～19歳	(1069)	14.2	37.7	26.2	21.9	51.9	48.1
	20代	(2293)	14.3	37.9	24.1	23.8	52.2	47.8
	30代	(2871)	12.0	38.5	21.0	28.6	50.4	49.6
	40代	(3269)	11.7	38.9	23.2	26.2	50.6	49.4
	50代	(2755)	11.5	38.5	24.9	25.1	50.1	49.9
	60代	(3551)	13.2	43.6	22.2	21.0	56.8	43.2
	70代	(2192)	16.7	42.4	21.5	19.5	59.0	41.0
関与度	高関与層	(3133)	28.7	44.7	15.4	11.3	73.3	26.7
	中関与層	(4652)	16.8	51.0	20.1	12.1	67.8	32.2
	低関与層	(10215)	6.6	33.4	26.6	33.3	40.0	60.0

⑦人権擁護委員の存在を知るきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 50.3% (「あてはまる 11.5%」 + 「ややあてはまる 38.8%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (56.2%) が男性 (44.3%) より 12P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、40 歳代 (47.2%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (57.4%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 31P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	11.5	38.8	25.1	24.6	50.3	49.7
性別	男性	(8921)	8.7	35.6	26.6	29.1	44.3	55.7
	女性	(9079)	14.3	41.9	23.7	20.2	56.2	43.8
年代	10～19歳	(1069)	13.4	34.2	28.9	23.5	47.6	52.4
	20代	(2293)	11.6	37.5	26.7	24.1	49.1	50.9
	30代	(2871)	10.6	37.7	22.5	29.3	48.2	51.8
	40代	(3269)	9.7	37.5	26.3	26.5	47.2	52.8
	50代	(2755)	10.6	36.9	26.6	25.9	47.5	52.5
	60代	(3551)	11.7	42.5	24.2	21.6	54.2	45.8
	70代	(2192)	15.1	42.2	22.8	19.8	57.4	42.6
関与度	高関与層	(3133)	25.2	44.1	18.6	12.1	69.3	30.7
	中関与層	(4652)	14.3	49.5	23.2	13.0	63.8	36.2
	低関与層	(10215)	6.0	32.3	28.0	33.7	38.3	61.7

⑧人権擁護委員に相談できることがわかった

(全体)

- 『あてはまる』は 51.6% (「あてはまる 12.4%」 + 「ややあてはまる 39.1%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (57.8%) が男性 (45.2%) より 13P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、40 歳代 (48.5%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (58.9%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 32P であった。

		(n)				あてはまる	あてはまらない
		あてはまる		ややあてはまる		あまりあてはまらない	あてはまらない
全体		(18000)	12.4	39.1	24.2	24.2	51.6 48.4
性別	男性	(8921)	9.6	35.7	26.1	28.7	45.2 54.8
	女性	(9079)	15.3	42.5	22.4	19.8	57.8 42.2
年代	10～19歳	(1069)	13.4	34.2	28.9	23.5	47.6 52.4
	20代	(2293)	13.3	37.3	25.8	23.6	50.6 49.4
	30代	(2871)	11.0	38.1	22.3	28.6	49.1 50.9
	40代	(3269)	10.4	38.1	25.0	26.5	48.5 51.5
	50代	(2755)	11.4	37.5	26.0	25.2	48.8 51.2
	60代	(3551)	12.7	43.1	23.1	21.1	55.8 44.2
	70代	(2192)	16.9	42.0	21.2	19.9	58.9 41.1
関与度	高関与層	(3133)	27.2	44.2	17.1	11.5	71.4 28.6
	中関与層	(4652)	15.6	50.1	21.9	12.4	65.7 34.3
	低関与層	(10215)	6.4	32.6	27.5	33.5	39.0 61.0

(3)「いじめ」しないさせない見逃さない

①人権問題を意識するきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 54.3%（「あてはまる 12.1%」＋「ややあてはまる 42.2%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（59.5%）が男性（49.0%）より 11P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、40 歳代（50.8%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（60.3%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 32P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	12.1	42.2	22.4	23.3	54.3	45.7
性別	男性	(8921)	10.2	38.8	23.4	27.6	49.0	51.0
	女性	(9079)	14.0	45.5	21.4	19.1	59.5	40.5
年代	10～19歳	(1069)	14.2	39.9	23.9	22.0	54.1	45.9
	20代	(2293)	13.8	40.7	21.9	23.6	54.5	45.5
	30代	(2871)	11.3	40.8	20.7	27.2	52.1	47.9
	40代	(3269)	10.0	40.8	23.6	25.6	50.8	49.2
	50代	(2755)	10.3	41.1	24.5	24.1	51.4	48.6
	60代	(3551)	11.7	46.2	22.0	20.1	57.9	42.1
	70代	(2192)	16.5	43.8	20.3	19.4	60.3	39.7
関与度	高関与層	(3133)	28.9	44.6	16.2	10.4	73.4	26.6
	中関与層	(4652)	15.1	55.1	18.4	11.4	70.2	29.8
	低関与層	(10215)	5.6	35.6	26.1	32.7	41.2	58.8

②人権問題についてもっと知りたくなった

(全体)

- 『あてはまる』は 42.6% (「あてはまる 9.1%」 + 「ややあてはまる 33.5%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (46.1%) が男性 (39.0%) より 7P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、50 歳代 (39.4%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (47.7%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 40P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	9.1	33.5	32.2	25.2	42.6	57.4
性別	男性	(8921)	8.3	30.7	31.8	29.2	39.0	61.0
	女性	(9079)	9.9	36.2	32.6	21.3	46.1	53.9
年代	10～19歳	(1069)	12.2	33.8	31.0	23.1	45.9	54.1
	20代	(2293)	10.8	34.5	29.1	25.7	45.2	54.8
	30代	(2871)	8.8	32.9	29.1	29.2	41.7	58.3
	40代	(3269)	7.8	32.0	32.4	27.8	39.8	60.2
	50代	(2755)	7.8	31.7	34.5	26.1	39.4	60.6
	60代	(3551)	8.1	34.3	35.4	22.2	42.4	57.6
	70代	(2192)	11.6	36.0	31.9	20.4	47.7	52.3
関与度	高関与層	(3133)	25.6	42.3	20.9	11.2	67.9	32.1
	中関与層	(4652)	11.1	45.7	30.6	12.6	56.8	43.2
	低関与層	(10215)	3.2	25.2	36.4	35.2	28.3	71.7

③家族や友人と話したいと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 35.3% (「あてはまる 7.6%」 + 「ややあてはまる 27.7%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (38.5%) が男性 (32.1%) より 6P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、40 歳代 (33.3%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (40.7%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 40P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	7.6	27.7	35.6	29.0	35.3	64.7
	性別							
	男性	(8921)	6.6	25.5	34.9	33.0	32.1	67.9
	女性	(9079)	8.6	29.9	36.4	25.2	38.5	61.5
年代	10～19歳	(1069)	10.8	26.6	35.3	27.4	37.3	62.7
	20代	(2293)	8.5	27.2	33.6	30.7	35.7	64.3
	30代	(2871)	7.5	27.4	30.9	34.2	35.0	65.0
	40代	(3269)	6.9	26.3	35.5	31.2	33.3	66.7
	50代	(2755)	6.6	26.8	37.4	29.3	33.4	66.6
	60代	(3551)	6.6	28.3	39.6	25.4	34.9	65.1
	70代	(2192)	9.2	31.5	35.6	23.7	40.7	59.3
関与度	高関与層	(3133)	22.0	39.7	24.7	13.6	61.7	38.3
	中間層	(4652)	8.7	39.9	35.0	16.4	48.6	51.4
	低関与層	(10215)	2.7	18.5	39.2	39.5	21.3	78.7

④人権に関する催し物に参加してみたくなった

(全体)

- 『あてはまる』は 26.5% (「あてはまる 5.1%」 + 「ややあてはまる 21.4%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、男女いずれも 27%前後であった。

(年代別)

- 『あてはまる』は、40 歳代 (23.6%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代 (32.3%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 29P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	5.1	21.4	40.3	33.2	26.5	73.5
性別	男性	(8921)	4.9	20.8	38.4	35.8	25.8	74.2
	女性	(9079)	5.3	21.9	42.1	30.7	27.2	72.8
年代	10～19歳	(1069)	8.0	24.3	38.0	29.7	32.3	67.7
	20代	(2293)	6.6	22.4	35.4	35.6	29.0	71.0
	30代	(2871)	4.3	21.3	35.3	39.1	25.6	74.4
	40代	(3269)	4.2	19.4	40.0	36.3	23.6	76.4
	50代	(2755)	4.6	19.7	42.5	33.1	24.4	75.6
	60代	(3551)	4.3	21.9	44.6	29.3	26.1	73.9
	70代	(2192)	6.8	23.1	43.6	26.6	29.8	70.2
関与度	高関与層	(3133)	14.8	30.9	35.1	19.1	45.8	54.2
	中関与層	(4652)	5.5	28.3	43.7	22.4	33.9	66.1
	低関与層	(10215)	2.0	15.3	40.3	42.5	17.2	82.8

⑤自分も人の人権を尊重しなくてはいけないと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 55.0% (「あてはまる 15.1%」 + 「ややあてはまる 39.8%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (61.0%) が男性 (48.8%) より 12P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30・40 歳代 (51.9%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (61.3%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 35P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	15.1	39.8	21.8	23.3	55.0	45.0
性別	男性	(8921)	12.2	36.6	23.7	27.5	48.8	51.2
	女性	(9079)	18.1	43.0	19.8	19.1	61.0	39.0
年代	10～19歳	(1069)	16.7	35.7	25.5	22.1	52.4	47.6
	20代	(2293)	15.7	38.1	23.0	23.2	53.8	46.2
	30代	(2871)	14.4	37.4	20.5	27.7	51.9	48.1
	40代	(3269)	13.2	38.8	22.1	26.0	51.9	48.1
	50代	(2755)	13.7	39.5	22.4	24.4	53.2	46.8
	60代	(3551)	15.7	43.6	20.8	19.9	59.3	40.7
	70代	(2192)	18.8	42.6	20.5	18.2	61.3	38.7
関与度	高関与層	(3133)	32.9	43.4	14.0	9.7	76.3	23.7
	中関与層	(4652)	20.0	50.9	17.9	11.1	71.0	29.0
	低関与層	(10215)	7.5	33.7	25.9	33.0	41.1	58.9

⑥相談する場所があることが分かった

(全体)

- 『あてはまる』は 54.2% (「あてはまる 14.3%」 + 「ややあてはまる 39.9%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (60.8%) が男性 (47.4%) より 13P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、40 歳代 (51.2%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (60.3%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 35P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	14.3	39.9	22.5	23.4	54.2	45.8
性別	男性	(8921)	11.0	36.4	24.9	27.7	47.4	52.6
	女性	(9079)	17.5	43.2	20.1	19.1	60.8	39.2
年代	10～19歳	(1069)	15.3	35.2	27.2	22.3	50.5	49.5
	20代	(2293)	14.7	39.0	22.9	23.3	53.7	46.3
	30代	(2871)	13.3	38.1	20.9	27.8	51.4	48.6
	40代	(3269)	12.7	38.5	23.1	25.7	51.2	48.8
	50代	(2755)	12.8	39.5	23.5	24.1	52.3	47.7
	60代	(3551)	14.5	43.6	21.6	20.3	58.1	41.9
	70代	(2192)	18.7	41.7	20.9	18.8	60.3	39.7
関与度	高関与層	(3133)	31.7	43.9	14.3	10.2	75.6	24.4
	中関与層	(4652)	18.0	51.3	19.1	11.6	69.3	30.7
	低関与層	(10215)	7.3	33.4	26.5	32.8	40.7	59.3

⑦人権擁護委員の存在を知るきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 51.4% (「あてはまる 12.4%」 + 「ややあてはまる 39.0%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (57.7%) が男性 (45.0%) より 13P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、40 歳代 (47.6%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (58.9%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 32P であった。

		(n)				あてはまる	あてはまらない
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
全体		(18000)	12.4	39.0	24.5	24.1	51.4 48.6
性別	男性	(8921)	9.9	35.2	26.6	28.4	45.0 55.0
	女性	(9079)	15.0	42.7	22.5	19.8	57.7 42.3
年代	10～19歳	(1069)	12.9	35.5	28.1	23.5	48.5 51.5
	20代	(2293)	13.0	37.9	24.8	24.2	50.9 49.1
	30代	(2871)	11.2	37.6	23.0	28.2	48.8 51.2
	40代	(3269)	10.5	37.0	26.2	26.2	47.6 52.4
	50代	(2755)	11.3	38.2	25.5	25.1	49.4 50.6
	60代	(3551)	12.8	42.4	24.0	20.7	55.2 44.8
	70代	(2192)	17.0	41.9	21.6	19.5	58.9 41.1
関与度	高関与層	(3133)	27.7	43.1	17.8	11.4	70.8 29.2
	中関与層	(4652)	15.3	49.8	22.5	12.4	65.1 34.9
	低関与層	(10215)	6.5	32.8	27.5	33.2	39.2 60.8

⑧人権擁護委員に相談できることがわかった

(全体)

- 『あてはまる』は 52.7% (「あてはまる 13.3%」 + 「ややあてはまる 39.4%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (59.1%) が男性 (46.3%) より 13P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、40 歳代 (49.8%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (59.8%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 34P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	13.3	39.4	23.5	23.7	52.7	47.3
性別	男性	(8921)	10.3	36.0	25.6	28.1	46.3	53.7
	女性	(9079)	16.3	42.8	21.5	19.4	59.1	40.9
年代	10～19歳	(1069)	14.0	34.5	28.3	23.2	48.6	51.4
	20代	(2293)	13.7	38.5	24.4	23.5	52.1	47.9
	30代	(2871)	11.9	38.1	22.3	27.7	50.0	50.0
	40代	(3269)	11.1	38.7	24.3	25.9	49.8	50.2
	50代	(2755)	11.8	38.7	24.6	24.9	50.5	49.5
	60代	(3551)	14.1	42.6	22.7	20.6	56.7	43.3
	70代	(2192)	18.2	41.5	21.0	19.2	59.8	40.2
関与度	高関与層	(3133)	29.5	43.8	15.8	10.9	73.3	26.7
	中関与層	(4652)	16.8	50.5	21.0	11.7	67.3	32.7
	低関与層	(10215)	6.7	33.1	27.1	33.1	39.8	60.2

(4)全国中学生人権作文コンテスト入賞作文集

①人権問題を意識するきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 49.7%（「あてはまる 10.2%」＋「ややあてはまる 39.5%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（54.6%）が男性（44.7%）より 10P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、50 歳代（46.1%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（53.7%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 31P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	10.2	39.5	25.3	25.0	49.7	50.3
性別	男性	(8921)	8.5	36.2	26.1	29.2	44.7	55.3
	女性	(9079)	12.0	42.6	24.6	20.8	54.6	45.4
年代	10～19歳	(1069)	14.5	37.2	24.9	23.4	51.7	48.3
	20代	(2293)	13.1	38.5	23.8	24.6	51.6	48.4
	30代	(2871)	9.4	37.9	24.0	28.7	47.3	52.7
	40代	(3269)	7.9	38.8	25.8	27.4	46.7	53.3
	50代	(2755)	8.6	37.4	27.9	26.0	46.1	53.9
	60代	(3551)	9.5	43.5	25.3	21.8	52.9	47.1
	70代	(2192)	13.1	40.6	25.0	21.4	53.7	46.3
関与度	高関与層	(3133)	24.8	43.9	19.6	11.8	68.6	31.4
	中関与層	(4652)	12.6	51.5	22.7	13.2	64.1	35.9
	低関与層	(10215)	4.7	32.6	28.3	34.4	37.4	62.6

②人権問題についてもっと知りたくなった

(全体)

- 『あてはまる』は 39.4% (「あてはまる 7.9%」 + 「ややあてはまる 31.6%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (42.6%) が男性 (36.2%) より 6P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、40 歳代 (36.3%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (43.1%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 38P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	7.9	31.6	33.8	26.8	39.4	60.6
性別	男性	(8921)	7.0	29.3	33.0	30.8	36.2	63.8
	女性	(9079)	8.7	33.8	34.6	22.8	42.6	57.4
年代	10～19歳	(1069)	13.0	29.2	33.1	24.7	42.2	57.8
	20代	(2293)	10.5	32.7	29.4	27.4	43.2	56.8
	30代	(2871)	7.4	30.8	31.3	30.5	38.2	61.8
	40代	(3269)	6.3	30.1	34.6	29.0	36.3	63.7
	50代	(2755)	6.2	30.7	34.9	28.2	37.0	63.0
	60代	(3551)	7.0	32.8	36.8	23.5	39.7	60.3
	70代	(2192)	9.1	33.9	34.4	22.5	43.1	56.9
関与度	高関与層	(3133)	21.9	41.6	24.2	12.4	63.5	36.5
	中関与層	(4652)	9.1	43.7	32.4	14.8	52.8	47.2
	低関与層	(10215)	3.0	23.0	37.3	36.7	26.0	74.0

③家族や友人と話したいと思った

(全体)

➤『あてはまる』は 32.8%（「あてはまる 6.3%」＋「ややあてはまる 26.5%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『あてはまる』は、女性（35.8%）が男性（29.8%）より 6P 多い。

(年代別)

➤『あてはまる』は、50 歳代（30.3%）が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（37.6%）が最も多い。

(関与度別)

➤『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 39P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	6.3	26.5	36.7	30.5	32.8	67.2
性別	男性	(8921)	5.6	24.2	35.9	34.3	29.8	70.2
	女性	(9079)	7.1	28.7	37.5	26.7	35.8	64.2
年代	10～19歳	(1069)	9.1	28.4	34.4	28.1	37.5	62.5
	20代	(2293)	9.0	25.5	33.2	32.3	34.5	65.5
	30代	(2871)	5.4	26.4	33.2	35.0	31.8	68.2
	40代	(3269)	5.4	25.3	36.6	32.8	30.7	69.3
	50代	(2755)	5.6	24.7	38.4	31.4	30.3	69.7
	60代	(3551)	5.2	26.9	41.4	26.6	32.1	67.9
	70代	(2192)	7.8	29.8	36.6	25.8	37.6	62.4
関与度	高関与層	(3133)	19.4	38.7	27.1	14.9	58.0	42.0
	中関与層	(4652)	6.7	38.2	36.7	18.4	44.9	55.1
	低関与層	(10215)	2.2	17.4	39.7	40.8	19.5	80.5

④人権に関する催し物に参加してみたくなった

(全体)

➤『あてはまる』は 25.7%（「あてはまる 4.7%」＋「ややあてはまる 21.0%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『あてはまる』は、男女いずれも 26%前後であった。

(年代別)

➤『あてはまる』は、40 歳代（22.8%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代（31.5%）が最も多い。

(関与度別)

➤『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 28P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	4.7	21.0	40.2	34.1	25.7	74.3
性別	男性	(8921)	4.5	20.5	38.0	37.0	25.0	75.0
	女性	(9079)	5.0	21.4	42.3	31.3	26.4	73.6
年代	10～19歳	(1069)	7.2	24.3	39.2	29.3	31.5	68.5
	20代	(2293)	6.5	21.7	35.7	36.1	28.2	71.8
	30代	(2871)	3.9	20.8	36.2	39.1	24.7	75.3
	40代	(3269)	3.9	19.0	39.6	37.6	22.8	77.2
	50代	(2755)	3.9	19.5	41.6	35.0	23.4	76.6
	60代	(3551)	3.8	21.1	44.9	30.2	24.9	75.1
	70代	(2192)	6.6	23.3	42.1	28.0	29.9	70.1
関与度	高関与層	(3133)	14.4	30.5	34.6	20.6	44.8	55.2
	中関与層	(4652)	4.7	27.8	43.4	24.1	32.5	67.5
	低関与層	(10215)	14.9	40.4	42.9		16.7	83.3

⑤自分も人の人権を尊重しなくてはいけないと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 51.7% (「あてはまる 13.4%」 + 「ややあてはまる 38.2%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (57.3%) が男性 (45.9%) より 11P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (48.7%) が最も少なく、それより年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (57.7%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 34P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	13.4	38.2	23.7	24.6	51.7	48.3
性別	男性	(8921)	10.6	35.3	24.8	29.2	45.9	54.1
	女性	(9079)	16.2	41.1	22.6	20.1	57.3	42.7
年代	10～19歳	(1069)	16.3	35.8	25.4	22.5	52.1	47.9
	20代	(2293)	15.3	36.5	23.2	24.9	51.9	48.1
	30代	(2871)	12.2	36.5	22.7	28.6	48.7	51.3
	40代	(3269)	11.6	37.2	24.3	26.9	48.8	51.2
	50代	(2755)	11.7	37.2	25.2	26.0	48.8	51.2
	60代	(3551)	13.0	42.0	23.5	21.5	55.1	44.9
	70代	(2192)	17.4	40.2	22.3	20.0	57.7	42.3
関与度	高関与層	(3133)	30.2	42.2	16.7	10.9	72.4	27.6
	中関与層	(4652)	17.3	49.7	20.1	12.9	67.0	33.0
	低関与層	(10215)	6.5	31.8	27.5	34.1	38.4	61.6

⑥相談する場所があることが分かった

(全体)

- 『あてはまる』は 48.9%（「あてはまる 11.9%」＋「ややあてはまる 37.1%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（54.8%）が男性（42.9%）より 12P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、40 歳代（45.5%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（56.1%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 31P であった。

		(n)				あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
性別	男性	(8921)	9.2	33.8	27.2	29.8	42.9
	女性	(9079)	14.5	40.3	24.4	20.8	54.8
年代	10～19歳	(1069)	12.5	34.5	29.1	23.9	47.1
	20代	(2293)	12.3	35.5	26.1	26.2	47.7
	30代	(2871)	10.1	35.6	25.0	29.3	45.7
	40代	(3269)	10.2	35.2	27.0	27.5	45.5
	50代	(2755)	10.6	36.0	26.8	26.6	46.6
	60代	(3551)	12.1	41.3	24.8	21.9	53.4
	70代	(2192)	16.8	39.2	23.4	20.5	56.1
関与度	高関与層	(3133)	26.5	41.7	19.4	12.4	68.1
	中関与層	(4652)	14.6	47.9	23.8	13.8	62.4
	低関与層	(10215)	6.1	30.7	28.7	34.5	36.9

⑦人権擁護委員の存在を知るきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 47.5%（「あてはまる 10.7%」＋「ややあてはまる 36.8%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（53.3%）が男性（41.6%）より 12P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、40 歳代（43.8%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（55.4%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 29P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	10.7	36.8	26.7	25.8	47.5	52.5
性別	男性	(8921)	8.2	33.4	27.8	30.6	41.6	58.4
	女性	(9079)	13.2	40.1	25.6	21.2	53.3	46.7
年代	10～19歳	(1069)	11.8	33.3	30.5	24.4	45.1	54.9
	20代	(2293)	10.9	35.4	27.3	26.5	46.3	53.7
	30代	(2871)	9.3	34.6	26.3	29.8	43.9	56.1
	40代	(3269)	8.7	35.0	27.9	28.3	43.8	56.2
	50代	(2755)	9.7	35.9	27.4	27.0	45.6	54.4
	60代	(3551)	11.3	40.6	25.9	22.3	51.8	48.2
	70代	(2192)	15.3	40.1	23.5	21.1	55.4	44.6
関与度	高関与層	(3133)	24.1	41.3	21.3	13.3	65.4	34.6
	中関与層	(4652)	13.0	47.1	25.3	14.5	60.1	39.9
	低関与層	(10215)	5.5	30.7	29.0	34.8	36.2	63.8

⑧人権擁護委員に相談できることがわかった

(全体)

- 『あてはまる』は 48.1%（「あてはまる 11.3%」＋「ややあてはまる 36.8%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（54.1%）が男性（42.1%）より 12P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（44.3%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（55.2%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 30P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	11.3	36.8	26.3	25.6	48.1	51.9
性別	男性	(8921)	8.6	33.5	27.6	30.3	42.1	57.9
	女性	(9079)	14.0	40.1	24.9	21.0	54.1	45.9
年代	10～19歳	(1069)	12.2	33.6	30.4	23.9	45.7	54.3
	20代	(2293)	11.3	35.7	26.8	26.2	47.0	53.0
	30代	(2871)	9.3	35.0	26.0	29.7	44.3	55.7
	40代	(3269)	9.5	36.0	26.4	28.2	45.5	54.5
	50代	(2755)	10.0	35.8	27.4	26.8	45.8	54.2
	60代	(3551)	12.2	40.4	25.4	22.0	52.6	47.4
	70代	(2192)	16.6	38.7	24.0	20.8	55.2	44.8
関与度	高関与層	(3133)	25.0	41.7	20.6	12.7	66.7	33.3
	中関与層	(4652)	14.0	47.6	24.2	14.2	61.6	38.4
	低関与層	(10215)	5.9	30.4	29.0	34.7	36.3	63.7

(5)あなたは大丈夫？考えよう！インターネットと人権

①人権問題を意識するきっかけになった

(全体)

➤『あてはまる』は 50.9%（「あてはまる 10.2%」＋「ややあてはまる 40.8%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『あてはまる』は、女性（55.7%）が男性（46.1%）より 10P 多い。

(年代別)

➤『あてはまる』は、50 歳代（47.9%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（54.7%）が最も多い。

(関与度別)

➤『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 31P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	10.2	40.8	24.4	24.7	50.9	49.1
性別	男性	(8921)	8.6	37.5	25.1	28.8	46.1	53.9
	女性	(9079)	11.7	43.9	23.8	20.5	55.7	44.3
年代	10～19歳	(1069)	13.3	38.1	25.3	23.4	51.4	48.6
	20代	(2293)	12.4	40.3	22.9	24.3	52.8	47.2
	30代	(2871)	9.3	40.3	22.3	28.1	49.6	50.4
	40代	(3269)	8.3	39.8	25.3	26.7	48.1	51.9
	50代	(2755)	8.3	39.6	26.1	26.0	47.9	52.1
	60代	(3551)	9.6	43.7	25.1	21.5	53.3	46.7
	70代	(2192)	13.5	41.3	23.9	21.4	54.7	45.3
関与度	高関与層	(3133)	24.5	45.3	18.5	11.7	69.8	30.2
	中関与層	(4652)	12.6	52.4	21.8	13.2	65.0	35.0
	低関与層	(10215)	4.7	34.1	27.4	33.8	38.7	61.3

②人権問題についてもっと知りたくなった

(全体)

➤『あてはまる』は 41.0%（「あてはまる 8.2%」＋「ややあてはまる 32.7%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『あてはまる』は、女性（44.5%）が男性（37.4%）より 7P 多い。

(年代別)

➤『あてはまる』は、50 歳代（38.2%）が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（44.3%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 39P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	8.2	32.7	32.6	26.4	41.0	59.0
性別	男性	(8921)	7.3	30.1	32.3	30.3	37.4	62.6
	女性	(9079)	9.1	35.4	32.9	22.6	44.5	55.5
年代	10～19歳	(1069)	11.9	31.8	31.9	24.4	43.7	56.3
	20代	(2293)	10.5	33.8	29.2	26.5	44.3	55.7
	30代	(2871)	8.2	32.6	29.7	29.6	40.7	59.3
	40代	(3269)	6.7	31.9	32.4	29.0	38.6	61.4
	50代	(2755)	7.1	31.1	34.0	27.8	38.2	61.8
	60代	(3551)	6.9	33.5	36.2	23.3	40.4	59.6
	70代	(2192)	9.9	34.4	33.1	22.6	44.3	55.7
関与度	高関与層	(3133)	23.2	42.5	21.8	12.4	65.8	34.2
	中関与層	(4652)	9.7	45.2	30.7	14.5	54.9	45.1
	低関与層	(10215)	2.9	24.1	36.8	36.2	27.0	73.0

③家族や友人と話したいと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 33.5% (「あてはまる 6.6%」 + 「ややあてはまる 26.9%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (36.6%) が男性 (30.4%) より 6P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、50 歳代 (30.5%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (37.9%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 40P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	6.6	26.9	36.1	30.4	33.5	66.5
性別	男性	(8921)	5.8	24.7	35.4	34.1	30.4	69.6
	女性	(9079)	7.4	29.2	36.8	26.7	36.6	63.4
年代	10～19歳	(1069)	8.9	27.2	36.1	27.8	36.1	63.9
	20代	(2293)	8.8	27.0	32.0	32.2	35.8	64.2
	30代	(2871)	6.2	27.3	31.7	34.8	33.4	66.6
	40代	(3269)	5.8	26.3	35.4	32.5	32.0	68.0
	50代	(2755)	5.8	24.6	38.4	31.1	30.5	69.5
	60代	(3551)	5.2	27.3	41.0	26.5	32.5	67.5
	70代	(2192)	8.2	29.7	36.4	25.8	37.9	62.1
関与度	高関与層	(3133)	20.1	39.5	25.3	15.0	59.7	40.3
	中関与層	(4652)	7.2	38.5	36.0	18.3	45.7	54.3
	低関与層	(10215)	2.2	17.8	39.4	40.6	20.0	80.0

④人権に関する催し物に参加してみたくなかった

(全体)

- 『あてはまる』は 26.1% (「あてはまる 4.5%」 + 「ややあてはまる 21.7%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、男女いずれも 26%前後であった。

(年代別)

- 『あてはまる』は、40 歳代 (22.8%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代 (32.1%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 27P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	4.5	21.7	39.8	34.1	26.1	73.9
性別	男性	(8921)	4.3	21.3	37.6	36.9	25.5	74.5
	女性	(9079)	4.7	22.0	42.0	31.3	26.7	73.3
年代	10～19歳	(1069)	7.4	24.7	37.4	30.5	32.1	67.9
	20代	(2293)	6.3	22.6	34.7	36.4	28.9	71.1
	30代	(2871)	3.9	21.8	35.6	38.7	25.7	74.3
	40代	(3269)	3.2	19.6	40.0	37.3	22.8	77.2
	50代	(2755)	3.7	19.7	42.5	34.0	23.4	76.6
	60代	(3551)	3.6	22.2	43.7	30.5	25.8	74.2
	70代	(2192)	6.3	23.6	41.9	28.2	29.9	70.1
関与度	高関与層	(3133)	13.5	31.3	34.6	20.6	44.7	55.3
	中関与層	(4652)	4.4	28.6	43.0	23.9	33.0	67.0
	低関与層	(10215)	15.5	39.9	42.8		17.3	82.7

⑤自分も人の人権を尊重しなくてはいけないと思った

(全体)

➢『あてはまる』は 52.8% (「あてはまる 13.5%」 + 「ややあてはまる 39.3%」。以下、同じ) であった。

(性別)

➢『あてはまる』は、女性 (58.6%) が男性 (46.9%) より 12P 多い。

(年代別)

➢『あてはまる』は、40 歳代 (49.7%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (58.2%) が最も多い。

(関与度別)

➢『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 33P であった。

			(n)				あてはまる	あてはまらない
全体			(18000)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
性別	男性	(8921)	13.5	39.3	23.1	24.1	52.8	47.2
	女性	(9079)	10.8	36.1	24.7	28.4	46.9	53.1
年代	10～19歳	(1069)	16.2	42.4	21.6	19.8	58.6	41.4
	20代	(2293)	15.9	36.9	24.7	22.5	52.8	47.2
	30代	(2871)	14.9	38.5	22.5	24.1	53.4	46.6
	40代	(3269)	12.7	37.3	21.9	28.1	50.0	50.0
	50代	(2755)	11.8	37.9	24.2	26.2	49.7	50.3
	60代	(3551)	11.8	38.7	24.1	25.3	50.5	49.5
	70代	(2192)	13.2	42.8	23.1	20.9	56.0	44.0
	関与度	(10215)	17.2	40.9	21.9	19.9	58.2	41.8
関与度	高関与層	(3133)	30.3	43.1	16.1	10.6	73.3	26.7
	中関与層	(4652)	17.2	50.7	19.6	12.5	67.9	32.1
	低関与層	(10215)	6.7	32.9	26.9	33.5	39.6	60.4

⑥相談する場所があることが分かった

(全体)

➢『あてはまる』は 51.2% (「あてはまる 12.4%」 + 「ややあてはまる 38.9%」。以下、同じ) であった。

(性別)

➢『あてはまる』は、女性 (57.5%) が男性 (44.8%) より 13P 多い。

(年代別)

➢『あてはまる』は、40 歳代 (47.8%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (57.4%) が最も多い。

(関与度別)

➢『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 32P であった。

			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる
(n)							
全体		(18000)	12.4	38.9	24.3	24.5	51.2
性別	男性	(8921)	9.5	35.4	26.3	28.9	44.8
	女性	(9079)	15.2	42.3	22.3	20.2	57.5
年代	10～19歳	(1069)	12.9	35.5	28.2	23.5	48.4
	20代	(2293)	13.3	37.9	23.8	25.1	51.2
	30代	(2871)	10.9	38.0	22.6	28.5	48.9
	40代	(3269)	10.7	37.1	25.7	26.6	47.8
	50代	(2755)	11.4	37.4	25.5	25.6	48.9
	60代	(3551)	12.6	42.6	23.8	21.1	55.2
	70代	(2192)	16.4	41.1	22.5	20.1	57.4
関与度	高関与層	(3133)	27.6	43.5	17.0	11.8	71.1
	中関与層	(4652)	15.3	50.0	21.9	12.8	65.3
	低関与層	(10215)	6.4	32.3	27.6	33.7	38.7

⑦人権擁護委員の存在を知るきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 48.9% (「あてはまる 11.1%」 + 「ややあてはまる 37.9%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (54.9%) が男性 (42.9%) より 12P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、40 歳代 (45.7%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (55.6%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 29P であった。

			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	なあてはまら
(n)								
全体		(18000)	11.1	37.9	25.9	25.2	48.9	51.1
性別	男性	(8921)	8.5	34.4	27.4	29.8	42.9	57.1
	女性	(9079)	13.6	41.3	24.4	20.7	54.9	45.1
年代	10～19歳	(1069)	12.9	33.0	29.1	25.0	45.9	54.1
	20代	(2293)	11.7	36.3	26.7	25.3	48.0	52.0
	30代	(2871)	9.8	36.4	24.6	29.2	46.2	53.8
	40代	(3269)	9.3	36.5	27.0	27.2	45.7	54.3
	50代	(2755)	10.3	36.4	26.8	26.6	46.7	53.3
	60代	(3551)	11.2	42.1	25.0	21.7	53.3	46.7
	70代	(2192)	14.7	40.8	23.6	20.8	55.6	44.4
関与度	高関与層	(3133)	24.6	42.3	20.2	13.0	66.8	33.2
	中関与層	(4652)	13.2	48.6	24.5	13.7	61.8	38.2
	低関与層	(10215)	5.9	31.6	28.2	34.2	37.6	62.4

⑧人権擁護委員に相談できることがわかった

(全体)

- 『あてはまる』は 50.2%（「あてはまる 11.9%」＋「ややあてはまる 38.2%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（56.3%）が男性（43.9%）より 12P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、10～50 歳代が 48%前後だが、それより年代が上がるにつれて多くなり、70 歳代（56.6%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 32P であった。

			(n)				あてはまる	あてはまらない
全体			(18000)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
性別	男性	(8921)	11.9	38.2	25.1	24.8	50.2	49.8
	女性	(9079)	14.6	41.7	23.4	20.3	56.3	43.7
年代	10～19歳	(1069)	12.9	33.7	29.8	23.6	46.6	53.4
	20代	(2293)	12.2	37.6	24.9	25.3	49.8	50.2
	30代	(2871)	10.3	37.1	23.8	28.8	47.4	52.6
	40代	(3269)	10.2	37.0	25.7	27.0	47.2	52.8
	50代	(2755)	10.7	37.1	26.2	26.0	47.8	52.2
	60代	(3551)	12.4	41.8	24.4	21.4	54.3	45.7
	70代	(2192)	16.7	40.0	23.1	20.3	56.6	43.4
関与度	高関与層	(3133)	26.7	42.8	18.3	12.3	69.5	30.5
	中関与層	(4652)	14.5	49.3	23.0	13.1	63.8	36.2
	低関与層	(10215)	6.2	31.8	28.0	33.9	38.0	62.0

(6)いっしょに学ぼう！障害のある人の人権～パラリンピックへ向けて～

①人権問題を意識するきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 51.2%（「あてはまる 10.7%」＋「ややあてはまる 40.5%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（56.3%）が男性（46.0%）より 10P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30～50 歳代は 48%強だが、それより年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（55.7%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 31P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	10.7	40.5	24.2	24.7	51.2	48.8
性別	男性	(8921)	9.0	36.9	25.3	28.7	46.0	54.0
	女性	(9079)	12.2	44.1	23.0	20.7	56.3	43.7
年代	10～19歳	(1069)	13.6	37.5	25.4	23.5	51.1	48.9
	20代	(2293)	12.4	40.5	22.4	24.7	52.9	47.1
	30代	(2871)	9.5	39.3	22.8	28.4	48.8	51.2
	40代	(3269)	8.8	39.9	24.6	26.7	48.7	51.3
	50代	(2755)	8.8	39.5	26.2	25.5	48.3	51.7
	60代	(3551)	10.4	43.5	24.3	21.9	53.8	46.2
	70代	(2192)	14.4	41.3	23.7	20.6	55.7	44.3
関与度	高関与層	(3133)	25.6	44.1	18.6	11.7	69.7	30.3
	中関与層	(4652)	12.9	52.9	21.1	13.1	65.7	34.3
	低関与層	(10215)	5.1	33.8	27.2	33.9	38.9	61.1

②人権問題についてもっと知りたくなった

(全体)

- 『あてはまる』は 41.2% (「あてはまる 8.5%」 + 「ややあてはまる 32.8%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (44.8%) が男性 (37.6%) より 7P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、40 歳代 (37.9%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (46.6%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 39P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	8.5	32.8	32.1	26.7	41.2	58.8
性別	男性	(8921)	7.6	30.0	31.8	30.6	37.6	62.4
	女性	(9079)	9.4	35.4	32.4	22.8	44.8	55.2
年代	10～19歳	(1069)	13.1	30.9	31.4	24.6	44.0	56.0
	20代	(2293)	10.6	33.7	28.6	27.1	44.3	55.7
	30代	(2871)	8.0	33.3	28.5	30.2	41.3	58.7
	40代	(3269)	6.9	30.9	33.1	29.1	37.9	62.1
	50代	(2755)	6.8	31.5	33.7	28.0	38.3	61.7
	60代	(3551)	7.5	33.0	36.0	23.5	40.4	59.6
	70代	(2192)	10.7	35.9	30.8	22.5	46.6	53.4
関与度	高関与層	(3133)	22.8	43.6	21.4	12.2	66.5	33.5
	中関与層	(4652)	10.3	45.0	30.2	14.5	55.3	44.7
	低関与層	(10215)	3.3	23.8	36.2	36.7	27.1	72.9

③家族や友人と話したいと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 32.9% (「あてはまる 6.7%」 + 「ややあてはまる 26.3%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (35.9%) が男性 (29.9%) より 6P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、50 歳代 (30.1%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (38.2%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 38P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	6.7	26.3	36.7	30.4	32.9	67.1
性別	男性	(8921)	5.8	24.1	36.1	34.0	29.9	70.1
	女性	(9079)	7.6	28.3	37.3	26.8	35.9	64.1
年代	10～19歳	(1069)	9.8	25.4	36.4	28.3	35.3	64.7
	20代	(2293)	8.7	24.9	34.0	32.4	33.6	66.4
	30代	(2871)	6.2	26.2	33.5	34.1	32.4	67.6
	40代	(3269)	5.8	25.9	35.6	32.6	31.8	68.2
	50代	(2755)	5.6	24.5	38.5	31.4	30.1	69.9
	60代	(3551)	5.6	26.6	40.9	26.9	32.2	67.8
	70代	(2192)	8.1	30.1	36.6	25.2	38.2	61.8
関与度	高関与層	(3133)	19.8	38.1	27.0	15.1	57.9	42.1
	中関与層	(4652)	7.4	37.6	36.8	18.2	45.0	55.0
	低関与層	(10215)	2.3	17.5	39.6	40.6	19.8	80.2

④人権に関する催し物に参加してみたくなった

(全体)

➤『あてはまる』は 26.7%（「あてはまる 5.1%」＋「ややあてはまる 21.6%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『あてはまる』は、男女いずれも 27%前後であった。

(年代別)

➤『あてはまる』は、40 歳代（23.3%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代（32.6%）が最も多い。

(関与度別)

➤『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 28P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	5.1	21.6	39.5	33.9	26.7	73.3
性別	男性	(8921)	4.8	21.2	37.4	36.6	26.0	74.0
	女性	(9079)	5.3	22.0	41.5	31.1	27.4	72.6
年代	10～19歳	(1069)	8.0	24.6	36.7	30.7	32.6	67.4
	20代	(2293)	7.2	22.9	34.0	35.8	30.2	69.8
	30代	(2871)	4.5	21.4	35.5	38.7	25.8	74.2
	40代	(3269)	3.7	19.6	40.1	36.6	23.3	76.7
	50代	(2755)	4.6	20.0	41.5	33.9	24.6	75.4
	60代	(3551)	4.1	21.6	43.5	30.8	25.7	74.3
	70代	(2192)	6.5	24.0	41.7	27.8	30.5	69.5
関与度	高関与層	(3133)	15.0	30.5	34.0	20.5	45.5	54.5
	中関与層	(4652)	5.2	29.2	42.3	23.2	34.5	65.5
	低関与層	(10215)	2.0	15.4	39.9	42.8	17.4	82.6

⑤自分も人の人権を尊重しなくてはいけないと思った

(全体)

➤『あてはまる』は 52.8%（「あてはまる 13.7%」＋「ややあてはまる 39.2%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『あてはまる』は、女性（58.8%）が男性（46.7%）より 12P 多い。

(年代別)

➤『あてはまる』は、30・40 歳代（49.6%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（58.9%）が最も多い。

(関与度別)

➤『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 34P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	13.7	39.2	22.9	24.3	52.8	47.2
性別	男性	(8921)	10.6	36.1	24.7	28.6	46.7	53.3
	女性	(9079)	16.7	42.1	21.1	20.1	58.8	41.2
年代	10～19歳	(1069)	14.7	37.0	25.6	22.7	51.6	48.4
	20代	(2293)	14.6	38.4	22.4	24.6	53.0	47.0
	30代	(2871)	12.7	36.9	22.2	28.2	49.6	50.4
	40代	(3269)	11.7	37.8	23.8	26.7	49.6	50.4
	50代	(2755)	12.3	38.2	23.8	25.7	50.6	49.4
	60代	(3551)	14.0	42.7	22.1	21.2	56.6	43.4
	70代	(2192)	17.6	41.4	21.5	19.5	58.9	41.1
関与度	高関与層	(3133)	29.9	43.3	15.9	10.9	73.2	26.8
	中関与層	(4652)	17.8	50.7	19.0	12.5	68.4	31.6
	低関与層	(10215)	6.8	32.6	26.7	33.8	39.5	60.5

⑥相談する場所があることが分かった

(全体)

- 『あてはまる』は 49.9%（「あてはまる 12.1%」＋「ややあてはまる 37.8%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（56.3%）が男性（43.4%）より 13P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、10～50 歳代は 48%前後だが、それより年代が上がるにつれて多くなり、70 歳代（56.9%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 30P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	12.1	37.8	25.1	24.9	49.9	50.1
性別	男性	(8921)	9.1	34.4	27.3	29.3	43.4	56.6
	女性	(9079)	15.1	41.2	23.0	20.7	56.3	43.7
年代	10～19歳	(1069)	12.5	34.4	28.3	24.7	47.0	53.0
	20代	(2293)	12.7	36.1	25.8	25.5	48.8	51.2
	30代	(2871)	10.3	36.7	23.9	29.1	47.0	53.0
	40代	(3269)	10.5	36.6	26.1	26.9	47.0	53.0
	50代	(2755)	11.1	36.7	26.2	26.0	47.8	52.2
	60代	(3551)	12.7	41.2	24.4	21.7	54.0	46.0
	70代	(2192)	16.2	40.6	23.0	20.1	56.9	43.1
関与度	高関与層	(3133)	26.5	41.9	19.2	12.4	68.4	31.6
	中関与層	(4652)	15.1	48.3	23.0	13.5	63.5	36.5
	低関与層	(10215)	6.3	31.8	27.9	34.0	38.1	61.9

⑦人権擁護委員の存在を知るきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 48.4% (「あてはまる 11.1%」 + 「ややあてはまる 37.3%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (54.7%) が男性 (42.0%) より 13P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (45.4%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (56.1%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 29P であった。

		(n)	あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない				あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	11.1	37.3	26.1	25.5	48.4	51.6
性別	男性	(8921)	8.4	33.6	28.0	30.0	42.0	58.0
	女性	(9079)	13.8	40.9	24.2	21.1	54.7	45.3
年代	10～19歳	(1069)	11.6	33.3	30.0	25.1	44.9	55.1
	20代	(2293)	11.8	35.0	26.9	26.3	46.8	53.2
	30代	(2871)	9.4	36.0	25.3	29.4	45.4	54.6
	40代	(3269)	9.2	36.3	27.1	27.4	45.5	54.5
	50代	(2755)	10.1	36.3	27.1	26.5	46.4	53.6
	60代	(3551)	12.1	40.4	25.2	22.3	52.5	47.5
	70代	(2192)	15.1	41.0	22.9	21.0	56.1	43.9
関与度	高関与層	(3133)	24.2	41.7	20.7	13.4	65.9	34.1
	中間層	(4652)	13.4	47.5	24.8	14.2	61.0	39.0
	低関与層	(10215)	6.1	31.3	28.3	34.4	37.3	62.7

⑧人権擁護委員に相談できることがわかった

(全体)

- 『あてはまる』は 49.5% (「あてはまる 11.9%」 + 「ややあてはまる 37.6%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (55.9%) が男性 (42.9%) より 13P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、10～50 歳代は 47%前後だが、それより年代が上がるにつれて多くなり、70 歳代 (56.5%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 30P

であつた。

		(n)	あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない				あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	11.9	37.6	25.5	25.1	49.5	50.6
性別	男性	(8921)	9.0	33.9	27.4	29.6	42.9	57.1
	女性	(9079)	14.6	41.2	23.5	20.6	55.9	44.1
年代	10～19歳	(1069)	12.3	33.9	29.4	24.4	46.2	53.8
	20代	(2293)	11.9	36.5	25.9	25.7	48.4	51.6
	30代	(2871)	10.0	36.5	24.5	28.9	46.6	53.4
	40代	(3269)	9.9	36.5	26.4	27.2	46.4	53.6
	50代	(2755)	10.7	36.4	26.5	26.3	47.2	52.8
	60代	(3551)	13.1	40.6	24.4	21.9	53.7	46.3
	70代	(2192)	16.3	40.2	23.2	20.3	56.5	43.5
	関与度	高関与層	(3133)	25.9	41.8	19.5	12.7	67.8
	中関与層	(4652)	14.4	48.2	23.6	13.7	62.7	37.3
	低関与層	(10215)	6.4	31.4	28.1	34.1	37.8	62.2

5 ポスター(啓発 5種類)について

Q16 広告の認知度と興味関心度(SA)

(Q 1 6 以下のポスターについてお伺いします。あなたはこのポスターを見たことがありますか。また、見たことがある人は人権問題に興味や関心を持ちましたか。)

★本問では『見たことはある』は以下の選択肢の回答者の合計。

- ①印象にも残っているし、興味や関心を持った(以下では、「興味・関心を持った」に略した。)
- ②印象には残っているが、興味や関心は持たなかった
- ③見たことはある気はするが、印象は残っていない

(1)啓発活動重点目標・調査救済制度周知ポスター

(全体)

- 啓発活動重点目標・調査救済制度周知ポスターを『見たことはある』は 25.0%であった。
- また、「興味・関心を持った」は 5.9%であった。

(性別)

- 『見たことがある』は、男性(26.4%)が女性(23.6%)よりやや多い。
- 「興味・関心を持った」は、男女いずれも 6%前後であった。

(年代別)

- 『見たことがある』は、50 歳代(20.9%)が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代が 36.9%で最も多い。
- 「興味・関心を持った」は、50 歳代(4.3%)が最も少なく、年代が上がるにつれて少なくなり、10 歳代(8.6%)が最も多い。

(関与度別)

- 『見たことがある』は、関与度が高くなるにつれて多くなる。
- 「興味・関心を持った」も、関与度が高くなるにつれて多くなる。

		(n)	印象に残っているし、興味 や関心を持った	印象に残っているが、興 味や関心は持たなかった	見たことはある気がするが、 印象は残っていない	見たことはない	あ 見 た こ と が	な 見 た こ と は
全体		(18000)	5.9	7.9	11.1	75.0	25.0	75.0
性別	男性	(8921)	5.9	8.6	12.0	73.6	26.4	73.6
	女性	(9079)	6.0	7.2	10.3	76.4	23.6	76.4
年代	10～19歳	(1069)	8.6	14.1	14.1	63.1	36.9	63.1
	20代	(2293)	8.7	8.7	11.2	71.4	28.6	71.4
	30代	(2871)	4.8	8.0	9.9	77.2	22.8	77.2
	40代	(3269)	4.8	7.4	9.3	78.6	21.4	78.6
	50代	(2755)	4.3	6.7	9.9	79.1	20.9	79.1
	60代	(3551)	5.4	6.6	12.2	75.7	24.3	75.7
	70代	(2192)	7.9	8.3	13.8	69.9	30.1	69.9
関与度	高関与層	(3133)	17.7	13.8	18.4	50.1	49.9	50.1
	中関与層	(4652)	6.3	10.6	16.3	66.8	33.2	66.8
	低関与層	(10215)	2.2	4.9	6.6	86.4	13.6	86.4

(2)人権週間ポスター

(全体)

- 人権週間ポスターを『見たことはある』は 36.5%であった。
- また、「興味・関心を持った」は 8.4%であった。

(性別)

- 『見たことがある』は、男女いずれも 37%前後であった。
- 「興味・関心を持った」も、男女いずれも 8%強であった。

(年代別)

- 『見たことがある』は、30 歳代 (31.9%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代 (52.1 %) が最も多い。
- 「興味・関心を持った」は、50 歳代 (6.4%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代 (12.5%) が最も多い。

(関与度別)

- 『見たことがある』は、関与度が高くなるにつれて多くなる。
- 「興味・関心を持った」も、関与度が高くなるにつれて多くなる。

(エリア別)

- 以下のエリアでは『見たことがある』に 10P 以上の差が発生した。
 - ・九州・沖縄地方 43.9%＞関東甲信越地方 33.5%

		(n)	印象に残っているし、興味 や関心を持った	印象には残っているが、興 味や関心は持たなかった	見たことはある気がするが、 印象は残っていない	見たことはない	あ 見 た こ と が	な 見 た こ と は
全体		(18000)	8.4	10.9	17.3	63.5	36.5	63.5
性別	男性	(8921)	8.3	11.4	17.5	62.9	37.1	62.9
	女性	(9079)	8.5	10.5	17.0	64.0	36.0	64.0
年代	10～19歳	(1069)	12.5	18.1	21.5	47.9	52.1	47.9
	20代	(2293)	10.7	12.4	15.8	61.1	38.9	61.1
	30代	(2871)	7.2	9.9	14.8	68.1	31.9	68.1
	40代	(3269)	6.9	10.1	15.0	68.0	32.0	68.0
	50代	(2755)	6.4	9.2	17.4	67.0	33.0	67.0
	60代	(3551)	7.9	9.6	18.8	63.8	36.2	63.8
	70代	(2192)	10.8	12.7	20.7	55.8	44.2	55.8
関与度	高関与層	(3133)	23.6	19.2	23.3	33.9	66.1	33.9
	中関与層	(4652)	10.3	15.4	23.9	50.4	49.6	50.4
	低関与層	(10215)	2.8	6.3	12.4	78.5	21.5	78.5

(3)北朝鮮人権侵害問題啓発週間ポスター

(全体)

- 北朝鮮人権侵害問題啓発週間ポスターを『見たことはある』は 25.2%であった。
- また、「興味・関心を持った」は 7.8%であった。

(性別)

- 『見たことがある』は、男性（27.1%）が女性（23.3%）よりやや多い。
- 「興味・関心を持った」は、男女いずれも 8%前後であった。

(年代別)

- 『見たことがある』は、50 歳代（21.8%）が最も好くなる、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代（31.7%）が最も多い。
- 「興味・関心を持った」は、50 歳代（5.8%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて増加し、20 歳代（10.2%）が最も多い。

(関与度別)

- 『見たことがある』は、関与度が高くなるにつれて多くなる。
- 「興味・関心を持った」も、関与度が高くなるにつれて多くなる。

		(n)	印象に残っているし、興味 や関心を持った	印象には残っているが、興 味や関心は持たなかった	見たことはある気がするが、 印象は残っていない	見たことはない	あ 見 た こ と が	な 見 た こ と は
全体		(18000)	7.8	8.1	9.3	74.8	25.2	74.8
性別	男性	(8921)	7.6	9.0	10.6	72.9	27.1	72.9
	女性	(9079)	8.1	7.2	8.0	76.7	23.3	76.7
年代	10～19歳	(1069)	10.0	10.9	10.9	68.3	31.7	68.3
	20代	(2293)	10.2	9.5	8.6	71.7	28.3	71.7
	30代	(2871)	7.9	7.7	9.0	75.5	24.5	75.5
	40代	(3269)	7.1	7.7	7.7	77.5	22.5	77.5
	50代	(2755)	5.8	7.6	8.4	78.2	21.8	78.2
	60代	(3551)	7.1	7.2	9.6	76.1	23.9	76.1
	70代	(2192)	9.1	8.3	12.4	70.2	29.8	70.2
関与度	高関与層	(3133)	20.2	15.1	14.0	50.7	49.3	50.7
	中関与層	(4652)	9.7	10.6	12.8	66.9	33.1	66.9
	低関与層	(10215)	3.2	4.8	6.2	85.8	14.2	85.8

(4)外国人の人権キャッチコピーコンテストポスター

(全体)

- 外国人の人権キャッチコピーコンテストポスターを『見たことはある』は 20.6%であった。
- また、「興味・関心を持った」は 5.1%であった。

(性別)

- 『見たことがある』は、男性（22.3%）が女性（19.0%）よりやや多い。
- 「興味・関心を持った」は、男女いずれも 5%前後であった。

(年代別)

- 『見たことがある』は、40 歳代（17.2%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代（31.1%）が最も多い。
- 「興味・関心を持った」は、50 歳代（3.3%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代（8.3%）が最も多い。

(関与度別)

- 『見たことがある』は、関与度が高くなるにつれて多くなる。
- 「興味・関心を持った」も、関与度が高くなるにつれて多くなる。

			印象に残っているし、興味や関心を持った 印象には残っているが、興味や関心は持たなかった 見たことはある気がするが、印象は残っていない 見たことはない				あ見たことが	ない見たことは
(n)								
全体		(18000)	5.1	7.4	8.2	79.4	20.6	79.4
性別	男性	(8921)	4.7	8.4	9.3	77.7	22.3	77.7
	女性	(9079)	5.4	6.4	7.2	81.0	19.0	81.0
年代	10～19歳	(1069)	8.3	11.9	10.9	68.9	31.1	68.9
	20代	(2293)	7.8	8.8	7.8	75.5	24.5	75.5
	30代	(2871)	4.6	7.0	7.9	80.5	19.5	80.5
	40代	(3269)	4.0	6.2	6.9	82.8	17.2	82.8
	50代	(2755)	3.3	6.7	7.5	82.5	17.5	82.5
	60代	(3551)	4.3	6.6	8.2	80.9	19.1	80.9
	70代	(2192)	6.1	8.0	10.6	75.3	24.7	75.3
関与度	高関与層	(3133)	14.5	13.7	14.3	57.5	42.5	57.5
	中関与層	(4652)	5.4	9.6	11.2	73.8	26.2	73.8
	低関与層	(10215)	2.0	4.4	5.0	88.6	11.4	88.6

(5)ヘイトスピーチ許さないポスター

(全体)

- ヘイトスピーチ許さないポスターを『見たことはある』は 36.6%であった。
- また、「興味・関心を持った」は 9.3%であった。

(性別)

- 『見たことがある』は、男性（38.3%）が女性（35.0%）よりやや多い。
- 「興味・関心を持った」は、男女いずれも 9%強であった。

(年代別)

- 『見たことがある』は、30 歳代（33.6%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（42.2%）が最も多い。
- 「興味・関心を持った」は、40 歳代（7.9%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（11.6%）が最も多い。

(関与度別)

- 『見たことがある』は、関与度が高くなるにつれて多くなる。
- 「興味・関心を持った」も、関与度が高くなるにつれて多くなる。

		(n)	印象に残っているし、興味や関心を持った	印象に残っているが、興味や関心は持たなかった	見たことはある気がするが、印象は残っていない	見たことはない	あ見たことが	ない見たことは
全体		(18000)	9.3	11.3	16.0	63.4	36.6	63.4
性別	男性	(8921)	9.0	12.5	16.8	61.7	38.3	61.7
	女性	(9079)	9.6	10.2	15.2	65.0	35.0	65.0
年代	10～19歳	(1069)	11.4	12.5	15.5	60.5	39.5	60.5
	20代	(2293)	10.9	12.5	12.7	63.8	36.2	63.8
	30代	(2871)	8.2	11.4	14.0	66.4	33.6	66.4
	40代	(3269)	7.9	11.3	15.1	65.8	34.2	65.8
	50代	(2755)	8.5	10.5	15.5	65.5	34.5	65.5
	60代	(3551)	9.1	10.6	19.2	61.1	38.9	61.1
	70代	(2192)	11.6	11.8	18.8	57.8	42.2	57.8
関与度	高関与層	(3133)	25.8	20.1	19.7	34.3	65.7	34.3
	中関与層	(4652)	11.4	15.5	21.7	51.4	48.6	51.4
	低関与層	(10215)	3.3	6.8	12.2	77.7	22.3	77.7

Q17 非認知者の広告への興味関心度(SA)

(Q17 あなたはこのポスターを見て印象に残りますか。また、印象に残る方は人権問題に興味や関心を持ちますか。)

★本問では前問で各ポスターを「見たことはない」とした回答者に各ポスターをみての印象度、興味・関心度を聞いた。

★『印象に残る』は以下の選択肢の回答者の合計。

- ①印象に残るが、興味や関心は持たない
- ②印象にも残るし、興味や関心を持つ（以下では、「興味・関心を持つ」に略した）

(1)啓発活動重点目標・調査救済制度周知ポスター

(全体)

- 啓発活動重点目標・調査救済制度周知ポスターについて『印象に残る』は 30.3%であった。
- また、「興味・関心を持つ」は 6.8%であった。

(性別)

- 『印象に残る』は、女性（34.0%）が男性（26.4%）より 8P 多い。
- 「興味・関心を持つ」も、女性（8.5%）が男性（5.1%）よりやや多い。

(年代別)

- 『印象に残る』は、30 歳代（26.0%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多

くなり、70 歳代（39.2%）が最も多い。

- 「興味・関心を持つ」は、30・40 歳代（5.3%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（11.8%）が最も多い。

（関与度別）

- 『印象に残る』は、高・中関与層では 38%前後だが、低関与層では 26.2%に減少する。
- 「興味・関心を持った」は、関与度が低下するにつれて少なくなる。

		(n)	印象に残るし、興味や関心を持つ	印象に残るが、興味や関心は持たない	印象に残らない	印象に残る	印象に残らない
全体		(13499)	6.8	23.5	69.7	30.3	69.7
性別	男性	(6564)	5.1	21.3	73.6	26.4	73.6
	女性	(6935)	8.5	25.5	66.0	34.0	66.0
年代	10～19歳	(675)	5.8	24.7	69.5	30.5	69.5
	20代	(1637)	5.9	20.8	73.2	26.8	73.2
	30代	(2217)	5.3	20.7	74.0	26.0	74.0
	40代	(2568)	5.3	23.4	71.3	28.7	71.3
	50代	(2180)	5.9	23.8	70.3	29.7	70.3
	60代	(2689)	8.3	24.5	67.1	32.9	67.1
	70代	(1533)	11.8	27.4	60.8	39.2	60.8
関与度	高関与層	(1570)	13.8	24.8	61.4	38.6	61.4
	中関与層	(3107)	10.2	27.4	62.3	37.7	62.3
	低関与層	(8822)	4.4	21.8	73.8	26.2	73.8

(2)人権週間ポスター

（全体）

- 人権週間ポスターについて『印象に残る』は 32.1%であった。
- また、「興味・関心を持つ」は 7.7%であった。

（性別）

- 『印象に残る』は、女性（36.4%）が男性（27.7%）より 9P 多い。
- 「興味・関心を持つ」も、女性（9.2%）が男性（6.0%）よりやや多い。

（年代別）

- 『印象に残る』は、30 歳代（26.8%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（43.5%）が最も多い。
- 「興味・関心を持つ」は、10 歳代（4.1%）が最も少なく、年代が上がるにつれて多くなり、70 歳代（14.6%）が最も多い。

（関与度別）

- 『印象に残る』は、高・中関与層では 41%前後だが、低関与層では 28.3%に減少する。
- 「興味・関心を持った」は、関与度が低下するにつれて少なくなる。

			印象に残るし、興味や関心を持つ 印象に残るが、興味や関心は持たない 印象に残らない			印象に残る	印象に残らない
全体		(n)	7.7	24.4	67.9	32.1	67.9
性別	男性	(5610)	6.0	21.6	72.3	27.7	72.3
	女性	(5813)	9.2	27.2	63.6	36.4	63.6
年代	10～19歳	(512)	4.1	25.8	70.1	29.9	70.1
	20代	(1400)	5.4	23.1	71.5	28.5	71.5
	30代	(1954)	6.3	20.5	73.2	26.8	73.2
	40代	(2224)	5.9	24.0	70.1	29.9	70.1
	50代	(1845)	7.1	24.4	68.5	31.5	68.5
	60代	(2265)	9.5	26.4	64.2	35.8	64.2
	70代	(1223)	14.6	28.9	56.5	43.5	56.5
関与度	高関与層	(1062)	14.5	25.5	60.0	40.0	60.0
	中関与層	(2344)	12.1	29.4	58.5	41.5	58.5
	低関与層	(8017)	5.5	22.9	71.7	28.3	71.7

(3)北朝鮮人権侵害問題啓発週間ポスター

(全体)

- 北朝鮮人権侵害問題啓発週間ポスターについて『印象に残る』は 44.2%であった。
- また、「興味・関心を持つ」は 16.6%であった。

(性別)

- 『印象に残る』は、女性（51.3%）が男性（36.6%）より 15P 多い。
- 「興味・関心を持つ」も、女性（21.3%）が男性（11.6%）より 10P 多い。

(年代別)

- 『印象に残る』は、10 歳代（40.4%）が 20 歳代以上（45%前後）に比べてやや少ない。
- 「興味・関心を持つ」は、10 歳代（11.4%）が最も少なく、20～60 歳代では 16%前後に、70 歳代では 21.5%に増加する。

(関与度別)

- 『印象に残る』は、高・中関与層では 57%前後だが、低関与層では 37.3%に減少する。
- 「興味・関心を持った」は、関与度が低下するにつれて少なくなる。

			印象に残るし、興味や関心を持つ			印象に残るが、興味や関心は持たない			印象に残らない			印象に残る	印象に残らない
		(n)											
全体		(13466)	16.6			27.6			55.8			44.2	55.8
性別	男性	(6503)	11.6			25.0			63.4			36.6	63.4
	女性	(6963)	21.3			30.0			48.7			51.3	48.7
年代	10～19歳	(730)	11.4			29.0			59.6			40.4	59.6
	20代	(1644)	16.6			28.4			55.0			45.0	55.0
	30代	(2167)	15.5			28.7			55.7			44.3	55.7
	40代	(2532)	15.2			28.6			56.2			43.8	56.2
	50代	(2154)	15.9			26.7			57.4			42.6	57.4
	60代	(2701)	17.8			26.3			55.8			44.2	55.8
	70代	(1538)	21.5			26.2			52.3			47.7	52.3
関与度	高関与層	(1589)	30.4			28.0			41.6			58.4	41.6
	中関与層	(3113)	24.4			31.9			43.7			56.3	43.7
	低関与層	(8764)	11.3			26.0			62.7			37.3	62.7

(4)外国人の人権キャッチコピーコンテストポスター

(全体)

- 外国人の人権キャッチコピーコンテストポスターについて『印象に残る』は 37.2%であった。
- また、「興味・関心を持つ」は 9.6%であった。

(性別)

- 『印象に残る』は、女性（42.6%）が男性（31.4%）より 11P 多い。
- 「興味・関心を持つ」も、女性（12.0%）が男性（7.0%）より 5P 多い。

(年代別)

- 『印象に残る』は、30 歳代（34.4%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（43.6%）が最も多い。
- 「興味・関心を持つ」は、40 歳代（7.9%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（11.4%）が最も多い。

(関与度別)

- 『印象に残る』は、関与度が低下するにつれて少なくなる。
- 「興味・関心を持った」は、関与度が低下するにつれて少なくなる。

			印象に残るし、興味や関心を持つ			印象に残るが、興味や関心は持たない			印象に残らない			印象に残る	ない印象に残る
		(n)											
全体		(14285)	9.6	27.6	62.8							37.2	62.8
性別	男性	(6929)	7.0	24.4	68.6							31.4	68.6
	女性	(7356)	12.0	30.6	57.4							42.6	57.4
年代	10～19歳	(737)	8.8	27.5	63.6							36.4	63.6
	20代	(1731)	10.9	25.4	63.7							36.3	63.7
	30代	(2312)	8.6	25.8	65.6							34.4	65.6
	40代	(2708)	7.9	27.9	64.2							35.8	64.2
	50代	(2273)	8.9	27.0	64.1							35.9	64.1
	60代	(2874)	10.8	28.0	61.2							38.8	61.2
	70代	(1650)	11.4	32.2	56.4							43.6	56.4
関与度	高関与層	(1802)	20.3	31.2	48.5							51.5	48.5
	中関与層	(3434)	13.4	34.1	52.5							47.5	52.5
	低関与層	(9049)	6.0	24.4	69.6							30.4	69.6

(5)「ヘイトスピーチ許さない」ポスター

(全体)

- 「ヘイトスピーチ許さない」ポスターについて『印象に残る』は 49.3%であった。
- また、「興味・関心を持つ」は 15.7%であった。

(性別)

- 『印象に残る』は、女性（55.7%）が男性（42.3%）より 13P 多い。
- 「興味・関心を持つ」も、女性（19.0%）が男性（12.2%）より 7P 多い。

(年代別)

- 『印象に残る』は、10～50 歳代が 48%前後で、70 歳代では 53%前後に増加する。
- 「興味・関心を持つ」は、10～50 歳代が 15%前後で、これより年代が上がるにつれて多くなり、70 歳代（20.1%）が最も多い。

(関与度別)

- 『印象に残る』は、関与度が低下するにつれて少なくなる。
- 「興味・関心を持った」も、関与度が低下するにつれて少なくなる。

			印象に残るし、興味や関心を持つ	印象に残るが、興味や関心は持たない	印象に残らない	印象に残る	ない印象に残る
(n)							
全体		(11409)	15.7	33.5	50.7	49.3	50.7
性別	男性	(5504)	12.2	30.1	57.7	42.3	57.7
	女性	(5905)	19.0	36.7	44.3	55.7	44.3
年代	10～19歳	(647)	13.9	33.5	52.6	47.4	52.6
	20代	(1463)	16.7	31.2	52.0	48.0	52.0
	30代	(1906)	13.9	33.3	52.8	47.2	52.8
	40代	(2152)	14.2	33.6	52.2	47.8	52.2
	50代	(1804)	14.3	34.4	51.3	48.7	51.3
	60代	(2171)	17.3	34.8	47.9	52.1	47.9
	70代	(1266)	20.1	32.9	46.9	53.1	46.9
関与度	高関与層	(1076)	33.4	33.9	32.7	67.3	32.7
	中関与層	(2391)	25.1	38.1	36.9	63.1	36.9
	低関与層	(7942)	10.5	32.1	57.4	42.6	57.4

Q18 ポスターを見て思ったこと、理解したこと(SA)

(Q18 ポスターをご覧になって、思ったことや理解したことはどんなことでしたか。以下の項目について、当てはまるものをひとつずつお選びください。)

(1)啓発活動重点目標・調査救済制度周知ポスター

①人権問題を意識するきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 41.6% (「あてはまる 7.8%」 + 「ややあてはまる 33.8%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (45.7%) が男性 (37.4%) より 8P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、40 歳代 (36.6%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (51.3%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 28P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	7.8	33.8	29.4	29.0	41.6	58.4
性別	男性	(8921)	6.7	30.7	28.6	34.0	37.4	62.6
	女性	(9079)	8.9	36.8	30.3	24.0	45.7	54.3
年代	10～19歳	(1069)	9.9	33.9	29.2	27.0	43.8	56.2
	20代	(2293)	9.2	32.3	27.6	30.8	41.5	58.5
	30代	(2871)	6.7	31.4	28.0	33.9	38.0	62.0
	40代	(3269)	5.7	30.9	30.6	32.9	36.6	63.4
	50代	(2755)	6.8	30.9	32.4	29.9	37.6	62.4
	60代	(3551)	7.5	38.1	30.1	24.3	45.6	54.4
	70代	(2192)	11.6	39.7	26.8	21.9	51.3	48.7
関与度	高関与層	(3133)	19.9	39.6	25.5	15.0	59.5	40.5
	中関与層	(4652)	9.0	43.1	30.8	17.1	52.1	47.9
	低関与層	(10215)	3.5	27.8	30.0	38.6	31.3	68.7

②人権問題についてもっと知りたくなった

(全体)

- 『あてはまる』は 31.9% (「あてはまる 6.3%」 + 「ややあてはまる 25.6%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (34.2%) が男性 (29.5%) より 5P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、40 歳代 (28.2%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (38.4%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 34P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	6.3	25.6	37.1	31.0	31.9	68.1
性別	男性	(8921)	5.5	24.0	34.7	35.8	29.5	70.5
	女性	(9079)	7.0	27.2	39.5	26.3	34.2	65.8
年代	10～19歳	(1069)	10.0	26.5	35.0	28.5	36.5	63.5
	20代	(2293)	7.3	26.6	32.4	33.6	34.0	66.0
	30代	(2871)	5.2	24.3	34.5	35.9	29.6	70.4
	40代	(3269)	5.0	23.2	37.1	34.7	28.2	71.8
	50代	(2755)	5.3	23.3	39.4	31.9	28.6	71.4
	60代	(3551)	5.9	26.9	40.5	26.7	32.8	67.2
	70代	(2192)	8.3	30.2	38.3	23.3	38.4	61.6
関与度	高関与層	(3133)	17.6	36.6	30.0	15.7	54.3	45.7
	中関与層	(4652)	7.2	34.4	40.0	18.5	41.5	58.5
	低関与層	(10215)	2.3	18.2	38.0	41.4	20.6	79.4

③家族や友人と話したいと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 25.4%（「あてはまる 5.1%」＋「ややあてはまる 20.3%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（27.5%）が男性（23.3%）よりやや多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、50 歳代（22.4%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（31.3%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 32P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体	男性	(18000)	5.1	20.3	39.3	35.4	25.4	74.6
	女性	(8921)	4.6	18.7	37.2	39.5	23.3	76.7
年代	10～19歳	(9079)	5.6	21.9	41.3	31.3	27.5	72.5
	20代	(1069)	8.0	23.0	35.6	33.4	31.0	69.0
	30代	(2293)	6.9	19.3	34.9	38.9	26.2	73.8
	40代	(2871)	4.8	18.8	35.4	41.0	23.6	76.4
	50代	(3269)	3.8	18.9	38.9	38.3	22.7	77.3
	60代	(2755)	4.1	18.4	41.6	36.0	22.4	77.6
	70代	(3551)	4.2	21.5	43.4	30.9	25.7	74.3
	高関与層	(2192)	6.7	24.6	41.3	27.3	31.3	68.7
関与度	中間層	(3133)	15.9	31.2	33.3	19.6	47.1	52.9
	低関与層	(4652)	5.1	28.4	43.7	22.9	33.4	66.6
	低関与層	(10215)	13.3	39.0	45.9	15.1	84.9	

④人権に関する催し物に参加してみたくなった

(全体)

- 『あてはまる』は 20.8%（「あてはまる 3.9%」＋「ややあてはまる 16.9%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、男女いずれも 21%前後であった。

(年代別)

- 『あてはまる』は、40 歳代（17.5%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代（27.0%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 25P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	3.9	16.9	40.0	39.2	20.8	79.2
性別	男性	(8921)	3.6	16.6	37.4	42.3	20.3	79.7
	女性	(9079)	4.1	17.1	42.6	36.2	21.2	78.8
年代	10～19歳	(1069)	6.2	20.9	37.9	35.1	27.0	73.0
	20代	(2293)	5.6	18.1	33.3	43.0	23.7	76.3
	30代	(2871)	3.7	15.7	35.2	45.4	19.4	80.6
	40代	(3269)	2.6	14.9	39.5	43.0	17.5	82.5
	50代	(2755)	3.2	15.5	41.9	39.4	18.7	81.3
	60代	(3551)	3.0	17.4	44.8	34.8	20.4	79.6
	70代	(2192)	5.3	19.0	45.0	30.7	24.4	75.6
関与度	高関与層	(3133)	12.1	25.9	36.6	25.3	38.0	62.0
	中関与層	(4652)	3.4	22.5	45.5	28.6	25.9	74.1
	低関与層	(10215)	11.5		38.6	48.3	13.1	86.9

⑤自分も人の人権を尊重しなくてはいけないと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 45.4%（「あてはまる 11.3%」＋「ややあてはまる 34.1%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（51.2%）が男性（39.6%）より 12P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（40.3%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（55.9%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 33P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	11.3	34.1	26.6	28.0	45.4	54.6
性別	男性	(8921)	8.8	30.7	27.1	33.3	39.6	60.4
	女性	(9079)	13.8	37.4	26.0	22.8	51.2	48.8
年代	10～19歳	(1069)	14.0	31.8	28.3	25.9	45.8	54.2
	20代	(2293)	11.8	31.9	25.9	30.4	43.7	56.3
	30代	(2871)	9.3	31.0	26.8	32.9	40.3	59.7
	40代	(3269)	8.4	32.1	27.6	31.9	40.6	59.4
	50代	(2755)	10.2	32.3	28.5	29.0	42.5	57.5
	60代	(3551)	12.3	38.6	25.5	23.6	50.9	49.1
	70代	(2192)	16.3	39.6	24.0	20.2	55.9	44.1
関与度	高関与層	(3133)	25.6	40.3	20.8	13.3	65.9	34.1
	中関与層	(4652)	14.2	44.3	26.3	15.1	58.5	41.5
	低関与層	(10215)	5.6	27.5	28.4	38.4	33.2	66.8

⑥相談する場所があることが分かった

(全体)

- 『あてはまる』は 46.8% (「あてはまる 12.2%」 + 「ややあてはまる 34.6%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (53.5%) が男性 (40.0%) より 14P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (41.9%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (55.2%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 33P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	12.2	34.6	25.5	27.7	46.8	53.2
性別	男性	(8921)	8.9	31.1	27.0	33.0	40.0	60.0
	女性	(9079)	15.4	38.1	24.0	22.5	53.5	46.5
年代	10～19歳	(1069)	13.4	31.1	29.2	26.4	44.4	55.6
	20代	(2293)	14.7	32.4	23.2	29.8	47.0	53.0
	30代	(2871)	11.0	30.8	25.1	33.1	41.9	58.1
	40代	(3269)	9.5	33.2	26.0	31.3	42.7	57.3
	50代	(2755)	10.1	34.0	28.0	27.9	44.1	55.9
	60代	(3551)	12.4	39.5	24.9	23.2	51.9	48.1
	70代	(2192)	16.5	38.7	24.0	20.8	55.2	44.8
関与度	高関与層	(3133)	27.0	40.1	19.9	13.1	67.1	32.9
	中関与層	(4652)	15.0	45.0	24.9	15.0	60.1	39.9
	低関与層	(10215)	6.3	28.2	27.5	38.0	34.5	65.5

⑦人権擁護委員の存在を知りきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 43.1% (「あてはまる 10.1%」 + 「ややあてはまる 33.0%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (49.3%) が男性 (36.9%) より 12P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (37.4%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (53.2%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 29P であった。

		(n)	あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない				あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	10.1	33.0	28.0	28.9	43.1	56.9
性別	男性	(8921)	7.5	29.3	29.0	34.2	36.9	63.1
	女性	(9079)	12.6	36.7	27.1	23.7	49.3	50.7
年代	10～19歳	(1069)	10.9	30.3	31.5	27.3	41.2	58.8
	20代	(2293)	10.6	30.4	26.8	32.1	41.1	58.9
	30代	(2871)	8.4	29.0	28.7	34.0	37.4	62.6
	40代	(3269)	7.5	30.9	29.6	32.1	38.4	61.6
	50代	(2755)	8.9	32.5	29.6	29.0	41.4	58.6
	60代	(3551)	11.1	38.0	26.6	24.3	49.1	50.9
	70代	(2192)	15.0	38.2	24.8	22.0	53.2	46.8
関与度	高関与層	(3133)	23.0	38.2	23.7	15.1	61.2	38.8
	中関与層	(4652)	12.2	42.0	28.8	17.1	54.2	45.8
	低関与層	(10215)	5.2	27.4	29.0	38.5	32.5	67.5

⑧人権擁護委員に相談できることがわかった

(全体)

- 『あてはまる』は 44.9% (「あてはまる 11.0%」 + 「ややあてはまる 33.9%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (51.5%) が男性 (38.1%) より 13P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (39.4%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (54.0%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 30P であった。

		(n)	あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない				あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	11.0	33.9	26.8	28.4	44.9	55.1
性別	男性	(8921)	8.0	30.1	28.0	33.9	38.1	61.9
	女性	(9079)	13.9	37.6	25.6	22.9	51.5	48.5
年代	10～19歳	(1069)	11.5	31.1	30.4	27.0	42.6	57.4
	20代	(2293)	11.7	32.0	25.6	30.7	43.7	56.3
	30代	(2871)	9.7	29.7	26.9	33.7	39.4	60.6
	40代	(3269)	8.2	31.9	28.2	31.7	40.1	59.9
	50代	(2755)	9.4	33.4	28.1	29.1	42.8	57.2
	60代	(3551)	12.1	39.1	25.1	23.8	51.1	48.9
	70代	(2192)	16.0	38.0	25.1	20.9	54.0	46.0
関与度	高関与層	(3133)	24.2	39.6	21.9	14.3	63.8	36.2
	中間与層	(4652)	13.6	43.3	26.8	16.3	56.9	43.1
	低関与層	(10215)	5.7	27.9	28.3	38.2	33.6	66.4

(2)人権週間ポスター

①人権問題を意識するきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 44.9%（「あてはまる 9.3%」＋「ややあてはまる 35.6%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（49.5%）が男性（40.3%）より 9P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（40.5%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（54.5%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 31P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	9.3	35.6	27.4	27.7	44.9	55.1
性別	男性	(8921)	7.7	32.6	27.1	32.6	40.3	59.7
	女性	(9079)	10.9	38.6	27.7	22.8	49.5	50.5
年代	10～19歳	(1069)	12.1	34.4	28.1	25.4	46.5	53.5
	20代	(2293)	11.0	35.5	23.9	29.6	46.5	53.5
	30代	(2871)	8.0	32.5	26.9	32.6	40.5	59.5
	40代	(3269)	7.5	33.5	27.3	31.6	41.0	59.0
	50代	(2755)	7.8	33.2	30.2	28.8	41.1	58.9
	60代	(3551)	8.9	38.9	29.1	23.1	47.8	52.2
	70代	(2192)	13.0	41.4	25.2	20.3	54.5	45.5
関与度	高関与層	(3133)	22.5	41.4	22.8	13.3	63.9	36.1
	中関与層	(4652)	11.5	46.3	26.7	15.5	57.8	42.2
	低関与層	(10215)	4.3	29.0	29.1	37.6	33.2	66.8

②人権問題についてもっと知りたくなった

(全体)

- 『あてはまる』は 34.1%（「あてはまる 7.2%」＋「ややあてはまる 27.0%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（36.9%）が男性（31.3%）より 6P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、50 歳代（30.6%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多

くなり、70 歳代（42.3%）が最も多い。

（関与度別）

➤『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 36P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	7.2	27.0	35.4	30.5	34.1	65.9
性別	男性	(8921)	6.3	25.0	33.8	35.0	31.3	68.7
	女性	(9079)	8.0	28.9	36.9	26.2	36.9	63.1
年代	10～19歳	(1069)	11.3	27.6	32.5	28.6	38.9	61.1
	20代	(2293)	9.2	26.4	31.2	33.2	35.6	64.4
	30代	(2871)	6.5	25.1	33.0	35.3	31.7	68.3
	40代	(3269)	5.5	25.6	34.9	34.0	31.1	68.9
	50代	(2755)	5.8	24.8	37.9	31.5	30.6	69.4
	60代	(3551)	6.6	27.5	39.7	26.2	34.1	65.9
	70代	(2192)	8.9	33.5	34.6	23.0	42.3	57.7
関与度	高関与層	(3133)	19.9	38.4	26.9	14.8	58.3	41.7
	中関与層	(4652)	8.5	36.1	37.4	18.1	44.6	55.4
	低関与層	(10215)	2.7	19.3	37.0	41.0	21.9	78.1

③家族や友人と話したいと思った

（全体）

➤『あてはまる』は 27.0%（「あてはまる 5.7%」＋「ややあてはまる 21.3%」。以下、同じ）であった。

（性別）

➤『あてはまる』は、女性（29.2%）が男性（24.7%）よりやや多い。

（年代別）

➤『あてはまる』は、50 歳代（23.7%）が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（33.0%）が最も多い。

（関与度別）

➤『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 34P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	5.7	21.3	38.6	34.5	27.0	73.0
性別	男性	(8921)	5.1	19.6	36.6	38.7	24.7	75.3
	女性	(9079)	6.3	22.9	40.4	30.3	29.2	70.8
年代	10～19歳	(1069)	8.7	23.6	35.5	32.3	32.3	67.7
	20代	(2293)	7.6	20.4	33.9	38.1	28.0	72.0
	30代	(2871)	5.0	20.0	35.5	39.5	25.0	75.0
	40代	(3269)	4.7	20.6	37.1	37.6	25.2	74.8
	50代	(2755)	4.7	18.9	41.8	34.5	23.7	76.3
	60代	(3551)	4.8	21.9	43.1	30.2	26.6	73.4
	70代	(2192)	7.3	25.8	39.6	27.3	33.0	67.0
関与度	高関与層	(3133)	17.1	32.6	32.2	18.2	49.7	50.3
	中間層	(4652)	6.1	29.7	42.2	21.9	35.9	64.1
	低関与層	(10215)	2.0	14.0	38.9	45.2	15.9	84.1

④人権に関する催し物に参加してみたくなった

(全体)

- 『あてはまる』は 21.8% (「あてはまる 4.4%」 + 「ややあてはまる 17.5%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、男女いずれも 22%前後であった。

(年代別)

- 『あてはまる』は、40 歳代 (18.9%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代 (27.8%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 26P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	4.4	17.5	40.2	38.0	21.8	78.2
性別	男性	(8921)	4.0	17.0	37.7	41.3	21.0	79.0
	女性	(9079)	4.7	17.9	42.6	34.8	22.6	77.4
年代	10～19歳	(1069)	7.3	20.5	38.4	33.8	27.8	72.2
	20代	(2293)	6.0	18.4	34.2	41.3	24.4	75.6
	30代	(2871)	4.1	16.5	35.3	44.2	20.6	79.4
	40代	(3269)	3.4	15.5	39.4	41.7	18.9	81.1
	50代	(2755)	3.8	15.3	42.8	38.1	19.1	80.9
	60代	(3551)	3.2	18.2	44.9	33.7	21.4	78.6
	70代	(2192)	5.7	20.7	43.8	29.8	26.4	73.6
関与度	高関与層	(3133)	12.9	26.9	36.2	24.0	39.8	60.2
	中間層	(4652)	4.3	22.9	45.4	27.4	27.3	72.7
	低関与層	(10215)	12.1	39.0	47.1		13.8	86.2

⑤自分も人の人権を尊重しなくてはいけないと思った

(全体)

➢『あてはまる』は 46.7% (「あてはまる 11.9%」 + 「ややあてはまる 34.8%」。以下、同じ) であった。

(性別)

➢『あてはまる』は、女性 (52.6%) が男性 (40.6%) より 12P 多い。

(年代別)

➢『あてはまる』は、30 歳代 (41.4%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (56.9%) が最も多い。

(関与度別)

➢『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 34P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	11.9	34.8	25.9	27.4	46.7	53.3
性別	男性	(8921)	9.4	31.2	26.9	32.5	40.6	59.4
	女性	(9079)	14.2	38.4	25.0	22.4	52.6	47.4
年代	10～19歳	(1069)	14.3	33.1	27.7	24.9	47.4	52.6
	20代	(2293)	12.4	32.7	25.6	29.3	45.1	54.9
	30代	(2871)	10.7	30.7	26.3	32.3	41.4	58.6
	40代	(3269)	9.4	32.8	26.4	31.4	42.2	57.8
	50代	(2755)	11.0	33.1	27.4	28.6	44.1	55.9
	60代	(3551)	11.9	39.7	25.3	23.2	51.5	48.5
	70代	(2192)	16.2	40.7	23.5	19.6	56.9	43.1
関与度	高関与層	(3133)	26.5	41.0	20.1	12.4	67.5	32.5
	中関与層	(4652)	15.5	45.6	24.6	14.3	61.1	38.9
	低関与層	(10215)	5.7	28.0	28.4	37.9	33.7	66.3

⑥相談する場所があることが分かった

(全体)

➢『あてはまる』は 48.0% (「あてはまる 12.3%」 + 「ややあてはまる 35.7%」。以下、同じ) であった。

(性別)

➢『あてはまる』は、女性 (55.0%) が男性 (40.9%) より 14P 多い。

(年代別)

➢『あてはまる』は、30 歳代 (43.1%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (57.1%) が最も多い。

(関与度別)

➢『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 32P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	12.3	35.7	25.1	26.9	48.0	52.0
性別	男性	(8921)	8.9	32.0	26.8	32.2	40.9	59.1
	女性	(9079)	15.6	39.4	23.4	21.7	55.0	45.0
年代	10～19歳	(1069)	14.3	32.2	28.7	24.8	46.5	53.5
	20代	(2293)	14.4	34.1	22.7	28.8	48.5	51.5
	30代	(2871)	11.2	31.9	25.0	31.9	43.1	56.9
	40代	(3269)	10.1	33.7	25.9	30.3	43.8	56.2
	50代	(2755)	10.6	34.6	26.9	27.9	45.2	54.8
	60代	(3551)	12.5	40.0	24.6	22.8	52.5	47.5
	70代	(2192)	15.7	41.4	23.1	19.8	57.1	42.9
関与度	高関与層	(3133)	26.5	41.4	19.9	12.3	67.9	32.1
	中間層	(4652)	15.6	46.4	23.9	14.1	62.0	38.0
	低関与層	(10215)	6.5	29.1	27.2	37.2	35.6	64.4

⑦人権擁護委員の存在を知るきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 44.1%（「あてはまる 10.5%」＋「ややあてはまる 33.6%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（50.4%）が男性（37.7%）より 13P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（38.8%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（54.4%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 29P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		#####	10.5	33.6	27.6	28.3	44.1	55.9
性別	男性	(8921)	7.8	30.0	28.8	33.5	37.7	62.3
	女性	(9079)	13.1	37.2	26.5	23.1	50.4	49.6
年代	10～19歳	(1069)	10.4	31.9	30.5	27.2	42.3	57.7
	20代	(2293)	11.4	31.7	26.1	30.9	43.0	57.0
	30代	(2871)	9.3	29.5	27.8	33.4	38.8	61.2
	40代	(3269)	8.0	31.3	29.3	31.4	39.3	60.7
	50代	(2755)	9.2	32.5	29.2	29.1	41.7	58.3
	60代	(3551)	11.5	38.0	26.6	23.9	49.5	50.5
	70代	(2192)	14.7	39.7	25.0	20.6	54.4	45.6
関与度	高関与層	(3133)	23.0	39.3	23.4	14.3	62.3	37.7
	中間層	(4652)	12.9	42.5	28.1	16.5	55.4	44.6
	低関与層	#####	5.5	27.8	28.7	37.9	33.4	66.6

⑧人権擁護委員に相談できることがわかった

(全体)

- 『あてはまる』は 45.8% (「あてはまる 11.6%」 + 「ややあてはまる 34.2%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (52.6%) が男性 (38.8%) より 14P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30・40 歳代 (41.3%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (55.3%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 31P であった。

		(n)	あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない				あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	11.6	34.2	26.4	27.9	45.8	54.2
性別	男性	(8921)	8.4	30.4	27.8	33.3	38.8	61.2
	女性	(9079)	14.7	37.9	24.9	22.5	52.6	47.4
年代	10～19歳	(1069)	13.0	31.3	28.8	26.8	44.3	55.7
	20代	(2293)	12.3	31.7	25.7	30.2	44.0	56.0
	30代	(2871)	10.6	30.8	25.5	33.2	41.3	58.7
	40代	(3269)	8.6	32.6	27.8	30.9	41.3	58.7
	50代	(2755)	10.1	32.6	28.5	28.8	42.7	57.3
	60代	(3551)	12.6	39.0	24.9	23.5	51.6	48.4
	70代	(2192)	16.2	39.1	24.4	20.3	55.3	44.7
関与度	高関与層	(3133)	25.0	40.1	21.2	13.7	65.0	35.0
	中関与層	(4652)	14.7	43.7	25.9	15.7	58.4	41.6
	低関与層	(10215)	6.0	28.1	28.1	37.7	34.1	65.9

(3)北朝鮮人権侵害問題啓発週間ポスター

①人権問題を意識するきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 45.4% (「あてはまる 11.7%」 + 「ややあてはまる 33.7%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (50.4%) が男性 (40.3%) より 10P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30～50 歳代が 42%強で、これより年代が上がる下がるにつれて

多くなり、70 歳代（53.1%）が最も多い。

（関与度別）

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 30P であった。

		(n)	あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない				あてはまる	あてはまらない
全体	男性	(18000)	11.7	33.7	26.2	28.5	45.4	54.6
	女性	(8921)	9.6	30.7	26.3	33.4	40.3	59.7
年代	10～19歳	(9079)	13.8	36.6	26.0	23.6	50.4	49.6
	20代	(1069)	13.9	30.9	29.1	26.1	44.8	55.2
	30代	(2293)	12.3	34.5	23.2	30.0	46.8	53.2
	40代	(2871)	10.1	32.4	24.1	33.4	42.5	57.5
	50代	(3269)	9.9	32.5	25.4	32.2	42.4	57.6
	60代	(2755)	9.8	32.5	28.5	29.3	42.2	57.8
	70代	(3551)	11.9	35.5	28.3	24.3	47.4	52.6
	関与度	(2192)	16.7	36.3	25.4	21.5	53.1	46.9
	高関与層	(3133)	26.6	37.2	21.5	14.7	63.8	36.2
	中間層	(4652)	14.3	43.5	25.6	16.6	57.8	42.2
	低関与層	(10215)	5.9	28.1	27.9	38.1	34.1	65.9

②人権問題についてもっと知りたくなった

（全体）

- 『あてはまる』は 36.1%（「あてはまる 9.4%」＋「ややあてはまる 26.7%」。以下、同じ）であった。

（性別）

- 『あてはまる』は、女性（39.8%）が男性（32.4%）より 7P 多い。

（年代別）

- 『あてはまる』は、50 歳代（32.7%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（43.1%）が最も多い。

（関与度別）

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 35P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	9.4	26.7	33.1	30.8	36.1	63.9
性別	男性	(8921)	8.1	24.2	31.9	35.7	32.4	67.6
	女性	(9079)	10.6	29.2	34.3	25.9	39.8	60.2
年代	10～19歳	(1069)	13.4	24.7	32.1	29.8	38.1	61.9
	20代	(2293)	10.5	27.4	29.6	32.5	37.9	62.1
	30代	(2871)	8.0	27.2	29.4	35.4	35.2	64.8
	40代	(3269)	8.1	25.2	32.5	34.2	33.4	66.6
	50代	(2755)	7.7	25.0	35.2	32.1	32.7	67.3
	60代	(3551)	9.0	26.9	37.7	26.4	35.8	64.2
	70代	(2192)	12.6	30.4	33.2	23.7	43.1	56.9
関与度	高関与層	(3133)	24.1	34.8	25.7	15.4	58.9	41.1
	中関与層	(4652)	11.4	36.2	33.7	18.7	47.6	52.4
	低関与層	(10215)	3.9	19.9	35.2	41.0	23.9	76.1

③家族や友人と話したいと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 28.9% (「あてはまる 7.1%」 + 「ややあてはまる 21.8%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (32.0%) が男性 (25.8%) より 6P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、50 歳代 (26.1%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (35.4%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 35P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	7.1	21.8	36.2	34.9	28.9	71.1
性別	男性	(8921)	6.2	19.6	34.7	39.5	25.8	74.2
	女性	(9079)	8.0	24.0	37.7	30.3	32.0	68.0
年代	10～19歳	(1069)	9.1	23.4	34.4	33.1	32.5	67.5
	20代	(2293)	8.8	21.6	31.7	37.9	30.4	69.6
	30代	(2871)	5.9	20.9	33.1	40.0	26.9	73.1
	40代	(3269)	6.5	20.4	35.3	37.8	26.9	73.1
	50代	(2755)	5.5	20.5	38.8	35.2	26.1	73.9
	60代	(3551)	6.6	22.1	40.3	31.0	28.7	71.3
	70代	(2192)	9.7	25.7	37.4	27.2	35.4	64.6
関与度	高関与層	(3133)	19.8	32.2	29.2	18.8	52.0	48.0
	中関与層	(4652)	8.2	30.9	38.3	22.6	39.1	60.9
	低関与層	(10215)	2.7	14.5	37.4	45.4	17.2	82.8

④人権に関する催し物に参加してみたくなった

(全体)

- 『あてはまる』は 22.5% (「あてはまる 5.4%」 + 「ややあてはまる 17.2%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、男女いずれも 23%前後であった。

(年代別)

- 『あてはまる』は、40 歳代 (19.4%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (28.0%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 26P であった。

		(n)				あてはまる	あてはまらない
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
全体		(18000)	5.4	17.2	38.8	38.6	22.5 77.5
性別	男性	(8921)	5.1	16.9	36.0	42.1	22.0 78.0
	女性	(9079)	5.6	17.4	41.7	35.3	23.1 76.9
年代	10～19歳	(1069)	8.1	19.3	36.6	36.0	27.4 72.6
	20代	(2293)	6.2	17.7	33.1	43.0	23.9 76.1
	30代	(2871)	4.4	16.4	34.0	45.2	20.8 79.2
	40代	(3269)	4.3	15.1	39.0	41.7	19.4 80.6
	50代	(2755)	4.5	15.6	41.4	38.5	20.1 79.9
	60代	(3551)	4.9	18.0	43.1	34.0	22.9 77.1
	70代	(2192)	7.8	20.2	42.2	29.8	28.0 72.0
関与度	高関与層	(3133)	14.7	25.6	34.8	24.9	40.3 59.7
	中関与層	(4652)	5.8	22.4	43.5	28.3	28.2 71.8
	低関与層	(10215)	2.3	12.2	38.0	47.6	14.5 85.5

⑤自分も人の人権を尊重しなくてはいけないと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 45.6% (「あてはまる 12.8%」 + 「ややあてはまる 32.7%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (51.7%) が男性 (39.3%) より 12P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (41.5%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (55.3%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 30P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	12.8	32.7	25.9	28.5	45.6	54.5
性別	男性	(8921)	10.1	29.3	26.7	33.9	39.3	60.7
	女性	(9079)	15.6	36.1	25.1	23.3	51.7	48.3
年代	10～19歳	(1069)	16.0	28.3	29.5	26.3	44.2	55.8
	20代	(2293)	13.3	31.1	24.8	30.8	44.4	55.6
	30代	(2871)	11.0	30.5	25.1	33.4	41.5	58.5
	40代	(3269)	10.8	31.4	25.7	32.1	42.2	57.8
	50代	(2755)	11.3	31.4	27.1	30.3	42.6	57.4
	60代	(3551)	13.4	35.8	26.4	24.3	49.3	50.7
	70代	(2192)	17.2	38.1	24.5	20.2	55.3	44.7
関与度	高関与層	(3133)	27.7	36.3	21.5	14.5	64.0	36.0
	中関与層	(4652)	16.7	42.4	24.2	16.6	59.2	40.8
	低関与層	(10215)	6.5	27.2	28.0	38.3	33.7	66.3

⑥相談する場所があることが分かった

(全体)

- 『あてはまる』は 41.2% (「あてはまる 10.8%」 + 「ややあてはまる 30.4%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (47.0%) が男性 (35.3%) より 12P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (35.8%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (52.4%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 26P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	10.8	30.4	28.1	30.7	41.2	58.8
性別	男性	(8921)	8.1	27.3	28.5	36.2	35.3	64.7
	女性	(9079)	13.4	33.5	27.7	25.3	47.0	53.0
年代	10～19歳	(1069)	12.6	27.8	30.8	28.8	40.4	59.6
	20代	(2293)	10.6	27.6	27.1	34.7	38.2	61.8
	30代	(2871)	8.5	27.3	28.0	36.3	35.8	64.2
	40代	(3269)	9.3	28.1	28.3	34.3	37.4	62.6
	50代	(2755)	9.2	29.8	29.8	31.2	38.9	61.1
	60代	(3551)	12.0	34.2	28.0	25.8	46.2	53.8
	70代	(2192)	15.2	37.1	25.7	21.9	52.4	47.6
関与度	高関与層	(3133)	23.6	34.0	24.5	17.9	57.6	42.4
	中関与層	(4652)	13.5	38.7	28.4	19.3	52.3	47.7
	低関与層	(10215)	5.6	25.6	29.1	39.8	31.2	68.8

⑦人権擁護委員の存在を知るきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 39.7%（「あてはまる 9.9%」＋「ややあてはまる 29.8%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（45.0%）が男性（34.2%）より 11P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（33.8%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（51.7%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 25P であった。

		(n)	あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない				あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	9.9	29.8	28.8	31.5	39.7	60.3
性別	男性	(8921)	7.4	26.8	28.7	37.1	34.2	65.8
	女性	(9079)	12.3	32.7	28.9	26.1	45.0	55.0
年代	10～19歳	(1069)	11.1	26.7	32.5	29.7	37.8	62.2
	20代	(2293)	9.9	26.9	27.2	36.0	36.8	63.2
	30代	(2871)	7.7	26.0	28.6	37.7	33.8	66.2
	40代	(3269)	8.3	26.9	29.7	35.1	35.2	64.8
	50代	(2755)	8.6	29.1	30.5	31.8	37.7	62.3
	60代	(3551)	10.9	34.2	28.6	26.2	45.1	54.9
	70代	(2192)	14.4	37.3	25.8	22.5	51.7	48.3
関与度	高関与層	(3133)	21.6	33.2	25.8	19.3	54.8	45.2
	中関与層	(4652)	12.3	37.9	29.1	20.6	50.2	49.8
	低関与層	(10215)	5.2	25.0	29.6	40.2	30.2	69.8

⑧人権擁護委員に相談できることがわかった

(全体)

- 『あてはまる』は 40.3%（「あてはまる 10.4%」＋「ややあてはまる 29.9%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（45.7%）が男性（34.7%）より 11P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（34.7%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（52.0%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 25P であった。

		(n)				あてはまる	あてはまらない
		あてはまる		ややあてはまる		あまりあてはまらない	あてはまらない
全体		(18000)	10.4	29.9	28.5	31.2	40.3 59.7
性別	男性	(8921)	7.9	26.8	28.3	37.0	34.7 65.3
	女性	(9079)	12.9	32.9	28.6	25.6	45.7 54.3
年代	10～19歳	(1069)	11.8	27.0	31.3	29.8	38.8 61.2
	20代	(2293)	10.7	26.6	27.2	35.5	37.4 62.6
	30代	(2871)	8.2	26.5	28.1	37.3	34.7 65.3
	40代	(3269)	8.7	27.2	29.1	35.0	35.9 64.1
	50代	(2755)	8.7	29.7	29.8	31.8	38.4 61.6
	60代	(3551)	11.5	34.0	28.7	25.9	45.5 54.5
	70代	(2192)	15.5	36.5	26.0	21.9	52.0 48.0
関与度	高関与層	(3133)	22.8	32.5	25.7	19.0	55.3 44.7
	中間層	(4652)	13.1	38.3	28.2	20.4	51.4 48.6
	低関与層	(10215)	5.4	25.2	29.4	39.9	30.6 69.4

(4)外国人の人権キャッチコピーコンテストポスター

①人権問題を意識するきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 41.3% (「あてはまる 8.4%」 + 「ややあてはまる 32.9%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (46.1%) が男性 (36.4%) より 10P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、40・50 歳代 (37.5%) が最も少なく、これより年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (47.2%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 28P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	8.4	32.9	29.0	29.7	41.3	58.7
性別	男性	(8921)	6.9	29.4	28.8	34.9	36.4	63.6
	女性	(9079)	9.7	36.4	29.2	24.7	46.1	53.9
年代	10～19歳	(1069)	12.3	31.9	29.3	26.6	44.2	55.8
	20代	(2293)	10.5	33.9	24.8	30.8	44.4	55.6
	30代	(2871)	7.2	30.8	27.4	34.6	38.0	62.0
	40代	(3269)	6.4	31.1	28.9	33.6	37.5	62.5
	50代	(2755)	7.0	30.5	32.1	30.5	37.5	62.5
	60代	(3551)	8.0	35.9	30.8	25.3	43.9	56.1
	70代	(2192)	10.9	36.2	28.5	24.3	47.2	52.8
関与度	高関与層	(3133)	21.4	37.4	25.1	16.0	58.9	41.1
	中関与層	(4652)	9.4	43.0	29.3	18.3	52.4	47.6
	低関与層	(10215)	3.9	27.0	30.0	39.2	30.8	69.2

②人権問題についてもっと知りたくなった

(全体)

- 『あてはまる』は 32.9% (「あてはまる 7.0%」 + 「ややあてはまる 25.9%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (36.1%) が男性 (29.7%) より 8P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、40 歳代 (29.3%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (38.0%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 34P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	7.0	25.9	35.2	31.9	32.9	67.1
性別	男性	(8921)	6.1	23.6	33.7	36.7	29.7	70.3
	女性	(9079)	8.0	28.2	36.7	27.1	36.1	63.9
年代	10～19歳	(1069)	12.3	25.3	33.6	28.9	37.5	62.5
	20代	(2293)	9.6	27.6	30.0	32.8	37.2	62.8
	30代	(2871)	6.1	25.0	32.6	36.3	31.1	68.9
	40代	(3269)	5.7	23.6	35.1	35.6	29.3	70.7
	50代	(2755)	5.5	24.2	37.2	33.1	29.7	70.3
	60代	(3551)	6.3	26.6	39.3	27.8	32.9	67.1
	70代	(2192)	8.1	29.9	36.0	26.0	38.0	62.0
関与度	高関与層	(3133)	19.5	35.8	28.1	16.5	55.4	44.6
	中関与層	(4652)	7.8	35.0	36.9	20.3	42.8	57.2
	低関与層	(10215)	2.8	18.7	36.6	41.9	21.5	78.5

③家族や友人と話したいと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 26.4%（「あてはまる 5.4%」＋「ややあてはまる 21.0%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（28.7%）が男性（24.1%）よりやや多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、50 歳代（23.6%）が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代（30.8%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 33P であった。

						あてはまる	あてはまらない
		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
全体		(18000)	5.4	21.0	37.8	35.7	26.4 73.6
性別	男性	(8921)	4.8	19.3	35.9	40.0	24.1 75.9
	女性	(9079)	6.0	22.7	39.8	31.5	28.7 71.3
年代	10～19歳	(1069)	8.0	22.7	36.5	32.7	30.8 69.2
	20代	(2293)	7.5	22.2	32.4	37.9	29.7 70.3
	30代	(2871)	4.6	20.9	34.0	40.6	25.5 74.5
	40代	(3269)	4.4	19.9	36.1	39.5	24.3 75.7
	50代	(2755)	4.5	19.2	40.7	35.7	23.6 76.4
	60代	(3551)	4.9	20.4	43.2	31.4	25.3 74.7
	70代	(2192)	6.6	23.9	39.6	30.0	30.4 69.6
関与度	高関与層	(3133)	15.9	32.4	31.7	20.0	48.4 51.6
	中関与層	(4652)	5.7	29.0	41.0	24.2	34.7 65.3
	低関与層	(10215)	2.1	13.9	38.3	45.8	15.9 84.1

④人権に関する催し物に参加してみたくなった

(全体)

- 『あてはまる』は 21.3%（「あてはまる 4.4%」＋「ややあてはまる 16.9%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、男女いずれも 21%前後であった。

(年代別)

- 『あてはまる』は、40 歳代（18.3%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代（27.1%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 24P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	4.4	16.9	39.6	39.1	21.3	78.8
性別	男性	(8921)	4.2	16.3	36.9	42.6	20.5	79.5
	女性	(9079)	4.5	17.5	42.3	35.7	22.0	78.0
年代	10～19歳	(1069)	7.1	20.0	38.2	34.7	27.1	72.9
	20代	(2293)	6.7	17.7	33.9	41.7	24.4	75.6
	30代	(2871)	3.7	16.5	35.0	44.9	20.2	79.8
	40代	(3269)	3.4	14.9	38.3	43.4	18.3	81.7
	50代	(2755)	3.2	15.5	42.4	38.9	18.7	81.3
	60代	(3551)	3.5	17.3	44.4	34.8	20.8	79.2
	70代	(2192)	5.7	19.1	43.1	32.1	24.8	75.2
関与度	高関与層	(3133)	12.4	25.7	36.2	25.7	38.1	61.9
	中関与層	(4652)	4.2	21.8	44.5	29.6	25.9	74.1
	低関与層	(10215)	2.0	12.0	38.4	47.6	14.0	86.0

⑤自分も人の人権を尊重しなくてはいけないと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 44.0% (「あてはまる 10.9%」 + 「ややあてはまる 33.0%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (50.2%) が男性 (37.5%) より 13P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、40 歳代 (39.8%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (51.6%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 31P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	10.9	33.0	26.9	29.2	44.0	56.1
性別	男性	(8921)	8.3	29.2	27.7	34.7	37.5	62.5
	女性	(9079)	13.5	36.8	26.0	23.8	50.2	49.8
年代	10～19歳	(1069)	14.1	29.9	29.7	26.3	44.1	55.9
	20代	(2293)	12.3	31.8	24.8	31.1	44.1	55.9
	30代	(2871)	9.9	30.3	25.8	34.0	40.2	59.8
	40代	(3269)	8.8	31.0	26.9	33.3	39.8	60.2
	50代	(2755)	9.5	32.1	28.3	30.1	41.6	58.4
	60代	(3551)	11.1	36.6	27.5	24.8	47.7	52.3
	70代	(2192)	14.0	37.7	26.2	22.1	51.6	48.4
関与度	高関与層	(3133)	24.9	38.3	21.8	15.0	63.2	36.8
	中関与層	(4652)	13.7	43.2	25.8	17.3	56.9	43.1
	低関与層	(10215)	5.4	26.8	28.9	39.0	32.1	67.9

⑥相談する場所があることが分かった

(全体)

- 『あてはまる』は 41.8%（「あてはまる 9.9%」＋「ややあてはまる 31.9%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（48.0%）が男性（35.4%）より 13P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（36.6%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（50.8%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 28P であった。

		(n)				あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
性別	男性	(8921)	9.9	31.9	28.3	29.9	41.8
	女性	(9079)	12.4	35.6	27.7	24.3	58.2
年代	10～19歳	(1069)	12.3	28.4	31.2	28.0	41.2
	20代	(2293)	10.6	30.6	27.0	31.8	58.8
	30代	(2871)	8.4	28.2	27.9	35.5	63.4
	40代	(3269)	8.3	29.7	28.2	33.8	62.0
	50代	(2755)	8.5	30.9	30.2	30.4	60.6
	60代	(3551)	10.4	36.0	28.1	25.5	53.6
	70代	(2192)	13.0	37.7	27.0	22.2	49.2
関与度	高関与層	(3133)	22.5	36.3	24.7	16.5	41.2
	中関与層	(4652)	11.8	41.6	28.0	18.6	46.6
	低関与層	(10215)	5.1	26.1	29.6	39.1	68.8

⑦人権擁護委員の存在を知るきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 39.7%（「あてはまる 8.9%」＋「ややあてはまる 30.8%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（45.3%）が男性（34.0%）より 11P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（34.1%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（49.9%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 26P であった。

		(n)				あてはまる	あてはまらない
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
全体		(18000)	8.9	30.8	29.4	30.9	39.7 60.3
性別	男性	(8921)	6.6	27.3	29.5	36.5	34.0 66.0
	女性	(9079)	11.1	34.2	29.3	25.4	45.3 54.7
年代	10～19歳	(1069)	9.9	29.6	31.5	29.0	39.5 60.5
	20代	(2293)	9.4	28.5	28.4	33.7	37.9 62.1
	30代	(2871)	7.7	26.4	29.2	36.7	34.1 65.9
	40代	(3269)	6.7	28.8	29.7	34.8	35.5 64.5
	50代	(2755)	8.3	29.3	31.1	31.3	37.6 62.4
	60代	(3551)	9.7	34.8	29.6	25.8	44.6 55.4
	70代	(2192)	12.1	37.8	26.7	23.4	49.9 50.1
関与度	高関与層	(3133)	20.6	35.0	26.2	18.3	55.6 44.4
	中関与層	(4652)	10.6	39.4	30.2	19.8	50.0 50.0
	低関与層	(10215)	4.5	25.6	30.0	39.8	30.1 69.9

⑧人権擁護委員に相談できるとわかった

(全体)

- 『あてはまる』は 40.6% (「あてはまる 9.6%」 + 「ややあてはまる 31.0%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (46.5%) が男性 (34.6%) より 10P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (35.3%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (50.6%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 26P であった。

		(n)				あてはまる	あてはまらない
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
全体		(18000)	9.6	31.0	29.0	30.4	40.6 59.4
性別	男性	(8921)	7.1	27.5	29.3	36.0	34.6 65.4
	女性	(9079)	12.0	34.5	28.6	24.9	46.5 53.5
年代	10～19歳	(1069)	11.7	28.1	32.3	28.0	39.8 60.2
	20代	(2293)	10.1	28.9	28.0	33.0	38.9 61.1
	30代	(2871)	7.9	27.4	28.5	36.2	35.3 64.7
	40代	(3269)	7.1	29.2	29.2	34.4	36.3 63.7
	50代	(2755)	8.6	30.0	30.7	30.7	38.5 61.5
	60代	(3551)	10.8	34.9	28.6	25.7	45.7 54.3
	70代	(2192)	13.3	37.3	26.8	22.6	50.6 49.4
関与度	高関与層	(3133)	21.8	35.0	25.6	17.5	56.8 43.2
	中関与層	(4652)	11.6	40.1	29.1	19.2	51.7 48.3
	低関与層	(10215)	4.9	25.7	29.9	39.5	30.6 69.4

(5)「ヘイトスピーチ許さない」ポスター

①人権問題を意識するきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 45.8%（「あてはまる 11.1%」＋「ややあてはまる 34.7%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（50.1%）が男性（41.4%）より 9P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（39.9%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（54.5%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 32P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	11.1	34.7	25.6	28.6	45.8	54.2
性別	男性	(8921)	9.7	31.7	25.4	33.2	41.4	58.6
	女性	(9079)	12.5	37.6	25.8	24.1	50.1	49.9
年代	10～19歳	(1069)	14.0	30.8	28.4	26.8	44.8	55.2
	20代	(2293)	11.5	32.4	24.3	31.8	43.9	56.1
	30代	(2871)	9.9	30.0	25.0	35.1	39.9	60.1
	40代	(3269)	8.6	33.3	25.7	32.4	41.9	58.1
	50代	(2755)	9.9	34.5	27.4	28.2	44.4	55.6
	60代	(3551)	11.5	40.0	25.3	23.2	51.5	48.5
	70代	(2192)	15.6	38.9	24.5	21.1	54.5	45.5
関与度	高関与層	(3133)	27.4	38.8	19.6	14.2	66.2	33.8
	中関与層	(4652)	13.4	45.0	25.0	16.5	58.4	41.6
	低関与層	(10215)	5.1	28.7	27.7	38.5	33.8	66.2

②人権問題についてもっと知りたくなった

(全体)

- 『あてはまる』は 35.4%（「あてはまる 8.9%」＋「ややあてはまる 26.6%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（38.2%）が男性（32.7%）より 6P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、40 歳代（32.3%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多

くなり、70 歳代（41.4%）が最も多い。

（関与度別）

➤『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 37P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	8.9	26.6	33.3	31.3	35.4	64.6
性別	男性	(8921)	7.7	25.0	31.6	35.8	32.7	67.3
	女性	(9079)	10.0	28.2	34.9	26.9	38.2	61.8
年代	10～19歳	(1069)	12.3	26.3	32.9	28.5	38.5	61.5
	20代	(2293)	10.2	27.0	28.7	34.1	37.2	62.8
	30代	(2871)	8.0	24.7	30.3	36.9	32.7	67.3
	40代	(3269)	7.0	25.2	32.6	35.1	32.3	67.7
	50代	(2755)	7.8	24.7	35.7	31.8	32.5	67.5
	60代	(3551)	8.4	28.8	36.8	26.0	37.1	62.9
	70代	(2192)	11.7	29.7	34.2	24.4	41.4	58.6
関与度	高関与層	(3133)	24.1	36.0	24.8	15.1	60.1	39.9
	中関与層	(4652)	10.6	36.0	34.3	19.2	46.6	53.4
	低関与層	(10215)	3.4	19.4	35.4	41.8	22.8	77.2

③家族や友人と話したいと思った

（全体）

➤『あてはまる』は 28.5%（「あてはまる 6.6%」＋「ややあてはまる 21.9%」。以下、同じ）であった。

（性別）

➤『あてはまる』は、女性（31.0%）が男性（25.9%）より 5P 多い。

（年代別）

➤『あてはまる』は、50 歳代（25.3%）が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（35.1%）が最も多い。

（関与度別）

➤『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 37P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	6.6	21.9	36.1	35.4	28.5	71.5
性別	男性	(8921)	5.8	20.1	34.5	39.6	25.9	74.1
	女性	(9079)	7.4	23.6	37.6	31.4	31.0	69.0
年代	10～19歳	(1069)	9.1	23.0	34.9	33.0	32.1	67.9
	20代	(2293)	7.6	22.4	30.8	39.2	30.0	70.0
	30代	(2871)	5.8	19.7	32.8	41.7	25.5	74.5
	40代	(3269)	5.7	20.9	34.1	39.2	26.6	73.4
	50代	(2755)	5.6	19.7	39.9	34.8	25.3	74.7
	60代	(3551)	6.0	22.9	40.6	30.5	28.9	71.1
	70代	(2192)	9.0	26.1	37.3	27.6	35.1	64.9
関与度	高関与層	(3133)	19.7	33.7	28.2	18.4	53.4	46.6
	中関与層	(4652)	7.0	31.1	38.2	23.7	38.1	61.9
	低関与層	(10215)	2.4	14.1	37.5	46.0	16.5	83.5

④人権に関する催し物に参加してみたくなった

(全体)

- 『あてはまる』は 21.8% (「あてはまる 5.0%」 + 「ややあてはまる 16.8%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、男女いずれも 22%前後であった。

(年代別)

- 『あてはまる』は、40 歳代 (18.5%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (26.8%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 26P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	5.0	16.8	38.7	39.6	21.8	78.3
性別	男性	(8921)	4.7	16.4	36.0	42.8	21.2	78.8
	女性	(9079)	5.2	17.1	41.3	36.3	22.3	77.7
年代	10～19歳	(1069)	8.3	18.1	37.6	36.0	26.4	73.6
	20代	(2293)	5.7	18.8	32.2	43.3	24.5	75.5
	30代	(2871)	4.6	14.9	34.1	46.5	19.4	80.6
	40代	(3269)	3.8	14.7	37.7	43.9	18.5	81.5
	50代	(2755)	4.4	15.1	41.4	39.1	19.5	80.5
	60代	(3551)	4.1	18.0	43.5	34.4	22.1	77.9
	70代	(2192)	7.1	19.7	42.3	30.9	26.8	73.2
関与度	高関与層	(3133)	14.6	25.4	35.1	25.0	40.0	60.0
	中関与層	(4652)	5.0	21.4	43.8	29.8	26.4	73.6
	低関与層	(10215)	2.0	12.0	37.5	48.5	14.1	85.9

⑤自分も人の人権を尊重しなくてはいけないと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 46.1%（「あてはまる 12.4%」＋「ややあてはまる 33.6%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（51.6%）が男性（40.3%）より 11P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（38.9%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（56.8%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 34P であった。

		(n)				あてはまる	あてはまらない
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
全体		(18000)	12.4	33.6	25.0	29.0	46.0 54.0
性別	男性	(8921)	9.9	30.4	25.6	34.0	40.3 59.7
	女性	(9079)	14.9	36.7	24.4	24.0	51.6 48.4
年代	10～19歳	(1069)	14.5	29.8	27.9	27.8	44.3 55.7
	20代	(2293)	12.5	30.5	25.2	31.8	43.0 57.0
	30代	(2871)	10.5	28.4	25.6	35.5	38.9 61.1
	40代	(3269)	10.2	31.5	25.7	32.6	41.7 58.3
	50代	(2755)	11.7	32.6	26.3	29.4	44.3 55.7
	60代	(3551)	13.0	39.8	23.8	23.4	52.8 47.2
	70代	(2192)	17.3	39.5	22.0	21.2	56.8 43.2
関与度	高関与層	(3133)	28.9	38.4	18.8	14.0	67.2 32.8
	中関与層	(4652)	15.8	43.6	23.5	17.1	59.5 40.5
	低関与層	(10215)	5.8	27.5	27.6	39.0	33.4 66.6

⑥相談する場所があることが分かった

(全体)

- 『あてはまる』は 42.0%（「あてはまる 10.6%」＋「ややあてはまる 31.3%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（47.7%）が男性（36.1%）より 12P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（34.5%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（53.2%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 29P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	10.6	31.3	27.6	30.5	42.0	58.0
性別	男性	(8921)	8.0	28.1	27.8	36.1	36.1	63.9
	女性	(9079)	13.2	34.5	27.3	25.0	47.7	52.3
年代	10～19歳	(1069)	12.1	28.2	30.6	29.2	40.2	59.8
	20代	(2293)	10.0	29.3	26.5	34.2	39.3	60.7
	30代	(2871)	9.1	25.5	28.2	37.3	34.5	65.5
	40代	(3269)	8.7	29.2	27.7	34.3	38.0	62.0
	50代	(2755)	9.5	30.3	29.9	30.3	39.8	60.2
	60代	(3551)	11.6	37.0	26.6	24.9	48.6	51.4
	70代	(2192)	15.4	37.9	24.9	21.9	53.2	46.8
関与度	高関与層	(3133)	24.9	35.2	23.3	16.6	60.1	39.9
	中関与層	(4652)	12.8	40.5	28.0	18.7	53.3	46.7
	低関与層	(10215)	5.3	25.9	28.7	40.1	31.2	68.8

⑦人権擁護委員の存在を知るきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 39.6% (「あてはまる 9.6%」 + 「ややあてはまる 30.0%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (44.8%) が男性 (34.4%) より 10P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (32.4%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (51.5%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 27P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	9.6	30.0	29.0	31.4	39.6	60.4
性別	男性	(8921)	7.2	27.2	28.9	36.7	34.4	65.6
	女性	(9079)	12.0	32.8	29.1	26.1	44.8	55.2
年代	10～19歳	(1069)	11.9	25.6	32.1	30.4	37.5	62.5
	20代	(2293)	9.5	26.6	28.1	35.8	36.1	63.9
	30代	(2871)	8.0	24.4	29.6	38.0	32.4	67.6
	40代	(3269)	7.4	28.2	29.1	35.3	35.6	64.4
	50代	(2755)	8.6	29.2	30.9	31.2	37.9	62.1
	60代	(3551)	10.6	35.5	28.4	25.5	46.1	53.9
	70代	(2192)	13.7	37.8	26.0	22.5	51.5	48.5
関与度	高関与層	(3133)	22.2	34.3	25.1	18.4	56.5	43.5
	中関与層	(4652)	11.7	37.7	30.2	20.4	49.4	50.6
	低関与層	(10215)	4.8	25.2	29.7	40.4	30.0	70.0

⑧人権擁護委員に相談できることがわかった

(全体)

- 『あてはまる』は 40.4% (「あてはまる 10.2%」 + 「ややあてはまる 30.2%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (46.0%) が男性 (34.7%) より 11P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (33.4%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (52.2%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 27P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	10.2	30.2	28.5	31.1	40.4	59.6
性別	男性	(8921)	7.8	26.9	28.7	36.6	34.7	65.3
	女性	(9079)	12.6	33.4	28.3	25.8	46.0	54.0
年代	10～19歳	(1069)	11.8	26.2	30.7	31.3	38.0	62.0
	20代	(2293)	9.9	26.8	28.3	35.1	36.7	63.3
	30代	(2871)	8.5	24.9	28.7	37.9	33.4	66.6
	40代	(3269)	7.8	28.4	28.9	34.9	36.2	63.8
	50代	(2755)	9.1	29.1	30.8	31.0	38.2	61.8
	60代	(3551)	11.5	36.0	27.2	25.3	47.5	52.5
	70代	(2192)	15.0	37.2	25.8	22.0	52.2	47.8
関与度	高関与層	(3133)	23.9	33.5	24.9	17.7	57.4	42.6
	中関与層	(4652)	12.3	38.7	29.0	20.0	51.0	49.0
	低関与層	(10215)	5.1	25.3	29.3	40.3	30.4	69.6

6 新聞広告(2種類)について

Q19 新聞広告の認知度と興味関心度(SA)

(Q19 以下の新聞広告についてお尋ねします。あなたはこの新聞広告を見たことはありますか。また、見たことがある人は人権問題についての理解や関心は深まりましたか。)

★本問では『見たことはある』は以下の選択肢の回答者の合計。

- ①印象にも残っているし、理解や関心も深まった(以下では、「理解・関心も深まった」に略した。)
- ②印象には残っているが、理解や関心は深まっていない
- ③見たことはある気はするが、印象は残っていない

(1)全国中学生人権作文コンテスト・北朝鮮人権侵害問題啓発週間新聞広告

(全体)

- 全国中学生人権作文コンテスト・北朝鮮人権侵害問題啓発週間新聞広告を『見たことはある』は22.3%であった。
- また、「理解・関心も深まった」は6.3%であった。

(性別)

- 『見たことがある』は、男性(23.8%)が女性(20.8%)よりやや多い。
- 「理解・関心も深まった」は、男女いずれも6%強であった。

(年代別)

- 『見たことがある』は、40歳代(17.6%)が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70歳代(32.0%)が最も多い。
- 「理解・関心も深まった」は、50歳代(4.4%)が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10歳代(10.3%)が最も多い。

(関与度別)

- 『見たことがある』は、関与度が高くなるにつれて多くなる。
- 「理解・関心も深まった」も、関与度が高くなるにつれて多くなる。

		印象に残っているし、理解 や関心も深まった				印象には残っているが、理 解や関心は深まっていない		見たことはある気がするが、 印象は残っていない		見たことはない		あ 見 た こ と が	な 見 た こ と は
(n)													
全体		(18000)	6.3	7.0	9.0	77.7						22.3	77.7
性別	男性	(8921)	6.1	7.7	9.9	76.2						23.8	76.2
	女性	(9079)	6.5	6.2	8.1	79.2						20.8	79.2
年代	10～19歳	(1069)	10.3	9.8	9.6	70.3						29.7	70.3
	20代	(2293)	7.6	7.7	7.2	77.5						22.5	77.5
	30代	(2871)	5.7	6.6	6.1	81.6						18.4	81.6
	40代	(3269)	4.6	6.1	6.9	82.4						17.6	82.4
	50代	(2755)	4.4	5.7	8.8	81.2						18.8	81.2
	60代	(3551)	6.5	6.6	10.9	76.0						24.0	76.0
	70代	(2192)	8.7	8.7	14.6	68.0						32.0	68.0
関与度	高関与層	(3133)	17.7		12.7		14.1		55.5			44.5	55.5
	中関与層	(4652)	7.1	8.7	12.6		71.6					28.4	71.6
	低関与層	(10215)	2.5	4.4	5.8	87.3						12.7	87.3

(2)ハンセン病問題啓発新聞広告

(全体)

- ハンセン病問題啓発新聞広告を『見たことはある』は 23.2%であった。
- また、「興味・関心も深まった」は 6.4%であった。

(性別)

- 『見たことがある』は、男性（24.7%）が女性（21.7%）よりやや多い。
- 「興味・関心も深まった」は、男女いずれも 6%前後であった。

(年代別)

- 『見たことがある』は、40 歳代（18.3%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（33.1%）が最も多い。
- 「興味・関心も深まった」は、40 歳代（4.7%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代（9.7%）が最も多い。

(関与度別)

- 『見たことがある』は、関与度が高くなるにつれて多くなる。
- 「興味・関心も深まった」も、関与度が高くなるにつれて多くなる。

		(n)	印象に残っているし、理解 や関心も深まった	印象には残っているが、理 解や関心は深まっていない	見たことはある気がするが、 印象は残っていない	見たことはない	あ 見 た こ と が	な 見 た こ と は
全体		(18000)	6.4	7.6	9.2	76.8	23.2	76.8
性別	男性	(8921)	5.9	8.3	10.6	75.3	24.7	75.3
	女性	(9079)	6.9	6.9	7.9	78.3	21.7	78.3
年代	10～19歳	(1069)	9.7	9.4	10.2	70.7	29.3	70.7
	20代	(2293)	7.1	8.3	7.3	77.3	22.7	77.3
	30代	(2871)	5.2	6.9	7.0	80.9	19.1	80.9
	40代	(3269)	4.7	6.6	7.0	81.7	18.3	81.7
	50代	(2755)	5.0	6.5	9.5	78.9	21.1	78.9
	60代	(3551)	7.2	7.3	10.7	74.9	25.1	74.9
	70代	(2192)	8.7	10.1	14.3	66.9	33.1	66.9
関与度	高関与層	(3133)	17.9	14.5	14.5	53.1	46.9	53.1
	中関与層	(4652)	7.5	9.7	13.0	69.8	30.2	69.8
	低関与層	(10215)	2.4	4.5	5.9	87.2	12.8	87.2

Q20 非認知者の新聞広告についての印象度、理解関心度(SA)

(Q20 あなたはこの新聞広告を見て印象に残りますか。また、印象に残る人は人権問題についての理解や関心は深まりますか。)

★本問では前問で各新聞広告を「見たことはない」とした回答者に各新聞広告を見ての印象度、興味・関心の深まりを聞いた。

★『印象に残る』は以下の選択肢の回答者の合計。

- ①印象にも残るし、理解や関心も深まる(以下では、「理解・関心も深まる」に略した)
- ②印象に残るが、理解や関心は深まらない

(1)全国中学生人権作文コンテスト・北朝鮮人権侵害問題啓発週間新聞広告

(全体)

- 全国中学生人権作文コンテスト・北朝鮮人権侵害問題啓発週間新聞広告について『印象に残る』は 29.7%であった。
- また、「理解・関心も深まる」は 9.6%であった。

(性別)

- 『印象に残る』は、女性(33.0%)が男性(26.3%)より 7P 多い。
- 「理解・関心も深まる」も、女性(11.6%)が男性(7.5%)よりやや多い。

(年代別)

- 『印象に残る』は、10歳代(23.6%)が最も少なく、概ね年代が上がるにつれて多くなり、70歳代(43.0%)が最も多い。
- 「理解・関心も深まる」は、30歳代(7.5%)が最も少なく、年代が上がる下がるに

つれて多くなり、70 歳代（15.3%）が最も多い。

（関与度別）

- 『印象に残る』は、関与度が高まるにつれて多くなる。
- 「理解・関心も深まる」も、関与度が高まるにつれて多くなる。

		(n)			印象に残る	ない印象に残る
		印象に残るし、理解や関心も深まる			印象に残るが、理解や関心は深まらない	
					印象に残らない	
全体		(13990)	9.6	20.2	70.3	29.7
性別	男性	(6801)	7.5	18.8	73.7	26.3
	女性	(7189)	11.6	21.4	67.0	33.0
年代	10～19歳	(751)	8.8	14.8	76.4	23.6
	20代	(1778)	8.7	16.9	74.4	25.6
	30代	(2343)	7.5	17.1	75.4	24.6
	40代	(2694)	8.3	19.6	72.2	27.8
	50代	(2237)	8.4	20.3	71.3	28.7
	60代	(2697)	11.3	22.8	65.9	34.1
	70代	(1490)	15.3	27.7	57.0	43.0
関与度	高関与層	(1738)	18.9	25.9	55.1	44.9
	中関与層	(3330)	13.6	26.4	60.0	40.0
	低関与層	(8922)	6.3	16.7	77.0	23.0

(2)ハンセン病問題啓発新聞広告

（全体）

- ハンセン病問題啓発新聞広告について『印象に残る』は 34.6%であった。
- また、「理解・関心も深まる」は 12.5%であった。

（性別）

- 『印象に残る』は、女性（39.9%）が男性（29.0%）より 11P 多い。
- 「理解・関心も深まる」も、女性（15.9%）が男性（8.8%）より 7P 多い。

（年代別）

- 『印象に残る』は、30 歳代（30.1%）が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（43.2%）が最も多い。
- 「理解・関心も深まる」は、10～50 歳代は 11%前後だが、これより年代が上がるにつれて多くなり、70 歳代（16.8%）が最も多い。

（関与度別）

- 『印象に残る』は、関与度が高まるにつれて多くなる。
- 「理解・関心も深まる」も、関与度が高まるにつれて多くなる。

		(n)	印象に残るし、理解や関心も深まる	印象に残るが、理解や関心は深まらない	印象に残らない	印象に残る	印象に残らない
全体		(13822)	12.5	22.1	65.4	34.6	65.4
性別	男性	(6714)	8.8	20.2	71.0	29.0	71.0
	女性	(7108)	15.9	23.9	60.1	39.9	60.1
年代	10～19歳	(756)	10.7	19.6	69.7	30.3	69.7
	20代	(1773)	12.1	19.2	68.8	31.2	68.8
	30代	(2324)	10.8	19.3	69.9	30.1	69.9
	40代	(2670)	11.9	20.8	67.3	32.7	67.3
	50代	(2174)	11.3	23.0	65.7	34.3	65.7
	60代	(2658)	13.8	25.4	60.7	39.3	60.7
	70代	(1467)	16.8	26.4	56.8	43.2	56.8
関与度	高関与層	(1663)	26.6	25.6	47.7	52.3	47.7
	中関与層	(3248)	18.2	29.1	52.7	47.3	52.7
	低関与層	(8911)	7.8	18.9	73.3	26.7	73.3

Q21 新聞広告を見て思ったこと、理解したこと(SA)

(Q 2 1 新聞広告をご覧になって、思ったことや理解したことはどんなことでしたか。以下の項目について、当てはまるものをひとつずつお選びください。)

(1)全国中学生人権作文コンテスト・北朝鮮人権侵害問題啓発週間新聞広告

①人権問題を意識するきっかけになった

(全体)

➢『あてはまる』は 39.9% (「あてはまる 8.4%」 + 「ややあてはまる 31.5%」。以下、同じ) であった。

(性別)

➢『あてはまる』は、女性 (44.3%) が男性 (35.4%) より 9P 多い。

(年代別)

➢『あてはまる』は、50 歳代 (35.5%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (46.7%) が最も多い。

(関与度別)

➢『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 31P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	8.4	31.5	27.8	32.3	39.9	60.1
性別	男性	(8921)	7.1	28.4	27.0	37.6	35.4	64.6
	女性	(9079)	9.7	34.6	28.5	27.2	44.3	55.7
年代	10～19歳	(1069)	12.3	28.7	27.6	31.4	41.0	59.0
	20代	(2293)	10.5	31.8	23.5	34.1	42.3	57.7
	30代	(2871)	7.2	28.9	26.1	37.8	36.1	63.9
	40代	(3269)	6.7	30.3	27.3	35.7	37.0	63.0
	50代	(2755)	6.8	28.6	31.4	33.2	35.5	64.5
	60代	(3551)	7.9	35.1	29.6	27.4	43.0	57.0
	70代	(2192)	11.1	35.6	27.6	25.7	46.7	53.3
関与度	高関与層	(3133)	21.3	38.4	23.8	16.5	59.7	40.3
	中関与層	(4652)	10.0	41.1	28.8	20.0	51.2	48.8
	低関与層	(10215)	3.7	25.0	28.5	42.8	28.7	71.3

②人権問題についてもっと知りたくなった

(全体)

- 『あてはまる』は 31.8% (「あてはまる 7.0%」 + 「ややあてはまる 24.7%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (34.6%) が男性 (28.9%) より 6P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は 50 歳代 (27.6%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (37.0%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 35P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	7.0	24.7	33.8	34.4	31.8	68.2
性別	男性	(8921)	5.9	23.0	31.6	39.5	28.9	71.1
	女性	(9079)	8.2	26.4	36.0	29.4	34.6	65.4
年代	10～19歳	(1069)	11.0	25.4	29.7	33.9	36.5	63.5
	20代	(2293)	9.0	26.1	28.7	36.2	35.2	64.8
	30代	(2871)	6.1	23.9	30.1	39.8	30.1	69.9
	40代	(3269)	5.6	23.2	33.4	37.8	28.8	71.2
	50代	(2755)	5.7	22.0	37.3	35.1	27.6	72.4
	60代	(3551)	6.8	25.5	38.2	29.6	32.2	67.8
	70代	(2192)	8.6	28.4	35.4	27.6	37.0	63.0
関与度	高関与層	(3133)	19.2	35.7	27.9	17.2	54.9	45.1
	中関与層	(4652)	8.4	33.5	36.2	21.9	41.9	58.1
	低関与層	(10215)	2.7	17.3	34.6	45.4	20.0	80.0

③家族や友人と話したいと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 24.8% (「あてはまる 5.5%」 + 「ややあてはまる 19.3%」。以下、同じ) であった。

(性別)

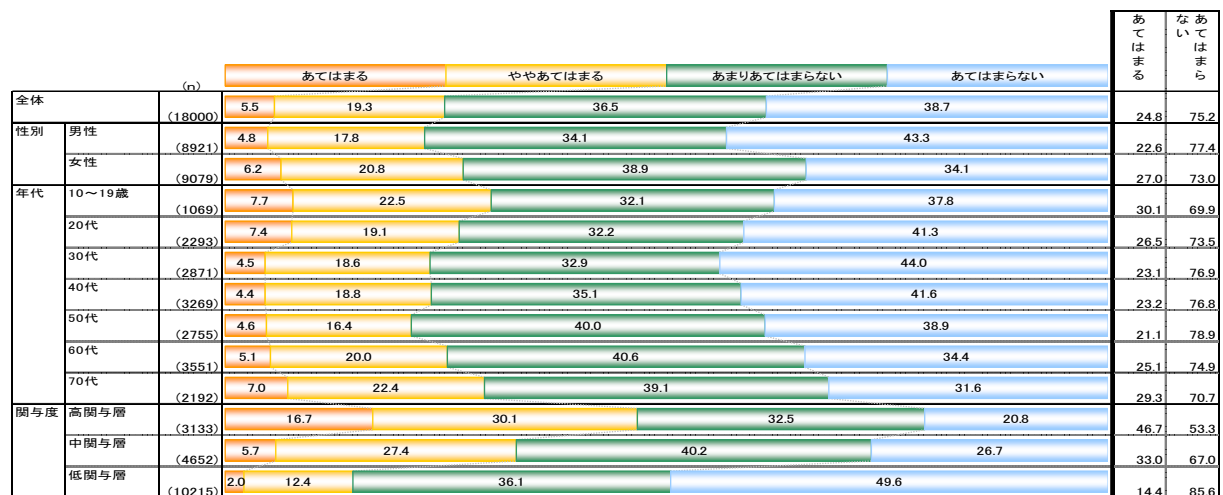
- 『あてはまる』は、女性 (27.0%) が男性 (22.6%) よりやや多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、50 歳代 (21.1%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代 (30.1%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 32P であった。



④人権に関する催し物に参加してみたくなった

(全体)

- 『あてはまる』は 19.6% (「あてはまる 4.2%」 + 「ややあてはまる 15.4%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、男女いずれも 19%強であった。

(年代別)

- 『あてはまる』は、40 歳代 (16.5%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代 (24.8%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 24P であった。

			(n)				あてはまる	あてはまらない
							あてはまる	あてはまらない
全体			(18000)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
性別	男性	(8921)	4.2	15.4	38.1	42.4	19.6	80.5
	女性	(9079)	3.8	15.3	35.0	45.8	19.2	80.8
年代	10～19歳	(1069)	4.5	15.4	41.1	39.0	19.9	80.1
	20代	(2293)	6.6	18.1	35.5	39.7	24.8	75.2
	30代	(2871)	6.0	16.6	32.4	45.1	22.5	77.5
	40代	(3269)	3.3	14.6	33.2	48.8	18.0	82.0
	50代	(2755)	3.0	13.6	37.4	46.0	16.5	83.5
	60代	(3551)	3.4	13.3	41.6	41.7	16.7	83.3
	70代	(2192)	3.7	15.7	43.1	37.5	19.3	80.7
	高関与層	(3133)	5.9	18.3	40.2	35.5	24.3	75.7
関与度	中間層	(4652)	12.6	23.8	36.1	27.5	36.4	63.6
	低関与層	(10215)	4.0	20.3	43.8	31.8	24.4	75.6
			10.5	36.1	51.7		12.2	87.8

⑤自分も人の人権を尊重しなくてはいけないと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 43.9% (「あてはまる 11.2%」 + 「ややあてはまる 32.7%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (49.7%) が男性 (38.1%) より 12P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (38.9%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (53.7%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 32P であった。

			(n)				あてはまる	あてはまらない
							あてはまる	あてはまらない
全体			(18000)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
性別	男性	(8921)	11.2	32.7	24.6	31.5	43.9	56.1
	女性	(9079)	8.5	29.5	24.8	37.1	38.1	61.9
年代	10～19歳	(1069)	13.8	35.8	24.5	25.9	49.7	50.3
	20代	(2293)	15.2	29.9	24.4	30.4	45.2	54.8
	30代	(2871)	12.2	31.0	23.2	33.6	43.2	56.8
	40代	(3269)	9.7	29.2	23.8	37.3	38.9	61.1
	50代	(2755)	8.5	31.9	24.4	35.2	40.4	59.6
	60代	(3551)	10.1	30.3	28.0	31.6	40.4	59.6
	70代	(2192)	11.5	36.4	25.4	26.6	48.0	52.0
	高関与層	(3133)	15.2	38.5	22.0	24.2	53.7	46.3
関与度	中間層	(4652)	25.9	38.4	20.4	15.4	64.3	35.7
	低関与層	(10215)	14.2	42.4	24.4	19.0	56.6	43.4
			5.4	26.6	26.0	42.1	31.9	68.1

⑥相談する場所があることが分かった

(全体)

- 『あてはまる』は 39.4% (「あてはまる 9.8%」 + 「ややあてはまる 29.6%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (45.0%) が男性 (33.7%) より 11P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (33.8%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (49.2%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 29P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	9.8	29.6	27.6	33.0	39.4	60.6
性別	男性	(8921)	7.3	26.4	27.5	38.8	33.7	66.3
	女性	(9079)	12.3	32.8	27.6	27.4	45.0	55.0
年代	10～19歳	(1069)	11.0	28.0	27.7	33.3	39.0	61.0
	20代	(2293)	10.1	26.7	27.3	35.9	36.8	63.2
	30代	(2871)	8.0	25.7	27.3	38.9	33.8	66.2
	40代	(3269)	7.7	28.4	27.6	36.4	36.0	64.0
	50代	(2755)	8.2	28.5	30.3	33.0	36.7	63.3
	60代	(3551)	11.0	33.9	27.2	27.9	44.9	55.1
	70代	(2192)	14.4	34.8	25.2	25.6	49.2	50.8
関与度	高関与層	(3133)	22.2	35.3	24.1	18.4	57.5	42.5
	中間層	(4652)	12.3	38.3	28.4	21.0	50.6	49.4
	低関与層	(10215)	4.9	23.9	28.2	43.0	28.8	71.2

(2)ハンセン病問題啓発新聞広告

①人権問題を意識するきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 43.4% (「あてはまる 10.0%」 + 「ややあてはまる 33.3%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (48.8%) が男性 (37.8%) より 11P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (39.8%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれ

て多くなり、70 歳代（49.2%）が最も多い。

（関与度別）

➢『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 34P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	10.0	33.3	26.0	30.6	43.4	56.6
性別	男性	(8921)	8.2	29.6	26.2	36.0	37.8	62.2
	女性	(9079)	11.8	37.0	25.8	25.3	48.8	51.2
年代	10～19歳	(1069)	13.2	30.5	25.1	31.2	43.7	56.3
	20代	(2293)	12.2	32.5	23.5	31.8	44.7	55.3
	30代	(2871)	8.6	31.2	24.6	35.6	39.8	60.2
	40代	(3269)	7.8	32.7	25.7	33.7	40.6	59.4
	50代	(2755)	8.7	31.2	29.0	31.2	39.9	60.1
	60代	(3551)	10.4	36.6	27.0	26.0	47.0	53.0
	70代	(2192)	12.5	36.8	26.0	24.8	49.2	50.8
関与度	高関与層	(3133)	25.7	39.2	20.6	14.6	64.9	35.1
	中間層	(4652)	11.9	43.8	25.9	18.3	55.8	44.2
	低関与層	(10215)	4.4	26.8	27.7	41.2	31.2	68.8

②人権問題についてもっと知りたくなった

（全体）

➢『あてはまる』は 34.2%（「あてはまる 8.1%」＋「ややあてはまる 26.0%」。以下、同じ）であった。

（性別）

➢『あてはまる』は、女性（37.9%）が男性（30.4%）より 8P 多い。

（年代別）

➢『あてはまる』は、50 歳代（30.7%）が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代（38.7%）が最も多い。

（関与度別）

➢『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 38P であった。

			(n)				あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体			(18000)	8.1	26.0	32.7	33.1				34.2	65.9
性別	男性		(8921)	6.7	23.7	31.3	38.4				30.4	69.6
	女性		(9079)	9.5	28.4	34.2	27.9				37.9	62.1
年代	10～19歳		(1069)	12.9	25.8	29.1	32.2				38.7	61.3
	20代		(2293)	10.3	26.3	28.5	34.8				36.7	63.3
	30代		(2871)	7.1	25.8	29.5	37.6				32.9	67.1
	40代		(3269)	6.3	25.0	32.5	36.2				31.3	68.7
	50代		(2755)	6.7	24.0	35.6	33.6				30.7	69.3
	60代		(3551)	8.3	26.5	36.5	28.7				34.9	65.1
	70代		(2192)	9.0	29.3	33.9	27.7				38.3	61.7
関与度	高関与層		(3133)	22.4	37.1	25.1	15.4				59.5	40.5
	中間層		(4652)	9.8	35.4	34.3	20.6				45.2	54.8
	低関与層		(10215)	3.0	18.4	34.4	44.3				21.4	78.6

③家族や友人と話したいと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 26.2% (「あてはまる 6.0%」 + 「ややあてはまる 20.2%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (29.0%) が男性 (23.4%) より 6P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、50 歳代 (23.2%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代 (31.1%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 36P であった。

			(n)				あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体			(18000)	6.0	20.2	36.2	37.6				26.2	73.8
性別	男性		(8921)	5.0	18.4	34.2	42.5				23.4	76.6
	女性		(9079)	7.0	22.0	38.1	32.9				29.0	71.0
年代	10～19歳		(1069)	8.5	22.5	32.0	37.0				31.1	68.9
	20代		(2293)	7.6	20.3	31.6	40.5				28.0	72.0
	30代		(2871)	5.2	18.8	33.2	42.8				24.0	76.0
	40代		(3269)	5.0	20.0	34.7	40.3				24.9	75.1
	50代		(2755)	5.2	18.0	39.5	37.4				23.2	76.8
	60代		(3551)	5.6	20.6	40.6	33.1				26.3	73.7
	70代		(2192)	7.3	23.4	37.5	31.8				30.7	69.3
関与度	高関与層		(3133)	17.7	33.0	29.5	19.8				50.7	49.3
	中間層		(4652)	6.7	28.4	39.2	25.7				35.1	64.9
	低関与層		(10215)	2.1	12.6	36.8	48.5				14.7	85.3

④人権に関する催し物に参加してみたくなった

(全体)

- 『あてはまる』は 20.6%（「あてはまる 4.6%」＋「ややあてはまる 16.0%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、男女いずれも 21%前後であった。

(年代別)

- 『あてはまる』は、50 歳代（17.8%）が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代（26.7%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 26P であった。

		(n)	あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない				あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	4.6	16.0	38.3	41.2	20.6	79.4
性別	男性	(8921)	4.2	15.8	35.3	44.7	20.0	80.0
	女性	(9079)	5.0	16.2	41.1	37.7	21.2	78.8
年代	10～19歳	(1069)	7.0	19.6	34.8	38.5	26.7	73.3
	20代	(2293)	5.9	17.3	32.4	44.5	23.2	76.8
	30代	(2871)	3.7	14.8	34.4	47.1	18.5	81.5
	40代	(3269)	3.3	14.8	37.3	44.6	18.1	81.9
	50代	(2755)	4.1	13.8	41.7	40.5	17.8	82.2
	60代	(3551)	4.5	16.2	42.9	36.4	20.7	79.3
	70代	(2192)	5.9	18.8	40.6	34.7	24.6	75.4
関与度	高関与層	(3133)	13.6	25.4	35.2	25.9	38.9	61.1
	中関与層	(4652)	4.7	20.9	43.6	30.9	25.5	74.5
	低関与層	(10215)	10.9		36.8	50.5	12.7	87.3

⑤自分も人の人権を尊重しなくてはいけないと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 46.1%（「あてはまる 12.4%」＋「ややあてはまる 33.7%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（52.7%）が男性（39.3%）より 13P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（41.6%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（55.0%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 34P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	12.4	33.7	23.6	30.4	46.1	53.9
性別	男性	(8921)	9.2	30.2	24.5	36.2	39.3	60.7
	女性	(9079)	15.5	37.2	22.6	24.7	52.7	47.3
年代	10～19歳	(1069)	15.2	30.7	23.7	30.4	45.9	54.1
	20代	(2293)	13.6	31.3	22.4	32.7	44.9	55.1
	30代	(2871)	10.6	31.1	22.7	35.7	41.6	58.4
	40代	(3269)	9.6	32.6	24.0	33.9	42.2	57.8
	50代	(2755)	11.4	32.2	26.1	30.3	43.6	56.4
	60代	(3551)	13.6	36.9	23.9	25.5	50.5	49.5
	70代	(2192)	15.4	39.6	21.4	23.7	55.0	45.0
関与度	高関与層	(3133)	28.3	39.1	18.1	14.6	67.3	32.7
	中間層	(4652)	15.7	43.6	22.5	18.1	59.4	40.6
	低関与層	(10215)	5.9	27.6	25.7	40.8	33.5	66.5

⑥相談する場所があることが分かった

(全体)

- 『あてはまる』は 42.1%（「あてはまる 10.8%」＋「ややあてはまる 31.3%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（48.3%）が男性（35.7%）より 13P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（36.4%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（51.3%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 30P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	10.8	31.3	26.3	31.6	42.1	57.9
性別	男性	(8921)	7.8	27.9	26.6	37.7	35.7	64.3
	女性	(9079)	13.7	34.6	26.0	25.7	48.3	51.7
年代	10～19歳	(1069)	11.7	29.4	26.8	32.2	41.1	58.9
	20代	(2293)	11.2	30.1	24.5	34.2	41.3	58.7
	30代	(2871)	9.0	27.4	26.1	37.5	36.4	63.6
	40代	(3269)	8.6	29.9	26.8	34.8	38.5	61.5
	50代	(2755)	9.4	30.1	29.1	31.4	39.5	60.5
	60代	(3551)	12.4	34.5	26.4	26.7	47.0	53.0
	70代	(2192)	14.8	36.5	24.0	24.8	51.3	48.7
関与度	高関与層	(3133)	24.2	37.1	22.4	16.3	61.3	38.7
	中間層	(4652)	13.3	40.2	26.7	19.8	53.5	46.5
	低関与層	(10215)	5.6	25.4	27.3	41.8	30.9	69.1

7 インターネット広告(3種類)について

Q22 インターネット広告の認知度(SA)

(Q22 以下のような、インターネットバナー広告を見たことがありますか。)

(1)ヘイトスピーチ対策

(全体)

➤ヘイトスピーチ対策バナー広告を『見たことがある』は 28.5% (「見た 8.0%」 + 「見たことがある気がする 20.6%」。以下、同じ) であった。

(性別)

➤『見たことがある』は、男性 (31.2%) が女性 (25.9%) より 5P 多い。

(年代別)

➤『見たことがある』は 40 歳代 (26.7%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (32.1%) が最も多い。

(関与度別)

➤『見たことがある』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 37P であった。

			(n)			見たことがある	見たことがある気がする	見たことはない	見たことがある	見たことはない
						8.0	20.6	71.5	28.5	71.5
性別	男性	(8921)				8.7	22.5	68.8	31.2	68.8
	女性	(9079)				7.2	18.7	74.1	25.9	74.1
年代	10～19歳	(1069)				9.0	20.1	70.9	29.1	70.9
	20代	(2293)				9.9	20.0	70.1	29.9	70.1
	30代	(2871)				8.5	18.5	73.1	26.9	73.1
	40代	(3269)				7.0	19.7	73.3	26.7	73.3
	50代	(2755)				6.8	20.4	72.8	27.2	72.8
	60代	(3551)				7.3	21.9	70.8	29.2	70.8
	70代	(2192)				8.7	23.4	67.9	32.1	67.9
関与度	高関与層	(3133)				23.9	30.1	46.0	54.0	46.0
	中関与層	(4652)				9.2	28.2	62.6	37.4	62.6
	低関与層	(10215)				2.5	14.1	83.4	16.6	83.4

(2)インターネットを悪用した人権侵害をなくしましょう

(全体)

➤インターネットを悪用した人権侵害をなくしましょうバナー広告を『見たことがある』は 17.5% (「見た 4.7%」 + 「見たことがある気がする 12.8%」。以下、同じ) であった。

(性別)

➤『見たことがある』は、男性（18.9%）が女性（16.1%）よりやや多い。

(年代別)

➤『見たことがある』は 60 歳代（14.6%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代（25.9%）が最も多い。

(関与度別)

➤『見たことがある』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 34P であった。

		(n)	見たことがある			見たことがある気がする	見たことはない	あ 見 た こ と が	な 見 た こ と は
全体		(18000)	4.7	12.8	82.5			17.5	82.5
性別	男性	(8921)	5.0	14.0	81.1			18.9	81.1
	女性	(9079)	4.5	11.6	83.9			16.1	83.9
年代	10～19歳	(1069)	9.4	16.6	74.1			25.9	74.1
	20代	(2293)	7.5	15.4	77.1			22.9	77.1
	30代	(2871)	5.4	13.0	81.5			18.5	81.5
	40代	(3269)	3.9	11.4	84.8			15.2	84.8
	50代	(2755)	3.3	11.5	85.2			14.8	85.2
	60代	(3551)	3.3	11.3	85.4			14.6	85.4
	70代	(2192)	3.9	13.9	82.2			17.8	82.2
関与度	高関与層	(3133)	15.5	26.0	58.5			41.5	58.5
	中間層	(4652)	4.9	17.4	77.6			22.4	77.6
	低関与層	(10215)	6.6		92.1			7.9	92.1

(3)子どもの人権を守りましょう

(全体)

➤子どもの人権を守りましょうバナー広告を『見たことがある』は 19.7%（「見た 5.3%」＋「見たことがある気がする 14.5%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『見たことがある』は、男性（20.8%）が女性（18.7%）よりやや多い。

(年代別)

➤『見たことがある』は、50 歳代（16.8%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代（29.6%）が最も多い。

(関与度別)

➤『見たことがある』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 35P であった。

		(n)	見たことがある			見たことがある気がする			見たことはない			あ え た こ と が	な い こ と は	
全体		(18000)	5.3	14.5	80.3								19.7	80.3
	性別													
	男性	(8921)	5.3	15.5	79.2								20.8	79.2
	女性	(9079)	5.3	13.4	81.3								18.7	81.3
年代	10～19歳	(1069)	9.6	19.9	70.4								29.6	70.4
	20代	(2293)	8.0	15.7	76.3								23.7	76.3
	30代	(2871)	4.9	14.4	80.8								19.2	80.8
	40代	(3269)	4.8	12.2	83.0								17.0	83.0
	50代	(2755)	3.9	12.9	83.2								16.8	83.2
	60代	(3551)	4.4	13.6	82.0								18.0	82.0
	70代	(2192)	4.6	17.3	78.1								21.9	78.1
関与度	高関与層	(3133)	17.9	26.3	55.8								44.2	55.8
	中間与層	(4652)	5.3	21.1	73.7								26.3	73.7
	低関与層	(10215)	7.8		90.8								9.2	90.8

Q23 インターネット広告のリンク先である法務省サイトによる理解・関心の深まり(SA)

(Q 2 3 インターネットバナー広告のリンク先である、以下の法務省サイトについてお聞きします。このサイトを見たことで、人権問題についての理解や関心は深まりましたか。)

(1)インターネットを悪用した人権侵害をなくしましょう

(全体)

➤法務省サイト「インターネットを悪用した人権侵害をなくしましょう」を見て理解や関心が『深まった』は 43.9% (「非常に深まった 6.4%」 + 「まあ深まった 37.5%」。以下、同じ) であった。

(性別)

➤『深まった』は、女性 (49.1%) が男性 (38.6%) より 11P 多い。

(年代別)

➤『深まった』は、30～50 歳代が 42%前後で、これより年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (49.1%) が最も多い。

(関与度別)

➤『深まった』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 37P であった。

		(n)	非常に深まった	まあ深まった	あまり深まらない	全く深まらない	深まった	深まらない
全体		(18000)	6.4	37.5	31.5	24.7	43.9	56.1
性別	男性	(8921)	5.7	32.9	32.0	29.3	38.6	61.4
	女性	(9079)	7.1	41.9	30.9	20.0	49.1	50.9
年代	10～19歳	(1069)	9.1	36.9	28.3	25.8	45.9	54.1
	20代	(2293)	7.8	36.9	28.2	27.1	44.7	55.3
	30代	(2871)	5.4	35.4	28.8	30.3	40.9	59.1
	40代	(3269)	5.3	37.2	29.6	27.9	42.5	57.5
	50代	(2755)	5.0	36.3	35.2	23.5	41.3	58.7
	60代	(3551)	6.4	38.8	34.8	20.0	45.2	54.8
	70代	(2192)	8.3	40.9	32.5	18.4	49.1	50.9
関与度	高関与層	(3133)	18.4	49.0	22.8	9.8	67.4	32.6
	中間層	(4652)	6.9	50.2	30.8	12.1	57.1	42.9
	低関与層	(10215)	2.5	28.2	34.4	34.9	30.7	69.3

(2)子どもの人権を守りましょう

(全体)

➤法務省サイト「子どもの人権を守りましょう」を見て理解や関心が『深まった』は46.2%（「非常に深まった 8.0%」＋「まあ深まった 38.2%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『深まった』は、女性（51.9%）が男性（40.4%）より 12P 多い。

(年代別)

➤『深まった』は、30～50 歳代が 43%前後で、これより年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（52.6%）が最も多い。

(関与度別)

➤『深まった』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 37P であった。

		(n)	非常に深まった	まあ深まった	あまり深まらない	全く深まらない	深まった	深まらない
全体		(18000)	8.0	38.2	29.6	24.2	46.2	53.8
性別	男性	(8921)	6.7	33.7	30.7	28.9	40.4	59.6
	女性	(9079)	9.3	42.6	28.4	19.7	51.9	48.1
年代	10～19歳	(1069)	10.9	37.5	26.3	25.4	48.4	51.6
	20代	(2293)	9.4	37.9	26.0	26.7	47.3	52.7
	30代	(2871)	7.9	35.2	27.6	29.3	43.1	56.9
	40代	(3269)	6.2	37.6	28.8	27.3	43.8	56.2
	50代	(2755)	6.0	36.8	33.5	23.7	42.8	57.2
	60代	(3551)	8.1	40.1	32.2	19.6	48.2	51.8
	70代	(2192)	10.4	42.2	29.4	17.9	52.6	47.4
関与度	高関与層	(3133)	21.8	47.9	20.7	9.6	69.7	30.3
	中間層	(4652)	9.3	50.8	28.3	11.6	60.1	39.9
	低関与層	(10215)	3.2	29.5	32.9	34.5	32.7	67.3

8 人権啓発活動ネットワーク協議会 HP について

Q24 人権啓発活動ネットワーク協議会のHPの認知度(SA)

(Q24 「人権啓発活動ネットワーク協議会」のホームページがあることを知っていますか。)

(全体)

➤人権啓発活動ネットワーク協議会のホームページを『知っている』は 16.0% (「知っている 4.3%」+「見たことがある気がする 11.6%」。以下、同じ) であった。

(性別)

➤『知っている』は、男性 (18.1%) が女性 (13.9%) よりやや多い。

(年代別)

➤『知っている』は、40 歳代 (12.9%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代 (20.7%) が最も多い。

(関与度別)

➤『知っている』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 32P であった。

		(n)	知っている 見たことがある気がする 知らない			知 っ て い る	知 ら な い
全体		(18000)	4.3	11.6	84.1	16.0	84.1
性別	男性	(8921)	5.0	13.1	81.9	18.1	81.9
	女性	(9079)	3.7	10.2	86.1	13.9	86.1
年代	10～19歳	(1069)	6.8	13.8	79.3	20.7	79.3
	20代	(2293)	5.9	12.5	81.6	18.4	81.6
	30代	(2871)	4.2	11.4	84.4	15.6	84.4
	40代	(3269)	3.3	9.6	87.1	12.9	87.1
	50代	(2755)	3.7	10.7	85.6	14.4	85.6
	60代	(3551)	3.8	11.3	84.8	15.2	84.8
	70代	(2192)	4.7	14.6	80.7	19.3	80.7
関与度	高関与層	(3133)	15.6	23.4	61.0	39.0	61.0
	中関与層	(4652)	4.1	16.6	79.4	20.6	79.4
	低関与層	(10215)	5.8		93.2	6.8	93.2

Q25 人権啓発活動ネットワーク協議会のHPを見ての印象(SA)

(Q25 ホームページをご覧になったの印象についてお聞きます。以下の項目について、当てはまるものをひとつずつお選びください。)

①好感度

(全体)

➤人権啓発活動ネットワーク協議会のHPを見て『好感が持てる』は 41.1% (「そう思う 5.9%」 + 「ややそう思う 35.3%」。以下、同じ) であった。

(性別)

➤『好感が持てる』は、女性 (45.9%) が男性 (36.3%) より 10P 多い。

(年代別)

➤『好感が持てる』は、30 歳代 (36.2%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (48.1%) が最も多い。

(関与度別)

➤『好感が持てる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 32P であった。

			そう思う				ややそう思う		あまりそう思わない		そう思わない		そう思う	いそう 思わな
			5.9		35.3		35.9		23.0				41.1	58.9
全体	性別	男性	5.2		31.1		35.8		27.9				36.3	63.7
		女性	6.6		39.3		36.0		18.1				45.9	54.1
年代	10～19歳	(18000)	9.4		33.9		34.0		22.7				43.3	56.7
		(8921)	7.2		34.1		32.7		26.1				41.3	58.7
		(2293)	4.7		31.5		34.4		29.4				36.2	63.8
		(2871)	4.2		33.7		36.4		25.7				37.9	62.1
		(3269)	5.0		33.7		40.6		20.7				38.7	61.3
		(2755)	5.7		39.3		36.8		18.2				45.0	55.0
		(3551)	8.3		39.8		34.0		17.9				48.1	51.9
		(2192)	17.0		44.5		27.3		11.2				61.5	38.5
関与度	高関与層	(3133)	6.1		46.3		35.0		12.6				52.4	47.6
		(4652)	2.4		27.4		38.9		31.3				29.8	70.2
		(10215)												

②興味度

(全体)

➤人権啓発活動ネットワーク協議会のHPを見て『興味がわく』は 32.9% (「そう思う 5.2%」 + 「ややそう思う 27.7%」。以下、同じ) であった。

(性別)

➤『興味がわく』は、女性 (36.5%) が男性 (29.3%) より 7P 多い。

(年代別)

- 『興味がわく』は、30～50 歳代が 30%前後で、これより年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（38.8%）が最も多い。

(関与度別)

- 『興味がわく』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 32P であった。

		(n)	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	そう思う	いそう 思わな
全体		(18000)	5.2	27.7	40.9	26.2	32.9	67.1
性別	男性	(8921)	4.8	24.5	39.5	31.2	29.3	70.7
	女性	(9079)	5.7	30.8	42.3	21.2	36.5	63.5
年代	10～19歳	(1069)	8.4	28.7	37.6	25.3	37.1	62.9
	20代	(2293)	6.5	27.3	36.0	30.1	33.8	66.2
	30代	(2871)	4.3	25.4	38.1	32.2	29.7	70.3
	40代	(3269)	3.9	26.5	41.1	28.6	30.3	69.7
	50代	(2755)	4.5	25.6	45.5	24.5	30.1	69.9
	60代	(3551)	5.1	29.6	44.1	21.3	34.7	65.3
	70代	(2192)	6.9	31.9	40.2	21.0	38.8	61.2
関与度	高関与層	(3133)	16.1	38.1	32.0	13.8	54.3	45.7
	中間層	(4652)	5.4	37.2	41.8	15.6	42.6	57.4
	低関与層	(10215)	20.2	43.3	34.8	22.0	78.0	

③わかりやすさ

(全体)

- 人権啓発活動ネットワーク協議会のHPを見て『わかりやすい』は 39.7%（「そう思う 6.4%」＋「ややそう思う 33.3%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『わかりやすい』は、女性（44.1%）が男性（35.2%）より 9P 多い。

(年代別)

- 『わかりやすい』は、30 歳代（34.3%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（46.4%）が最も多い。

(関与度別)

- 『興味がわく』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 28P であった。

		(n)	そう思う ややそう思う あまりそう思わない そう思わない				そう 思う	い そう 思わ な
全体		(18000)	6.4	33.3	35.6	24.7	39.7	60.3
性別	男性	(8921)	5.4	29.7	35.3	29.5	35.2	64.8
	女性	(9079)	7.3	36.9	35.8	20.0	44.1	55.9
年代	10～19歳	(1069)	10.7	34.5	31.4	23.4	45.2	54.8
	20代	(2293)	7.4	32.1	32.7	27.8	39.5	60.5
	30代	(2871)	5.1	29.3	34.4	31.2	34.3	65.7
	40代	(3269)	4.8	31.6	36.2	27.3	36.5	63.5
	50代	(2755)	5.2	32.7	40.0	22.1	37.9	62.1
	60代	(3551)	6.1	36.6	36.6	20.8	42.7	57.3
	70代	(2192)	9.1	37.2	34.1	19.5	46.4	53.6
	関与度	高関与層	(3133)	17.4	40.0	29.2	13.4	57.4
	中間与層	(4652)	7.2	42.1	35.5	15.2	49.3	50.7
	低関与層	(10215)	2.6	27.2	37.6	32.6	29.9	70.1

④ 利便度

(全体)

➤ 人権啓発活動ネットワーク協議会のHPを見て『便利だと思う』は 39.3%（「そう思う 6.3%」＋「ややそう思う 33.0%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤ 『便利だと思う』は、女性（45.0%）が男性（33.5%）より 12P 多い。

(年代別)

➤ 『便利だと思う』は、30 歳代（34.1%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（46.9%）が最も多い。

(関与度別)

➤ 『便利だと思う』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 29P であった。

		(n)	そう思う ややそう思う あまりそう思わない そう思わない				そう 思う	い そう 思わ な
全体		(18000)	6.3	33.0	36.0	24.7	39.3	60.7
性別	男性	(8921)	5.0	28.5	36.4	30.1	33.5	66.5
	女性	(9079)	7.6	37.4	35.7	19.3	45.0	55.0
年代	10～19歳	(1069)	10.5	30.9	33.3	25.4	41.3	58.7
	20代	(2293)	7.5	31.4	34.4	26.8	38.9	61.1
	30代	(2871)	4.8	29.2	34.9	31.1	34.1	65.9
	40代	(3269)	4.9	30.7	37.4	27.0	35.6	64.4
	50代	(2755)	5.3	32.8	38.9	23.0	38.1	61.9
	60代	(3551)	6.3	36.6	36.9	20.2	42.9	57.1
	70代	(2192)	8.3	38.6	33.7	19.4	46.9	53.1
	関与度	高関与層	(3133)	17.0	40.7	29.2	13.1	57.8
	中関与層	(4652)	6.9	42.9	35.9	14.3	49.8	50.2
	低関与層	(10215)	2.8	26.1	38.2	32.9	28.9	71.1

⑤評価

(全体)

➤人権啓発活動ネットワーク協議会のHPを見て『よいHPだと思う』は 43.4%（「
 と思う 7.3%」＋「ややと思う 36.1%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『よいHPだと思う』は、女性（49.3%）が男性（37.4%）より 12P 多い。

(年代別)

➤『よいHPだと思う』は、30 歳代（38.6%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつ
 れて多くなり、70 歳代（48.9%）が最も多い。

(関与度別)

➤『よいHPだと思う』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差
 は 28P であった。

							そう 思う	い そう 思わ ない
			そう思う	ややと思う	あまりそう思わない	そう思わない		
全体	(n)		7.3	36.1	33.4	23.2	43.4	56.6
性別	男性	(18000)						
	女性	(8921)	6.1	31.3	34.1	28.6	37.4	62.6
年代	10～19歳	(9079)	8.5	40.8	32.7	17.9	49.3	50.7
	20代	(1069)	12.3	35.9	29.7	22.2	48.2	51.8
	30代	(2293)	9.3	34.4	31.3	25.0	43.7	56.3
	40代	(2871)	5.5	33.1	32.1	29.3	38.6	61.4
	50代	(3269)	5.6	35.5	33.1	25.8	41.1	58.9
	60代	(2755)	6.2	35.2	37.0	21.6	41.4	58.6
	70代	(3551)	7.1	38.8	34.8	19.4	45.9	54.1
	関与度	(2192)	9.4	39.5	33.0	18.1	48.9	51.1
関与度	高関与層	(3133)	18.7	41.7	27.4	12.3	60.4	39.6
	中関与層	(4652)	8.8	46.2	32.0	13.1	54.9	45.1
	低関与層	(10215)	3.2	29.8	35.9	31.2	32.9	67.1

9 資料(調査救済制度の冊子・リーフレット 2種類)について

Q26 冊子・リーフレットの認知度(SA)

(Q26 以下の冊子(又はリーフレット)についてお尋ねします。あなたはこの冊子(又はリーフレット)を見たことはありますか。)

(1)調査救済制度広報用リーフレット(簡易版)

(全体)

➤調査救済制度広報用リーフレット(簡易版)を『見たことがある』は14.6%(「見たことがある3.4%」+「見たことがある気がする11.2%」。以下、同じ)であった。

(性別)

➤『見たことがある』は、男性(15.6%)が女性(13.6%)よりやや多い。

(年代別)

➤『見たことがある』は、50歳代(12.0%)が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10歳代(24.9%)が最も多い。

(関与度別)

➤『見たことがある』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は29Pであった。

			(n)			見たことがある	見たことがある気がする	見たことはない	あ 見 た こ と が	な 見 た こ と は
全体		(18000)	3.4	11.2	85.4				14.6	85.4
性別	男性	(8921)	3.6	12.0	84.4				15.6	84.4
	女性	(9079)	3.2	10.4	86.4				13.6	86.4
年代	10～19歳	(1069)	7.9	17.0	75.1				24.9	75.1
	20代	(2293)	6.0	13.0	81.0				19.0	81.0
	30代	(2871)	3.1	10.6	86.3				13.7	86.3
	40代	(3269)	2.4	9.6	87.9				12.1	87.9
	50代	(2755)	2.6	9.3	88.0				12.0	88.0
	60代	(3551)	2.5	10.3	87.2				12.8	87.2
	70代	(2192)	3.0	13.2	83.8				16.2	83.8
関与度	高関与層	(3133)	13.4	22.3	64.3				35.7	64.3
	中関与層	(4652)	2.8	15.5	81.6				18.4	81.6
	低関与層	(10215)	5.8		93.6				6.4	93.6

(2)調査救済制度広報用リーフレット(詳細版)

(全体)

➤調査救済制度広報用リーフレット(詳細版)を『見たことがある』は 14.1% (「見たことがある 3.3%」 + 「見たことがある気がする 10.8%」。以下、同じ) であった。

(性別)

➤『見たことがある』は、男女いずれも 14%前後であった。

(年代別)

➤『見たことがある』は、40～60 歳代が 11%強で、これより年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代 (24.7%) が最も多い。

(関与度別)

➤『見たことがある』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 28P であった。

		(n)	見たことがある			見たことがある気がする	見たことはない	あ 見た こと が	な 見た こと は
全体		(18000)	3.3	10.8			85.9	14.1	85.9
性別	男性	(8921)	3.6	11.2			85.2	14.8	85.2
	女性	(9079)	3.1	10.3			86.6	13.4	86.6
年代	10～19歳	(1069)	7.4	17.3			75.3	24.7	75.3
	20代	(2293)	5.5	12.7			81.8	18.2	81.8
	30代	(2871)	3.3	10.0			86.8	13.2	86.8
	40代	(3269)	2.5	8.9			88.6	11.4	88.6
	50代	(2755)	2.6	8.8			88.6	11.4	88.6
	60代	(3551)	2.3	9.5			88.1	11.9	88.1
	70代	(2192)	3.1	13.6			83.3	16.7	83.3
	高関与層	(3133)	12.3	22.1			65.6	34.4	65.6
関与度	中間層	(4652)	3.0	14.9			82.1	17.9	82.1
	低関与層	(10215)	5.4				93.9	6.1	93.9

(3)人権擁護委員 あなたの街の相談パートナー

(全体)

➤人権擁護委員あなたの街の相談パートナーを『見たことがある』は 16.5% (「見たことがある 3.9%」 + 「見たことがある気がする 12.5%」。以下、同じ) であった。

(性別)

➤『見たことがある』は、男性 (17.2%) が女性 (15.8%) よりやや多い。

(年代別)

➤『見たことがある』は、40 歳代 (13.9%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代 (24.1%) が最も多い。

(関与度別)

➤『見たことがある』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は33Pであった。

			(n)			見たことがある	見たことがある気がする	見たことはない	あ る こ と が	な い こ と は
全体			(18000)			3.9	12.5	83.6	16.5	83.6
性別	男性		(8921)			4.0	13.1	82.8	17.2	82.8
	女性		(9079)			3.8	12.0	84.2	15.8	84.2
年代	10～19歳		(1069)			7.1	17.0	75.9	24.1	75.9
	20代		(2293)			5.2	14.0	80.7	19.3	80.7
	30代		(2871)			3.3	11.5	85.2	14.8	85.2
	40代		(3269)			3.4	10.5	86.1	13.9	86.1
	50代		(2755)			3.5	10.9	85.6	14.4	85.6
	60代		(3551)			3.4	12.1	84.5	15.5	84.5
	70代		(2192)			3.7	16.0	80.3	19.7	80.3
関与度	高関与層		(3133)			13.4	26.4	60.2	39.8	60.2
	中関与層		(4652)			4.0	17.6	78.5	21.5	78.5
	低関与層		(10215)			6.0		93.0	7.0	93.0

Q27 冊子・リーフレットを見て思ったこと、理解したこと(SA)

(Q 27 冊子 (又はリーフレット) をご覧になって、思ったことや理解したことはどんなことでしたか。以下の項目について、当てはまるものをひとつずつお選びください。)

(1)調査救済制度広報用リーフレット(簡易版)

①相談する場所があることが分かった

(全体)

➤『あてはまる』は56.4% (「あてはまる15.0%」+「ややあてはまる41.4%」。以下、同じ)であった。

(性別)

➤『あてはまる』は、女性(64.2%)が男性(48.5%)より16P多い。

(年代別)

➤『あてはまる』は、30歳代(51.0%)が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70歳代(63.8%)が最も多い。

(関与度別)

➤『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は31Pであった。

			(n)				あてはまる	あてはまらない
全体			(18000)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
性別	男性	(8921)	11.2	37.2	21.5	30.0	56.4	43.6
	女性	(9079)	18.8	45.4	16.8	19.1	48.5	51.5
年代	10～19歳	(1069)	16.1	38.4	20.5	25.0	64.2	35.8
	20代	(2293)	17.2	38.0	17.8	27.0	54.5	45.5
	30代	(2871)	13.8	37.2	18.6	30.4	55.2	44.8
	40代	(3269)	12.0	40.4	19.9	27.7	51.0	49.0
	50代	(2755)	12.4	42.5	21.5	23.6	52.3	47.7
	60代	(3551)	16.1	46.3	18.4	19.3	55.0	45.0
	70代	(2192)	20.1	43.8	17.7	18.5	62.3	37.7
	関与度	(10215)	8.4	35.9	21.7	34.0	63.8	36.2
関与度	高関与層	(3133)	30.8	44.6	13.8	10.8	75.4	24.6
	中関与層	(4652)	19.0	51.2	17.1	12.7	70.2	29.8
	低関与層	(10215)	8.4	35.9	21.7	34.0	44.3	55.7

②法務局による相談・救済制度を知るきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 50.9% (「あてはまる 12.3%」 + 「ややあてはまる 38.6%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (58.0%) が男性 (43.6%) より 14P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、10 歳代 (46.2%) が最も少なく、概ね年代が上がるにつれて多くなり、70 歳代 (58.8%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 32P であった。

			(n)				あてはまる	あてはまらない
全体			(18000)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
性別	男性	(8921)	9.1	34.5	25.8	30.6	50.9	49.1
	女性	(9079)	15.4	42.6	21.5	20.5	43.6	56.4
年代	10～19歳	(1069)	13.7	32.6	28.4	25.4	58.0	42.0
	20代	(2293)	12.8	38.2	21.5	27.5	46.2	53.8
	30代	(2871)	11.7	34.7	22.3	31.3	51.0	49.0
	40代	(3269)	9.8	37.7	23.4	29.1	46.4	53.6
	50代	(2755)	10.5	38.3	26.6	24.6	47.5	52.5
	60代	(3551)	13.3	42.5	23.5	20.7	48.8	51.2
	70代	(2192)	16.2	42.5	22.0	19.2	55.8	44.2
	関与度	(10215)	6.5	32.2	26.3	35.1	58.8	41.2
関与度	高関与層	(3133)	26.4	44.3	18.1	11.3	70.7	29.3
	中関与層	(4652)	15.5	48.9	21.6	14.0	64.4	35.6
	低関与層	(10215)	6.5	32.2	26.3	35.1	38.7	61.3

③人権擁護委員の存在を知るきっかけとなった

(全体)

- 『あてはまる』は 50.3%（「あてはまる 12.1%」＋「ややあてはまる 38.2%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（57.9%）が男性（42.4%）より 16P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（45.5%）が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（58.6%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 30P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	12.1	38.2	23.6	26.1	50.3	49.7
性別	男性	(8921)	8.7	33.7	26.0	31.6	42.4	57.6
	女性	(9079)	15.3	42.6	21.3	20.7	57.9	42.1
年代	10～19歳	(1069)	13.0	33.9	27.4	25.7	46.9	53.1
	20代	(2293)	12.8	36.9	22.0	28.3	49.7	50.3
	30代	(2871)	11.4	34.1	22.2	32.4	45.5	54.5
	40代	(3269)	9.6	37.0	23.9	29.5	46.7	53.3
	50代	(2755)	10.2	37.9	26.3	25.6	48.1	51.9
	60代	(3551)	13.0	42.4	23.8	20.9	55.3	44.7
	70代	(2192)	16.1	42.5	21.5	19.9	58.6	41.4
関与度	高関与層	(3133)	25.9	43.1	18.9	12.2	68.9	31.1
	中関与層	(4652)	15.0	48.0	22.7	14.4	63.0	37.0
	低関与層	(10215)	6.5	32.3	25.5	35.7	38.7	61.3

④人権擁護委員に相談できることがわかった

(全体)

- 『あてはまる』は 52.6%（「あてはまる 13.4%」＋「ややあてはまる 39.2%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（60.7%）が男性（44.3%）より 16P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（47.7%）が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（60.7%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 32P であった。

			(n)				あてはまる	あてはまらない
							あてはまる	あてはまらない
全体			(18000)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
性別	男性	(8921)	13.4	39.2	22.0	25.4	52.6	47.4
	女性	(9079)	9.8	34.5	24.6	31.1	44.3	55.7
年代	10～19歳	(1069)	17.0	43.7	19.4	19.8	60.7	39.3
	20代	(2293)	13.4	35.9	25.3	25.4	49.3	50.7
	30代	(2871)	15.0	36.8	20.0	28.2	51.8	48.2
	40代	(3269)	12.7	35.0	20.8	31.5	47.7	52.3
	50代	(2755)	10.9	37.6	23.1	28.4	48.5	51.5
	60代	(3551)	11.4	39.3	24.5	24.8	50.8	49.2
	70代	(2192)	14.4	43.8	21.3	20.5	58.2	41.8
	関与度	(10215)	17.5	43.2	20.3	19.0	60.7	39.3
関与度	高関与層	(3133)	28.7	43.5	16.7	11.1	72.2	27.8
	中関与層	(4652)	16.7	49.6	19.9	13.8	66.3	33.7
	低関与層	(10215)	7.3	33.1	24.6	35.1	40.3	59.7

⑤法務局による相談を利用しようと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 45.5% (「あてはまる 10.9%」 + 「ややあてはまる 34.5%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (52.1%) が男性 (38.6%) より 14P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (41.1%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (54.3%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 31P であった。

			(n)				あてはまる	あてはまらない
							あてはまる	あてはまらない
全体			(18000)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
性別	男性	(8921)	10.9	34.5	27.7	26.9	45.5	54.6
	女性	(9079)	7.9	30.7	28.9	32.5	38.6	61.4
年代	10～19歳	(1069)	13.9	38.2	26.4	21.4	52.1	47.9
	20代	(2293)	11.6	30.4	30.8	27.2	42.0	58.0
	30代	(2871)	11.4	33.6	25.6	29.4	45.0	55.0
	40代	(3269)	10.4	30.7	26.1	32.8	41.1	58.9
	50代	(2755)	8.6	33.0	28.3	30.1	41.6	58.4
	60代	(3551)	9.4	34.2	30.0	26.4	43.6	56.4
	70代	(2192)	11.7	38.1	28.2	22.1	49.7	50.3
	関与度	(10215)	15.1	39.2	25.5	20.2	54.3	45.7
関与度	高関与層	(3133)	24.7	40.4	21.9	13.0	65.1	34.9
	中関与層	(4652)	13.6	44.4	26.8	15.1	58.1	41.9
	低関与層	(10215)	5.5	28.2	29.8	36.5	33.7	66.3

⑥法務局による相談が利用できることを家族や友人に伝えたいと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 38.6% (「あてはまる 8.6%」 + 「ややあてはまる 30.0%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (44.3%) が男性 (32.9%) より 11P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (34.2%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (47.8%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 31P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	8.6	30.0	31.1	30.3	38.6	61.4
性別	男性	(8921)	6.4	26.5	31.7	35.4	32.9	67.1
	女性	(9079)	10.8	33.5	30.5	25.3	44.3	55.7
年代	10～19歳	(1069)	9.1	26.6	33.9	30.5	35.6	64.4
	20代	(2293)	8.8	27.4	29.1	34.7	36.2	63.8
	30代	(2871)	7.1	27.1	28.9	37.0	34.2	65.8
	40代	(3269)	7.0	28.4	30.7	33.9	35.5	64.5
	50代	(2755)	7.7	29.8	33.9	28.7	37.4	62.6
	60代	(3551)	9.4	33.4	32.8	24.4	42.8	57.2
	70代	(2192)	12.5	35.4	29.4	22.8	47.8	52.2
関与度	高関与層	(3133)	20.5	38.0	26.2	15.4	58.4	41.6
	中関与層	(4652)	10.7	40.0	30.9	18.4	50.7	49.3
	低関与層	(10215)	4.0	23.0	32.7	40.2	27.0	73.0

⑦人権問題を意識するきっかけとなった

(全体)

- 『あてはまる』は 48.0% (「あてはまる 10.6%」 + 「ややあてはまる 37.4%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (54.9%) が男性 (40.9%) より 14P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (43.3%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (55.5%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 31P であった。

							あてはまる	あてはまらない
			(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
全体		(18000)		10.6	37.4	25.6	26.4	48.0 52.1
性別	男性	(8921)		8.0	32.9	27.1	32.0	40.9 59.1
	女性	(9079)		13.1	41.8	24.1	21.0	54.9 45.1
年代	10～19歳	(1069)		12.2	35.5	27.1	25.3	47.6 52.4
	20代	(2293)		11.9	36.7	22.7	28.7	48.6 51.4
	30代	(2871)		9.9	33.4	24.3	32.3	43.3 56.7
	40代	(3269)		8.4	36.0	25.8	29.7	44.5 55.5
	50代	(2755)		9.0	37.1	28.3	25.7	46.1 53.9
	60代	(3551)		11.2	40.2	27.0	21.7	51.4 48.6
	70代	(2192)		13.6	41.8	23.8	20.7	55.5 44.5
関与度	高関与層	(3133)		23.9	43.3	20.4	12.3	67.3 32.7
	中関与層	(4652)		13.4	47.9	24.4	14.3	61.3 38.7
	低関与層	(10215)		5.2	30.7	27.8	36.3	36.0 64.0

⑧自分も人の人権を尊重しなくてはいけないと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 53.4% (「あてはまる 14.7%」 + 「ややあてはまる 38.8%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (61.1%) が男性 (45.6%) より 16P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (48.0%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (62.5%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 32P であった。

							あてはまる	あてはまらない
			(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
全体		(18000)		14.7	38.8	21.5	25.1	53.4 46.6
性別	男性	(8921)		11.0	34.6	23.9	30.5	45.6 54.4
	女性	(9079)		18.3	42.8	19.2	19.7	61.1 38.9
年代	10～19歳	(1069)		15.9	36.3	23.2	24.6	52.2 47.8
	20代	(2293)		15.4	36.4	20.6	27.7	51.7 48.3
	30代	(2871)		12.7	35.3	21.1	30.9	48.0 52.0
	40代	(3269)		11.4	38.4	22.0	28.1	49.9 50.1
	50代	(2755)		12.9	39.0	23.9	24.2	51.9 48.1
	60代	(3551)		15.9	42.4	21.3	20.4	58.2 41.8
	70代	(2192)		21.1	41.4	18.6	18.9	62.5 37.5
関与度	高関与層	(3133)		30.2	42.6	16.2	10.9	72.9 27.1
	中関与層	(4652)		19.5	48.2	18.9	13.3	67.7 32.3
	低関与層	(10215)		7.7	33.3	24.3	34.7	41.0 59.0

(2)人権擁護委員あなたの街の相談パートナー

①相談する場所があることが分かった

(全体)

➤『あてはまる』は 56.8% (「あてはまる 14.8%」 + 「ややあてはまる 42.0%」。以下、同じ) であった。

(性別)

➤『あてはまる』は、女性 (64.3%) が男性 (49.1%) より 15P 多い。

(年代別)

➤『あてはまる』は、30 歳代 (51.1%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (65.1%) が最も多い。

(関与度別)

➤『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 31P であった。

			(n)				あてはまる	あてはまらない
全体			(18000)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
性別	男性	(8921)	14.8	42.0	19.6	23.6	56.8	43.2
	女性	(9079)	11.0	38.1	22.0	28.9	49.1	50.9
年代	10～19歳	(1069)	18.5	45.8	17.3	18.4	64.3	35.7
	20代	(2293)	15.5	39.0	22.2	23.3	54.5	45.5
	30代	(2871)	15.6	39.4	19.1	25.9	55.0	45.0
	40代	(3269)	13.0	38.1	19.7	29.3	51.1	48.9
	50代	(2755)	11.9	41.0	20.2	27.0	52.9	47.1
	60代	(3551)	12.5	42.6	21.8	23.1	55.1	44.9
	70代	(2192)	16.0	46.9	18.1	19.0	62.9	37.1
	関与度	(10215)	21.0	44.1	17.7	17.2	65.1	34.9
関与度	高関与層	(3133)	30.3	45.1	14.8	9.9	75.3	24.7
	中間層	(4652)	18.6	52.3	16.9	12.2	70.9	29.1
	低関与層	(10215)	8.3	36.4	22.3	33.1	44.6	55.4

②法務局による相談・救済制度を知るきっかけになった

(全体)

➤『あてはまる』は 52.7% (「あてはまる 13.3%」 + 「ややあてはまる 39.4%」。以下、同じ) であった。

(性別)

➤『あてはまる』は、女性 (60.0%) が男性 (45.2%) より 15P 多い。

(年代別)

➤『あてはまる』は、30 歳代 (47.8%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (61.8%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 32P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	13.3	39.4	22.7	24.6	52.7	47.3
性別	男性	(8921)	9.8	35.5	24.8	30.0	45.2	54.8
	女性	(9079)	16.8	43.2	20.6	19.4	60.0	40.0
年代	10～19歳	(1069)	14.0	36.0	25.7	24.2	50.0	50.0
	20代	(2293)	13.9	37.6	22.2	26.3	51.5	48.5
	30代	(2871)	12.4	35.4	21.6	30.5	47.8	52.2
	40代	(3269)	10.8	38.3	23.0	27.8	49.2	50.8
	50代	(2755)	11.4	39.1	25.1	24.4	50.5	49.5
	60代	(3551)	14.2	43.4	22.4	20.0	57.6	42.4
	70代	(2192)	18.4	43.4	19.9	18.3	61.8	38.2
関与度	高関与層	(3133)	28.7	44.0	16.4	10.9	72.7	27.3
	中関与層	(4652)	16.5	49.7	20.8	13.0	66.2	33.8
	低関与層	(10215)	7.2	33.3	25.4	34.2	40.4	59.6

③人権擁護委員の存在を知るきっかけとなった

(全体)

- 『あてはまる』は 52.3% (「あてはまる 13.7%」 + 「ややあてはまる 38.6%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (59.6%) が男性 (44.8%) より 15P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (47.7%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (61.7%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 31P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	13.7	38.6	22.5	25.2	52.3	47.7
性別	男性	(8921)	10.1	34.7	24.7	30.5	44.8	55.2
	女性	(9079)	17.2	42.4	20.4	19.9	59.6	40.4
年代	10～19歳	(1069)	13.4	35.9	25.6	25.1	49.3	50.7
	20代	(2293)	15.9	35.9	21.2	27.0	51.9	48.1
	30代	(2871)	12.9	34.9	21.2	31.0	47.7	52.3
	40代	(3269)	11.5	36.6	23.6	28.3	48.0	52.0
	50代	(2755)	11.4	38.3	25.4	24.9	49.7	50.3
	60代	(3551)	13.9	43.4	22.1	20.6	57.3	42.7
	70代	(2192)	18.4	43.3	19.7	18.6	61.7	38.3
関与度	高関与層	(3133)	28.9	42.6	17.1	11.3	71.5	28.5
	中関与層	(4652)	17.2	48.6	20.7	13.5	65.7	34.3
	低関与層	(10215)	7.4	32.9	25.0	34.7	40.3	59.7

④人権擁護委員に相談できたことがわかった

(全体)

- 『あてはまる』は 53.1%（「あてはまる 14.1%」＋「ややあてはまる 39.0%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（61.0%）が男性（45.0%）より 16P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（48.2%）が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（62.0%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 32P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	14.1	39.0	22.1	24.9	53.1	46.9
性別	男性	(8921)	10.3	34.7	24.6	30.4	45.0	55.0
	女性	(9079)	17.8	43.2	19.6	19.4	61.0	39.0
年代	10～19歳	(1069)	14.7	35.8	24.4	25.1	50.5	49.5
	20代	(2293)	15.7	35.9	21.2	27.2	51.6	48.4
	30代	(2871)	13.1	35.1	21.1	30.8	48.2	51.8
	40代	(3269)	11.3	37.9	22.9	27.8	49.3	50.7
	50代	(2755)	11.7	38.9	25.0	24.4	50.6	49.4
	60代	(3551)	15.2	43.6	21.1	20.2	58.7	41.3
	70代	(2192)	18.8	43.3	19.7	18.3	62.0	38.0
関与度	高関与層	(3133)	29.5	42.9	16.2	11.4	72.4	27.6
	中関与層	(4652)	17.5	49.4	20.1	13.0	66.9	33.1
	低関与層	(10215)	7.8	33.1	24.8	34.4	40.9	59.1

⑤法務局による相談を利用しようと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 46.0% (「あてはまる 11.2%」 + 「ややあてはまる 34.8%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (52.6%) が男性 (39.4%) より 13P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (41.3%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (55.8%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 31P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	11.2	34.8	27.4	26.5	46.0	54.0
性別	男性	(8921)	8.0	31.4	28.8	31.9	39.4	60.6
	女性	(9079)	14.4	38.2	26.1	21.3	52.6	47.4
年代	10～19歳	(1069)	12.0	30.0	30.2	27.8	42.0	58.0
	20代	(2293)	11.6	33.7	26.2	28.5	45.3	54.7
	30代	(2871)	9.8	31.5	26.1	32.6	41.3	58.7
	40代	(3269)	8.8	33.6	28.3	29.3	42.4	57.6
	50代	(2755)	9.7	34.2	30.1	26.0	43.9	56.1
	60代	(3551)	12.2	38.3	27.6	21.9	50.5	49.5
	70代	(2192)	16.4	39.4	24.2	20.0	55.8	44.2
関与度	高関与層	(3133)	25.2	40.4	21.2	13.1	65.7	34.3
	中関与層	(4652)	14.0	44.4	26.9	14.7	58.4	41.6
	低関与層	(10215)	5.7	28.7	29.6	36.0	34.4	65.6

⑥法務局による相談が利用できることを家族や友人に伝えたいと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 39.9% (「あてはまる 9.0%」 + 「ややあてはまる 30.8%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (45.5%) が男性 (34.1%) より 11P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (35.0%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (49.4%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 31P であった。

			(n)				あてはまる	あてはまらない
							あてはまる	あてはまらない
全体			(18000)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
性別	男性	(8921)	6.7	27.4	31.3	34.6	39.9	60.1
	女性	(9079)	11.3	34.2	29.6	24.9	34.1	65.9
年代	10～19歳	(1069)	9.9	29.4	30.4	30.3	45.5	54.5
	20代	(2293)	9.5	28.0	28.3	34.2	39.3	60.7
	30代	(2871)	7.5	27.6	28.3	36.7	37.5	62.5
	40代	(3269)	6.9	29.3	31.0	32.8	35.0	65.0
	50代	(2755)	8.1	30.5	33.2	28.2	36.2	63.8
	60代	(3551)	9.9	34.0	32.0	24.1	38.6	61.4
	70代	(2192)	13.1	36.3	28.4	22.2	43.9	56.1
	関与度	(10215)	4.3	24.1	31.8	39.8	49.4	50.6
関与度	高関与層	(3133)	21.5	38.1	25.5	15.0	59.6	40.4
	中関与層	(4652)	11.0	40.6	30.8	17.6	51.7	48.3
	低関与層	(10215)	4.3	24.1	31.8	39.8	28.4	71.6

⑦人権問題を意識するきっかけとなった

(全体)

- 『あてはまる』は 49.4% (「あてはまる 11.5%」 + 「ややあてはまる 37.9%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (56.5%) が男性 (42.2%) より 14P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (44.9%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (58.4%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 30P であった。

			(n)				あてはまる	あてはまらない
							あてはまる	あてはまらない
全体			(18000)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
性別	男性	(8921)	8.4	33.9	26.6	31.2	49.4	50.6
	女性	(9079)	14.7	41.8	22.8	20.6	42.2	57.8
年代	10～19歳	(1069)	12.9	35.5	26.7	25.0	56.5	43.5
	20代	(2293)	12.9	35.3	23.5	28.2	48.4	51.6
	30代	(2871)	10.3	34.6	23.1	31.9	48.2	51.8
	40代	(3269)	9.3	36.6	25.2	28.9	44.9	55.1
	50代	(2755)	9.8	37.7	27.3	25.2	45.9	54.1
	60代	(3551)	12.4	41.0	25.2	21.4	47.5	52.5
	70代	(2192)	15.2	43.2	22.1	19.4	53.4	46.6
	関与度	(10215)	5.8	31.8	26.7	35.7	58.4	41.6
関与度	高関与層	(3133)	25.4	42.4	20.5	11.7	67.8	32.2
	中関与層	(4652)	14.7	48.3	23.2	13.8	63.0	37.0
	低関与層	(10215)	5.8	31.8	26.7	35.7	37.6	62.4

⑧自分も人の人権を尊重しなくてはいけないと思った

(全体)

➤『あてはまる』は 53.8% (「あてはまる 15.2%」 + 「ややあてはまる 38.6%」。以下、同じ) であった。

(性別)

➤『あてはまる』は、女性 (61.4%) が男性 (46.0%) より 15P 多い。

(年代別)

➤『あてはまる』は、30 歳代 (48.3%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (63.0%) が最も多い。

(関与度別)

➤『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 31P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	15.2	38.6	21.3	24.9	53.8	46.2
性別	男性	(8921)	11.3	34.6	23.8	30.3	46.0	54.0
	女性	(9079)	19.0	42.4	18.9	19.6	61.4	38.6
年代	10～19歳	(1069)	16.3	35.0	24.4	24.3	51.3	48.7
	20代	(2293)	15.5	36.4	21.0	27.2	51.9	48.1
	30代	(2871)	12.6	35.7	20.3	31.3	48.3	51.7
	40代	(3269)	12.0	37.8	21.9	28.3	49.8	50.2
	50代	(2755)	13.4	38.7	23.9	24.0	52.1	47.9
	60代	(3551)	16.8	42.7	20.3	20.3	59.4	40.6
	70代	(2192)	22.4	40.6	19.1	17.9	63.0	37.0
関与度	高関与層	(3133)	30.9	41.9	16.3	10.9	72.8	27.2
	中関与層	(4652)	20.2	47.9	18.9	12.9	68.2	31.8
	低関与層	(10215)	8.1	33.3	24.0	34.7	41.4	58.6

10 資料(じんけん自己診断のリーフレット・ホームページ)について

Q28 リーフレット(ホームページ)の認知度

(Q28 以下のリーフレット・ホームページについてお伺いします。あなたはこのリーフレット・ホームページを見たことはありますか。)

(1)じんけん自己診断のリーフレット

(全体)

➤ じんけん自己診断のリーフレットを『見たことがある』は 10.9% (「見たことがある 2.7%」 + 「見たことがある気がする 8.2%」。以下、同じ) であった。

(性別)

➤ 『見たことがある』は、男性 (13.2%) が女性 (8.6%) よりやや多い。

(年代別)

➤ 『見たことがある』は、40～60 歳代が 9% 前後で、これより年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代 (19.8%) が最も多い。

(関与度別)

➤ 『見たことがある』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 23P であった。

		(n)				
		見たことがある			見たことがある	見たことはない
		見たことがある気がする			見たことがある	見たことはない
		見たことはない			見たことがある	見たことはない
全体		(18000)	2.7	8.2	89.1	10.9
性別	男性	(8921)	3.2	10.0	86.8	13.2
	女性	(9079)	2.2	6.4	91.4	8.6
年代	10～19歳	(1069)	6.4	13.5	80.2	19.8
	20代	(2293)	5.0	10.6	84.4	15.6
	30代	(2871)	2.7	8.1	89.2	10.8
	40代	(3269)	2.1	6.3	91.6	8.4
	50代	(2755)	1.7	7.4	90.8	9.2
	60代	(3551)	1.6	6.9	91.6	8.4
	70代	(2192)	2.4	9.3	88.4	11.6
関与度	高関与層	(3133)	10.8	17.2	72.0	28.0
	中関与層	(4652)	2.1	10.6	87.3	12.7
	低関与層	(10215)	1.4	4.3	95.2	4.8

(2)じんけん自己診断のホームページ

(全体)

➤ じんけん自己診断のホームページを『見たことがある』は 10.6% (「見たことがある 2.7%」 + 「見たことがある気がする 7.8%」。以下、同じ) であった。

(性別)

➤『見たことがある』は、男性（12.8%）が女性（8.4%）よりやや多い。

(年代別)

➤『見たことがある』は、40～60歳代が9%前後で、これより年代が上がる下がるにつれて多くなり、10歳代（17.2%）が最も多い。

(関与度別)

➤『見たことがある』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は23Pであった。

			見たことがある			見たことがある気がする			見たことはない			あ る こ と が	な い こ と は	
(n)														
全体			2.7	7.8	89.4								10.6	89.4
性別	男性	(8921)	3.2	9.6	87.2								12.8	87.2
	女性	(9079)	2.3	6.1	91.6								8.4	91.6
年代	10～19歳	(1069)	6.3	10.9	82.8								17.2	82.8
	20代	(2293)	5.0	10.4	84.6								15.4	84.6
	30代	(2871)	2.4	8.3	89.3								10.7	89.3
	40代	(3269)	2.0	6.2	91.8								8.2	91.8
	50代	(2755)	2.2	6.8	91.0								9.0	91.0
	60代	(3551)		6.5	91.8								8.2	91.8
	70代	(2192)	2.6	8.9	88.5								11.5	88.5
関与度	高関与層	(3133)	10.3		17.2		72.5						27.5	72.5
	中関与層	(4652)	2.4	9.7	87.9								12.1	87.9
	低関与層	(10215)	4.1	95.3								4.7	95.3	

Q29 じんけん自己診断のリーフレット(ホームページ)を見て思ったこと、理解したこと(SA)

(Q 29 じんけん自己診断のリーフレット・パンフレットをご覧になって、思ったことや理解したことはどんなことでしたか。以下の項目について、当てはまるものをひとつずつお選びください。)

(1)じんけん自己診断(リーフレット)

①気づかぬうちに他者の人権を侵害することがあることが分かった

(全体)

➤『あてはまる』は 75.4%（「あてはまる 26.1%」＋「ややあてはまる 49.3%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『あてはまる』は、女性（78.1%）が男性（73.6%）よりやや多い。

(年代別)

➤『あてはまる』は、40歳代（70.1%）が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれ

て多くなり、70 歳代（82.4%）が最も多い。

（関与度別）

➤『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 32P であった。

						あてはまる	あてはまらない
		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
全体		(1959)	26.1	49.3	21.5	3.1	75.4 24.6
性別	男性	(1177)	23.9	49.7	23.2	3.2	73.6 26.4
	女性	(782)	29.5	48.6	18.9	2.9	78.1 21.9
年代	10～19歳	(212)	33.0	37.3	25.5	4.2	70.3 29.7
	20代	(357)	27.2	48.2	20.4	4.2	75.4 24.6
	30代	(309)	23.6	49.8	23.0	3.6	73.5 26.5
	40代	(274)	24.8	45.3	26.6	3.3	70.1 29.9
	50代	(253)	22.1	50.6	24.1	3.2	72.7 27.3
	60代	(299)	26.4	55.9	16.4		82.3 17.7
	70代	(255)	27.1	55.3	15.7	2.0	82.4 17.6
関与度	高関与層	(977)	40.0	46.0	11.4	2.6	86.0 14.0
	中関与層	(591)	19.5	58.4	20.5		77.8 22.2
	低関与層	(491)	9.4	44.2	40.7	5.7	53.6 46.4

②人によっていろいろな受け止め方があるのがわかった

（全体）

➤『あてはまる』は 76.8%（「あてはまる 28.5%」＋「ややあてはまる 48.3%」。以下、同じ）であった。

（性別）

➤『あてはまる』は、女性（81.6%）が男性（73.7%）より 8P 多い。

（年代別）

➤『あてはまる』は、20 歳代（70.6%）が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（85.5%）が最も多い。

（関与度別）

➤『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 29P であった。

			(n)				あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	ないてはまる
全体		(1959)	28.5		48.3		20.6		2.6	76.8	23.2	
性別	男性	(1177)	24.7		48.9		23.4		2.9	73.7	26.3	
	女性	(782)	34.1		47.4		16.2		2.2	81.6	18.4	
年代	10～19歳	(212)	34.4		44.8		19.3			79.2	20.8	
	20代	(357)	26.3		44.3		24.6		4.8	70.6	29.4	
	30代	(309)	29.1		46.3		20.7		3.9	75.4	24.6	
	40代	(274)	24.5		47.1		27.0			71.5	28.5	
	50代	(253)	28.1		45.8		22.5		3.6	73.9	26.1	
	60代	(299)	29.4		54.5		15.7			83.9	16.1	
	70代	(255)	29.4		56.1		12.5		2.0	85.5	14.5	
関与度	高関与層	(877)	41.2		45.3		11.7			86.4	13.6	
	中関与層	(591)	23.9		55.0		19.1		2.0	78.8	21.2	
	低関与層	(491)	11.4		45.8		38.1		4.7	57.2	42.8	

③様々な人権問題があることがわかった

(全体)

- 『あてはまる』は 76.0% (「あてはまる 29.1%」 + 「ややあてはまる 46.9%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (80.1%) が男性 (73.3%) より 7P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、50 歳代 (70.4%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (86.3%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 28P であった。

			(n)				あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない		あてはまる	あてはまらない
全体		(1959)	29.1		46.9		21.0		3.0		76.0	24.0	
性別	男性	(1177)	25.9		47.4		23.7		3.0		73.3	26.7	
	女性	(782)	34.0		46.0		17.0		2.9		80.1	19.9	
年代	10～19歳	(212)	35.4		39.2		22.2		3.3		74.5	25.5	
	20代	(357)	28.3		44.8		22.1		4.8		73.1	26.9	
	30代	(309)	26.2		48.9		21.0		3.9		75.1	24.9	
	40代	(274)	26.3		46.0		25.2		2.6		72.3	27.7	
	50代	(253)	28.5		41.9		26.9		2.8		70.4	29.6	
	60代	(299)	30.4		50.5		18.1				80.9	19.1	
	70代	(255)	31.0		55.3		11.8		2.0		86.3	13.7	
関与度	高関与層	(877)	41.7		43.2		12.9		2.2		84.9	15.1	
	中関与層	(591)	24.5		53.8		19.6		2.0		78.3	21.7	
	低関与層	(491)	12.2		45.0		37.3		5.5		57.2	42.8	

④人権問題を意識するきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 74.2% (「あてはまる 27.5%」 + 「ややあてはまる 46.7%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (78.8%) が男性 (71.1%) より 8P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、10～50 歳代が 71%前後だが、60 歳代以上では 82%前後に増加する。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 28P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(1959)	27.5	46.7	22.1	3.7	74.2	25.8
性別	男性	(1177)	24.1	47.0	24.9	4.0	71.1	28.9
	女性	(782)	32.5	46.3	17.9	3.3	78.8	21.2
年代	10～19歳	(212)	34.4	35.8	25.5	4.2	70.3	29.7
	20代	(357)	26.9	44.5	23.2	5.3	71.4	28.6
	30代	(309)	26.5	46.0	22.0	5.5	72.5	27.5
	40代	(274)	25.9	43.8	27.0	3.3	69.7	30.3
	50代	(253)	24.9	45.8	25.7	3.6	70.8	29.2
	60代	(299)	28.8	52.8	18.1		81.6	18.4
	70代	(255)	26.3	56.5	13.7	3.5	82.7	17.3
		(255)	26.3	56.5	13.7	3.5	82.7	17.3
関与度	高関与層	(877)	39.8	42.6	14.7	2.9	82.4	17.6
	中関与層	(591)	23.2	55.3	18.6	2.9	78.5	21.5
	低関与層	(491)	10.6	43.6	39.5	6.3	54.2	45.8

⑤自分も人の人権を尊重しなくてはいけないと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 76.0% (「あてはまる 29.5%」 + 「ややあてはまる 46.5%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (80.1%) が男性 (73.2%) より 7P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、20 歳代 (70.9%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (84.7%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 28P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(1959)	29.5	46.5	21.2	2.9	76.0	24.0
性別	男性	(1177)	26.2	47.1	23.5	3.2	73.2	26.8
	女性	(782)	34.5	45.5	17.6	2.3	80.1	19.9
年代	10～19歳	(212)	34.0	39.2	24.5	2.4	73.1	26.9
	20代	(357)	28.0	42.9	23.8	5.3	70.9	29.1
	30代	(309)	28.2	44.0	23.6	4.2	72.2	27.8
	40代	(274)	26.6	47.4	24.1		74.1	25.9
	50代	(253)	26.5	47.8	22.1	3.6	74.3	25.7
	60代	(299)	30.4	53.2	16.1		83.6	16.4
	70代	(255)	34.5	50.2	13.7		84.7	15.3
関与度	高関与層	(877)	43.0	42.5	12.9		85.5	14.5
	中間層	(591)	25.2	51.8	20.3	2.7	77.0	23.0
	低関与層	(491)	10.6	47.0	37.1	5.3	57.6	42.4

⑥法務局による相談・救済制度を知るきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 74.2%（「あてはまる 27.4%」＋「ややあてはまる 46.8%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（79.5%）が男性（70.7%）より 9P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、10～50 歳代が 72%前後で、これより年代が上がるにつれて多くなり、70 歳代（83.5%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 30P であった。

			(n)				あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(1959)	27.4		46.8		23.1		2.7	74.2	25.8	
	性別	男性	(1177)	23.8		46.9		26.4		2.9	70.7	29.3
		女性	(782)	32.9		46.7		18.2		2.3	79.5	20.5
年代	10～19歳	(212)	31.1		40.6		25.5		2.8	71.7	28.3	
	20代	(357)	26.9		44.0		25.5		3.6	70.9	29.1	
	30代	(309)	23.9		46.9		26.2		2.9	70.9	29.1	
	40代	(274)	25.9		47.1		24.1		2.9	73.0	27.0	
	50代	(253)	24.5		46.2		25.7		3.6	70.8	29.2	
	60代	(299)	27.8		51.8		19.4			79.6	20.4	
	70代	(255)	33.3		50.2		14.9			83.5	16.5	
	関与度	高関与層	(877)	40.1		43.1		14.9			83.2	16.8
	中間与層	(591)	21.8		56.2		19.6		2.4	78.0	22.0	
	低関与層	(491)	11.4		42.2		42.0		4.5	53.6	46.4	

(2)じんけん自己診断(ホームページ)

①気づかないうちに他者の人権を侵害することがあることが分かった

(全体)

➤『あてはまる』は 77.6% (「あてはまる 28.7%」 + 「ややあてはまる 49.0%」。以下、同じ) であった。

(性別)

➤『あてはまる』は、女性 (82.2%) が男性 (74.6%) より 8P 多い。

(年代別)

➤『あてはまる』は、10～50 歳代は 70% 台だが、60・70 歳代では 85% 前後に増加する。

(関与度別)

➤『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 27P であった。

(エリア別)

➤以下のエリア間では『あてはまる』に 10P 以上の差が発生した。

・四国地方 81.5% > 東北地方 71.3%

			(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体			(1901)	28.7	49.0	19.5	2.9	77.6	22.4
性別	男性		(1141)	26.5	48.1	21.9	3.5	74.6	25.4
	女性		(760)	32.0	50.3	15.8	2.0	82.2	17.8
年代	10～19歳		(184)	38.6	31.5	24.5	5.4	70.1	29.9
	20代		(353)	29.2	49.9	17.6	3.4	79.0	21.0
	30代		(306)	25.8	49.7	20.3	4.2	75.5	24.5
	40代		(268)	25.0	47.4	25.7		72.4	27.6
	50代		(248)	24.2	48.8	24.2	2.8	73.0	27.0
	60代		(290)	29.3	56.2	13.1		85.5	14.5
	70代		(252)	31.7	53.2	13.5		84.9	15.1
関与度	高関与層		(861)	41.5	44.0	12.2	2.3	85.5	14.5
	中間関与層		(561)	23.7	58.5	15.9	2.0	82.2	17.8
	低関与層		(479)	11.5	46.8	36.7	5.0	58.2	41.8

②人によっていろいろな受け止め方があるのがわかった

(全体)

➤『あてはまる』は 77.6% (「あてはまる 30.8%」 + 「ややあてはまる 46.8%」。以下、同じ) であった。

(性別)

➤『あてはまる』は、女性 (81.4%) が男性 (75.0%) より 6P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、10 歳代（70.7%）が最も少なく、20～50 歳代では 75%前後に増加し、60・70 歳代が 85%強で最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 27P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(1901)	30.8	46.8	19.8	2.6	77.6	22.4
性別	男性	(1141)	28.4	46.6	21.6	3.3	75.0	25.0
	女性	(760)	34.5	47.0	17.0		81.4	18.6
年代	10～19歳	(184)	37.0	33.7	26.1	3.3	70.7	29.3
	20代	(353)	32.0	44.8	20.4	2.8	76.8	23.2
	30代	(306)	29.1	47.4	19.3	4.2	76.5	23.5
	40代	(268)	28.0	45.5	25.0		73.5	26.5
	50代	(249)	26.2	46.4	23.4	4.0	72.6	27.4
	60代	(290)	30.7	54.8	13.1		85.5	14.5
	70代	(252)	34.5	50.8	13.5		85.3	14.7
関与度	高関与層	(861)	43.2	42.6	12.7		85.8	14.2
	中関与層	(561)	27.5	53.7	16.9	2.0	81.1	18.9
	低関与層	(479)	12.5	46.1	35.9	5.4	58.7	41.3

③様々な人権問題があることがわかった

(全体)

- 『あてはまる』は 76.7%（「あてはまる 29.1%」＋「ややあてはまる 47.6%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（80.9%）が男性（73.9%）より 7P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、10 歳代（66.8%）が最も少なく、20～50 歳代では 70%台に増加し、60・70 歳代が 86%前後で最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 28P であった。

(エリア別)

- 以下のエリア間では『あてはまる』に 10P 以上の差が発生した。
 - ・北海道地方 83.3%＞東北地方 72.1%

			(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない		あてはまる	あてはまらない
全体			(1901)	29.1	47.6	21.0	2.3		76.7	23.3
性別	男性		(1141)	26.4	47.5	23.3	2.8		73.9	26.1
	女性		(760)	33.2	47.8	17.5			80.9	19.1
年代	10～19歳		(184)	31.0	35.9	30.4	2.7		66.8	33.2
	20代		(353)	30.6	45.3	21.8	2.3		75.9	24.1
	30代		(306)	25.2	48.7	21.9	4.2		73.9	26.1
	40代		(268)	28.0	45.5	25.7			73.5	26.5
	50代		(248)	26.2	44.8	25.4	3.6		71.0	29.0
	60代		(290)	30.0	55.9	13.1			85.9	14.1
	70代		(252)	33.3	53.6	11.5			86.9	13.1
関与度	高関与層		(861)	41.2	43.8	13.1			85.0	15.0
	中関与層		(561)	25.7	55.1	17.5			80.7	19.3
	低関与層		(479)	11.3	45.7	39.2	3.8		57.0	43.0

④人権問題を意識するきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 74.9% (「あてはまる 28.1%」 + 「ややあてはまる 46.8%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (79.9%) が男性 (71.6%) より 8P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、10 歳代 (69.6%) が最も少なく、20～50 歳代では 70%を超え、60・70 歳代が 82%前後で最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 25P であった。

			(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない		あてはまる	あてはまらない
全体			(1901)	28.1	46.8	21.8	3.3		74.9	25.1
性別	男性		(1141)	24.4	47.2	24.5	3.9		71.6	28.4
	女性		(760)	33.7	46.2	17.8	2.4		79.9	20.1
年代	10～19歳		(184)	35.3	34.2	26.6	3.8		69.6	30.4
	20代		(353)	28.6	45.6	21.8	4.0		74.2	25.8
	30代		(306)	25.2	48.0	21.6	5.2		73.2	26.8
	40代		(268)	27.2	43.3	27.6			70.5	29.5
	50代		(248)	24.2	46.4	26.2	3.2		70.6	29.4
	60代		(290)	27.6	54.1	16.2	2.1		81.7	18.3
	70代		(252)	31.0	52.0	14.7	2.4		82.9	17.1
関与度	高関与層		(861)	40.4	41.9	14.9	2.8		82.3	17.7
	中関与層		(561)	23.7	54.5	19.8	2.0		78.3	21.7
	低関与層		(479)	11.1	46.6	36.7	5.6		57.6	42.4

(全体)

(性別)

(年代別)

(関与度別)

➤『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 23P であった。

		(n)	あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない				あてはまる	あてはまらない
全体		(1901)	30.5	46.6	20.2	2.7	77.1	22.9
性別	男性	(1141)	27.3	46.6	23.6	2.5	73.9	26.1
	女性	(760)	35.4	46.6	15.1	2.9	82.0	18.0
年代	10～19歳	(184)	35.3	39.1	21.7	3.8	74.5	25.5
	20代	(353)	33.4	41.1	22.4	3.1	74.5	25.5
	30代	(306)	30.1	45.1	21.6	3.3	75.2	24.8
	40代	(268)	25.4	49.3	23.5		74.6	25.4
	50代	(248)	25.8	46.8	24.6	2.8	72.6	27.4
	60代	(290)	28.6	54.1	15.9		82.8	17.2
	70代	(252)	35.7	50.0	11.5	2.8	85.7	14.3
	関与度	高関与層	(861)	43.3	40.4	14.4		83.7
中間層		(561)	27.5	53.7	17.3		81.1	18.9
低関与層		(479)	11.1	49.5	34.0	5.4	60.5	39.5

(全体)

(性別)

(年代別)

(関与度別)

➤『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 24P であった。

			(n)					あてはまる	あてはまらない
全体			(1901)	27.3	47.6	21.7	3.4	74.9	25.1
性別	男性		(1141)	24.0	47.4	24.5	4.0	71.4	28.6
	女性		(760)	32.2	47.9	17.5	2.4	80.1	19.9
年代	10～19歳		(184)	32.1	39.1	24.5	4.3	71.2	28.8
	20代		(353)	29.7	44.2	23.5	2.5	73.9	26.1
	30代		(306)	21.9	52.0	20.6	5.6	73.9	26.1
	40代		(268)	23.9	46.6	28.0		70.5	29.5
	50代		(248)	23.8	44.8	26.2	5.2	68.5	31.5
	60代		(290)	28.6	54.1	16.2		82.8	17.2
	70代		(252)	32.5	49.6	13.9	4.0	82.1	17.9
	関与度	高関与層		(861)	39.5	42.9	15.2	2.4	82.3
中関与層			(561)	22.3	55.6	20.3		77.9	22.1
低関与層			(479)	11.3	46.8	35.1	6.9	58.0	42.0

11 ポスター(調査救済・委員制度周知 7種類)について

Q30 ポスター(*)の認知度と理解度(SA)

(*)「子どもの人権相談窓口」「子どもの人権 110 番強化週間」「みんなの人権 110 番」「高齢者・障害者強化週間」「女性の人権ホットライン」「女性の人権ホットライン強化週間」「人権擁護委員制度周知ポスター」
(Q30 以下のポスターについてお伺いします。あなたはこのポスターを見たことはありますか。また、見たことがある人は人権問題で困ったとき、悩んだときに相談する場所があることがわかりましたか。)

★本問では『見たことはある』は以下の選択肢の回答者の合計。

- ①印象にも残っているし、相談する場所があることも分かった（以下では、「相談する場所があることも分かった」に略した。）
- ②印象には残っているが、相談する場所があることはわからなかった
- ③見たことがある気はするが、印象は残っていない

(1)子どもの人権相談窓口

(全体)

- 子どもの人権相談窓口ポスターを『見たことはある』は 25.1%であった。
- また、「相談する場所があることも分かった」は 8.3%であった。

(性別)

- 『見たことがある』は、男女いずれも 25%強であった。
- 「相談する場所があることも分かった」は、女性（9.5%）が男性（7.0%）よりやや多い。

(年代別)

- 『見たことがある』は、50 歳代（20.4%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代が 42.8%で最も多い。
- 「相談する場所があることも分かった」は、50 歳代（5.7%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代（17.0%）が最も多い。。

(関与度別)

- 『見たことがある』は、関与度が高くなるにつれて多くなる。
- 「相談する場所があることも分かった」も、関与度が高くなるにつれて多くなる。

											あ る こ と が	な い こ と は		
		(n)	印象に残っているし、相談 する場所があることもわかつた			印象には残っているが、相 談する場所があることはわ からなかった			見たことがある気がするが、 印象は残っていない		見たことはない			
全体		(18000)	8.3	6.5	10.3	74.9						25.1	74.9	
性別	男性	(8921)	7.0	7.3	10.7	75.0						25.0	75.0	
	女性	(9079)	9.5	5.7	9.8	74.9						25.1	74.9	
年代	10～19歳	(1069)	17.0		11.6	14.1	57.2						42.8	57.2
	20代	(2293)	11.8		8.6	10.6	68.9						31.1	68.9
	30代	(2871)	8.3	6.3	9.1	76.2						23.8	76.2	
	40代	(3269)	6.9	6.3	9.5	77.3						22.7	77.3	
	50代	(2755)	5.7	5.2	9.5	79.6						20.4	79.6	
	60代	(3551)	6.8	5.2	9.6	78.4						21.6	78.4	
	70代	(2192)	8.2	6.1	12.6	73.1						26.9	73.1	
関与度	高関与層	(3133)	22.0		12.5	15.4	50.1						49.9	50.1
	中関与層	(4652)	9.6	8.4	14.5	67.5						32.5	67.5	
	低関与層	(10215)	3.5	3.8	6.8	86.0						14.0	86.0	

(2)子どもの人権 110 番強化週間

(全体)

- 子どもの人権 110 番強化週間ポスターを『見たことはある』は 26.8%であった。
- また、「相談する場所があることも分かった」は 8.6%であった。

(性別)

- 『見たことがある』は、男女いずれも 26%強であった。
- 「相談する場所があることも分かった」は、女性（9.6%）が男性（7.5%）よりやや多い。

(年代別)

- 『見たことがある』は、50 歳代（22.0%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代が 42.8%で最も多い。
- 「相談する場所があることも分かった」は、50 歳代（6.4%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代が 17.1%で最も多い。

(関与度別)

- 『見たことがある』は、関与度が高くなるにつれて多くなる。
- 「相談する場所があることも分かった」も、関与度が高くなるにつれて多くなる。

		印象に残っているし、相談 する場所があることもわかっ た		印象には残っているが、相 談する場所があることはわ からなかった		見たことがある気がするが、 印象は残っていない		見たことはない		あ る こ と が	な い こ と は
(n)											
全体	(18000)	8.6	7.0	11.2			73.2			26.8	73.2
性別	男性	(8921)	7.5	7.6	11.7		73.2			26.8	73.2
	女性	(9079)	9.6	6.4	10.7		73.3			26.7	73.3
年代	10～19歳	(1069)	17.1		11.0	14.6		57.2		42.8	57.2
	20代	(2293)	11.5		9.5	11.2		67.8		32.2	67.8
	30代	(2871)	7.9	7.5	10.0		74.6			25.4	74.6
	40代	(3269)	6.6	6.5	11.0		75.9			24.1	75.9
	50代	(2755)	6.4	5.0	10.6		78.0			22.0	78.0
	60代	(3551)	7.8	5.8	10.3		76.1			23.9	76.1
	70代	(2192)	9.3	6.9	13.5		70.4			29.6	70.4
関与度	高関与層	(3133)	22.4		13.9	16.8		46.9		53.1	46.9
	中間与層	(4652)	10.3	9.0	15.6		65.0			35.0	65.0
	低関与層	(10215)	3.6	4.0	7.4		85.1			14.9	85.1

(3)みんなの人権 110 番

(全体)

- みんなの人権 110 番ポスターを『見たことはある』は 25.4%であった。
- また、「相談する場所があることも分かった」は 8.3%であった。

(性別)

- 『見たことがある』は、男女いずれも 25%強であった。
- 「相談する場所があることも分かった」は、女性（9.2%）が男性（7.3%）よりやや多い。

(年代別)

- 『見たことがある』は、50 歳代（21.1%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代が 40.7%で最も多い。
- 「相談する場所があることも分かった」は、50 歳代（6.2%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代が 15.5 で最も多い。

(関与度別)

- 『見たことがある』は、関与度が高くなるにつれて多くなる。
- 「相談する場所があることも分かった」も、関与度が高くなるにつれて多くなる。

		(n)	印象に残っているし、相談 する場所があることもわかつた	印象には残っているが、相 談する場所があることはわ からなかった	見たことがある気がするが、 印象は残っていない	見たことはない	あ る こ と が	な い こ と は
全体		(18000)	8.3	6.8	10.4	74.6	25.4	74.6
性別	男性	(8921)	7.3	7.3	11.1	74.4	25.6	74.4
	女性	(9079)	9.2	6.3	9.7	74.8	25.2	74.8
年代	10～19歳	(1069)	15.5	11.8	13.4	59.3	40.7	59.3
	20代	(2293)	11.3	8.4	10.2	70.1	29.9	70.1
	30代	(2871)	8.0	6.5	9.4	76.1	23.9	76.1
	40代	(3269)	6.5	6.3	9.7	77.5	22.5	77.5
	50代	(2755)	6.2	5.3	9.6	78.9	21.1	78.9
	60代	(3551)	7.2	6.1	9.6	77.1	22.9	77.1
	70代	(2192)	8.7	6.9	13.5	70.8	29.2	70.8
関与度	高関与層	(3133)	21.6	13.8	16.1	48.5	51.5	48.5
	中関与層	(4652)	9.6	8.9	14.5	66.9	33.1	66.9
	低関与層	(10215)	3.5	3.7	6.7	86.1	13.9	86.1

(4)高齢者・障害者強化週間

(全体)

- 高齢者・障害者強化週間ポスターを『見たことはある』は 22.4%であった。
- また、「相談する場所があることも分かった」は 7.1%であった。

(性別)

- 『見たことがある』は、男女いずれも 29%強であった。
- 「相談する場所があることも分かった」は、女性（8.0%）が男性（6.2%）よりやや多い。

(年代別)

- 『見たことがある』は、50 歳代（18.6%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代が 34.1%で最も多い。
- 「相談する場所があることも分かった」は、40 歳代（5.3%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代が 11.1%で最も多い。

(関与度別)

- 『見たことがある』は、関与度が高くなるにつれて多くなる。
- 「相談する場所があることも分かった」も、関与度が高くなるにつれて多くなる。

			印象に残っているし、相談 する場所があることもわかつた				印象には残っているが、相 談する場所があることはわ からなかった				見たことがある気がするが、 印象は残っていない				見たことはない				あ る こ と が	な い こ と は
(n)			7.1	6.6	8.7					77.6										
全体		(18000)																	22.4	77.6
性別	男性	(8921)	6.2	7.3	9.4					77.1									22.9	77.1
	女性	(9079)	8.0	6.0	8.0					78.0									22.0	78.0
年代	10～19歳	(1069)	11.1	11.5	11.5					65.9									34.1	65.9
	20代	(2293)	9.9	8.2	8.0					74.0									26.0	74.0
	30代	(2871)	6.2	6.6	8.0					79.2									20.8	79.2
	40代	(3269)	5.3	6.1	8.4					80.2									19.8	80.2
	50代	(2755)	5.5	5.0	8.0					81.4									18.6	81.4
	60代	(3551)	6.6	5.9	8.2					79.3									20.7	79.3
	70代	(2192)	8.9	6.7	11.0					73.4									26.6	73.4
関与度	高関与層	(3133)	18.6	13.7	14.1					53.5									46.5	53.5
	中間層	(4652)	8.3	8.6	12.0					71.1									28.9	71.1
	低関与層	(10215)	3.0	3.6	5.5					87.9									12.1	87.9

(5)女性の人権ホットライン

(全体)

- 女性の人権ホットラインポスターを『見たことはある』は 23.5%であった。
- また、「相談する場所があることも分かった」は 7.7%であった。

(性別)

- 『見たことがある』は、24%前後であった。
- 「相談する場所があることも分かった」は、女性（9.1%）が男性（6.2%）よりやや多い。

(年代別)

- 『見たことがある』は、50 歳代（20.9%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代が 33.0%で最も多い。
- 「相談する場所があることも分かった」は、40 歳代（6.1%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代が 12.3%で最も多い。

(関与度別)

- 『見たことがある』は、関与度が高くなるにつれて多くなる。
- 「相談する場所があることも分かった」も、関与度が高くなるにつれて多くなる。

			印象に残っているし、相談 する場所があることもわかつた				印象には残っているが、相 談する場所があることはわ からなかった				見たことがある気がするが、 印象は残っていない				見たことはない				あ る こ と が	な い こ と は
(n)																				
全体		(18000)	7.7	6.8	9.0					76.5									23.5	76.5
性別	男性	(8921)	6.2	7.3	9.5					77.0									23.0	77.0
	女性	(9079)	9.1	6.3	8.6					76.0									24.0	76.0
年代	10～19歳	(1069)	12.3		10.5	10.3				67.0									33.0	67.0
	20代	(2293)	10.5		8.1	8.5				72.9									27.1	72.9
	30代	(2871)	7.2	6.7		8.9				77.3									22.7	77.3
	40代	(3269)	6.1	6.7		8.7				78.5									21.5	78.5
	50代	(2755)	6.2	5.5		9.1				79.1									20.9	79.1
	60代	(3551)	7.0	5.7		8.8				78.5									21.5	78.5
	70代	(3551)	8.5	7.3		9.9				74.3									25.7	74.3
	70代	(2192)																		
関与度	高関与層	(3133)	20.4			13.6	14.5			51.5									48.5	51.5
	中関与層	(4652)	8.8	8.9		12.1				70.3									29.7	70.3
	低関与層	(10215)	3.3	3.7	6.0					87.0									13.0	87.0

(6)女性の人権ホットライン強化週間

(全体)

- 女性の人権ホットライン強化週間ポスターを『見たことはある』は 23.2%であった。
- また、「相談する場所があることも分かった」は 7.5%であった。

(性別)

- 『見たことがある』は、男女いずれも 23%前後であった。
- 「相談する場所があることも分かった」は、女性（8.8%）が男性（6.1%）よりやや多い。

(年代別)

- 『見たことがある』は、50 歳代（20.7%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代が 32.8%で最も多い。
- 「相談する場所があることも分かった」は、50 歳代（6.0%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代が 12.3%で最も多い。

(関与度別)

- 『見たことがある』は、関与度が高くなるにつれて多くなる。
- 「相談する場所があることも分かった」も、関与度が高くなるにつれて多くなる。

			印象に残っているし、相談 する場所があることもわかつた				印象には残っているが、相 談する場所があることはわ からなかった				見たことがある気がするが、 印象は残っていない				見たことはない				あ る こ と が	な い こ と は
(n)			7.5	6.8	8.9					76.8										
全体		(18000)																	23.2	76.8
性別	男性	(8921)	6.1	7.0	9.6					77.2									22.8	77.2
	女性	(9079)	8.8	6.6	8.2					76.4									23.6	76.4
年代	10～19歳	(1069)	12.3	9.9	10.7					67.2									32.8	67.2
	20代	(2293)	10.1	8.8	8.4					72.7									27.3	72.7
	30代	(2871)	7.1	6.6	8.7					77.5									22.5	77.5
	40代	(3269)	6.1	6.7	8.2					79.0									21.0	79.0
	50代	(2755)	6.0	5.7	9.0					79.3									20.7	79.3
	60代	(3551)	6.8	5.5	8.6					79.0									21.0	79.0
	70代	(2192)	8.0	7.0	10.4					74.6									25.4	74.6
関与度	高関与層	(3133)	19.9			14.2		14.3		51.6									48.4	51.6
	中間層	(4652)	8.5	8.9	11.8					70.8									29.2	70.8
	低関与層	(10215)	3.2	3.6	5.9					87.2									12.8	87.2

(7)人権擁護委員制度周知ポスター

(全体)

- 人権擁護委員制度周知ポスターを『見たことはある』は 21.2%であった。
- また、「相談する場所があることも分かった」は 6.5%であった。

(性別)

- 『見たことがある』は、男性（22.2%）が女性（20.2%）よりやや多い。
- 「相談する場所があることも分かった」は、女性（7.1%）が男性（5.9%）よりやや多い。

(年代別)

- 『見たことがある』は、50歳代（17.9%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10歳代が31.4%で最も多い。
- 「相談する場所があることも分かった」は、50歳代（4.9%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10歳代が10.4%で最も多い。

(関与度別)

- 『見たことがある』は、関与度が高くなるにつれて多くなる。
- 「相談する場所があることも分かった」も、関与度が高くなるにつれて多くなる。

		(n)	印象に残っているし、相談 する場所があることもわかっ た	印象には残っているが、相 談する場所があることはわ からなかった	見たことがある気がするが、 印象は残っていない	見たことはない	あ る こ と が	な い こ と は
全体		(18000)	6.5	6.8	7.9	78.8	21.2	78.8
性別	男性	(8921)	5.9	7.4	8.9	77.8	22.2	77.8
	女性	(9079)	7.1	6.1	7.0	79.8	20.2	79.8
年代	10～19歳	(1069)	10.4	10.7	10.4	68.6	31.4	68.6
	20代	(2293)	9.1	8.8	7.2	74.9	25.1	74.9
	30代	(2871)	5.8	6.5	6.5	81.2	18.8	81.2
	40代	(3269)	5.1	5.8	7.5	81.6	18.4	81.6
	50代	(2755)	4.9	5.2	7.8	82.1	17.9	82.1
	60代	(3551)	6.1	6.3	7.5	80.1	19.9	80.1
	70代	(2192)	7.9	7.1	10.9	74.1	25.9	74.1
関与度	高関与層	(3133)	17.5	14.0	13.2	55.3	44.7	55.3
	中関与層	(4652)	7.1	8.8	10.3	73.8	26.2	73.8
	低関与層	(10215)	2.9	3.6	5.2	88.3	11.7	88.3

Q31 非認知者のポスターについての印象度、理解度(SA)

(*)「子どもの人権相談窓口」「子どもの人権 110 番強化週間」「みんなの人権 110 番」「高齢者・障害者強化週間」「女性の人権ホットライン」「女性の人権ホットライン強化週間」「人権擁護委員制度周知ポスター」
(Q31 あなたはこのポスターを見て印象に残りますか。また、印象に残る人は人権問題で困ったとき、悩んだときに相談する場所があることがわかりましたか。)

★本問では前問でポスター（調査救済・委員制度周知）を「見たことはない」とした回答者に各ポスターを見ての印象度、興味・関心の深まりを聞いた。

★『印象に残る』は以下の選択肢の回答者の合計。

- ①印象にも残るし、相談する場所があることも分かる（以下では、「相談する場所があることも分かる」に略した）
- ②印象に残るが、相談する場所があることはわからない

(1)子どもの人権相談窓口ポスター

(全体)

- 子どもの人権相談窓口ポスターについて『印象に残る』は 33.8%であった。
- また、「相談する場所があることも分かる」は 19.7%であった。

(性別)

- 『印象に残る』は、女性（40.3%）が男性（27.2%）より 13P 多い。
- 「相談する場所があることも分かる」も、女性（25.9%）が男性（13.5%）より 12P 多い。

(年代別)

- 『印象に残る』は、10 歳代（26.1%）が最も少なく、20～50 歳代では 31%前後に増加し、さらに年代が上がるにつれて多くなり、70 歳代（43.9%）が最も多い。
- 「相談する場所があることも分かる」は、10 歳代（11.8%）が最も少なく、20～50 歳代では 18%前後に増加し、さらに年代が上がるにつれて多くなり、70 歳代（24.5%）が最も多い。

(関与度別)

- 『印象に残る』は、関与度が高まるにつれて多くなる。
- 「相談する場所があることも分かる」も、関与度が高まるにつれて多くなる。

		(n)			印象に残る	ない印象に残る
		印象に残るし、相談する場所があることもわかる			印象に残るが、相談する場所があることはわからない	
		印象に残らない				
全体		(13489)	19.7	14.1	66.2	33.8
性別	男性	(6690)	13.5	13.8	72.8	27.2
	女性	(6799)	25.9	14.4	59.7	40.3
年代	10～19歳	(612)	11.8	14.4	73.9	26.1
	20代	(1581)	19.9	11.0	69.1	30.9
	30代	(2189)	19.0	11.5	69.5	30.5
	40代	(2527)	17.3	13.9	68.8	31.2
	50代	(2193)	17.7	14.2	68.1	31.9
	60代	(2784)	23.0	14.8	62.1	37.9
	70代	(1603)	24.5	19.4	56.1	43.9
関与度	高関与層	(1570)	32.3	13.8	53.9	46.1
	中関与層	(3139)	27.5	17.0	55.4	44.6
	低関与層	(8780)	14.7	13.1	72.2	27.8

(2)子どもの人権 110 番強化週間ポスター

(全体)

- 子どもの人権 110 番強化週間ポスターについて『印象に残る』は 35.3%であった。
- また、「相談する場所があることも分かる」は 20.5%であった。

(性別)

- 『印象に残る』は、女性（42.0%）が男性（28.6%）より 13P 多い。
- 「相談する場所があることも分かる」も、女性（26.8%）が男性（14.1%）より 13P 多い。

(年代別)

- 『印象に残る』は、10 歳代（29.1%）が最も少なく、20～50 歳代では 32%前後に増加し、さらに年代が上がるにつれて多くなり、70 歳代（45.0%）が最も多い。
- 「相談する場所があることも分かる」は、10 歳代（13.7%）が最も少なく、20～50 歳代では 19%前後に増加し、さらに年代が上がるにつれて多くなり、70 歳代（25.3%）が最も多い。

(関与度別)

- 『印象に残る』は、関与度が高まるにつれて多くなる。
- 「相談する場所があることも分かる」も、関与度が高まるにつれて多くなる。

		(n)	印象に残るし、相談する場所があることもわかる	印象に残るが、相談する場所があることはわからない	印象に残らない	印象に残る	印象に残らない
全体		(13184)	20.5	14.9	64.7	35.3	64.7
性別	男性	(6531)	14.1	14.5	71.4	28.6	71.4
	女性	(6653)	26.8	15.2	58.0	42.0	58.0
年代	10～19歳	(612)	13.7	15.4	70.9	29.1	70.9
	20代	(1555)	19.8	12.5	67.7	32.3	67.7
	30代	(2143)	19.6	12.0	68.3	31.7	68.3
	40代	(2480)	18.4	14.4	67.2	32.8	67.2
	50代	(2148)	18.2	15.4	66.4	33.6	66.4
	60代	(2703)	24.0	15.6	60.4	39.6	60.4
	70代	(1543)	25.3	19.8	55.0	45.0	55.0
関与度	高関与層	(1469)	33.4	14.7	51.9	48.1	51.9
	中関与層	(3026)	29.1	17.4	53.5	46.5	53.5
	低関与層	(8689)	15.3	14.0	70.7	29.3	70.7

(3)みんなの人権 110 番ポスター

(全体)

- みんなの人権 110 番ポスターについて『印象に残る』は 34.8%であった。
- また、「相談する場所があることも分かる」は 20.5%であった。

(性別)

- 『印象に残る』は、女性（40.9%）が男性（28.6%）より 12P 多い。
- 「相談する場所があることも分かる」も、女性（26.7%）が男性（14.1%）より 13P 多い。

(年代別)

- 『印象に残る』は、10～40 歳代は 30%前後だが、これより年代が上がるにつれて多くなり、70 歳代（46.1%）が最も多い。
- 「相談する場所があることも分かる」は、10 歳代（14.7%）が最も少なく、20～50 歳代では 19%前後に増加し、さらに年代が上がるにつれて多くなり、70 歳代（25.8%）が最も多い。

(関与度別)

- 『印象に残る』は、関与度が高まるにつれて多くなる。
- 「相談する場所があることも分かる」も、関与度が高まるにつれて多くなる。

		(n)			印象に残る	ない印象に残る
		印象に残るし、相談する場所があることもわかる			印象に残るが、相談する場所があることはわからない	印象に残らない
全体		(13424)	20.5	14.3	65.2	
性別	男性	(6634)	14.1	14.5	71.4	34.8
	女性	(6790)	26.7	14.2	59.1	28.6
年代	10～19歳	(634)	14.7	14.5	70.8	40.9
	20代	(1607)	18.5	11.0	70.4	59.1
	30代	(2186)	18.6	11.2	70.2	29.2
	40代	(2533)	18.1	13.7	68.3	70.8
	50代	(2173)	19.3	15.0	65.8	29.6
	60代	(2738)	24.6	15.4	60.0	70.4
	70代	(1553)	25.8	20.3	53.9	29.8
						70.2
関与度	高関与層	(1519)	32.8	13.9	53.3	31.7
	中関与層	(3114)	28.9	17.5	53.5	68.3
	低関与層	(8791)	15.4	13.3	71.4	46.1
						53.9
						53.3
						53.5
						46.5
						53.5
						28.6
						71.4

(4)高齢者・障害者強化週間ポスター

(全体)

- 高齢者・障害者強化週間ポスターについて『印象に残る』は 34.4%であった。
- また、「相談する場所があることも分かる」は 19.7%であった。

(性別)

- 『印象に残る』は、女性（40.6%）が男性（28.1%）より 13P 多い。
- 「相談する場所があることも分かる」も、女性（25.7%）が男性（13.5%）より 12P 多い。

(年代別)

- 『印象に残る』は、10 歳代（26.0%）が最も少なく、20～50 歳代では 31%前後に増加し、さらに年代が上がるにつれて多くなり、70 歳代（46.6%）が最も多い。
- 「相談する場所があることも分かる」は、10 歳代（12.6%）が最も少なく、20～50 歳代では 18%前後に増加し、さらに年代が上がるにつれて多くなり、70 歳代（26.3%）が最も多い。

(関与度別)

- 『印象に残る』は、関与度が高まるにつれて多くなる。
- 「相談する場所があることも分かる」も、関与度が高まるにつれて多くなる。

		(n)	印象に残るし、相談する場所があることもわかる	印象に残るが、相談する場所があることはわからない	印象に残らない	印象に残る	印象に残らない
全体		(13964)	19.7	14.7	65.6	34.4	65.6
性別	男性	(6879)	13.5	14.5	71.9	28.1	71.9
	女性	(7085)	25.7	14.9	59.4	40.6	59.4
年代	10～19歳	(704)	12.6	13.4	74.0	26.0	74.0
	20代	(1696)	18.4	11.9	69.7	30.3	69.7
	30代	(2273)	18.1	11.6	70.3	29.7	70.3
	40代	(2623)	17.6	14.0	68.4	31.6	68.4
	50代	(2243)	17.4	15.4	67.2	32.8	67.2
	60代	(2817)	23.7	16.1	60.2	39.8	60.2
	70代	(1608)	26.3	20.3	53.4	46.6	53.4
関与度	高関与層	(1677)	30.8	16.0	53.2	46.8	53.2
	中関与層	(3308)	27.7	18.6	53.7	46.3	53.7
	低関与層	(8979)	14.7	13.0	72.3	27.7	72.3

(5)女性の人権ホットラインポスター

(全体)

- 女性の人権ホットラインポスターについて『印象に残る』は 35.5%であった。
- また、「相談する場所があることも分かる」は 20.5%であった。

(性別)

- 『印象に残る』は、女性（42.7%）が男性（28.2%）より 15P 多い。
- 「相談する場所があることも分かる」も、女性（27.1%）が男性（13.7%）より 13P 多い。

(年代別)

- 『印象に残る』は、10 歳代（28.2%）が最も少なく、20～50 歳代では 33%前後に増加し、さらに年代が上がるにつれて多くなり、70 歳代（44.9%）が最も多い。
- 「相談する場所があることも分かる」は、10 歳代（14.2%）が最も少なく、20～50 歳代では 19%前後に増加し、さらに年代が上がるにつれて多くなり、70 歳代（25.5%）が最も多い。

(関与度別)

- 『印象に残る』は、関与度が高まるにつれて多くなる。
- 「相談する場所があることも分かる」も、関与度が高まるにつれて多くなる。

			(n)			印象に残るし、相談する場所があることもわかる	印象に残るが、相談する場所があることはわからない	印象に残らない	印象に残る	印象に残らない
全体			(13766)			20.5	15.0	64.5	35.5	64.5
性別	男性		(6966)			13.7	14.4	71.8	28.2	71.8
	女性		(6900)			27.1	15.6	57.3	42.7	57.3
年代	10～19歳		(716)			14.2	14.0	71.8	28.2	71.8
	20代		(1672)			19.7	12.1	68.1	31.9	68.1
	30代		(2218)			20.5	12.4	67.0	33.0	67.0
	40代		(2566)			17.3	15.2	67.4	32.6	67.4
	50代		(2179)			18.7	15.8	65.5	34.5	65.5
	60代		(2786)			23.8	15.6	60.6	39.4	60.6
	70代		(1629)			25.5	19.4	55.1	44.9	55.1
関与度	高関与層		(1614)			31.4	17.7	50.9	49.1	50.9
	中関与層		(3270)			29.4	18.6	52.0	48.0	52.0
	低関与層		(8882)			15.2	13.2	71.6	28.4	71.6

(6)女性の人権ホットライン強化週間ポスター

(全体)

- 女性の人権ホットライン強化週間ポスターについて『印象に残る』は 37.6%であった。
- また、「相談する場所があることも分かる」は 21.7%であった。

(性別)

- 『印象に残る』は、女性（45.0%）が男性（30.2%）より 15P 多い。
- 「相談する場所があることも分かる」も、女性（28.7%）が男性（14.7%）より 14P 多い。

(年代別)

- 『印象に残る』は、10 歳代（31.1%）が最も少なく、20～50 歳代では 36%前後に増加し、さらに年代が上がるにつれて多くなり、70 歳代（44.9%）が最も多い。
- 「相談する場所があることも分かる」は、10 歳代（15.0%）が最も少なく、20～50 歳代では 21%前後に増加し、さらに年代が上がるにつれて多くなり、70 歳代（25.5%）が最も多い。

(関与度別)

- 『印象に残る』は、関与度が高まるにつれて多くなる。
- 「相談する場所があることも分かる」も、関与度が高まるにつれて多くなる。

			印象に残るし、相談する場所があることもわかる	印象に残るが、相談する場所があることはわからない	印象に残らない	印象に残る	印象に残らない
(n)							
全体		(13821)	21.7	15.9	62.4	37.6	62.4
性別	男性	(6886)	14.7	15.6	69.8	30.2	69.8
	女性	(6935)	28.7	16.3	55.0	45.0	55.0
年代	10～19歳	(718)	15.0	16.0	68.9	31.1	68.9
	20代	(1667)	22.2	13.4	64.4	35.6	64.4
	30代	(2226)	21.4	13.6	65.0	35.0	65.0
	40代	(2581)	19.6	16.2	64.2	35.8	64.2
	50代	(2186)	20.3	16.7	63.0	37.0	63.0
	60代	(2807)	24.2	16.5	59.3	40.7	59.3
	70代	(1636)	25.5	19.4	55.1	44.9	55.1
関与度	高関与層	(1618)	33.6	17.6	48.8	51.2	48.8
	中関与層	(3293)	30.5	19.5	50.0	50.0	50.0
	低関与層	(8910)	16.3	14.3	69.4	30.6	69.4

(7)人権擁護委員制度周知ポスター

(全体)

- 人権擁護委員制度周知ポスターについて『印象に残る』は 31.6%であった。
- また、「相談する場所があることも分かる」は 15.4%であった。

(性別)

- 『印象に残る』は、女性（36.7%）が男性（26.3%）より 10P 多い。
- 「相談する場所があることも分かる」も、女性（19.6%）が男性（11.1%）より 9P 多い。

(年代別)

- 『印象に残る』は、10～40 歳代は 28%前後だが、これより年代が上がるにつれて多くなり、70 歳代（41.9%）が最も多い。
- 「相談する場所があることも分かる」は、10 歳代（10.9%）が最も少なく、20～50 歳代では 13%前後に増加し、さらに年代が上がるにつれて多くなり、70 歳代（21.6%）が最も多い。

(関与度別)

- 『印象に残る』は、関与度が高まるにつれて多くなる。
- 「相談する場所があることも分かる」も、関与度が高まるにつれて多くなる。

		(n)	印象に残るし、相談する場所があることもわかる	印象に残るが、相談する場所があることはわからない	印象に残らない	印象に残る	印象に残らない
全体		(14180)	15.4	16.2	68.4	31.6	68.4
性別	男性	(6937)	11.1	15.3	73.7	26.3	73.7
	女性	(7243)	19.6	17.1	63.3	36.7	63.3
年代	10～19歳	(733)	10.9	16.0	73.1	26.9	73.1
	20代	(1718)	13.6	13.4	73.0	27.0	73.0
	30代	(2330)	12.8	14.5	72.7	27.3	72.7
	40代	(2668)	13.2	15.4	71.4	28.6	71.4
	50代	(2262)	13.9	17.1	69.0	31.0	69.0
	60代	(2844)	19.5	17.1	63.4	36.6	63.4
	70代	(1625)	21.6	20.3	58.1	41.9	58.1
関与度	高関与層	(1731)	23.4	19.8	56.8	43.2	56.8
	中関与層	(3433)	21.3	20.0	58.7	41.3	58.7
	低関与層	(9016)	11.6	14.1	74.3	25.7	74.3

Q32 ポスターを見て思ったこと、理解したこと(SA)

(*)「子どもの人権相談窓口」「子どもの人権 110 番強化週間」「みんなの人権 110 番」「高齢者・障害者強化週間」「女性の人権ホットライン」「女性の人権ホットライン強化週間」「人権擁護委員制度周知ポスター」

(Q 3 2 ポスターをご覧になって、思ったことや理解したことはどんなことでしたか。以下の項目について、当てはまるものをひとつずつお選びください。)

(1)子どもの人権相談窓口ポスター

①相談する場所があることが分かった

(全体)

➤『あてはまる』は 58.9% (「あてはまる 18.2%」 + 「ややあてはまる 40.7%」。以下、同じ) であった。

(性別)

➤『あてはまる』は、女性 (66.8%) が男性 (50.8%) より 16P 多い。

(年代別)

➤『あてはまる』は、30 歳代 (54.0%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (67.6%) が最も多い。

(関与度別)

➤『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 30P であった。

			(n)				あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	18.2	40.7	17.3	23.8	58.9	41.1				
性別	男性	(8921)	13.1	37.8	20.0	29.1	50.8	49.2				
	女性	(9079)	23.2	43.6	14.6	18.6	66.8	33.2				
年代	10～19歳	(1069)	18.1	38.3	19.7	23.9	56.3	43.7				
	20代	(2293)	19.1	37.8	16.5	26.6	56.9	43.1				
	30代	(2871)	17.0	37.0	15.8	30.2	54.0	46.0				
	40代	(3269)	15.1	39.6	18.0	27.3	54.7	45.3				
	50代	(2755)	15.5	41.7	20.0	22.8	57.2	42.8				
	60代	(3551)	19.6	45.3	16.7	18.4	64.9	35.1				
	70代	(2192)	24.6	43.0	15.1	17.3	67.6	32.4				
関与度	高関与層	(3133)	34.0	43.1	12.4	10.5	77.1	22.9				
	中間層	(4652)	23.2	49.3	15.5	12.1	72.5	27.5				
	低関与層	(10215)	11.1	36.1	19.6	33.2	47.2	52.8				

②人権擁護委員の存在を知るきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 50.7% (「あてはまる 13.5%」 + 「ややあてはまる 37.2%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (58.6%) が男性 (42.7%) より 16P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (45.3) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (62.0%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 29P であった。

		(n)	あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない				あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	13.5	37.2	23.5	25.8	50.7	49.3
性別	男性	(8921)	9.4	33.3	25.9	31.3	42.7	57.3
	女性	(9079)	17.6	41.0	21.0	20.4	58.6	41.4
年代	10～19歳	(1069)	13.8	34.2	25.5	26.4	48.1	51.9
	20代	(2293)	13.5	34.5	23.7	28.2	48.1	51.9
	30代	(2871)	12.3	33.0	22.3	32.4	45.3	54.7
	40代	(3269)	10.6	35.7	24.3	29.4	46.3	53.7
	50代	(2755)	12.2	36.3	26.5	25.0	48.5	51.5
	60代	(3551)	14.7	41.8	23.2	20.3	56.5	43.5
	70代	(2192)	19.4	42.6	18.9	19.1	62.0	38.0
関与度	高関与層	(3133)	26.7	42.2	18.4	12.6	69.0	31.0
	中関与層	(4652)	16.8	45.8	22.6	14.9	62.6	37.4
	低関与層	(10215)	8.0	31.7	25.4	34.9	39.7	60.3

③人権擁護委員に相談できることがわかった

(全体)

- 『あてはまる』は 52.5%（「あてはまる 15.1%」＋「ややあてはまる 37.3%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（60.3%）が男性（44.4%）より 16P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（47.2%）が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（62.8%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 30P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	15.1	37.3	22.1	25.5	52.5	47.5
性別	男性	(8921)	10.4	34.0	24.7	30.9	44.4	55.6
	女性	(9079)	19.7	40.6	19.5	20.2	60.3	39.7
年代	10～19歳	(1069)	14.5	34.2	25.3	26.0	48.7	51.3
	20代	(2293)	15.4	34.0	22.3	28.3	49.5	50.5
	30代	(2871)	13.8	33.3	21.0	31.9	47.2	52.8
	40代	(3269)	12.5	35.8	22.8	28.9	48.3	51.7
	50代	(2755)	13.1	37.4	24.8	24.7	50.5	49.5
	60代	(3551)	16.6	42.1	21.2	20.1	58.7	41.3
	70代	(2192)	20.7	42.2	18.5	18.7	62.8	37.2
関与度	高関与層	(3133)	29.5	41.2	17.6	11.7	70.7	29.3
	中関与層	(4652)	18.8	46.1	21.3	13.8	64.9	35.1
	低関与層	(10215)	9.0	32.2	23.8	35.1	41.2	58.8

④法務局による相談を利用しようと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 44.8%（「あてはまる 12.1%」＋「ややあてはまる 32.7%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（51.3%）が男性（38.1%）より 13P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（40.0%）が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（55.0%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 30P であった。

			(n)				あてはまる	あてはまらない
							あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
性別	男性	(8921)	12.1	32.7	27.3	27.9	44.8	55.2
	女性	(9079)	8.6	29.5	28.5	33.4	38.1	61.9
年代	10～19歳	(1069)	15.5	35.8	26.1	22.6	51.3	48.7
	20代	(2293)	11.4	30.8	28.3	29.5	42.2	57.8
	30代	(2871)	11.7	31.7	25.9	30.7	43.4	56.6
	40代	(3269)	10.6	29.4	25.5	34.5	40.0	60.0
	50代	(2755)	9.9	31.1	27.8	31.3	41.0	59.0
	60代	(3551)	10.5	32.2	30.8	26.5	42.7	57.3
	70代	(2192)	13.2	35.9	28.0	22.9	49.1	50.9
	80代	(10215)	18.4	36.6	24.3	20.7	55.0	45.0
関与度	高関与層	(3133)	25.8	38.0	22.0	14.2	63.7	36.3
	中関与層	(4652)	14.8	41.6	27.3	16.3	56.4	43.6
	低関与層	(10215)	6.7	27.0	28.9	37.5	33.7	66.3

⑤法務局による相談が利用できることを家族や友人に伝えたいと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 38.9% (「あてはまる 9.9%」 + 「ややあてはまる 29.0%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (44.4%) が男性 (33.3%) より 11P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (33.7%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (50.1%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 32P であった。

			(n)				あてはまる	あてはまらない
							あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
性別	男性	(8921)	9.9	29.0	30.0	31.1	38.9	61.1
	女性	(9079)	7.2	26.1	30.8	35.9	33.3	66.7
年代	10～19歳	(1069)	12.5	31.9	29.3	26.2	44.4	55.6
	20代	(2293)	9.0	30.2	28.3	32.6	39.2	60.8
	30代	(2871)	9.6	26.6	28.4	35.4	36.2	63.8
	40代	(3269)	8.4	25.3	27.8	38.5	33.7	66.3
	50代	(2755)	7.8	27.4	30.1	34.7	35.2	64.8
	60代	(3551)	8.5	28.2	33.5	29.7	36.8	63.2
	70代	(2192)	11.0	31.9	32.1	25.0	42.9	57.1
	80代	(10215)	15.4	34.8	27.7	22.2	50.1	49.9
関与度	高関与層	(3133)	22.2	36.8	24.4	16.5	59.1	40.9
	中関与層	(4652)	12.4	37.7	30.8	19.1	50.1	49.9
	低関与層	(10215)	4.9	22.7	31.4	41.0	27.6	72.4

⑥人権問題を意識するきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 49.0% (「あてはまる 12.6%」 + 「ややあてはまる 36.3%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (55.9%) が男性 (42.0%) より 14P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (44.1%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (58.5%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 31P であった。

		(n)				あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
性別	男性	(8921)	12.6	36.3	24.3	26.7	49.0
	女性	(9079)	16.2	39.7	22.8	21.3	55.9
年代	10～19歳	(1069)	15.0	34.3	24.2	26.5	49.3
	20代	(2293)	13.3	33.7	23.6	29.4	47.1
	30代	(2871)	10.9	33.2	23.0	32.8	44.1
	40代	(3269)	10.3	35.0	24.6	30.0	45.4
	50代	(2755)	10.7	36.1	27.0	26.1	46.9
	60代	(3551)	13.3	39.9	25.1	21.7	53.2
	70代	(2192)	17.8	40.6	21.9	19.7	58.5
関与度	高関与層	(3133)	26.3	41.5	19.1	13.1	67.8
	中関与層	(4652)	16.3	45.6	23.5	14.6	61.9
	低関与層	(10215)	6.8	30.5	26.4	36.3	37.3

⑦自分も人の人権を尊重しなくてはいけないと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 53.9% (「あてはまる 16.4%」 + 「ややあてはまる 37.6%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (61.9%) が男性 (45.8%) より 16P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (48.7%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (63.7%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 32P であった。

							あてはまる	あてはまらない
			(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
全体			(18000)	16.4	37.6	20.7	25.4	53.9
性別	男性		(8921)	11.7	34.2	23.2	31.0	45.8
	女性		(9079)	21.0	40.9	18.3	19.9	54.2
年代	10～19歳		(1069)	17.2	36.6	20.6	25.6	53.8
	20代		(2293)	16.5	34.5	20.6	28.4	51.0
	30代		(2871)	13.8	34.9	19.8	31.5	48.7
	40代		(3269)	13.0	36.8	21.3	28.9	49.8
	50代		(2755)	14.9	36.7	24.0	24.4	51.6
	60代		(3551)	17.4	42.3	20.1	20.2	59.7
	70代		(2192)	24.4	39.4	17.9	18.4	63.7
	関与度							
	高関与層		(3133)	32.3	40.9	15.5	11.3	73.2
	中間層		(4652)	21.1	46.6	18.9	13.4	67.7
	低関与層		(10215)	9.3	32.4	23.1	35.2	41.7

(2)子どもの人権 110 番強化週間ポスター

①相談する場所があることが分かった

(全体)

- 『あてはまる』は 59.0%（「あてはまる 18.3%」＋「ややあてはまる 40.7%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（66.8%）が男性（50.9%）より 16P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（54.1%）が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（66.8%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 29P であった。

			(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体			(18000)	18.3	40.7	17.6	23.5	59.0	41.0
性別	男性		(8921)	13.2	37.7	20.1	28.9	50.9	49.1
	女性		(9079)	23.2	43.7	15.1	18.1	66.8	33.2
年代	10～19歳		(1069)	17.5	38.6	20.4	23.5	56.1	43.9
	20代		(2293)	19.6	37.6	17.0	25.8	57.2	42.8
	30代		(2871)	17.6	36.6	16.4	29.5	54.1	45.9
	40代		(3269)	15.2	40.0	18.0	26.9	55.2	44.8
	50代		(2755)	15.9	41.0	20.3	22.9	56.8	43.2
	60代		(3551)	19.1	46.0	16.6	18.3	65.1	34.9
	70代		(2192)	24.4	42.5	16.1	17.0	66.8	33.2
関与度	高関与層		(3133)	34.1	42.4	13.1	10.4	76.5	23.5
	中関与層		(4652)	23.4	49.2	15.5	11.9	72.6	27.4
	低関与層		(10215)	11.0	36.3	19.9	32.7	47.4	52.6

②人権擁護委員の存在を知るきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 51.4%（「あてはまる 14.3%」＋「ややあてはまる 37.1%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（59.0%）が男性（43.6%）より 15P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（46.3%）が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（61.1%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 29P であった。

			(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体			(18000)	14.3	37.1	23.2	25.5	51.4	48.6
性別	男性		(8921)	10.0	33.6	25.5	30.9	43.6	56.4
	女性		(9079)	18.4	40.6	20.9	20.1	59.0	41.0
年代	10～19歳		(1069)	13.9	34.5	25.9	25.6	48.5	51.5
	20代		(2293)	14.7	34.2	23.8	27.3	48.9	51.1
	30代		(2871)	13.0	33.4	22.3	31.4	46.3	53.7
	40代		(3269)	11.3	36.8	23.0	28.9	48.1	51.9
	50代		(2755)	12.5	36.6	25.3	25.6	49.1	50.9
	60代		(3551)	15.2	41.5	23.0	20.4	56.7	43.3
	70代		(2192)	20.9	40.1	20.2	18.7	61.1	38.9
関与度	高関与層		(3133)	27.4	41.5	18.5	12.5	69.0	31.0
	中関与層		(4652)	17.9	45.7	22.3	14.0	63.6	36.4
	低関与層		(10215)	8.6	31.8	25.0	34.7	40.4	59.6

③人権擁護委員に相談できることがわかった

(全体)

- 『あてはまる』は 52.2%（「あてはまる 15.1%」＋「ややあてはまる 37.1%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（60.1%）が男性（44.2%）より 16P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（47.4%）が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（62.0%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 29P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	15.1	37.1	22.3	25.5	52.2	47.8
性別	男性	(8921)	10.5	33.6	24.6	31.2	44.2	55.8
	女性	(9079)	19.5	40.6	20.0	19.9	60.1	39.9
年代	10～19歳	(1069)	14.3	33.8	25.4	26.5	48.1	51.9
	20代	(2293)	16.0	33.8	22.5	27.6	49.8	50.2
	30代	(2871)	13.9	33.5	20.7	31.9	47.4	52.6
	40代	(3269)	12.0	36.8	22.7	28.5	48.8	51.2
	50代	(2755)	12.7	37.0	25.0	25.3	49.7	50.3
	60代	(3551)	16.1	41.8	21.8	20.3	57.9	42.1
	70代	(2192)	21.8	40.1	19.3	18.8	62.0	38.0
関与度	高関与層	(3133)	29.6	40.4	17.7	12.2	70.0	30.0
	中関与層	(4652)	18.9	46.1	20.8	14.2	65.0	35.0
	低関与層	(10215)	8.8	32.0	24.4	34.8	40.9	59.1

④法務局による相談を利用しようと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 44.8%（「あてはまる 12.5%」＋「ややあてはまる 32.3%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（51.6%）が男性（37.9%）より 14P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（39.9%）が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（55.2%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 30P であった。

			(n)				あてはまる	あてはまらない
全体			(18000)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
性別	男性	(8921)	8.9	29.1	29.0	33.1	44.8	55.2
	女性	(9079)	16.1	35.5	25.8	22.6	37.9	62.1
年代	10～19歳	(1069)	12.1	28.9	29.4	29.7	51.6	48.4
	20代	(2293)	12.4	30.8	27.0	29.8	41.0	59.0
	30代	(2871)	11.0	28.9	25.8	34.3	43.2	56.8
	40代	(3269)	9.9	31.3	27.9	30.9	39.9	60.1
	50代	(2755)	10.8	32.5	29.2	27.5	41.2	58.8
	60代	(3551)	13.4	35.9	28.1	22.6	43.2	56.8
	70代	(2192)	19.5	35.7	24.6	20.3	49.3	50.7
関与度	高関与層	(3133)	26.0	37.9	21.5	14.6	55.2	44.8
	中関与層	(4652)	15.3	41.1	27.6	16.0	63.9	36.1
	低関与層	(10215)	7.1	26.6	29.0	37.2	56.4	43.6

⑤法務局による相談が利用できることを家族や友人に伝えたいと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 39.5%（「あてはまる 10.3%」＋「ややあてはまる 29.2%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（45.0%）が男性（33.9%）より 11P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（34.0%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（51.0%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 31P であった。

			(n)				あてはまる	あてはまらない
全体			(18000)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
性別	男性	(8921)	7.4	26.5	30.7	35.4	39.5	60.5
	女性	(9079)	13.1	31.9	29.0	26.0	45.0	55.0
年代	10～19歳	(1069)	10.5	27.6	30.1	31.8	38.1	61.9
	20代	(2293)	10.7	26.7	27.9	34.7	37.4	62.6
	30代	(2871)	8.5	25.5	28.2	37.8	34.0	66.0
	40代	(3269)	7.7	28.3	29.8	34.2	36.0	64.0
	50代	(2755)	8.9	28.7	32.7	29.6	37.6	62.4
	60代	(3551)	11.1	32.1	31.9	24.9	43.2	56.8
	70代	(2192)	16.2	34.8	27.0	22.0	51.0	49.0
関与度	高関与層	(3133)	22.8	36.4	24.6	16.2	59.2	40.8
	中関与層	(4652)	12.6	38.6	30.2	18.6	51.2	48.8
	低関与層	(10215)	5.4	22.8	31.3	40.6	28.1	71.9

⑥人権問題を意識するきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 50.2% (「あてはまる 13.2%」 + 「ややあてはまる 37.0%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (57.3%) が男性 (43.0%) より 14P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (45.6%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (60.0%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 30P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	13.2	37.0	23.4	26.4	50.2	49.8
性別	男性	(8921)	9.5	33.4	25.1	31.9	43.0	57.0
	女性	(9079)	16.9	40.4	21.7	21.0	57.3	42.7
年代	10～19歳	(1069)	15.0	34.9	24.3	25.8	49.9	50.1
	20代	(2293)	14.1	34.6	22.2	29.1	48.7	51.3
	30代	(2871)	11.8	33.8	21.9	32.5	45.6	54.4
	40代	(3269)	10.5	36.1	23.9	29.5	46.6	53.4
	50代	(2755)	10.9	36.6	26.2	26.3	47.5	52.5
	60代	(3551)	14.0	40.2	24.2	21.5	54.3	45.7
	70代	(2192)	19.1	40.9	20.7	19.3	60.0	40.0
関与度	高関与層	(3133)	26.5	42.1	18.2	13.2	68.6	31.4
	中関与層	(4652)	17.1	46.4	22.2	14.3	63.5	36.5
	低関与層	(10215)	7.4	31.1	25.5	35.9	38.5	61.5

⑦自分も人の人権を尊重しなくてはいけないと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 54.1% (「あてはまる 16.7%」 + 「ややあてはまる 37.4%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (61.9%) が男性 (46.1%) より 16P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (48.6%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (63.9%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 32P であった。

			(n)				あてはまる	あてはまらない
							あてはまる	あてはまらない
全体			(18000)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
性別	男性	(8921)	16.7	37.4	20.6	25.3	54.1	45.9
	女性	(9079)	12.1	34.0	23.1	30.8	46.1	53.9
年代	10～19歳	(1069)	21.2	40.6	18.1	20.0	61.9	38.1
	20代	(2293)	17.5	33.9	22.9	25.7	51.4	48.6
	30代	(2871)	16.2	35.2	20.6	28.0	51.4	48.6
	40代	(3269)	14.5	34.2	19.9	31.5	48.6	51.4
	50代	(2755)	13.2	37.5	20.5	28.8	50.7	49.3
	60代	(3551)	15.1	36.8	23.2	24.8	51.9	48.1
	70代	(2192)	18.0	41.7	20.2	20.2	59.6	40.4
	関与度	(10215)	25.0	38.9	17.9	18.2	63.9	36.1
関与度	高関与層	(3133)	32.6	41.1	14.6	11.7	73.7	26.3
	中間層	(4652)	21.8	46.1	18.8	13.4	67.8	32.2
	低関与層	(10215)	9.5	32.2	23.3	35.0	41.8	58.2

(3)みんなの人権 110 番ポスター

①相談する場所があることが分かった

(全体)

- 『あてはまる』は 58.5% (「あてはまる 18.1%」 + 「ややあてはまる 40.5%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (66.6%) が男性 (50.4%) より 16P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (53.3%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (66.3%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 30P であった。

			(n)				あてはまる	あてはまらない
							あてはまる	あてはまらない
全体			(18000)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
性別	男性	(8921)	13.3	37.1	20.6	29.0	58.5	41.5
	女性	(9079)	22.8	43.7	15.3	18.1	50.4	49.6
年代	10～19歳	(1069)	18.1	38.2	21.0	22.7	66.6	33.4
	20代	(2293)	18.4	38.7	16.9	26.1	56.2	43.8
	30代	(2871)	16.7	36.6	17.6	29.1	57.0	43.0
	40代	(3269)	15.4	39.6	18.1	26.9	53.3	46.7
	50代	(2755)	15.8	41.0	20.1	23.1	55.0	45.0
	60代	(3551)	19.4	44.8	17.2	18.6	56.8	43.2
	70代	(2192)	24.4	41.9	16.5	17.2	64.3	35.7
関与度	高関与層	(3133)	34.0	42.7	12.8	10.5	66.3	33.7
	中関与層	(4652)	23.4	48.6	16.2	11.8	76.7	23.3
	低関与層	(10215)	10.8	36.1	20.3	32.8	72.0	28.0

②人権擁護委員の存在を知るきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 51.4% (「あてはまる 14.5%」 + 「ややあてはまる 36.9%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (59.3%) が男性 (43.3%) より 16P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (46.1%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (61.3%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 28P であった。

			(n)				あてはまる	あてはまらない
							あてはまる	あてはまらない
全体			(18000)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
性別	男性	(8921)	10.2	33.1	25.5	31.2	51.4	48.6
	女性	(9079)	18.7	40.7	20.7	20.0	43.3	56.7
年代	10～19歳	(1069)	15.0	34.1	26.1	24.9	59.3	40.7
	20代	(2293)	14.6	34.2	23.4	27.8	49.0	51.0
	30代	(2871)	13.0	33.1	22.7	31.2	48.8	51.2
	40代	(3269)	11.4	35.9	23.4	29.3	46.1	53.9
	50代	(2755)	12.3	37.6	24.8	25.3	47.3	52.7
	60代	(3551)	15.9	41.0	22.8	20.3	49.9	50.1
	70代	(2192)	21.2	40.1	19.4	19.3	56.9	43.1
関与度	高関与層	(3133)	28.4	40.4	18.6	12.5	61.3	38.7
	中関与層	(4652)	18.2	45.3	22.6	13.9	68.8	31.2
	低関与層	(10215)	8.5	32.0	24.6	34.8	63.5	36.5

③人権擁護委員に相談できることがわかった

(全体)

- 『あてはまる』は 51.9% (「あてはまる 14.7%」 + 「ややあてはまる 37.2%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (59.8%) が男性 (43.9%) より 16P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (46.6%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (61.5%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 30P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	14.7	37.2	22.6	25.5	51.9	48.1
性別	男性	(8921)	10.5	33.4	25.0	31.1	43.9	56.1
	女性	(9079)	18.8	41.0	20.2	19.9	59.8	40.2
年代	10～19歳	(1069)	13.8	33.7	27.2	25.3	47.5	52.5
	20代	(2293)	14.9	34.5	22.4	28.1	49.5	50.5
	30代	(2871)	13.1	33.5	22.0	31.4	46.6	53.4
	40代	(3269)	12.1	36.5	22.6	28.9	48.5	51.5
	50代	(2755)	13.0	37.2	24.6	25.2	50.2	49.8
	60代	(3551)	16.1	41.7	21.9	20.4	57.8	42.2
	70代	(2192)	21.0	40.6	19.7	18.8	61.5	38.5
関与度	高関与層	(3133)	29.1	41.2	17.4	12.2	70.3	29.7
	中関与層	(4652)	18.5	46.1	21.7	13.8	64.6	35.4
	低関与層	(10215)	8.6	32.0	24.6	34.9	40.6	59.4

④法務局による相談を利用しようと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 45.2% (「あてはまる 12.4%」 + 「ややあてはまる 32.8%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (52.2%) が男性 (38.1%) より 14P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (40.2%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (54.9%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 30P であった。

			(n)				あてはまる	あてはまらない
							あてはまる	あてはまらない
全体			(18000)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
性別	男性	(8921)	12.4	32.8	27.1	27.7	45.2	54.8
	女性	(9079)	8.9	29.2	28.9	33.0	38.1	61.9
年代	10～19歳	(1069)	15.8	36.4	25.3	22.5	52.2	47.8
	20代	(2293)	11.9	30.9	28.1	29.2	42.8	57.2
	30代	(2871)	12.3	31.4	26.8	29.5	43.7	56.3
	40代	(3269)	10.8	29.4	25.9	33.9	40.2	59.8
	50代	(2755)	9.8	31.6	27.3	31.3	41.4	58.6
	60代	(3551)	10.7	32.8	29.0	27.5	43.5	56.5
	70代	(2192)	13.3	36.4	27.8	22.6	49.7	50.3
関与度	高関与層	(3133)	19.2	35.8	24.8	20.3	54.9	45.1
	中関与層	(4652)	25.6	38.8	21.3	14.3	64.4	35.6
	低関与層	(10215)	15.3	41.4	27.5	15.8	56.7	43.3
			7.0	27.0	28.7	37.2	34.0	66.0

⑤法務局による相談が利用できることを家族や友人に伝えたいと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 39.3%（「あてはまる 10.3%」＋「ややあてはまる 29.0%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（45.2%）が男性（33.2%）より 12P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（33.8%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（50.2%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 31P であった。

			(n)				あてはまる	あてはまらない
							あてはまる	あてはまらない
全体			(18000)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
性別	男性	(8921)	10.3	29.0	30.1	30.6	39.3	60.7
	女性	(9079)	7.7	25.5	31.1	35.6	33.2	66.8
年代	10～19歳	(1069)	12.8	32.4	29.1	25.8	45.2	54.8
	20代	(2293)	10.6	28.0	30.4	31.1	38.5	61.5
	30代	(2871)	10.1	26.4	28.7	34.8	36.5	63.5
	40代	(3269)	8.0	25.7	28.6	37.7	33.8	66.2
	50代	(2755)	8.3	27.7	29.7	34.3	36.0	64.0
	60代	(3551)	9.0	28.8	32.6	29.6	37.7	62.3
	70代	(2192)	11.4	31.8	32.0	24.8	43.1	56.9
関与度	高関与層	(3133)	16.3	33.9	27.6	22.1	50.2	49.8
	中関与層	(4652)	22.9	36.5	24.2	16.5	59.4	40.6
	低関与層	(10215)	12.8	37.8	30.9	18.6	50.6	49.4
			5.3	22.6	31.6	40.5	28.0	72.0

⑥人権問題を意識するきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 50.1% (「あてはまる 13.3%」 + 「ややあてはまる 36.8%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (57.6%) が男性 (42.3%) より 15P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (44.4%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (59.7%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 29P であった。

		(n)				あてはまる	あてはまらない
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
全体		(18000)	13.3	36.8	23.6	26.3	50.1
性別	男性	(8921)	9.6	32.7	26.0	31.7	42.3
	女性	(9079)	16.9	40.8	21.4	21.0	57.6
年代	10～19歳	(1069)	14.7	34.1	25.3	26.0	48.7
	20代	(2293)	14.0	35.6	21.8	28.7	49.5
	30代	(2871)	11.2	33.3	23.2	32.3	44.4
	40代	(3269)	10.8	35.9	23.6	29.8	46.7
	50代	(2755)	11.3	36.1	26.5	26.1	47.4
	60代	(3551)	14.1	40.5	24.4	21.0	54.5
	70代	(2192)	19.4	40.3	20.5	19.8	59.7
関与度	高関与層	(3133)	27.0	41.0	19.1	12.9	68.0
	中関与層	(4652)	17.2	45.6	22.9	14.4	62.8
	低関与層	(10215)	7.3	31.5	25.4	35.8	38.8

⑦自分も人の人権を尊重しなくてはいけないと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 53.8% (「あてはまる 16.6%」 + 「ややあてはまる 37.3%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (61.8%) が男性 (45.7%) より 16P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (48.4%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (63.4%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 32P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	16.6	37.3	20.9	25.3	53.8	46.2
性別	男性	(8921)	12.2	33.5	23.5	30.8	45.7	54.3
	女性	(9079)	20.9	40.9	18.4	19.8	61.8	38.2
年代	10～19歳	(1069)	17.3	34.7	22.8	25.2	52.0	48.0
	20代	(2293)	15.7	35.1	20.9	28.3	50.8	49.2
	30代	(2871)	14.0	34.4	20.6	31.0	48.4	51.6
	40代	(3269)	13.4	37.0	21.0	28.7	50.4	49.6
	50代	(2755)	14.9	37.4	22.9	24.8	52.3	47.7
	60代	(3551)	17.8	41.5	20.6	20.1	59.3	40.7
	70代	(2192)	25.4	38.0	18.2	18.4	63.4	36.6
	関与度							
	高関与層	(3133)	32.6	40.6	14.9	11.9	73.3	26.7
	中関与層	(4652)	21.6	45.8	19.3	13.3	67.4	32.6
	低関与層	(10215)	9.4	32.3	23.5	34.8	41.7	58.3

(4)高齢者・障害者強化週間ポスター

①相談する場所があることが分かった

(全体)

- 『あてはまる』は 57.6% (「あてはまる 17.3%」 + 「ややあてはまる 40.3%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (65.5%) が男性 (49.5%) より 16P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (51.4%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (67.1%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 29P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	17.3	40.3	18.7	23.8	57.6	42.5
性別	男性	(8921)	12.8	36.7	21.2	29.3	49.5	50.5
	女性	(9079)	21.7	43.8	16.2	18.4	65.5	34.5
年代	10～19歳	(1069)	15.8	37.2	22.9	24.0	53.0	47.0
	20代	(2293)	16.9	37.8	19.4	25.9	54.7	45.3
	30代	(2871)	15.0	36.4	18.4	30.2	51.4	48.6
	40代	(3269)	14.2	39.2	19.4	27.3	53.3	46.7
	50代	(2755)	15.3	41.5	19.9	23.4	56.8	43.2
	60代	(3551)	19.1	45.1	17.1	18.7	64.3	35.7
	70代	(2192)	25.3	41.8	16.3	16.6	67.1	32.9
関与度	高関与層	(3133)	32.8	41.9	14.4	10.9	74.7	25.3
	中関与層	(4652)	21.9	49.1	16.9	12.2	71.0	29.0
	低関与層	(10215)	10.4	35.8	20.8	33.0	46.2	53.8

②人権擁護委員の存在を知るきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 50.8% (「あてはまる 14.3%」 + 「ややあてはまる 36.5%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (58.5%) が男性 (42.9%) より 16P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (45.1%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (61.0%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 28P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	14.3	36.5	23.5	25.7	50.8	49.2
性別	男性	(8921)	10.2	32.7	25.9	31.2	42.9	57.1
	女性	(9079)	18.4	40.1	21.2	20.2	58.5	41.5
年代	10～19歳	(1069)	13.8	32.6	27.4	26.1	46.5	53.5
	20代	(2293)	13.8	34.7	24.0	27.4	48.5	51.5
	30代	(2871)	12.3	32.8	22.9	32.0	45.1	54.9
	40代	(3269)	11.0	35.6	24.0	29.3	46.7	53.3
	50代	(2755)	12.7	36.8	24.9	25.6	49.5	50.5
	60代	(3551)	16.1	40.6	22.8	20.4	56.7	43.3
	70代	(2192)	21.9	39.1	20.6	18.4	61.0	39.0
関与度	高関与層	(3133)	28.2	39.7	19.0	13.2	67.9	32.1
	中関与層	(4652)	18.1	44.3	23.4	14.1	62.4	37.6
	低関与層	(10215)	8.4	31.9	25.0	34.8	40.3	59.7

③人権擁護委員に相談できることがわかった

(全体)

- 『あてはまる』は 51.2%（「あてはまる 14.7%」＋「ややあてはまる 36.5%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（59.0%）が男性（43.4%）より 16P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（45.2%）が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（62.1%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 29P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	14.7	36.5	23.0	25.7	51.2	48.8
性別	男性	(8921)	10.5	32.8	25.3	31.3	43.4	56.6
	女性	(9079)	18.8	40.2	20.8	20.3	59.0	41.0
年代	10～19歳	(1069)	13.1	34.7	26.1	26.1	47.8	52.2
	20代	(2293)	14.5	33.3	24.2	28.0	47.8	52.2
	30代	(2871)	12.6	32.7	22.5	32.2	45.2	54.8
	40代	(3269)	11.9	35.4	23.3	29.4	47.3	52.7
	50代	(2755)	13.2	36.4	25.1	25.3	49.6	50.4
	60代	(3551)	16.1	41.4	22.1	20.3	57.5	42.5
	70代	(2192)	22.2	39.9	19.3	18.6	62.1	37.9
関与度	高関与層	(3133)	29.2	39.9	18.3	12.6	69.1	30.9
	中関与層	(4652)	18.6	44.6	22.5	14.4	63.1	36.9
	低関与層	(10215)	8.5	31.8	24.7	35.0	40.3	59.7

④法務局による相談を利用しようと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 44.9%（「あてはまる 12.4%」＋「ややあてはまる 32.5%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（51.7%）が男性（38.0%）より 14P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（39.1%）が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（56.5%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 29P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	12.4	32.5	27.3	27.8	44.9	55.1
性別	男性	(8921)	9.0	29.0	28.8	33.2	38.0	62.0
	女性	(9079)	15.8	35.9	25.9	22.4	51.7	48.3
年代	10～19歳	(1069)	12.3	29.0	29.2	29.5	41.3	58.7
	20代	(2293)	11.5	31.8	26.6	30.2	43.3	56.7
	30代	(2871)	10.4	28.7	26.6	34.3	39.1	60.9
	40代	(3269)	9.5	30.8	28.3	31.4	40.3	59.7
	50代	(2755)	10.9	32.7	29.3	27.2	43.6	56.4
	60代	(3551)	13.7	36.3	27.7	22.3	50.0	50.0
	70代	(2192)	20.4	36.1	23.6	19.8	56.5	43.5
関与度	高関与層	(3133)	25.5	37.9	22.2	14.4	63.4	36.6
	中関与層	(4652)	15.3	41.1	27.6	16.0	56.4	43.6
	低関与層	(10215)	7.1	26.9	28.7	37.2	34.1	65.9

⑤法務局による相談が利用できることを家族や友人に伝えたいと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 39.4%（「あてはまる 10.5%」＋「ややあてはまる 29.0%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（45.2%）が男性（33.6%）より 12 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（33.6%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（51.3%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 31P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	10.5	29.0	29.7	30.9	39.4	60.6
性別	男性	(8921)	7.8	25.7	30.6	35.8	33.6	66.4
	女性	(9079)	13.0	32.1	28.9	26.0	45.2	54.8
年代	10～19歳	(1069)	9.7	29.3	29.8	31.2	39.0	61.0
	20代	(2293)	10.6	25.4	28.7	35.2	36.1	63.9
	30代	(2871)	8.0	25.5	28.4	38.0	33.6	66.4
	40代	(3269)	7.9	27.8	29.7	34.6	35.7	64.3
	50代	(2755)	9.4	28.5	32.3	29.8	37.9	62.1
	60代	(3551)	11.8	31.9	31.4	24.9	43.6	56.4
	70代	(2192)	16.8	34.4	26.4	22.4	51.3	48.7
関与度	高関与層	(3133)	23.0	36.5	23.6	16.9	59.5	40.5
	中関与層	(4652)	13.0	37.3	30.9	18.7	50.4	49.6
	低関与層	(10215)	5.4	22.8	31.1	40.7	28.2	71.8

⑥人権問題を意識するきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 49.5% (「あてはまる 13.2%」 + 「ややあてはまる 36.3%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (56.8%) が男性 (42.0%) より 15P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (43.7%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (59.59%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 29P であった。

						あてはまる	あてはまらない
		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
全体		(18000)	13.2	36.3	24.0	26.5	49.5
性別	男性	(8921)	9.6	32.5	26.2	31.8	42.0
	女性	(9079)	16.8	40.0	22.0	21.2	56.8
年代	10～19歳	(1069)	14.5	33.1	25.8	26.6	47.6
	20代	(2293)	13.8	34.0	23.4	28.8	47.8
	30代	(2871)	11.1	32.6	23.7	32.5	43.7
	40代	(3269)	10.4	35.9	23.6	30.2	46.3
	50代	(2755)	11.3	36.3	26.4	26.1	47.5
	60代	(3551)	14.2	39.9	24.5	21.3	54.1
	70代	(2192)	19.7	39.8	21.3	19.3	59.5
関与度	高関与層	(3133)	26.6	40.7	19.2	13.4	67.3
	中関与層	(4652)	17.0	45.2	23.2	14.6	62.2
	低関与層	(10215)	7.4	30.9	25.9	35.9	38.2

⑦自分も人の人権を尊重しなくてはいけないと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 53.5% (「あてはまる 16.3%」 + 「ややあてはまる 37.2%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (61.5%) が男性 (45.3%) より 16P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (47.8%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (63.9%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 31P であった。

						あてはまる	あてはまらない
		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
全体		(18000)	16.3	37.2	21.1	25.4	53.5 46.5
性別	男性	(8921)	11.9	33.4	23.7	31.0	45.3 54.7
	女性	(9079)	20.6	41.0	18.5	19.9	61.5 38.5
年代	10～19歳	(1069)	16.0	34.7	23.9	25.4	50.7 49.3
	20代	(2293)	14.8	35.0	22.4	27.8	49.8 50.2
	30代	(2871)	13.0	34.8	20.7	31.6	47.8 52.2
	40代	(3269)	13.0	36.8	20.8	29.4	49.8 50.2
	50代	(2755)	15.1	36.8	23.2	24.9	51.9 48.1
	60代	(3551)	18.1	41.4	20.4	20.1	59.4 40.6
	70代	(2192)	25.5	38.4	17.8	18.3	63.9 36.1
関与度	高関与層	(3133)	31.9	40.4	15.6	12.1	72.3 27.7
	中関与層	(4652)	21.5	45.4	19.8	13.4	66.9 33.1
	低関与層	(10215)	9.1	32.5	23.4	35.0	41.6 58.4

(5)女性の人権ホットラインポスター

①相談する場所があることが分かった

(全体)

- 『あてはまる』は 58.1%（「あてはまる 18.1%」＋「ややあてはまる 40.0%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（66.9%）が男性（49.1%）より 18P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（53.3%）が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（64.6%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 29P であった。

			(n)				あてはまる	あてはまらない
							あてはまる	あてはまらない
全体			(18000)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
性別	男性	(8921)	18.1	40.0	18.1	23.8	58.1	41.9
	女性	(9079)	12.3	36.8	21.1	29.8	49.1	50.9
年代	10～19歳	(1069)	23.8	43.1	15.2	17.9	66.9	33.1
	20代	(2293)	17.8	36.4	21.8	24.0	54.2	45.8
	30代	(2871)	19.1	37.5	17.8	25.5	56.7	43.3
	40代	(3269)	16.8	36.5	17.3	29.4	53.3	46.7
	50代	(2755)	15.2	38.8	18.6	27.3	54.1	45.9
	60代	(3551)	16.9	40.5	19.3	23.3	57.4	42.6
	70代	(2192)	19.1	45.1	17.0	18.9	64.2	35.8
	関与度	(10215)	23.2	41.5	17.5	17.8	64.6	35.4
関与度	高関与層	(3133)	34.3	41.5	13.2	11.0	75.8	24.2
	中関与層	(4652)	22.7	48.6	16.4	12.3	71.3	28.7
	低関与層	(10215)	11.0	35.5	20.5	33.0	46.6	53.4

②人権擁護委員の存在を知るきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 51.1% (「あてはまる 14.8%」 + 「ややあてはまる 36.2%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (59.5%) が男性 (42.5%) より 17P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (46.2%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (60.1%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 28P であった。

			(n)				あてはまる	あてはまらない
							あてはまる	あてはまらない
全体			(18000)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
性別	男性	(8921)	14.8	36.2	23.2	25.8	51.1	48.9
	女性	(9079)	10.0	32.4	25.7	31.8	42.5	57.5
年代	10～19歳	(1069)	19.5	40.0	20.6	19.9	59.5	40.5
	20代	(2293)	14.7	32.3	26.2	26.8	47.0	53.0
	30代	(2871)	16.0	33.3	22.9	27.8	49.3	50.7
	40代	(3269)	13.3	33.0	22.3	31.5	46.2	53.8
	50代	(2755)	11.9	35.1	23.6	29.4	47.0	53.0
	60代	(3551)	13.5	35.8	25.4	25.3	49.3	50.7
	70代	(2192)	15.9	41.0	22.6	20.6	56.9	43.1
	関与度	(10215)	20.2	40.0	20.5	19.3	60.1	39.9
関与度	高関与層	(3133)	28.8	39.5	18.6	13.0	68.4	31.6
	中関与層	(4652)	18.6	44.6	22.1	14.7	63.2	36.8
	低関与層	(10215)	8.8	31.4	25.0	34.8	40.2	59.8

③人権擁護委員に相談できるとわかった

(全体)

- 『あてはまる』は 51.8% (「あてはまる 15.1%」 + 「ややあてはまる 36.6%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (60.4%) が男性 (43.0%) より 17P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (46.8%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (60.0%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 29P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		#####	15.1	36.6	22.6	25.7	51.8	48.2
性別	男性	(8921)	10.2	32.8	25.3	31.7	43.0	57.0
	女性	(9079)	20.0	40.4	19.9	19.7	60.4	39.6
年代	10～19歳	(1069)	13.5	32.6	27.1	26.8	46.1	53.9
	20代	(2293)	15.9	34.4	21.9	27.8	50.3	49.7
	30代	(2871)	13.8	33.0	21.8	31.4	46.8	53.2
	40代	(3269)	12.6	35.3	22.6	29.6	47.8	52.2
	50代	(2755)	13.6	36.7	24.9	24.9	50.2	49.8
	60代	(3551)	16.5	41.6	21.6	20.3	58.1	41.9
	70代	(2192)	20.4	39.6	20.8	19.2	60.0	40.0
関与度	高関与層	(3133)	29.6	40.0	17.7	12.6	69.6	30.4
	中間層	(4652)	18.8	44.9	21.8	14.5	63.8	36.2
	低関与層	#####	9.0	31.8	24.4	34.8	40.8	59.2

④法務局による相談を利用しようと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 45.2% (「あてはまる 12.8%」 + 「ややあてはまる 32.4%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (52.9%) が男性 (37.2%) より 16P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (40.7%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (54.3%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 29P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	12.8	32.4	26.8	28.1	45.2	54.9
性別	男性	(8921)	8.6	28.7	28.6	34.2	37.2	62.8
	女性	(9079)	16.9	36.0	25.0	22.0	52.9	47.1
年代	10～19歳	(1069)	13.2	28.8	27.8	30.2	42.0	58.0
	20代	(2293)	13.0	31.4	25.2	30.4	44.4	55.6
	30代	(2871)	11.5	29.2	25.6	33.7	40.7	59.3
	40代	(3269)	10.2	30.7	27.6	31.5	40.9	59.1
	50代	(2755)	11.5	32.4	28.4	27.7	43.9	56.1
	60代	(3551)	13.1	36.3	27.5	23.1	49.4	50.6
	70代	(2192)	18.9	35.4	25.0	20.7	54.3	45.7
関与度	高関与層	(3133)	25.9	37.7	21.4	14.9	63.6	36.4
	中関与層	(4652)	16.0	40.3	27.0	16.7	56.3	43.7
	低関与層	(10215)	7.3	27.1	28.3	37.3	34.4	65.6

⑤法務局による相談が利用できることを家族や友人に伝えたいと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 39.5%（「あてはまる 10.8%」＋「ややあてはまる 28.7%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（46.0%）が男性（32.9%）より 13P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（35.0%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（49.8%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 31P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	10.8	28.7	29.8	30.8	39.5	60.5
性別	男性	(8921)	7.5	25.4	31.0	36.1	32.9	67.1
	女性	(9079)	14.0	31.9	28.5	25.5	46.0	54.0
年代	10～19歳	(1069)	10.9	27.3	30.6	31.2	38.2	61.8
	20代	(2293)	11.1	26.1	28.1	34.7	37.2	62.8
	30代	(2871)	9.0	26.0	28.0	37.0	35.0	65.0
	40代	(3269)	8.4	27.2	29.7	34.8	35.5	64.5
	50代	(2755)	10.1	28.1	31.9	30.0	38.1	61.9
	60代	(3551)	11.9	31.5	31.5	25.1	43.4	56.6
	70代	(2192)	15.7	34.0	27.8	22.4	49.8	50.2
関与度	高関与層	(3133)	23.4	36.2	24.4	16.0	59.6	40.4
	中関与層	(4652)	13.7	36.9	30.5	18.8	50.6	49.4
	低関与層	(10215)	5.6	22.6	31.0	40.7	28.3	71.7

⑥人権問題を意識するきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 49.7% (「あてはまる 13.7%」 + 「ややあてはまる 36.0%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (57.7%) が男性 (41.5%) より 16P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (44.7%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (58.3%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 30P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	13.7	36.0	23.8	26.5	49.7	50.3
性別	男性	(8921)	9.5	32.0	25.9	32.6	41.5	58.5
	女性	(9079)	17.8	40.0	21.8	20.5	57.7	42.3
年代	10～19歳	(1069)	14.9	32.3	26.7	26.2	47.1	52.9
	20代	(2293)	14.4	34.8	21.9	28.8	49.3	50.7
	30代	(2871)	11.9	32.8	22.9	32.4	44.7	55.3
	40代	(3269)	11.1	35.3	23.6	29.9	46.5	53.5
	50代	(2755)	12.3	35.5	26.0	26.3	47.7	52.3
	60代	(3551)	14.5	39.3	24.7	21.5	53.9	46.1
	70代	(2192)	18.7	39.7	21.9	19.8	58.3	41.7
関与度	高関与層	(3133)	27.7	40.5	18.5	13.3	68.2	31.8
	中間層	(4652)	17.6	44.3	23.2	14.9	61.9	38.1
	低関与層	(10215)	7.6	30.9	25.7	35.8	38.5	61.5

⑦自分も人の人権を尊重しなくてはいけなかった

(全体)

- 『あてはまる』は 53.4% (「あてはまる 16.7%」 + 「ややあてはまる 36.7%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (61.9%) が男性 (44.8%) より 17P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (47.6%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (62.4%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 30P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	16.7	36.7	21.1	25.5	53.4	46.6
性別	男性	(8921)	11.8	33.0	23.7	31.5	44.8	55.2
	女性	(9079)	21.6	40.3	18.4	19.7	61.9	38.1
年代	10～19歳	(1069)	17.6	32.6	23.4	26.5	50.1	49.9
	20代	(2293)	15.9	35.5	20.5	28.1	51.4	48.6
	30代	(2871)	14.3	33.3	21.0	31.3	47.6	52.4
	40代	(3269)	13.6	36.6	20.8	29.0	50.2	49.8
	50代	(2755)	15.6	35.9	23.4	25.1	51.5	48.5
	60代	(3551)	17.8	41.6	20.3	20.4	59.4	40.6
	70代	(2192)	24.6	37.8	19.1	18.6	62.4	37.6
関与度	高関与層	(3133)	32.3	39.4	15.8	12.4	71.8	28.2
	中間層	(4652)	21.8	45.2	19.2	13.8	66.9	33.1
	低関与層	(10215)	9.6	32.0	23.5	34.9	41.6	58.4

(6) 女性の人権ホットライン強化週間ポスター

① 相談する場所があることが分かった

(全体)

- 『あてはまる』は 58.3% (「あてはまる 18.3%」 + 「ややあてはまる 40.0%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (67.2%) が男性 (49.2%) より 18P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (53.7%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (64.6%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 29P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	ないあてはまる
全体		(18000)	18.3	40.0	18.0	23.8	58.3	41.7
性別	男性	(8921)	12.6	36.6	21.0	29.8	49.2	50.8
	女性	(9079)	23.9	43.3	14.9	17.8	67.2	32.8
年代	10～19歳	(1069)	17.7	36.0	21.6	24.7	53.7	46.3
	20代	(2293)	20.2	36.9	17.1	25.8	57.1	42.9
	30代	(2871)	17.0	36.7	16.9	29.4	53.7	46.3
	40代	(3269)	15.4	39.4	18.1	27.1	54.8	45.2
	50代	(2755)	16.7	41.0	19.1	23.2	57.7	42.3
	60代	(3551)	19.1	44.8	17.4	18.8	63.9	36.1
	70代	(2192)	23.3	41.3	17.7	17.7	64.6	35.4
関与度	高関与層	(3133)	34.4	41.4	13.2	10.9	75.8	24.2
	中関与層	(4652)	23.0	48.2	16.3	12.4	71.2	28.8
	低関与層	(10215)	11.2	35.8	20.1	32.8	47.0	53.0

②人権擁護委員の存在を知るきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 51.2% (「あてはまる 14.8%」 + 「ややあてはまる 36.3%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (59.7%) が男性 (42.4%) より 17P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (45.9%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (59.9%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 28P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	ないあてはまる
全体		(18000)	14.8	36.3	23.1	25.8	51.2	48.9
性別	男性	(8921)	9.9	32.5	25.8	31.8	42.4	57.6
	女性	(9079)	19.6	40.1	20.4	19.9	59.7	40.3
年代	10～19歳	(1069)	15.0	32.2	25.6	27.2	47.1	52.9
	20代	(2293)	16.0	33.4	22.8	27.9	49.3	50.7
	30代	(2871)	13.0	32.9	22.8	31.3	45.9	54.1
	40代	(3269)	11.8	35.8	23.1	29.3	47.6	52.4
	50代	(2755)	13.5	36.3	24.7	25.5	49.8	50.2
	60代	(3551)	16.1	40.6	22.9	20.4	56.7	43.3
	70代	(2192)	20.3	39.6	20.6	19.5	59.9	40.1
関与度	高関与層	(3133)	28.4	40.1	18.4	13.1	68.5	31.5
	中関与層	(4652)	18.9	44.1	22.5	14.6	63.0	37.0
	低関与層	(10215)	8.8	31.6	24.8	34.8	40.4	59.6

③人権擁護委員に相談できることがわかった

(全体)

- 『あてはまる』は 51.9%（「あてはまる 15.2%」＋「ややあてはまる 36.8%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（60.7%）が男性（43.0%）より 18P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（47.0%）が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（60.0%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 29P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	15.2	36.8	22.3	25.8	51.9	48.1
性別	男性	(8921)	10.2	32.9	25.3	31.7	43.0	57.0
	女性	(9079)	20.1	40.6	19.4	19.9	60.7	39.3
年代	10～19歳	(1069)	15.2	33.3	24.7	26.8	48.6	51.4
	20代	(2293)	16.0	33.8	21.9	28.3	49.8	50.2
	30代	(2871)	14.0	33.1	21.7	31.2	47.0	53.0
	40代	(3269)	12.6	35.8	22.7	29.0	48.4	51.6
	50代	(2755)	13.6	36.6	24.5	25.2	50.3	49.7
	60代	(3551)	16.2	41.7	21.5	20.6	57.8	42.2
	70代	(2192)	20.0	40.1	20.3	19.7	60.0	40.0
関与度	高関与層	(3133)	29.6	40.4	17.3	12.7	70.0	30.0
	中関与層	(4652)	18.9	45.0	21.6	14.5	63.9	36.1
	低関与層	(10215)	9.1	31.9	24.1	34.9	40.9	59.1

④法務局による相談を利用しようと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 45.4%（「あてはまる 12.8%」＋「ややあてはまる 32.6%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（53.5%）が男性（37.1%）より 16P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（41.6%）が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（54.7%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 30P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	12.8	32.6	26.6	28.0	45.4	54.6
性別	男性	(8921)	8.4	28.7	28.7	34.2	37.1	62.9
	女性	(9079)	17.1	36.5	24.5	21.9	53.5	46.5
年代	10～19歳	(1069)	13.4	27.7	29.0	29.9	41.1	58.9
	20代	(2293)	13.4	31.3	24.1	31.1	44.7	55.3
	30代	(2871)	11.4	30.2	24.9	33.6	41.6	58.4
	40代	(3269)	10.3	31.2	27.0	31.4	41.6	58.4
	50代	(2755)	11.3	32.8	28.5	27.4	44.1	55.9
	60代	(3551)	13.2	35.8	28.1	22.9	49.0	51.0
	70代	(2192)	18.4	36.4	24.6	20.6	54.7	45.3
関与度	高関与層	(3133)	26.3	37.7	21.1	14.8	64.1	35.9
	中関与層	(4652)	15.6	41.0	27.2	16.3	56.5	43.5
	低関与層	(10215)	7.3	27.3	28.0	37.4	34.6	65.4

⑤法務局による相談が利用できることを家族や友人に伝えたいと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 40.0%（「あてはまる 11.0%」＋「ややあてはまる 29.0%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（46.5%）が男性（33.4%）より 13P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（35.2%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（50.0%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 32P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	11.0	29.0	29.4	30.7	40.0	60.0
性別	男性	(8921)	7.5	25.8	30.5	36.1	33.4	66.6
	女性	(9079)	14.3	32.2	28.2	25.3	46.5	53.5
年代	10～19歳	(1069)	11.0	27.8	29.7	31.4	38.8	61.2
	20代	(2293)	11.6	26.9	27.0	34.5	38.5	61.5
	30代	(2871)	8.9	26.3	27.8	37.0	35.2	64.8
	40代	(3269)	8.7	28.1	28.9	34.3	36.8	63.2
	50代	(2755)	10.5	27.6	32.1	29.9	38.0	62.0
	60代	(3551)	11.8	31.6	31.3	25.2	43.4	56.6
	70代	(2192)	15.4	34.5	27.8	22.2	50.0	50.0
関与度	高関与層	(3133)	23.8	36.5	23.9	15.8	60.3	39.7
	中関与層	(4652)	13.5	37.3	30.5	18.6	50.8	49.2
	低関与層	(10215)	5.8	23.0	30.5	40.7	28.8	71.2

⑥人権問題を意識するきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 50.1% (「あてはまる 13.8%」 + 「ややあてはまる 36.2%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (58.0%) が男性 (42.0%) より 16P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (45.4%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (58.5%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 30P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	13.8	36.2	23.4	26.6	50.1	49.9
性別	男性	(8921)	9.6	32.4	25.5	32.5	42.0	58.0
	女性	(9079)	18.0	39.9	21.3	20.8	58.0	42.0
年代	10～19歳	(1069)	15.9	31.5	25.4	27.1	47.4	52.6
	20代	(2293)	15.4	34.8	20.5	29.2	50.2	49.8
	30代	(2871)	11.6	33.8	22.4	32.3	45.4	54.6
	40代	(3269)	11.5	35.3	23.4	29.7	46.9	53.1
	50代	(2755)	12.3	35.4	25.8	26.5	47.7	52.3
	60代	(3551)	14.4	39.7	24.4	21.5	54.1	45.9
	70代	(2192)	18.4	40.1	21.8	19.7	58.5	41.5
関与度	高関与層	(3133)	27.8	40.3	18.4	13.4	68.2	31.8
	中関与層	(4652)	17.7	45.1	22.4	14.8	62.7	37.3
	低関与層	(10215)	7.8	30.9	25.3	36.0	38.7	61.3

⑦自分も人の人権を尊重しなくてはいけないと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 53.6% (「あてはまる 16.7%」 + 「ややあてはまる 36.9%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (62.2%) が男性 (44.8%) より 17P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (48.1%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (62.7%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 30P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	16.0	38.9	20.7	24.4	54.9	45.1
性別	男性	(8921)	11.6	35.6	22.7	30.1	47.2	52.8
	女性	(9079)	20.3	42.1	18.7	18.9	62.4	37.6
年代	10～19歳	(1069)	14.9	36.0	25.1	24.0	50.9	49.1
	20代	(2293)	15.4	36.6	21.1	26.9	52.0	48.0
	30代	(2871)	13.4	35.2	20.7	30.8	48.6	51.4
	40代	(3269)	12.9	37.4	21.6	28.1	50.3	49.7
	50代	(2755)	14.7	39.2	22.1	24.1	53.9	46.1
	60代	(3551)	18.5	43.7	18.9	18.9	62.2	37.8
	70代	(2192)	23.2	41.3	17.8	17.7	64.5	35.5
関与度	高関与層	(3133)	30.4	41.3	16.7	11.6	71.7	28.3
	中関与層	(4652)	20.4	46.6	19.9	13.1	67.0	33.0
	低関与層	(10215)	9.6	34.6	22.2	33.5	44.2	55.8

②人権擁護委員の存在を知るきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 51.6% (「あてはまる 15.4%」 + 「ややあてはまる 36.2%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (58.7%) が男性 (44.3%) より 14P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (46.2%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (61.3%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 28P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	15.4	36.2	22.8	25.6	51.6	48.4
性別	男性	(8921)	11.1	33.2	24.5	31.2	44.3	55.7
	女性	(9079)	19.6	39.2	21.1	20.1	58.7	41.3
年代	10～19歳	(1069)	14.3	33.7	26.5	25.5	48.0	52.0
	20代	(2293)	15.8	33.7	22.8	27.7	49.5	50.5
	30代	(2871)	13.5	32.7	21.9	31.8	46.2	53.8
	40代	(3269)	12.0	35.3	23.5	29.2	47.3	52.7
	50代	(2755)	14.3	35.5	25.0	25.3	49.8	50.2
	60代	(3551)	16.9	40.7	22.2	20.2	57.6	42.4
	70代	(2192)	21.8	39.5	19.6	19.1	61.3	38.7
関与度	高関与層	(3133)	29.3	39.4	18.4	12.9	68.7	31.3
	中関与層	(4652)	19.9	44.2	21.5	14.4	64.1	35.9
	低関与層	(10215)	9.1	31.6	24.8	34.6	40.6	59.4

③人権擁護委員に相談できることがわかった

(全体)

- 『あてはまる』は 51.5%（「あてはまる 15.1%」＋「ややあてはまる 36.4%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（58.9%）が男性（43.9%）より 15P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（45.1%）が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（61.3%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 29P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	15.1	36.4	22.7	25.8	51.5	48.5
性別	男性	(8921)	11.0	32.9	24.6	31.5	43.9	56.1
	女性	(9079)	19.2	39.7	20.9	20.2	58.9	41.1
年代	10～19歳	(1069)	13.2	33.4	26.9	26.5	46.6	53.4
	20代	(2293)	15.0	34.5	22.6	27.9	49.5	50.5
	30代	(2871)	12.8	32.3	22.8	32.0	45.1	54.9
	40代	(3269)	12.1	35.4	23.0	29.5	47.5	52.5
	50代	(2755)	14.0	35.7	25.0	25.3	49.7	50.3
	60代	(3551)	16.8	41.5	21.5	20.2	58.2	41.8
	70代	(2192)	22.1	39.2	19.5	19.2	61.3	38.7
関与度	高関与層	(3133)	29.3	39.9	18.2	12.6	69.2	30.8
	中関与層	(4652)	19.2	44.5	22.0	14.3	63.7	36.3
	低関与層	(10215)	8.8	31.6	24.5	35.1	40.4	59.6

④法務局による相談を利用しようと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 43.6%（「あてはまる 11.9%」＋「ややあてはまる 31.7%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（50.2%）が男性（36.8%）より 13 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（38.2%）が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（54.3%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 28P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	11.9	31.7	28.2	28.2	43.6	56.4
性別	男性	(8921)	8.7	28.1	29.4	33.8	36.8	63.2
	女性	(9079)	15.0	35.2	27.1	22.7	50.2	49.8
年代	10～19歳	(1069)	11.0	28.3	30.9	29.8	39.3	60.7
	20代	(2293)	11.5	30.5	27.0	31.1	42.0	58.0
	30代	(2871)	9.9	28.3	27.4	34.4	38.2	61.8
	40代	(3269)	9.1	30.3	28.5	32.1	39.4	60.6
	50代	(2755)	10.5	32.0	30.2	27.3	42.5	57.5
	60代	(3551)	13.1	35.1	29.1	22.7	48.2	51.8
	70代	(2192)	18.9	35.4	25.0	20.8	54.3	45.7
関与度	高関与層	(3133)	24.6	36.7	23.4	15.3	61.3	38.7
	中関与層	(4652)	14.6	39.7	29.0	16.8	54.3	45.7
	低関与層	(10215)	6.7	26.6	29.3	37.4	33.2	66.8

⑤法務局による相談が利用できることを家族や友人に伝えたいと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 38.5%（「あてはまる 10.0%」＋「ややあてはまる 28.4%」。以下、同じ）であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性（44.2%）が男性（32.7%）より 12P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代（33.5%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（49.7%）が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 30P であった。

		(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
全体		(18000)	10.0	28.4	30.5	31.0	38.5	61.5
性別	男性	(8921)	7.4	25.3	31.3	36.1	32.7	67.3
	女性	(9079)	12.6	31.6	29.7	26.1	44.2	55.8
年代	10～19歳	(1069)	9.9	28.7	30.3	31.1	38.6	61.4
	20代	(2293)	10.2	25.4	29.0	35.4	35.6	64.4
	30代	(2871)	7.6	25.9	28.9	37.5	33.5	66.5
	40代	(3269)	7.8	26.6	30.3	35.3	34.4	65.6
	50代	(2755)	9.1	27.7	33.1	30.1	36.8	63.2
	60代	(3551)	11.2	31.2	32.5	25.1	42.4	57.6
	70代	(2192)	15.8	33.9	27.9	22.4	49.7	50.3
関与度	高関与層	(3133)	21.7	36.0	25.4	16.9	57.6	42.4
	中関与層	(4652)	12.3	36.6	31.4	19.6	49.0	51.0
	低関与層	(10215)	5.4	22.4	31.6	40.6	27.8	72.2

⑥人権問題を意識するきっかけになった

(全体)

- 『あてはまる』は 48.3% (「あてはまる 12.8%」 + 「ややあてはまる 35.6%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (55.2%) が男性 (41.4%) より 14P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (42.4%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (58.5%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 28P であった。

		(n)				あてはまる	あてはまらない
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
全体		(18000)	12.8	35.6	24.7	26.9	48.3 51.7
性別	男性	(8921)	9.2	32.2	25.9	32.7	41.4 58.6
	女性	(9079)	16.3	38.9	23.6	21.3	55.2 44.8
年代	10～19歳	(1069)	13.7	33.4	26.1	26.8	47.1 52.9
	20代	(2293)	12.9	33.8	24.2	29.0	46.7 53.3
	30代	(2871)	10.2	32.2	24.5	33.1	42.4 57.6
	40代	(3269)	10.6	34.0	24.6	30.9	44.5 55.5
	50代	(2755)	11.1	35.4	27.0	26.6	46.5 53.5
	60代	(3551)	14.0	39.3	25.1	21.6	53.3 46.7
	70代	(2192)	18.8	39.6	21.6	19.9	58.5 41.5
関与度	高関与層	(3133)	25.3	40.4	20.5	13.9	65.7 34.3
	中関与層	(4652)	16.4	44.0	24.4	15.3	60.3 39.7
	低関与層	(10215)	7.3	30.3	26.2	36.2	37.6 62.4

⑦自分も人の人権を尊重しなくてはいけないと思った

(全体)

- 『あてはまる』は 52.4% (「あてはまる 15.8%」 + 「ややあてはまる 36.5%」。以下、同じ) であった。

(性別)

- 『あてはまる』は、女性 (59.8%) が男性 (44.7%) より 15P 多い。

(年代別)

- 『あてはまる』は、30 歳代 (46.3%) が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (62.6%) が最も多い。

(関与度別)

- 『あてはまる』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 30P であった。

							あてはまる	あてはまらない
			(n)	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
全体			(18000)	15.8	36.5	21.7	25.9	52.4
性別	男性		(8921)	11.8	33.0	23.7	31.6	44.7
	女性		(9079)	19.8	40.0	19.8	20.3	55.3
年代	10～19歳		(1069)	15.9	33.1	24.6	26.4	59.8
	20代		(2293)	15.1	35.2	21.6	28.2	40.2
	30代		(2871)	12.4	33.9	21.7	32.0	49.0
	40代		(3269)	12.8	35.4	21.9	29.9	51.0
	50代		(2755)	14.3	36.4	23.8	25.5	49.8
	60代		(3551)	17.5	40.9	21.1	20.4	53.7
	70代		(2192)	24.7	37.9	18.8	18.7	48.1
	高関与層		(3133)	30.4	40.3	16.8	12.5	50.7
関与度	中関与層		(4652)	20.7	44.5	20.6	14.3	49.3
	低関与層		(10215)	9.2	31.8	23.8	35.3	58.4

12 地方委託事業について

Q33 法務省が自治体と連携して実施している活動の中で見聞き、参加したもの(MA)

(Q33 以下の取組は、法務省が地方自治体と連携して、地域の人権尊重思想の普及高揚を図るために実施している活動です。あなたが見聞きしたことや参加したことがあるものをお選びください。)

(全体)

- 法務省が地方自治体と連携して実施している活動の中で見聞きしたことや参加したことがあるものについては、「あてはまるものはない」が 59.5%を占めた。
- 一方、見聞き・参加した活動については、突出して多いものは無く、回答は分散したが、多い順に以下であった。

1 位	テレビ CM・ラジオ CM	: 16.8%
2 位	啓発資料の作成・配布	: 12.8%
3 位	新聞広告	: 11.7%
4 位	講演会・研修会	: 11.1%
5 位	車内広告（電車・バス等）	: 10.6%
6 位	インターネット広告	: 10.2%
7 位	地域情報誌	: 9.0%
8 位	人権フェスティバル	: 7.6%
9 位	スポーツ組織と連携協力した人権啓発活動	: 3.3%
10 位	人権の花運動	: 3.2%

(性別)

- 男女いずれも「あてはまるものはない」が 60%前後を占めて最も多い。
- 見聞き・参加した活動については、男女いずれも「テレビ CM・ラジオ CM」が最も多いが、その割合は男性（18.1%）が女性（15.5%）よりやや多く、また、これ以外の活動については男女で回答の多い順位は異なる。
- 全ての活動について男女の回答割合差は大きなものではなく、3P 未満であった。

(年代別)

- 全ての年代で「あてはまるものはない」が最も多いが、その割合は 40 歳代（64.5%）が最も多く、年代が上がる下がるにつれて少なくなり、70 歳代（49.6%）が最も少ない。
- 見聞き・参加した活動については、10～60 歳代では「テレビ CM・ラジオ CM」が最も多く、その割合は 40 歳代（14.4%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多

くなり、60 歳代（17.7%）が最も多い。

➤70 歳代では、「新聞広告」が 22.3%で最も多いが、これに次ぐ「テレビ CM・ラジオ CM」も 20.5%で 10～60 歳代に比べて多い。

➤これ以外の各活動については以下のような傾向が見受けられる。

2 位 啓発資料の作成・配布

→10・60・70 歳代（15%前後）が 20～50 歳代（12%前後）に比べて多い。

3 位 新聞広告

→70 歳代（22.3%）・60 歳代（16.6%）が 10～50 歳代（8～10%）に比べて多い。

4 位 講演会・研修会

→30 歳代（8.5%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて増加し、70 歳代（15.1%）が最も多い。

5 位 車内広告（電車・バス等）

→10・20・30・70 歳代（13%前後）が 40～60 歳代（9%前後）に比べて多い。

6 位 インターネット広告

→10・20 歳代（13%前後）が 30 歳代以上（10%前後）に比べて多い。

7 位 地域情報誌

→70 歳代（16.4%）・60 歳代（12.3%）が 10～50 歳代（7%前後）に比べて多い。

8 位 人権フェスティバル

→年代による傾向は特に見受けられない。

9 位 スポーツ組織と連携協力した人権啓発活動

→10～40 歳代（4%前後）が 50 歳代以上（3%未満）に比べてやや多い。

10 位 人権の花運動

→40 歳代（2.2%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて漸増し、70 歳代（5.2%）が最も多い。

（エリア別）

➤以下の活動ではエリア間で見聞き・参加率に 10P 以上の差が発生した。

- ・テレビ CM・ラジオ CM：九州・沖縄地方 23.4%＞北海道地方 12.0%
- ・人権フェスティバル：四国地方 16.0%＞関東甲信越地方 5.9%

		(n)	非常に深まった	まあ深まった	あまり深まらなかった	全く深まらなかった	深まった	か深まらなかった
全体		(1999)	24.3	56.3	14.1	5.4	80.6	19.4
性別	男性	(1085)	23.1	54.2	16.3	6.4	77.3	22.7
	女性	(914)	25.7	58.8	11.4	4.2	84.5	15.5
年代	10～19歳	(144)	34.7	53.5	9.7	2.1	88.2	11.8
	20代	(261)	28.4	52.5	13.8	5.4	80.8	19.2
	30代	(244)	25.0	53.3	12.7	9.0	78.3	21.7
	40代	(304)	20.4	59.5	14.5	5.6	79.9	20.1
	50代	(289)	21.1	57.4	14.5	6.9	78.5	21.5
	60代	(426)	22.5	58.7	14.6	4.2	81.2	18.8
	70代	(331)	24.8	55.6	15.7	3.9	80.4	19.6
関与度	高関与層	(841)	37.2	48.9	10.3	3.6	86.1	13.9
	中間層	(718)	16.7	65.2	14.2	3.9	81.9	18.1
	低関与層	(440)	12.0	55.9	20.9	11.1	68.0	32.0

(2)啓発資料

(全体)

➤啓発資料を見た人が理解や関心が『深まった』は 78.5%（「非常に深まった 16.2%」＋「まあ深まった 62.3%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『深まった』は、男女いずれも 78%前後であった。

(年代別)

➤『深まった』は、30 歳代（74.1%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（83.1%）が最も多い。

(関与度別)

➤『深まった』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 19P であった。

(エリア別)

➤以下のエリア間では『深まった』に 10P 以上の差が発生した。

- ・九州・沖縄地方 81.2%＞四国地方 69.0%

		(n)	非常に深まった	まあ深まった	あまり深まらなかった	全く深まらなかった	深まった	か深まらなかった
全体		(2307)	16.2	62.3	18.1	3.4	78.5	21.5
性別	男性	(1156)	14.8	63.0	18.1	4.2	77.8	22.2
	女性	(1151)	17.5	61.7	18.1	2.7	79.2	20.8
年代	10～19歳	(173)	24.3	56.1	17.9		80.3	19.7
	20代	(272)	23.9	53.7	18.4	4.0	77.6	22.4
	30代	(321)	15.9	58.3	20.9	5.0	74.1	25.9
	40代	(393)	12.5	66.2	17.8	3.6	78.6	21.4
	50代	(319)	14.7	62.1	19.7	3.4	76.8	23.2
	60代	(485)	13.6	65.4	17.5	3.5	79.0	21.0
	70代	(344)	15.4	67.7	14.8	2.0	83.1	16.9
関与度	高関与層	(960)	25.3	60.1	12.1	2.5	85.4	14.6
	中間層	(838)	10.9	67.2	19.7	2.3	78.0	22.0
	低関与層	(509)	7.7	58.5	26.7	7.1	66.2	33.8

(3)テレビ CM・ラジオ CM

(全体)

➤テレビ CM・ラジオ CM を見聞きした人が理解や関心が『深まった』は 68.0%（「非常に深まった 11.3%」＋「まあ深まった 56.7%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『深まった』は、女性（72.7%）が男性（63.9%）より 9P 多い。

(年代別)

➤『深まった』は、30 歳代（62.3%）が最も少なく、概ね年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（75.5%）が最も多い。

(関与度別)

➤『深まった』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 21P であった。

(エリア別)

➤以下のエリア間では『深まった』に大きな差が発生した。

・北海道地方 79.3%＞中国地方 62.1%、近畿地方 64.7%、九州・沖縄地方 65.8%、中部地方 66.0%、東北・四国地方 67.9%、関東甲信越地方 70.9%

		(n)	非常に深まった	まあ深まった	あまり深まらなかった	全く深まらなかった	深 ま っ た	か 深 ま ら な
全体		(3023)	11.3	56.7	28.4	3.6	68.0	32.0
性別	男性	(1613)	10.4	53.4	31.5	4.6	63.9	36.1
	女性	(1410)	12.3	60.4	25.0	2.3	72.7	27.3
年代	10～19歳	(184)	19.6	48.9	28.8	2.7	68.5	31.5
	20代	(402)	15.2	53.7	27.1	4.0	68.9	31.1
	30代	(448)	10.7	51.6	33.3	4.5	62.3	37.7
	40代	(471)	10.6	55.2	29.3	4.9	65.8	34.2
	50代	(442)	9.7	54.8	31.7	3.8	64.5	35.5
	60代	(627)	9.1	60.9	26.8	3.2	70.0	30.0
	70代	(449)	10.2	65.3	22.9	1.6	75.5	24.5
関与度	高関与層	(1027)	19.9	57.0	21.0	2.1	76.8	23.2
	中関与層	(1133)	7.9	61.1	29.3	1.7	69.0	31.0
	低関与層	(863)	5.4	50.6	36.2	7.8	56.1	43.9

(4)インターネット広告

(全体)

➤インターネット広告を見た人が理解や関心が『深まった』は 72.0%（「非常に深まった 14.9%」＋「まあ深まった 57.1%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『深まった』は、女性（75.2%）が男性（69.6%）より 6P 多い。

(年代別)

➤『深まった』は、10 歳代（67.2%）が最も少なく、20～50 歳代では 70%前後に、60・70 歳代では 76%前後に増加する。

(関与度別)

➤『深まった』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 18P であった。

(エリア別)

➤以下のエリア間では『深まった』に 10P 以上の差が発生した。

・北海道地方 78.2%＞近畿地方 66.2%

			(n)	非常に深まった	まあ深まった	あまり深まらなかった	全く深まらなかった	深まった	か深まった な
全体			(1842)	14.9	57.1	23.9	4.1	72.0	28.0
性別	男性		(1045)	13.5	56.1	25.4	5.1	69.6	30.4
	女性		(797)	16.7	58.5	22.0	2.9	75.2	24.8
年代	10～19歳		(131)	16.8	50.4	29.8	3.1	67.2	32.8
	20代		(315)	14.0	57.8	23.2	5.1	71.7	28.3
	30代		(327)	15.9	53.8	25.7	4.6	69.7	30.3
	40代		(315)	12.4	57.5	24.1	6.0	69.8	30.2
	50代		(260)	15.0	57.3	23.8	3.8	72.3	27.7
	60代		(285)	14.0	62.5	20.7	2.8	76.5	23.5
	70代		(209)	18.2	57.4	22.5		75.6	24.4
関与度	高関与層		(812)	22.9	54.8	19.0	3.3	77.7	22.3
	中関与層		(642)	9.7	62.5	24.6	3.3	72.1	27.9
	低関与層		(388)	6.7	53.1	33.0	7.2	59.8	40.2

(5)車内広告(電車・バス等)

(全体)

➤車内広告(電車・バス等)を見た人が理解や関心が『深まった』は 62.7% (「非常に深まった 11.1%」+「まあ深まった 51.6%」。以下、同じ) であった。

(性別)

➤『深まった』は、女性(66.5%)が男性(59.0%)より 8P 多い。

(年代別)

➤『深まった』は、30 歳代(54.5%)が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、10 歳代(70.8%)が最も多い。

(関与度別)

➤『深まった』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 21P であった。

			(n)	非常に深まった	まあ深まった	あまり深まらなかった	全く深まらなかった	深まった	か深まった な
全体			(1913)	11.1	51.6	32.5	4.8	62.7	37.3
性別	男性		(956)	10.4	48.6	34.6	6.4	59.0	41.0
	女性		(957)	11.9	54.5	30.3	3.2	66.5	33.5
年代	10～19歳		(130)	21.5	49.2	26.9	2.3	70.8	29.2
	20代		(342)	14.3	47.7	33.6	4.4	62.0	38.0
	30代		(325)	7.7	46.8	39.1	6.5	54.5	45.5
	40代		(303)	11.9	50.8	30.0	7.3	62.7	37.3
	50代		(248)	8.9	52.8	35.9	2.4	61.7	38.3
	60代		(306)	7.8	57.2	29.7	5.2	65.0	35.0
	70代		(259)	11.2	57.1	28.2	3.5	68.3	31.7
関与度	高関与層		(693)	19.5	51.8	26.0	2.7	71.3	28.7
	中関与層		(706)	7.2	55.9	33.3	3.5	63.2	36.8
	低関与層		(514)	5.3	45.3	40.1	9.3	50.6	49.4

(6)新聞広告

(全体)

➤新聞広告を見た人が理解や関心が『深まった』は 72.3%（「非常に深まった 13.4%」＋「まあ深まった 58.9%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『深まった』は、女性（77.8%）が男性（67.8%）より 10P 多い。

(年代別)

➤『深まった』は、20～60 歳代は 70%前後だが、10・70 歳代は 77%強に増加する。

(関与度別)

➤『深まった』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 21P であった。

		(n)	非常に深まった	まあ深まった	あまり深まらなかった	全く深まらなかった	深まった	か 深 ま ら な
全体		(2113)	13.4	58.9	24.5	3.2	72.3	27.7
性別	男性	(1163)	11.6	56.2	28.2	4.0	67.8	32.2
	女性	(950)	15.6	62.2	19.9	2.3	77.8	22.2
年代	10～19歳	(90)	27.8	50.0	22.2		77.8	22.2
	20代	(188)	18.1	49.5	27.7	4.8	67.6	32.4
	30代	(225)	15.1	52.0	28.0	4.9	67.1	32.9
	40代	(253)	15.4	57.7	22.5	4.3	73.1	26.9
	50代	(281)	11.7	59.4	24.9	3.9	71.2	28.8
	60代	(588)	9.5	61.7	26.7	2.0	71.3	28.7
	70代	(488)	12.7	64.3	20.1	2.9	77.0	23.0
関与度	高関与層	(804)	20.6	59.1	17.7	2.6	79.7	20.3
	中間層	(783)	10.1	63.5	23.9	2.6	73.6	26.4
	低関与層	(526)	7.2	51.9	35.7	5.1	59.1	40.9

(7)地域情報誌

(全体)

➤地域情報誌掲載広告を見た人が理解や関心が『深まった』は 75.3%（「非常に深まった 16.9%」＋「まあ深まった 58.5%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『深まった』は、女性（77.7%）が男性（72.6%）より 5P 多い。

(年代別)

➤『深まった』は、10 歳代（70.1%）が最も少なく、20～60 歳代では 75%前後に増加し、さらに 70 歳代では 80.0%になり最も多い。

(関与度別)

➤『深まった』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 17P であった。

(エリア別)

➤以下のエリア間では『深まった』に 10P 以上の差が発生した。

・中国地方 80.0%、北海道地方 78.8%、九州・沖縄地方 78.2%＞四国地方 66.7%

		(n)	非常に深まった	まあ深まった	あまり深まらなかった	全く深まらなかった	深 ま っ た	か っ た ま ら な
全体		(1614)	16.9	58.5	22.1	2.5	75.3	24.7
性別	男性	(753)	16.5	56.2	24.6	2.8	72.6	27.4
	女性	(861)	17.2	60.5	20.0	2.3	77.7	22.3
年代	10～19歳	(77)	27.3	42.9	26.0	3.9	70.1	29.9
	20代	(140)	25.0	49.3	23.6	2.1	74.3	25.7
	30代	(182)	14.3	58.8	23.1	3.8	73.1	26.9
	40代	(221)	18.6	58.8	19.5	3.2	77.4	22.6
	50代	(199)	15.6	55.8	26.1	2.5	71.4	28.6
	60代	(435)	14.5	60.0	23.2	2.3	74.5	25.5
	70代	(360)	15.3	64.7	18.3		80.0	20.0
関与度	高関与層	(642)	26.6	53.3	17.9	2.2	79.9	20.1
	中関与層	(607)	12.5	65.2	20.6		77.8	22.2
	低関与層	(365)	6.8	56.4	32.1	4.7	63.3	36.7

(8)スポーツ組織と連携協力した人権啓発活動地域情報誌

(全体)

➤スポーツ組織と連携協力した人権啓発活動を見た人が理解や関心が『深まった』は 78.2%（「非常に深まった 23.5%」＋「まあ深まった 54.6%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『深まった』は、男性（80.1%）が女性（74.9%）より 5P 多い。

(年代別)

➤『深まった』は、20 歳代（74.7%）が最も少なく、10 歳代（83.3%）が最も多く、30 歳代以上では 80%前後であった。

(関与度別)

➤『深まった』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 12P であった。

		(n)	非常に深まった	まあ深まった	あまり深まらなかった	全く深まらなかった	深 ま っ た	か 深 ま ら な か っ た
全体		(586)	23.5	54.6	19.1	2.7	78.2	21.8
性別	男性	(371)	24.5	55.5	17.5	2.4	80.1	19.9
	女性	(215)	21.9	53.0	21.9	3.3	74.9	25.1
年代	10～19歳	(42)	26.2	57.1	16.7		83.3	16.7
	20代	(83)	33.7	41.0	20.5	4.8	74.7	25.3
	30代	(141)	21.3	56.0	21.3		77.3	22.7
	40代	(113)	20.4	56.6	20.4	2.7	77.0	23.0
	50代	(79)	15.2	65.8	15.2	3.8	81.0	19.0
	60代	(75)	24.0	54.7	18.7	2.7	78.7	21.3
	70代	(53)	30.2	49.1	17.0	3.8	79.2	20.8
関与度	高関与層	(246)	34.6	46.3	17.1	2.0	80.9	19.1
	中間層	(178)	18.0	65.2	15.7		83.1	16.9
	低関与層	(162)	13.0	55.6	25.9	5.6	68.5	31.5

(9)人権フェスティバル

(全体)

➤人権フェスティバルに参加した人が理解や関心が『深まった』は 74.6%（「非常に深まった 23.0%」＋「まあ深まった 51.6%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『深まった』は、女性（77.2%）が男性（71.9%）より 5P 多い。

(年代別)

➤『深まった』は、20～60 歳代は 70%前後だが、10・70 歳代では 82%前後に増加する。

(関与度別)

➤『深まった』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 21P であった。

		(n)	非常に深まった	まあ深まった	あまり深まらなかった	全く深まらなかった	深 ま っ た	か 深 ま ら な か っ た
全体		(1366)	23.0	51.6	20.2	5.2	74.6	25.4
性別	男性	(661)	21.9	49.9	21.6	6.5	71.9	28.1
	女性	(705)	24.0	53.2	18.9	4.0	77.2	22.8
年代	10～19歳	(82)	29.3	52.4	12.2	6.1	81.7	18.3
	20代	(156)	28.8	44.2	23.1	3.8	73.1	26.9
	30代	(186)	22.6	48.9	20.4	8.1	71.5	28.5
	40代	(224)	19.6	48.2	25.4	6.7	67.9	32.1
	50代	(199)	21.6	53.3	21.1	4.0	74.9	25.1
	60代	(308)	20.5	54.5	19.8	5.2	75.0	25.0
	70代	(211)	25.1	56.9	15.2	2.8	82.0	18.0
関与度	高関与層	(601)	35.6	45.9	13.6	4.8	81.5	18.5
	中間層	(457)	15.8	59.5	21.4	3.3	75.3	24.7
	低関与層	(308)	9.1	51.0	31.2	8.8	60.1	39.9

(10)人権の花運動

(全体)

➤人権の花運動に参加した人が理解や関心が『深まった』は 72.7%（「非常に深まった 24.8%」＋「まあ深まった 47.9%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『深まった』は、男女いずれも 73%前後であった。

(年代別)

➤『深まった』は、30 歳代（66.7%）が最も少なく、これより年代が上がる下がるにつれて概ね増加し、70 歳代（80.7%）が最も多い。

(関与度別)

➤『深まった』は関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層と低関与層の差は 18P であった。

		(n)	非常に深まった	まあ深まった	あまり深まらなかった	全く深まらなかった	深 ま っ た	か ま ら な い
全体		(568)	24.8	47.9	23.9	3.3	72.7	27.3
性別	男性	(275)	23.3	49.1	22.9	4.7	72.4	27.6
	女性	(293)	26.3	46.8	24.9	2.0	73.0	27.0
年代	10～19歳	(43)	34.9	37.2	20.9	7.0	72.1	27.9
	20代	(64)	31.3	37.5	29.7		68.8	31.3
	30代	(69)	24.6	42.0	29.0	4.3	66.7	33.3
	40代	(73)	26.0	46.6	23.3	4.1	72.6	27.4
	50代	(86)	16.3	50.0	26.7	7.0	66.3	33.7
	60代	(119)	24.4	51.3	23.5		75.6	24.4
	70代	(114)	23.7	57.0	17.5		80.7	19.3
関与度	高関与層	(266)	37.2	41.7	18.0	3.0	78.9	21.1
	中関与層	(166)	15.1	57.2	25.3	2.4	72.3	27.7
	低関与層	(136)	12.5	48.5	33.8	5.1	61.0	39.0

(11)その他

(全体)

➤その他の人権啓発運動によって理解や関心が『深まった』は 76.0%（「非常に深まった 33.3%」＋「まあ深まった 42.7%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『深まった』は、女性（85.0%）が男性（65.7%）より 19P 多い。

(年代別)

➤回答者が 30 名未満のため言及しない。

(関与度別)

➤回答者が 30 名未満のため言及しない。

		(n)	非常に深まった	まあ深まった	あまり深まらなかった	全く深まらなかった	深まった	か深まった な
全体		(75)	33.3	42.7	17.3	6.7	76.0	24.0
性別	男性	(35)	31.4	34.3	25.7	8.6	65.7	34.3
	女性	(40)	35.0	50.0	10.0	5.0	85.0	15.0
年代	10～19歳	(7)	42.9	57.1			100.0	0.0
	20代	(3)	66.7	33.3			66.7	33.3
	30代	(11)	45.5	45.5	9.1		90.9	9.1
	40代	(7)	42.9	28.6	14.3	14.3	71.4	28.6
	50代	(7)	14.3	71.4	14.3		85.7	14.3
	60代	(20)	10.0	55.0	30.0	5.0	65.0	35.0
	70代	(20)	45.0	25.0	25.0	5.0	70.0	30.0
関与度	高関与層	(26)	50.0	38.5	7.7	3.8	88.5	11.5
	中間与層	(29)	31.0	44.8	20.7	3.4	75.9	24.1
	低関与層	(20)	15.0	45.0	25.0	15.0	60.0	40.0

13 啓発物品の使用意向

Q35 保険会社・銀行等が配布する無償物品の使用実態 (SA)

(Q35 保険会社や銀行、スーパーなどで配布される無償の物品を普段使用していますか。物品ごとにそれぞれお答えください。 ※配布する企業のロゴなどが入っている物品のことです。)

(1) ノート・メモ帳

(全体)

➤ ノート・メモ帳については、「使用している」は 48.1%であった。

(性別)

➤ 「使用している」は、女性 (55.5%) が男性 (40.5%) より 15P 多い。

(年代別)

➤ 「使用している」は、10 歳代 (41.2%) が最も少なく、年代が上がるにつれて多くなり、60 歳代 (54.2%) が最も多い。

(関与度別)

➤ 「使用している」は、関与度が高くなるにつれて多くなる。

			使用している	捨てはしないが、使用はしていない	受け取っても、捨ててしまう	受け取らないようにしている
全体		(n)				
		(18000)	48.1	22.0	5.2	24.7
性別	男性	(8921)	40.5	23.9	6.3	29.2
	女性	(9079)	55.5	20.2	4.1	20.2
年代	10～19歳	(1069)	41.2	26.8	8.6	23.5
	20代	(2293)	41.9	24.8	9.3	24.1
	30代	(2871)	46.0	21.6	6.1	26.3
	40代	(3269)	47.3	20.6	4.7	27.3
	50代	(2755)	48.6	21.6	4.3	25.5
	60代	(3551)	54.2	20.6	3.1	22.2
	70代	(2192)	51.4	22.3	3.4	22.9
関与度	高関与層	(3133)	58.6	22.3	4.6	14.5
	中間関与層	(4652)	54.5	24.1	4.3	17.2
	低関与層	(10215)	41.9	21.0	5.8	31.2

(2) ミニカレンダー、卓上カレンダー

(全体)

➤ ミニカレンダー・卓上カレンダーについては、「使用している」は 40.1%であった。

(性別)

➤ 「使用している」は、女性 (43.7%) が男性 (36.4%) より 7P 多い。

(年代別)

- 「使用している」は、10 歳代（31.5%）が最も少なく、年代が上がるにつれて多くなり、60 歳代（44.7%）が最も多い。

(関与度別)

- 「使用している」は、関与度が高くなるにつれて多くなる。

		(n)	使用している	捨てはしないが、使用はしていない	受け取っても、捨ててしまう	受け取らないようにしている
全体		(18000)	40.1	21.9	9.7	28.3
性別	男性	(8921)	36.4	22.9	9.2	31.4
	女性	(9079)	43.7	21.0	10.1	25.2
年代	10～19歳	(1069)	31.5	29.4	12.4	26.7
	20代	(2293)	34.7	23.6	14.2	27.5
	30代	(2871)	37.3	21.1	12.8	28.8
	40代	(3269)	40.5	18.5	9.8	31.2
	50代	(2755)	43.0	20.1	8.6	28.3
	60代	(3551)	44.7	22.9	6.3	26.1
	70代	(2192)	41.8	23.6	6.3	28.3
関与度	高関与層	(3133)	48.8	23.7	9.2	18.3
	中関与層	(4652)	45.1	25.3	8.7	20.9
	低関与層	(10215)	35.1	19.9	10.3	34.7

(3)うちわ

(全体)

- うちわについては、「使用している」は 35.0%であった。

(性別)

- 「使用している」は、女性（36.6%）が男性（33.3%）よりやや多い。

(年代別)

- 「使用している」は 20 歳代（31.7%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（38.5%）が最も多い。

(関与度別)

- 「使用している」は、関与度が高くなるにつれて多くなる。

		(n)	使用している	捨てはしないが、使用はしていない	受け取っても、捨ててしまう	受け取らないようにしている
全体		(18000)	35.0	23.7	11.1	30.3
性別	男性	(8921)	33.3	23.5	11.1	32.1
	女性	(9079)	36.6	23.9	11.1	28.4
年代	10～19歳	(1069)	33.5	26.9	14.6	25.0
	20代	(2293)	31.7	23.6	15.9	28.7
	30代	(2871)	35.0	19.9	14.1	31.0
	40代	(3269)	34.1	19.8	12.2	34.0
	50代	(2755)	34.5	23.7	10.5	31.3
	60代	(3551)	36.5	28.3	6.9	28.2
	70代	(2192)	38.5	25.4	6.3	29.9
関与度	高関与層	(3133)	42.9	25.4	11.5	20.2
	中関与層	(4652)	40.4	26.1	10.5	23.0
	低関与層	(10215)	30.1	22.1	11.2	36.6

(4)携帯ストラップ、携帯電話クリーナー

(全体)

➤携帯ストラップ・携帯電話クリーナーについては、「使用している」は 20.4%であった。

(性別)

➤「使用している」は、女性（21.1%）が男性（19.6%）より若干多い。

(年代別)

➤「使用している」は、20 歳代（13.0%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（27.5%）が最も多い。

(関与度別)

➤「使用している」は、関与度が高くなるにつれて多くなる。

		(n)	使用している	捨てはしないが、使用はしていない	受け取っても、捨ててしまう	受け取らないようにしている
全体		(18000)	20.4	31.9	12.9	34.8
性別	男性	(8921)	19.6	31.7	11.6	37.1
	女性	(9079)	21.1	32.1	14.2	32.6
年代	10～19歳	(1069)	18.9	34.1	17.2	29.7
	20代	(2293)	13.0	29.1	21.8	36.1
	30代	(2871)	14.9	29.5	18.7	37.0
	40代	(3269)	18.0	30.8	12.8	38.3
	50代	(2755)	21.5	33.6	10.2	34.8
	60代	(3551)	27.1	34.5	7.3	31.1
	70代	(2192)	27.5	32.0	6.6	33.9
関与度	高関与層	(3133)	27.2	34.2	12.8	25.8
	中間層	(4652)	21.8	36.4	13.4	28.3
	低関与層	(10215)	17.7	29.1	12.7	40.5

(5)クリアファイル

(全体)

➤クリアファイルについては、「使用している」は 49.2%であった。

(性別)

➤「使用している」は、女性（54.0%）が男性（44.3%）より 10P 多い。

(年代別)

➤「使用している」は、20 歳代（43.1%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、60 歳代（56.2%）が最も多い。

(関与度別)

➤「使用している」は、関与度が高くなるにつれて多くなる。

		(n)	使用している	捨てはしないが、使用はしていない	受け取っても、捨ててしまう	受け取らないようにしている
全体		(18000)	49.2	19.8	6.0	24.9
性別	男性	(8921)	44.3	20.4	6.6	28.6
	女性	(9079)	54.0	19.3	5.4	21.3
年代	10～19歳	(1069)	47.3	22.3	8.3	22.1
	20代	(2293)	43.1	21.6	10.0	25.3
	30代	(2871)	44.2	21.5	7.9	26.3
	40代	(3269)	45.9	19.4	6.2	28.6
	50代	(2755)	52.3	18.7	4.8	24.2
	60代	(3551)	56.2	18.7	3.4	21.7
	70代	(2192)	52.8	18.7	3.9	24.6
関与度	高関与層	(3133)	60.2	19.9	6.0	13.9
	中間与層	(4652)	56.7	21.1	5.3	16.9
	低関与層	(10215)	42.4	19.3	6.4	31.9

(6)鉛筆・シャーペン・ボールペン

(全体)

➤鉛筆・シャーペン・ボールペンについては、「使用している」じゃ60.1%であった。

(性別)

➤「使用している」は、女性（66.9%）が男性（53.2%）より14P多い。

(年代別)

➤「使用している」は、20歳代（52.4%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、60歳代（67.1%）が最も多い。

(関与度別)

➤「使用している」は、関与度が高くなるにつれて多くなる。

		(n)	使用している	捨てはしないが、使用はしていない	受け取っても、捨ててしまう	受け取らないようにしている
全体		(18000)	60.1	14.5	3.8	21.6
性別	男性	(8921)	53.2	16.7	4.7	25.5
	女性	(9079)	66.9	12.5	2.8	17.8
年代	10～19歳	(1069)	52.7	20.4	6.3	20.7
	20代	(2293)	52.4	17.5	6.8	23.3
	30代	(2871)	57.0	15.3	4.8	23.0
	40代	(3269)	57.9	13.6	3.7	24.7
	50代	(2755)	61.2	13.8	3.1	22.0
	60代	(3551)	67.1	12.4	2.0	18.5
	70代	(2192)	66.4	13.5	1.0	18.3
関与度	高関与層	(3133)	69.4	15.4	3.9	11.2
	中間与層	(4652)	68.4	15.4	2.8	13.5
	低関与層	(10215)	53.5	13.9	4.1	28.5

(7)ハンカチ・タオル

(全体)

➤ハンカチ・タオルについては、「使用している」は47.1%であった。

(性別)

➤「使用している」は、女性(51.2%)が男性(42.8%)より8P多い。

(年代別)

➤「使用している」は、10歳代(37.0%)が最も少なく、年代が上がるにつれて多くなり、60歳代(56.1%)が最も多い。

(関与度別)

➤「使用している」は、関与度が高くなるにつれて多くなる。

		(n)	使用している	捨てはしないが、使用はしていない	受け取っても、捨ててしまう	受け取らないようにしている
全体		(18000)	47.1	22.1	5.0	25.8
性別	男性	(8921)	42.8	22.1	5.5	29.6
	女性	(9079)	51.2	22.1	4.5	22.1
年代	10～19歳	(1069)	37.0	28.9	8.8	25.4
	20代	(2293)	37.1	25.3	8.7	28.9
	30代	(2871)	41.8	22.8	6.7	28.7
	40代	(3269)	44.4	21.9	5.0	28.7
	50代	(2755)	49.5	21.2	3.9	25.4
	60代	(3551)	56.1	20.2	2.7	21.0
	70代	(2192)	55.5	19.1	2.4	23.0
関与度	高関与層	(3133)	56.0	23.0	4.9	16.0
	中間層	(4652)	52.9	24.3	4.4	18.4
	低関与層	(10215)	41.7	20.8	5.3	32.2

(8)エコバッグ・紙袋

(全体)

➤エコバッグ・紙袋については、「使用している」は42.7%であった。

(性別)

➤「使用している」は、女性(48.2%)が男性(37.2%)より11P多い。

(年代別)

➤「使用している」は、20歳代(32.1%)が最も少なく、年代が上がるにつれて多くなり、70歳代(52.2%)が最も多い。

(関与度別)

➤「使用している」は、関与度が高くなるにつれて多くなる。

		(n)	使用している	捨てはしないが、使用はしていない	受け取っても、捨ててしまう	受け取らないようにしている
全体	男性	(18000)	42.7	23.4	7.5	26.4
	女性	(8921)	37.2	24.4	8.2	30.1
年代	10～19歳	(9079)	48.2	22.4	6.8	22.7
	20代	(1069)	35.0	29.5	10.8	24.8
	30代	(2293)	32.1	25.5	12.9	29.5
	40代	(2871)	36.4	23.8	10.8	29.0
	50代	(3269)	40.6	22.4	7.3	29.6
	60代	(2755)	44.3	24.0	5.7	26.0
	70代	(3551)	52.0	22.0	4.1	21.9
	70代	(2192)	52.2	20.6	4.0	23.2
関与度	高関与層	(3133)	50.8	25.1	7.2	16.9
	中間層	(4652)	47.6	26.6	7.6	18.2
	低関与層	(10215)	38.1	21.4	7.5	33.0

Q36 法務局・地方法務局が配布する啓発物品の使用意向(SA)

(Q36 法務局・地方法務局では、人権啓発活動を実施する際、人権イメージキャラクターや相談窓口の案内の入った以下のような啓発物品を配布しています。配布された場合使用したいと思いますか。)

(1)ノート・メモ帳

(全体)

➤ノート・メモ帳については、「使用すると思う」は56.3%であった。

(性別)

➤「使用すると思う」は、女性(63.7%)が男性(48.8%)より15P多い。

(年代別)

➤「使用すると思う」は、10歳代(49.0%)が最も少なく、年代が上がるにつれて多くなり、70歳代(63.7%)が最も多い。

(関与度別)

➤「使用すると思う」は、関与度が高くなるにつれて多くなる。

		(n)	使用すると思う	捨てはしないが、使用はしないと思う	受け取っても、捨ててしまうと思う	受け取らないようにすると思う
全体		(18000)	56.3	15.8	4.7	23.2
性別	男性	(8921)	48.8	18.0	5.7	27.5
	女性	(9079)	63.7	13.7	3.7	19.0
年代	10～19歳	(1069)	49.0	21.4	8.9	20.7
	20代	(2293)	50.0	18.9	8.0	23.1
	30代	(2871)	53.4	15.4	6.1	25.0
	40代	(3269)	53.8	14.6	4.3	27.2
	50代	(2755)	56.8	15.1	3.8	24.4
	60代	(3551)	62.5	15.0	2.3	20.2
	70代	(2192)	63.7	14.2	2.7	19.4
関与度	高関与層	(3133)	66.9	16.0	4.5	12.6
	中間層	(4652)	64.7	16.5	3.8	15.0
	低関与層	(10215)	49.3	15.4	5.1	30.2

(2)ミニカレンダー、卓上カレンダー

(全体)

➤ミニカレンダー・卓上カレンダーについては、「使用すると思う」は 40.4%であった。

(性別)

➤「使用すると思う」は、女性（43.2%）が男性（37.7%）より 6P 多い。

(年代別)

➤「使用すると思う」は、10 歳代（36.4%）が最も少なく、年代が上がるにつれて多くなり、70 歳代（45.7%）が最も多い。

(関与度別)

➤「使用すると思う」は、関与度が高くなるにつれて多くなる。

		(n)	使用すると思う	捨てはしないが、使用はしないと思う	受け取っても、捨ててしまうと思う	受け取らないようにすると思う
全体		(18000)	40.4	20.9	9.2	29.5
性別	男性	(8921)	37.7	21.5	9.2	31.6
	女性	(9079)	43.2	20.3	9.1	27.4
年代	10～19歳	(1069)	36.4	25.3	13.4	25.0
	20代	(2293)	36.9	21.4	13.1	28.7
	30代	(2871)	36.1	20.0	12.2	31.8
	40代	(3269)	38.5	18.7	9.2	33.6
	50代	(2755)	41.8	19.6	7.9	30.7
	60代	(3551)	45.0	22.2	6.0	26.8
	70代	(2192)	45.7	22.0	5.9	26.4
関与度	高関与層	(3133)	50.3	21.4	9.0	19.3
	中間層	(4652)	45.4	23.3	8.6	22.7
	低関与層	(10215)	35.1	19.6	9.5	35.8

(3)うちわ

(全体)

➤うちわについては、「使用すると思う」は 33.7%であった。

(性別)

➤「使用すると思う」は、女性 (34.9%) が男性 (32.4%) よりやや多い。

(年代別)

➤「使用すると思う」は、20 歳代 (30.9%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (39.1%) が最も多い。

(関与度別)

➤「使用すると思う」は、関与度が高くなるにつれて多くなる。

		(n)	使用すると思う	捨てはしないが、使用はしないと思う	受け取っても、捨ててしまおうと思う	受け取らないようにすると思う
全体		(18000)	33.7	22.4	10.9	33.0
性別	男性	(8921)	32.4	22.8	11.0	33.8
	女性	(9079)	34.9	22.1	10.8	32.3
年代	10～19歳	(1069)	34.1	25.7	14.0	26.2
	20代	(2293)	30.9	21.8	15.7	31.6
	30代	(2871)	31.2	19.6	14.9	34.3
	40代	(3269)	31.8	19.9	10.4	37.9
	50代	(2755)	32.9	22.5	9.7	34.8
	60代	(3551)	36.2	25.9	7.1	30.8
	70代	(2192)	39.1	23.4	7.3	30.2
関与度	高関与層	(3133)	42.3	23.6	11.3	22.8
	中関与層	(4652)	38.0	25.5	10.4	26.1
	低関与層	(10215)	29.0	20.7	11.0	39.3

(4)携帯ストラップ、携帯電話クリーナー

(全体)

➤携帯ストラップ・携帯電話クリーナーについては、「使用すると思う」は 25.7%であった。

(性別)

➤「使用すると思う」は、男女いずれも 26%前後であった。

(年代別)

➤「使用すると思う」は、20 歳代 (16.8%) が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代 (36.0%) が最も多い。

(関与度別)

➤「使用すると思う」は、関与度が高くなるにつれて多くなる。

			使用すると思う	捨てはしないが、使用はしないと思う	受け取っても、捨ててしまうと思う	受け取らないように思う
(n)						
全体		(18000)	25.7	27.8	11.5	35.1
性別	男性	(8921)	25.3	27.8	10.9	36.1
	女性	(9079)	26.0	27.8	12.1	34.1
年代	10～19歳	(1069)	24.6	32.1	14.0	29.3
	20代	(2293)	16.8	27.2	20.0	36.0
	30代	(2871)	19.2	24.9	17.1	38.8
	40代	(3269)	21.6	27.4	11.0	40.0
	50代	(2755)	26.9	28.6	9.3	35.2
	60代	(3551)	33.3	29.5	6.4	30.8
	70代	(2192)	36.0	26.7	6.0	31.3
関与度	高関与層	(3133)	32.7	29.3	11.4	26.6
	中関与層	(4652)	28.4	31.4	11.6	28.6
	低関与層	(10215)	22.2	25.6	11.5	40.6

(5)クリアファイル

(全体)

➤クリアファイルについては、「使用すると思う」は50.5%であった。

(性別)

➤「使用すると思う」は、女性（55.0%）が男性（46.0%）より9P多い。

(年代別)

➤「使用すると思う」は、30歳代（44.1%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70歳代（58.6%）が最も多い。

(関与度別)

➤「使用すると思う」は、関与度が高くなるにつれて多くなる。

			使用すると思う	捨てはしないが、使用はしないと思う	受け取っても、捨ててしまうと思う	受け取らないように思う
(n)						
全体		(18000)	50.5	17.3	6.2	26.0
性別	男性	(8921)	46.0	18.1	6.7	29.2
	女性	(9079)	55.0	16.4	5.6	22.9
年代	10～19歳	(1069)	49.1	20.8	8.6	21.5
	20代	(2293)	44.5	18.8	10.5	26.2
	30代	(2871)	44.1	18.1	8.2	29.5
	40代	(3269)	46.1	16.7	6.5	30.7
	50代	(2755)	52.5	16.8	4.6	26.0
	60代	(3551)	57.6	16.2	3.4	22.8
	70代	(2192)	58.6	15.8	3.6	22.0
関与度	高関与層	(3133)	62.8	16.5	6.2	14.5
	中関与層	(4652)	58.6	18.3	5.3	17.8
	低関与層	(10215)	43.1	17.0	6.5	33.3

(6)鉛筆・シャープペン・ボールペン

(全体)

➤鉛筆・シャープペン・ボールペンについては、「使用すると思う」は 62.2%であった。

(性別)

➤「使用すると思う」は、女性（68.3%）が男性（55.9%）より 12P 多い。

(年代別)

➤「使用すると思う」は、20 歳代（54.1%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（71.5%）が最も多い。

(関与度別)

➤「使用すると思う」は、関与度が高くなるにつれて多くなる。

		(n)	使用すると思う	捨てはしないが、使用はしないと思う	受け取っても、捨ててしまうと思う	受け取らないようにすると思う
全体		(18000)	62.2	12.1	4.1	21.7
性別	男性	(8921)	55.9	13.8	4.9	25.4
	女性	(9079)	68.3	10.3	3.3	18.1
年代	10～19歳	(1069)	55.1	18.0	6.8	20.1
	20代	(2293)	54.1	15.3	7.7	22.9
	30代	(2871)	58.3	12.8	5.2	23.7
	40代	(3269)	58.7	11.8	3.9	25.6
	50代	(2755)	62.8	11.1	3.0	23.1
	60代	(3551)	69.4	9.9	2.3	18.3
	70代	(2192)	71.5	9.9	2.0	16.7
関与度	高関与層	(3133)	72.4	12.2	4.0	11.4
	中関与層	(4652)	71.5	12.0	3.2	13.3
	低関与層	(10215)	54.8	12.0	4.5	28.7

(7)ハンカチ・タオル

(全体)

➤ハンカチ・タオルについては、「使用すると思う」は 48.2%であった。

(性別)

➤「使用すると思う」は、女性（51.0%）が男性（45.4%）より 6P 多い。

(年代別)

➤「使用すると思う」は、20 歳代（38.7%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70 歳代（59.6%）が最も多い。

(関与度別)

➤「使用すると思う」は、関与度が高くなるにつれて多くなる。

			(n)	使用すると思う	捨てはしないが、使用はしないと思う	受け取っても、捨ててしまおう	受け取らないように思う
全体			(18000)	48.2	20.1	5.5	26.1
性別	男性		(8921)	45.4	19.8	6.3	28.5
	女性		(9079)	51.0	20.5	4.8	23.7
年代	10～19歳		(1069)	40.7	27.3	8.5	23.5
	20代		(2293)	38.7	23.4	9.9	28.0
	30代		(2871)	41.7	20.8	8.0	29.5
	40代		(3269)	44.5	19.8	5.3	30.4
	50代		(2755)	50.6	19.0	3.9	26.5
	60代		(3551)	56.5	18.7	2.9	21.9
	70代		(2192)	59.6	16.7	2.9	20.8
関与度	高関与層		(3133)	58.0	20.0	5.5	16.5
	中関与層		(4652)	54.5	22.6	4.6	18.3
	低関与層		(10215)	42.4	19.1	5.9	32.6

(8)エコバッグ・紙袋

(全体)

➤エコバッグ・紙袋については、「使用すると思う」は43.3%であった。

(性別)

➤「使用すると思う」は、女性（47.6%）が男性（38.9%）より9P多い。

(年代別)

➤「使用すると思う」は、20歳代（33.5%）が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70歳代（55.2%）が最も多い。

(関与度別)

➤「使用すると思う」は、関与度が高くなるにつれて多くなる。

			(n)	使用すると思う	捨てはしないが、使用はしないと思う	受け取っても、捨ててしまおう	受け取らないように思う
全体			(18000)	43.3	21.8	7.3	27.6
性別	男性		(8921)	38.9	22.6	8.1	30.5
	女性		(9079)	47.6	20.9	6.6	24.8
年代	10～19歳		(1069)	36.1	29.2	10.4	24.3
	20代		(2293)	33.5	24.5	12.7	29.3
	30代		(2871)	35.3	22.4	11.2	31.1
	40代		(3269)	40.0	20.6	6.9	32.4
	50代		(2755)	44.9	21.7	5.4	28.0
	60代		(3551)	52.7	20.2	3.8	23.3
	70代		(2192)	55.2	18.6	4.0	22.3
関与度	高関与層		(3133)	53.0	22.1	7.2	17.7
	中関与層		(4652)	48.8	24.7	6.9	19.6
	低関与層		(10215)	37.8	20.3	7.6	34.3

14 効果的と思う啓発活動

Q37 人権啓発推進に効果的と思う広報活動(MA)

(Q37 あなたは、人権啓発を推進するためには、国民に対してどのような方法による啓発広報活動が効果的だと思いますか。)

(全体)

➤人権啓発を推進するために効果的な広報活動としては「1位 テレビ・ラジオ等を利用した啓発活動」が 58.1%を占めてやや突出して多いが、回答が多い順に以下であった。

1位	テレビ・ラジオを利用した啓発活動	: 58.1%
2位	インターネット・E-mailを利用した啓発活動	: 30.9%
3位	新聞・雑誌を利用した啓発活動	: 29.7%
4位	広報誌・パンフレット・ポスター	: 26.7%
5位	交通広告	: 24.3%
6位	講演会・シンポジウム・研修会等	: 23.5%
7位	自由な意見の交換ができる会合	: 18.4%
8位	映画・ビデオを利用した啓発活動	: 17.7%
9位	高齢者・障害者疑似体験	: 13.6%
10位	高齢者・障害者等との交流会	: 13.4%
11位	展示会(資料、写真等)	: 13.2%
12位	ワークショップ	: 10.2%

(性別)

➤男女いずれも「テレビ・ラジオ等を利用した啓発活動」が最も多いが、その割合は女性(60.6%)が男性(55.5%)より 5P多い。

➤これ以外の啓発活動についての回答割合順位は男女で異なるが、男女で 5P以上の差がある項目としては以下がある。

(女性>男性)

- ・テレビ・ラジオ等を利用した啓発活動 : 6P(女性 60.6%>男性 55.5%)
- ・高齢者・障害者疑似体験 : 5P(女性 16.1%>男性 11.1%)

(年代別)

➤全ての年代で「テレビ・ラジオ等を利用した啓発活動」が最も多いが、その割合は 20歳代(51.3%)が最も少なく、年代が上がるにつれて多くなり、60歳代(65.2%)が最も多い。

➤これ以外の啓発活動についての回答割合順位は年代によって異なるが、10～50 歳代では回答割合に大きな差が見られない中で、以下の啓発活動については 60・70 歳代の回答割合が 10～50 歳代に比べて明確に多い。

- ・講演会・シンポジウム・研修会等
- ・展示会
- ・広報誌・パンフレット・ポスター
- ・テレビ・ラジオを利用した啓発活動
- ・新聞・雑誌を利用した啓発広報
- ・高齢者・障害者疑似体験
- ・高齢者・障害者等との交流会

(関与度別)

➤関与度に関わりなく「テレビ・ラジオ等を利用した啓発活動」が最も多いが(36～64%)、その割合は関与度が高まるにつれて多くなる。

➤ほとんどの啓発活動について、関与度が高まるにつれて選択率は高まる。

➤ほとんどの啓発活動について高関与層の回答割合が最も多く、以下の項目では低関与層と 20P 前後の差がついた。

- ・広報誌・パンフレット・ポスター : 22P 差(高関与層 40.7%>低関与層 18.9%)
- ・新聞・雑誌を利用した啓発活動 : 21P 差(高関与層 43.1%>低関与層 22.0%)
- ・インターネット・E-mail を利用した啓発活動: 21P 差(高関与層 45.0%>低関与層 23.8%)
- ・講演会・シンポジウム・研修会等 : 21P 差(高関与層 37.9%>低関与層 17.4%)
- ・交通広告 : 19P 差(高関与層 36.7%>低関与層 17.4%)

		(n)	等講演会、シンポジウム、研修会	展示会(資料、写真等)	広報誌、パンフレット、ポスター	テレビ、ラジオを利用した啓発	映画、ビデオを利用した啓発	新聞、雑誌を利用した啓発	インターネット、Eメール等を利用した啓発	交通広告(電車、バス等の車内)	少人数のワークショップ(参加者による)	高齢者・障害者疑似体験	高齢者・障害者等との交流会	自由な意見の交換ができる会合	その他
全体		(18000)	23.5	13.2	26.7	58.1	17.7	29.7	30.9	24.3	10.2	13.6	13.4	18.4	4.4
性別	男性	(8921)	24.6	13.7	24.2	55.5	16.5	28.5	31.4	21.9	8.9	11.1	11.0	19.2	5.2
	女性	(9079)	22.4	12.6	29.1	60.6	18.7	30.9	30.5	26.7	11.5	16.1	15.8	17.7	3.5
年代	10～19歳	(1069)	23.0	12.2	25.2	51.3	20.9	22.8	28.3	18.4	9.9	10.9	9.8	16.4	4.0
	20代	(2293)	23.3	12.6	24.1	52.0	24.9	21.0	29.2	25.4	10.6	11.2	10.4	19.5	3.5
	30代	(2871)	21.7	11.9	21.5	54.5	19.7	22.4	33.3	24.9	11.1	11.4	11.0	17.1	4.4
	40代	(3269)	20.9	10.1	22.5	54.7	17.2	25.6	33.1	25.3	10.1	11.8	10.5	18.5	4.6
	50代	(2755)	22.8	12.5	23.7	59.5	17.4	30.1	32.1	24.2	11.0	13.4	13.0	17.7	4.9
	60代	(3551)	24.7	14.6	32.1	65.2	14.6	37.9	28.9	23.1	8.7	16.5	16.1	18.1	4.4
	70代	(2192)	29.1	19.2	38.0	64.4	11.8	44.0	29.6	26.0	10.2	18.8	22.0	21.4	4.4
関与度	高関与層	(3133)	37.9	25.6	40.7	64.6	27.8	43.1	45.0	36.7	19.9	23.2	23.9	23.3	3.5
	中関与層	(4652)	27.3	16.1	34.3	66.1	21.2	37.5	37.1	31.1	12.7	19.0	17.7	17.0	3.0
	低関与層	(10215)	17.4	8.0	18.9	52.5	12.9	22.0	23.8	17.4	6.1	8.3	8.2	17.6	5.3

15 人権侵害の発生状況認識、対応 等

Q38 あなたやあなたの身の回りで人権が侵害されていると感じること(SA)

(Q38 あなたやあなたの身の回りで、人権が侵害されていると感じることはありますか。)

(全体)

➤自身や身の回りで人権が侵害されていると感じることが『ある』は 30.6% (「大いにある 6.9%」 + 「少しはある 23.8%」。以下、同じ) であった。

(性別)

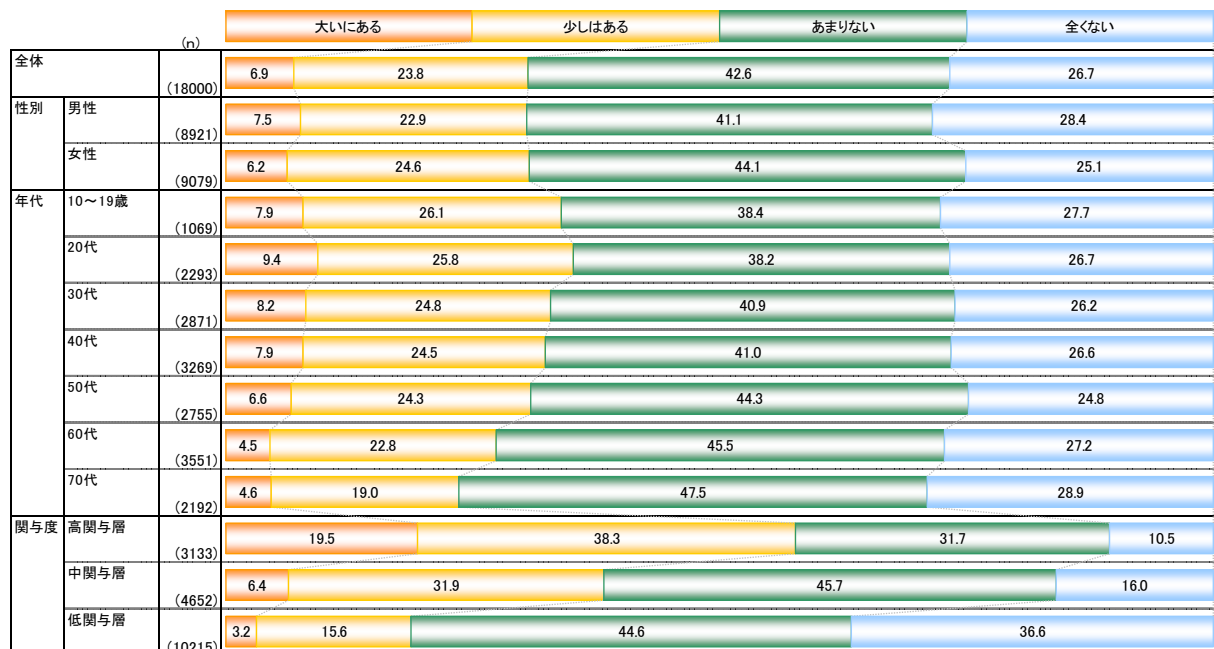
➤『ある』は男女いずれも 30%強であった。

(年代別)

➤『ある』は、20 歳代 (35.2%) が最も多く、年代が上がる下がるにつれて少なくなり、70 歳代 (23.6%) が最も少ない。

(関与度別)

➤『ある』は、低関与層では 18.8%だが、関与度が高まるにつれて多くなり、高関与層では 57.7%と半数を超えるようになる。



Q39 最も強く人権が侵害されていること(SA)

(Q 3 9 最も強く人権が侵害されていると感じたことは、どのような内容ですか)

(全体)

➤前問で「大いにある」「少しはある」「あまりない」とした回答者(73.3%)に、最も強く人権が侵害されていると感じたことを聞いたところ、回答は様々な分野にわたったが、なかでは「学校における人権侵害 23.6%」「職場における人権侵害 17.3%」が20%前後を占めて、他に比べて多くなった。

1 位	学校における人権侵害(いじめ、体罰など)	: 23.6%
2 位	職場における人権侵害(パワハラなど)	: 17.3%
3 位	女性に対する人権侵害(セクハラ、ストーカーなど)	: 10.9%
4 位	障害者に対する人権侵害(虐待、差別など)	: 10.9%
5 位	児童に対する人権侵害(虐待、ネグレクトなど)	: 8.4%
6 位	近隣住民間における人権侵害	: 7.7%
7 位	公務員による人権侵害(警察官、刑務官、一般公務員など)	: 5.5%
8 位	外国人に対する人権侵害	: 4.7%
9 位	高齢者に対する人権侵害(虐待など)	: 3.9%
10 位	同和に対する人権侵害(差別など)	: 3.5%

(性別)

- 男女で上位1~2位まで同順位であった。
- ほとんどの項目で男女差は小さいが、「女性に対する人権侵害」については男女差が8Pで大きい(女性14.7%>男性6.8%)

(年代別)

- ほとんどの年代で「学校における人権侵害」が最も多いが(21~43%)、40歳代では「職場での人権侵害」が23.4%で最も多い。
- 以下の項目では年代間で大きな差が見受けられた。
- ・学校における人権侵害 : 10歳代43.1%>20歳代以上21~24%
 - ・職場における人権侵害 : 20~50歳代21~23%>10・60・70歳代6~13%
 - ・高齢者に対する人権侵害 : 60・70歳代6%強>10~50歳代2%前後

(関与度別)

- 高・中関与層では「学校における人権侵害」が最も多いが(24%前後)、低関与層では「職場における人権侵害」が23.1%で最も多い。
- ほとんどの項目について高関与層が最も多いが、「職場における人権侵害」「近隣住民間における人権侵害」「同和に対する人権侵害」では低関与層が最も多い。

		(n)	近隣住民間における人権侵害	公務員などによる人権侵害	（学校における人権侵害）	（女性に対する人権侵害）	（児童に対する人権侵害）	（高齢者に対する人権侵害）	（障害者に対する人権侵害）	（同和に対する人権侵害）	（外国人に対する人権侵害）	（職場における人権侵害）	その他
全体		(13187)	7.7	5.5	23.6	10.9	8.4	3.9	10.9	3.5	4.7	17.3	3.6
性別	男性	(6384)	8.0	7.5	23.7	6.8	7.5	3.5	10.8	3.8	5.3	19.3	3.8
	女性	(6803)	7.5	3.6	23.5	14.7	9.2	4.3	11.0	3.2	4.2	15.5	3.4
年代	10～19歳	(773)	4.5	4.8	43.1	10.6	7.0	2.6	10.1	3.2	5.7	5.7	2.7
	20代	(1681)	6.8	4.8	24.1	14.8	6.5	1.8	9.0	2.5	5.5	20.5	3.7
	30代	(2119)	8.4	4.9	22.5	12.0	8.4	2.7	9.8	3.0	4.8	21.2	2.3
	40代	(2399)	7.5	4.7	20.9	11.0	8.0	2.7	10.9	2.9	4.5	23.4	3.5
	50代	(2072)	7.0	6.1	21.1	9.8	8.2	3.6	11.1	4.4	4.8	20.6	3.3
	60代	(2585)	8.0	6.1	23.0	10.1	10.0	6.2	11.8	3.8	4.1	12.9	4.0
	70代	(1558)	10.2	6.6	23.4	8.0	9.3	6.9	13.0	4.5	4.7	8.1	5.3
関与度	高関与層	(2803)	7.8	7.8	21.6	10.8	8.7	4.3	11.7	4.0	5.9	14.3	3.1
	中関与層	(3908)	7.0	5.2	23.8	12.2	9.0	4.1	11.6	3.6	4.4	16.1	3.0
	低関与層	(6476)	8.2	4.6	24.3	10.2	7.9	3.6	10.1	3.2	4.4	19.4	4.1

Q40 その後とった行動(SA)

（Q40 その後、どのような行動をとりましたか）

（全体）

➤ Q38で「大いにある」「少しはある」「あまりない」とした回答者（73.3%）に、その後とった行動を聞いたところ、「何もしなかった」が75.4%で3/4強を占めた。

➤取った行動としては「友人等の知り合いに相談した」が12.4%で最も多く、これ以外の行動についてはいずれも5%未満であった。

1位	何もしなかった	: 75.4%
2位	友人等の知り合いに相談した	: 12.4%
3位	自分で加害者と話し合い解決した	: 4.4%
4位	地方公共団体の相談窓口相談した	: 3.1%
5位	法務局の人権相談窓口相談した	: 1.8%
6位	弁護士に相談した	: 1.6%
7位	国（法務局以外）の相談窓口相談した	: 1.6%
8位	NPO法人等の民間団体の相談窓口相談した	: 1.6%

(性別)

➤男女で上位 1～4 位まで同順位であり、また、男女差も小さい。

(年代別)

➤全ての年代で上位 1～3 位まで同順位であった。

➤年代間の差は大きなものではないが、「友人等の知り合いに相談した」は 10・20 歳代（16%強）が 30 歳代以上（11～13%）に比べて多く、「何もしなかった」は 30 歳代以上（75%前後）が 10・20 歳代（72%前後）に比べてやや多い。

(関与度別)

➤全ての関与層で上位 1～3 位まで同順位であったが、取った行動については概ね関与度が高まるにつれて多くなる。

➤以下の項目では、高関与層と低関与層の差が大きい。

(高関与層＞低関与層)

・友人等の知り合いに相談した： 9P 差（高関与層 14.7%＞低関与層 5.6%）

(低関与層＞高関与層)

・何もしなかった： 16P 差（低関与層 86.8%＞高関与層 71.2%）

		(n)	に法 相務 談局 のた 人権 相 談窓 口	談国 窓へ 口法 相局 談以 し外 の相	口地 に方 相公 談共 した 体の 相 談窓	た体 N の P 相 O 談法 窓人 口等 にの 相民 談間 し団	談友 し人 た等 の知 り合 いに 相	弁 護士 に相 談した	い自 分決 し加 害者 と話 し合	何 もし な か った	そ の 他 :
全体		(13187)	1.8	1.6	3.1	1.6	12.4	1.6	4.4	75.4	3.7
性別	男性	(6384)	2.3	2.0	3.6	2.0	10.6	1.8	4.4	76.8	2.9
	女性	(6803)	1.3	1.2	2.6	1.2	14.0	1.5	4.3	74.1	4.5
年代	10～19歳	(773)	2.3	2.6	2.5	1.7	16.6	0.9	4.9	72.2	1.8
	20代	(1681)	2.6	2.6	3.4	2.8	16.7	1.8	5.3	71.6	2.6
	30代	(2119)	2.0	2.0	3.3	2.2	12.9	1.6	4.4	75.1	3.0
	40代	(2399)	1.6	1.5	2.6	1.3	10.9	1.6	4.2	76.9	4.2
	50代	(2072)	1.4	1.2	3.0	1.0	10.9	1.3	4.0	76.5	4.3
	60代	(2585)	1.2	0.9	2.7	1.0	10.9	1.6	4.1	76.9	4.5
	70代	(1558)	2.1	1.2	4.3	1.7	11.4	2.2	4.2	75.1	4.2
関与度	高関与層	(2803)	4.6	3.7	8.2	4.5	21.8	3.4	8.1	55.1	5.9
	中関与層	(3908)	1.3	1.1	2.5	0.9	15.1	1.6	4.9	73.2	4.0
	低関与層	(6476)	0.8	1.0	1.3	0.7	6.6	0.8	2.4	85.5	2.7

16 インターネット上の人権侵害の実態、相談状況 等

Q41 インターネット上での被害(SA)

(Q 4 1 あなたは、インターネット上で悪口を書かれたり、無段で写真や動画を掲載される被害に遭われたことがありますか)

(全体)

➤インターネット上で悪口を書かれたり、無段で写真や動画を掲載される被害にあったことについては、「ある」は 7.4%であった。

(性別)

➤「ある」は男女いずれも 7%強であった。

(年代別)

➤「ある」は 20 歳代が 17.7%で最も多く、次いで 10・30 歳代も 11%前後だが、これより年代が上がるにつれて少なくなり、70 歳代が 2.6%で最も少ない。

(関与度別)

➤「ある」は関与度が高まるにつれて多くなる（低関与層 4.4%→高関与層 16.8%）。

Q42 インターネット上での被害後の相談状況(SA)

(Q 4 2 あなたは、そのような被害に遭われたとき、国や地方公共団体の相談窓口にご相談しましたか)

(全体)

➤前問で「ある」とした回答者(7.4%)に国や地方公共団体の相談窓口へ相談したかを聞いたところ、「相談した」は15.6%であった。

(性別)

➤「相談した」は、男性(17.7%)が女性(13.5%)よりやや多い。

(年代別)

➤「相談した」は20～60歳代では15%前後だが、10歳代では20.2%に、70歳代では33.9%に増加する。

(関与度別)

➤「相談した」は関与度が高まるにつれて多くなる(低関与層6.0%→高関与層26.6%)。

(エリア別)

➤以下のエリア間で「相談した」に10P以上の差が発生した。

・近畿地方22.8%>北海道地方9.0%、関東甲信越地方12.8%

Q43 インターネット上での非被害者の被害時の相談意向(SA)

(Q43 あなたは、そのような被害に遭われたとき、国や地方公共団体の相談窓口にご相談しようと思いますか)

(全体)

➤ Q41で「(インターネット上での被害に遭ったことが)ない」とした回答者(92.6%)に、そのような被害に遭った際に国や地方公共団体の相談窓口へ相談しようと思うかを聞いたところ、『そう思う』は46.2%('そう思う'14.1%+「ややそう思う」32.2%)。以下、同じ)であった。

(性別)

➤ 『そう思う』は、女性(47.5%)が男性(44.9%)よりやや多い。

(年代別)

➤ 『そう思う』は、20歳代(34.4%)が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70歳代(58.0%)が最も多い。

(関与度別)

➤ 『そう思う』は関与度が高まるにつれて多くなる(低関与層9.3%→高関与層26.3%)。

		(n)	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	そう思う	いそう 思わな
全体		(16676)	14.1	32.2	34.7	19.1	46.2	53.8
性別	男性	(8247)	13.5	31.4	33.3	21.8	44.9	55.1
	女性	(8429)	14.6	32.9	36.0	16.5	47.5	52.5
年代	10～19歳	(945)	8.6	27.7	39.6	24.1	36.3	63.7
	20代	(1886)	8.7	25.7	36.9	28.7	34.4	65.6
	30代	(2589)	10.4	28.4	38.6	22.7	38.7	61.3
	40代	(3043)	11.9	31.9	36.2	20.0	43.8	56.2
	50代	(2628)	12.7	35.5	35.2	16.6	48.2	51.8
	60代	(3449)	18.9	35.5	30.9	14.7	54.4	45.6
	70代	(2136)	22.6	35.4	29.0	13.0	58.0	42.0
関与度	高関与層	(2607)	26.3	34.6	28.4	10.7	61.0	39.0
	中間関与層	(4305)	17.4	38.4	33.8	10.5	55.7	44.3
	低関与層	(9764)	9.3	28.8	36.7	25.2	38.1	61.9

Q44 法務局がインターネット上の人権問題の相談を受けていることの認知度(SA)

(Q44 法務局で、インターネット上の人権問題について、人権相談をお受けしていることを知っていますか)

(全体)

➤法務局がインターネット上の人権問題の相談を受けていることについては、『知っている』は36.5%（「知っている10.3%」＋「聞いたことがある気がする26.3%」。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『知っている』は、男性(39.1%)が女性(34.0%)より5P多い。

(年代別)

➤『知っている』は、40歳代(31.7%)が最も少なく、年代が上がる下がるにつれて多くなり、70歳代(44.8%)が最も多い。

(関与度別)

➤『知っている』は関与度が高まるにつれて多くなる(低関与層4.0%→高関与層27.6%)。

		(n)	知っている			聞いたことがある気がする			知らない			知っている	知らない
全体		(18000)	10.3	26.3	63.5							36.5	63.5
性別	男性	(8921)	11.1	28.0	60.9							39.1	60.9
	女性	(9079)	9.5	24.6	66.0							34.0	66.0
年代	10～19歳	(1069)	11.8	28.2	60.1							39.9	60.1
	20代	(2293)	10.7	29.1	60.2							39.8	60.2
	30代	(2871)	9.4	24.0	66.6							33.4	66.6
	40代	(3269)	9.2	22.5	68.3							31.7	68.3
	50代	(2755)	9.5	25.0	65.5							34.5	65.5
	60代	(3551)	9.8	27.1	63.1							36.9	63.1
	70代	(2192)	13.5	31.3	55.2							44.8	55.2
関与度	高関与層	(3133)	27.6	37.0	35.4							64.6	35.4
	中関与層	(4652)	12.3	36.3	51.4							48.6	51.4
	低関与層	(10215)	4.0	18.4	77.6							22.4	77.6

Q45 法務局の削除方法助言、プロバイダ等への削除要請の認知度(SA)

(Q45 法務局が、インターネット上で個人を誹謗・中傷する書き込みや個人のプライバシーを侵害する書き込みについて、その削除方法を助言したり、違法性が認められる場合には、プロバイダ等に削除要請を行っていることを知っていますか)

(全体)

➤前問で「知っている」「聞いたことがある気がする」とした回答者(36.5%)に、法務局がインターネット上の書き込みの削除方法を助言したり、違法性が認められる場合はプロバイダ等に削除要請を行っていることを知っているかを聞いたところ、『知っている』は82.5%(「知っている28.1%」+「聞いたことがある気がする54.4%」。以下、同じ)であった。

(性別)

➤『知っている』は、男性(85.2%)が女性(79.4%)より6P多い。

(年代別)

➤『知っている』は、50歳代(85.7%)が最も多く、年代が上がる下がるにつれて漸減し、10歳代(79.4%)が最も少ない。

(関与度別)

➤『知っている』は関与度が高まるにつれて多くなる(低関与層17.7%→高関与層42.8%)。

		(n)	知っている	聞いたことがある気がする	知らない	知 っ て い る	知 ら な い
全体		(6574)	28.1	54.4	17.5	82.5	17.5
性別	男性	(3484)	29.1	56.0	14.8	85.2	14.8
	女性	(3090)	26.9	52.6	20.6	79.4	20.6
年代	10～19歳	(427)	30.4	48.9	20.6	79.4	20.6
	20代	(913)	28.4	53.1	18.5	81.5	18.5
	30代	(959)	27.2	54.6	18.1	81.9	18.1
	40代	(1035)	29.3	54.1	16.6	83.4	16.6
	50代	(950)	27.6	58.1	14.3	85.7	14.3
	60代	(1309)	27.5	56.3	16.2	83.8	16.2
	70代	(981)	27.5	52.0	20.5	79.5	20.5
関与度	高関与層	(2024)	42.8	44.6	12.6	87.4	12.6
	中関与層	(2262)	25.4	56.5	18.1	81.9	18.1
	低関与層	(2288)	17.7	61.1	21.3	78.7	21.3

17 人権課題についての知識・理解 等

Q46 知識や理解があると考える人権課題(MA)

(Q46 以下の人権課題の中で、あなたが一定の知識や理解があると考える人権課題はどれでしょうか)

(全体)

➤一定の知識や理解があると考える人権課題は多い順に以下となり、回答者の半数以上が選択した人権課題は無いが、45%前後が「子ども 45.6%」「女性 45.1%」「障害のある人 44.2%」を、30%弱が「高齢者」を選択して、他の人権課題に比べて多い。

1位	子ども	: 45.6%
2位	女性	: 45.1%
3位	障害のある人	: 44.2%
4位	高齢者	: 28.6%
5位	インターネットによる人権侵害	: 21.7%
6位	震災に起因する人権問題	: 20.2%
7位	性同一性障害者	: 19.6%
8位	同和問題	: 19.3%
9位	H I V感染者・ハンセン病患者等	: 17.7%
10位	ヘイトスピーチ	: 16.8%
11位	北朝鮮当局によって拉致された被害者等	: 16.0%
12位	犯罪被害者等	: 13.1%
13位	外国人	: 12.2%
14位	性的指向	: 12.1%
15位	アイヌの人々	: 11.4%
16位	刑を終えて出所した人	: 8.2%
17位	ホームレス	: 8.1%
18位	人身取引	: 5.3%

(性別)

➤男性は「障害のある人 43.2%」が最も多く、女性は「女性 53.8%」が最も多い。

➤男女間で 5P 以上の差がある人権課題は以下であった。

(男性>女性)

・ヘイトスピーチ：6P 差 (男性 19.8%>女性 13.7%)

(女性＞男性)

- ・ 女性：18P 差（女性 53.8%＞男性 36.3%）
- ・ 子ども：6P 差（女性 48.5%＞男性 42.7%）
- ・ 性同一性障害者：6P 差（女性 22.6%＞男性 16.5%）

(年代別)

- 最も選択者が多い人権課題は、10・50 歳代は「子ども 45%前後」、20～40 歳代は「女性 47～50%」、60・70 歳代は「障害のある人 50%前後」であった。
- ほとんどの人権課題について 60・70 歳代の選択割合が他年代に比べて多いが、「女性」「外国人」「性的指向」「性同一性障害者」については 20～40 歳代の選択割合が他年代に比べて多い。

(関与度別)

- 高・中関与層では「子ども」の選択者が最も多いが（53～59%）、低関与層では「女性」の選択割合が最も多い（38.3%）。
- 全ての人権課題について、選択割合は関与度が高まるにつれて多くなる。

(エリア別)

- 地域間で一定の知識や理解があるとした割合に大きな差が発生した人権課題は以下であった。
- ・ 同和問題 ： 四国地方 29.1%、近畿地方 24.6%、中国地方 24.5%、九州・沖縄地方 23.3%＞東北地方 8.9%、北海道地方 10.5%、中部地方 17.1%、関東甲信越地方 18.0%
- ・ アイヌの人々：北海道地方 21.7%＞中部地方 8.7%、東北地方 9.1%、中国地方 9.4%、近畿地方 9.5%、四国地方 10.5%、九州・沖縄地方 10.8%、関東甲信越地方 12.8%

		(n)	女性	子ども	高齢者	障害のある人	同和問題	アイヌの人々	外国人	ヘイトスピーチ	HIV感染者・ハンセン病患者等	刑を終えて出所した人	犯罪被害者等	権侵害	インターネットによる人	北朝鮮当局によって拉致された被害者等	ホームレス	性的指向	性同一性障害者	人身取引（トラフィッキング）	震災に起因する人権問題	その他：
全体		(18000)	45.1	45.6	28.6	44.2	19.3	11.4	12.2	16.8	17.7	8.2	13.1	21.7	16.0	8.1	12.1	19.6	5.3	20.2	3.8	
性別	男性	(8921)	36.3	42.7	26.3	43.2	21.6	12.7	12.6	19.8	17.0	8.9	13.7	23.3	17.1	8.8	11.8	16.5	5.8	21.0	4.0	
	女性	(9079)	53.8	48.5	30.8	45.1	17.1	10.2	11.8	13.7	18.4	7.4	12.6	20.1	15.0	7.3	12.5	22.6	4.8	19.5	3.7	
年代	10～19歳	(1069)	39.0	45.8	22.0	41.6	12.0	9.0	12.4	11.4	12.2	6.2	8.0	18.8	7.6	8.3	10.3	16.2	3.1	13.6	3.5	
	20代	(2293)	50.2	41.1	21.3	39.7	10.0	8.3	14.9	10.2	14.6	7.1	10.6	21.0	7.8	7.6	15.8	24.0	5.0	16.0	3.7	
	30代	(2871)	50.0	46.0	22.1	40.0	14.1	10.2	12.6	11.6	15.8	6.3	10.5	19.4	11.0	6.5	13.7	20.9	5.1	16.4	3.8	
	40代	(3269)	46.6	45.1	23.2	42.6	19.8	11.6	12.8	14.0	17.8	7.4	13.2	20.7	13.7	7.6	13.3	21.8	5.0	19.5	4.0	
	50代	(2755)	42.8	44.6	28.1	43.2	21.7	11.2	11.8	17.1	18.5	7.2	13.7	23.2	15.6	7.7	11.8	19.2	5.1	20.3	4.4	
	60代	(3551)	42.2	46.9	36.2	48.5	24.3	13.0	10.5	21.8	20.3	9.5	15.0	22.2	22.5	8.3	9.7	18.1	5.7	23.9	3.9	
	70代	(2192)	42.1	49.7	44.2	52.1	27.7	15.1	11.4	28.3	20.8	12.7	17.9	25.4	28.9	11.3	9.7	14.6	7.2	28.0	3.0	
関与度	高関与層	(3133)	58.8	59.0	41.0	57.9	31.1	22.8	23.6	31.6	30.4	14.9	22.1	33.6	26.4	15.3	22.0	30.2	10.6	28.8	1.5	
	中関与層	(4652)	50.9	53.4	33.9	51.8	24.8	13.8	13.9	21.3	22.4	9.2	15.5	26.4	19.8	9.3	14.3	23.6	6.1	22.1	1.7	
	低関与層	(10215)	38.3	38.0	22.4	36.5	13.2	6.9	8.0	10.1	11.7	5.6	9.3	15.9	11.2	5.3	8.1	14.5	3.4	16.7	5.5	

Q47 特に対策を講ずべき人権課題(MA)

(Q47 以下の人権課題の中で、特に対策を講ずるべきと考える人権課題はどれでしょうか)

(全体)

➤特に対策を講ずべき人権課題は多い順に以下となり、回答者の半数以上が選択した人権課題は無いが、半数弱が「子ども 46.3%」を選択して最も多く、4割弱が「障害のある人 38.5%」、3割強が「女性 31.3%」を選択した。

1位	子ども	: 46.3%
2位	障害のある人	: 38.5%
3位	女性	: 31.3%
4位	震災に起因する人権問題	: 24.4%
5位	高齢者	: 24.0%
6位	インターネットによる人権侵害	: 23.6%
7位	犯罪被害者等	: 18.8%
8位	北朝鮮当局によって拉致された被害者等	: 15.9%
9位	性同一性障害者	: 14.8%
10位	H I V感染者・ハンセン病患者等	: 12.7%
11位	ヘイトスピーチ	: 12.6%
12位	性的指向	: 9.3%
13位	同和問題	: 9.1%
14位	外国人	: 8.5%
15位	人身取引	: 7.9%
16位	刑を終えて出所した人	: 7.5%
17位	ホームレス	: 7.1%
18位	アイヌの人々	: 6.5%

(性別)

➤男女で上位1～3位まで同順位であった。

➤多くの人権課題について女性の選択率が男性を上回っているが、男女間で5P以上の差がある人権課題は以下であった。

(女性>男性)

- ・女性：9P 差（女性 35.6%>男性 26.9%）
- ・子ども：6P 差（女性 49.4%>男性 43.1%）

- ・高齢者：6P 差（女性 27.2%＞男性 20.8%）
- ・障害のある人：6P 差（女性 41.5%＞男性 35.5%）
- ・性同一性障害者：6P 差（女性 17.6%＞男性 12.0%）

（年代別）

- 最も選択者が多い人権課題は、10 歳代は「障害のある人 39.2%」、20 歳代以上では「子ども 40～51%」であった。
- 多くの人権課題について 60・70 歳代の選択割合が他年代に比べて多いが、「女性」「外国人」「性的指向」「性同一性障害者」については 20～30 歳代の選択割合が他年代に比べて多い。

（関与度別）

- 関与度に関わりなく「子ども」の選択者が最も多い（40～56%）。
- 全ての人権課題について、選択割合は関与度が高まるにつれて多くなる。

		(n)	女性	子ども	高齢者	障害のある人	同和問題	アイヌの人々	外国人	ヘイトスピーチ	HIV感染者・ハンセン病患者等	刑を終えて出所した人	犯罪被害者等	権侵害	インターネットによる人	北朝鮮当局によつて拉致された被害者等	ホームレス	性的指向	性同一性障害者	人身取引（トラフィッキング）	震災に起因する人権問題	その他：
全体		(18000)	31.3	46.3	24.0	38.5	9.1	6.5	8.5	12.6	12.7	7.5	18.8	23.6	15.9	7.1	9.3	14.8	7.9	24.4	3.1	
性別	男性	(8921)	26.9	43.1	20.8	35.5	9.8	6.9	8.6	14.3	11.5	7.5	17.5	22.6	15.6	7.3	8.5	12.0	7.7	23.3	3.5	
	女性	(9079)	35.6	49.4	27.2	41.5	8.5	6.1	8.5	10.9	14.0	7.5	20.0	24.6	16.2	6.8	10.0	17.6	8.2	25.4	2.6	
年代	10～19歳	(1069)	31.9	38.5	19.6	39.2	9.7	7.4	12.5	11.7	11.6	7.4	12.8	21.3	10.4	9.0	10.4	17.0	6.5	18.1	2.4	
	20代	(2293)	37.7	40.1	18.4	36.9	6.8	6.4	13.2	8.5	12.9	7.0	15.7	22.9	9.0	8.2	14.6	21.8	7.5	21.5	3.2	
	30代	(2871)	34.6	47.3	19.4	37.3	8.8	7.2	9.8	9.7	13.1	6.8	18.5	22.8	11.9	6.7	12.5	19.7	8.7	23.8	3.5	
	40代	(3269)	30.9	45.3	19.6	35.3	8.8	6.2	8.1	10.7	13.2	6.7	18.8	23.7	13.6	5.9	9.2	15.0	7.7	23.6	3.5	
	50代	(2755)	29.5	47.8	24.5	38.2	9.5	6.4	7.0	12.3	12.4	5.7	20.1	26.5	16.5	6.2	8.1	12.5	7.9	24.5	3.4	
	60代	(3551)	27.3	48.8	30.2	39.7	10.1	6.1	6.3	16.2	13.0	8.6	20.3	24.0	21.1	6.7	6.1	11.0	7.6	26.6	2.9	
	70代	(2192)	29.3	50.6	34.1	45.0	10.3	6.3	6.2	18.6	12.0	10.8	21.3	22.0	25.5	8.9	5.7	9.1	8.9	28.4	1.8	
関与度	高関与層	(3133)	39.7	55.6	32.9	48.1	15.5	12.3	15.8	23.5	20.4	12.4	26.8	32.5	22.7	12.3	15.3	21.9	13.4	31.2	1.6	
	中関与層	(4652)	35.1	54.0	28.2	44.2	11.3	7.7	9.7	15.5	16.3	9.6	22.7	28.7	20.1	7.8	10.9	17.5	9.5	27.5	1.7	
	低関与層	(10215)	27.0	39.9	19.4	33.0	6.2	4.1	5.8	8.0	8.8	5.1	14.6	18.6	12.0	5.1	6.7	11.5	5.5	20.8	4.2	

18 人権に関する取組や広告についての意見・感想

Q48 人権に関する取組や広告についての意見・感想

（Q48 法務省や地方自治体が行っている人権に関する取組や広告について、ご意見やご感想をご自由にご記入ください。）

➤以下に、人権問題への関与度別に代表的な意見を挙げる。

【高関与層】

■堅苦しくてとっつきにくい印象が、苦手意識や浸透のしにくさに繋がっている

- ・まだまだ堅い印象で浸透しづらいと思います。難しい問題が多いのが現状ですが、ニーズに合わせたいろいろな対策をとってほしいと思います。（女性 30 代）
- ・広告は内容を詰め込み過ぎていて読む気が失せてしまう。それが人権問題に対する苦手意識にも繋がっている気がする。（女性 60 代）
- ・堅苦しい言葉や、同じようで少し違うテーマが多く、とっつきにくい感じがする。もっともっと世の中に広めて啓蒙していかなくてはならない問題なので頑張してほしい。（女性 70 代）

■自分から情報を取りに行かない興味関心の薄い人でも、日常的に目にする機会を増やすことが必要だと思う

- ・パンフレットやリーフレットは人権問題に興味がある人でなければ手に取らないのではないのでしょうか。日常的に目に入る形で伝えることが大切だと思います。（男性 20 代）
- ・講演会に参加する人は人権問題に元々興味関心のある人が多いと思うので、興味関心の薄い層にどのようにして理解を深めてもらうかが大切だと思う。（女性 30 代）

■身近な事例紹介や体験型にして、当事者意識を持たせることが大切だと思う

- ・知識を与えるだけでなく、体験型の教育をさせるべきだと思います。（男性 10 代）
- ・人権問題とひと括りに言われると、自分には関係が薄いと思ってしまいます。あれこれ説明されるよりも、身近な事例や体験談などが興味深く読めると思います。（女性 30 代）
- ・具体的な事例をたくさん集めた読み物があれば、どういうことが人権侵害にあたるのかがわかりやすい。知らずにおこなってしまっている人にも、気付かせやすいと思う。（女性 50 代）

■気軽に相談できる場があることを、必要とする人にもっと知らせてほしい

- ・インターネット上で悪口を書き込まれた時にどこに相談したらよいか、大変不安でした。国や自治体に気軽に相談できることをもっとたくさんの人に知らせて欲しい。(女性 30 代)

■教育現場で考える場を増やすことで、家庭や社会にも浸透していくのではないかな

- ・教育機関で、子どもの頃から啓発していくこと、それを社会全体で価値あることだとする空気を醸成することが大事だと思います。(男性 30 代)
- ・小・中学生に人権問題を考える場を作り、学校で学んだ子どもが家庭で話題を出すことで、人権問題について考える場が増えるのではないかな。(女性 30 代)

■活動が地味なので、もっと積極的・活動的なアクションをしてほしい

- ・活動が地味で周知されていない。もっと積極的、活動的なアクションが必要。(男性 50 代)
- ・気軽に相談できるような対策を講じてほしい。ネーミングを現代風に変えては。(男性 60 代)

【中関与層】

■デザインが地味で印象に残らず、関心を持ちにくいので、工夫してほしい

- ・文章や広告が堅すぎてとても若者が読むとは思えない。もっとポップで読みたくなるように作成すべきだと思う。(男性 20 代)
- ・ポスターやパンフがあまりにも地味すぎて、強い印象が残らない。(男性 70 代)
- ・地味すぎてよくわからない。同じお金をかけるなら、もっとわかりやすく作れないのかと思う。(女性 40 代)

■デザインが古臭くて目に留まらない

- ・広告のデザイン等が古臭く見えました。(男性 30 代)
- ・ポスターやパンフ、広告の内容、キャラクターなどが古臭くて印象も薄い。もっと今風の絵柄や言葉で作成した方が、多くの人目に留まると思う。(女性 40 代)

■人権侵害している・されていることに誰もが気付けるような広告になってほしい

- ・人権という言葉が抽象的なので、「もしかしたら私は人権侵害していたのかも」「私はされているのかも」とみんなが気付いて考えられる、魅力ある広告を出してほしい。(女性 30 代)
- ・広告はもっと尖ってよいと思います。気付かずに人権侵害をしている人に「あなたのその何気ない行動で傷ついている人がいる」と解らせなければ意味がないと思います。(女性 30 代)

■大人になってから意識を変えるのは難しいので、学校教育を改善してほしい

- ・学校教育で小さい時から自然に判断できるように養わなければ焦点がズレる。(男性 60 代)
- ・思想ができあがってしまった大人を変えることは難しい。育ってきた環境が思想を形成していくので、家庭環境の改善、学校教育の改善に力を入れるべき。(女性 20 代)

■時代の流れに合わせた取り組みを考えてほしい

- ・無駄に印刷物ばかり作らず、時代に合った取り組みや広告を考えてほしい。(男性 50 代)
- ・今は新聞もテレビも見ない、地域との繋がりが無い人も多い。外からの情報取得手段がネットだけのことも多いので、ネットでの広告活動を多くしては。(女性 40 代)

■いざ相談となると今の生活や人間関係を崩してしまいそうで、前に進めない

- ・人権問題はとても難しく、手を挙げて発言したり、相談したりする事で、人間関係が変わり、今の生活を維持できなくなる恐怖があり、一歩進むことはできずにいる。(男性 40 代)

■相談した時のプライバシーはきちんと守られるのかが気になる

- ・相談した時のプライバシーの保護が心配になります。相談した後の対処がちゃんとあるのか、守られているのか心配です。(女性 40 代)

【低関与層】

■身近に困った経験がないと、意識したり関心を持ったりするのは難しい気がする

- ・深刻な人権侵害の当事者になるまで、意識的に読もうとは思わない気がする。(男性 20 代)
- ・人権という言葉だけを強調しても、そのことを深く知る体験がないと生活に繋がりが無い。自分には関係ないと感じてしまう。(女性 10 代)
- ・自分に迫りくる問題でないとなかなか関心が持てないのが現実だと思いました。(女性 50 代)

■よく読めば重要なことだと分かるが、目立たなくて印象に残らない

- ・残念ながら目立たないし、興味を引く広告になっていないように思います。(男性 70 代)
- ・よく見ればとても重要なことが書かれているが、目に留まらなかった。(女性 40 代)
- ・ぱっと見、細かいことが難しく書かれていて頭に入ってこない。最初の取っ掛かりはわかりやすい言葉で短く書いてあるほうが、目につきやすくて印象に残ると思う。(女性 60 代)

■子どもに興味を持たせて、学ばせることができるような情報がほしい

- ・自分の子どもにうまく説明できる冊子や絵本などがあるといいなと思います。(女性 30 代)
- ・小学生の頃から人権について学ぶ機会を与えてほしい。堅苦しくなく子どもが興味を持ってくれるような分かりやすい内容にしてほしい。(女性 20 代)

■電車広告なら目に留まりやすく、人権について気にするきっかけになりそう

- ・あまり表立って広告を見る機会がないので、電車などの広告にあればさらに人権を気にすると思う。(男性 20 代)
- ・普通に生活していると情報をスルーしているので、手持ち無沙汰で嫌でも目に入る電車内などに広告を出すのはいいと思います。(女性 30 代)

■TV の再現ドラマなどがあれば、印象に残りやすく、関心が高まるのではないかな

- ・人権についてのドラマを作してほしい、注目の俳優、女優を使って制作すると関心も少しは深まるのではないかなと思う。(男性 30 代)
- ・紙の広告は一過性で印象に残りにくい。TV の再現ドラマは考えさせられて、いつまでも残るので、効果があると思う。(男性 60 代)

■一方的に宣伝されると反発も生まれてしまうから、苦しんでいる人の手助けができる体制を強化してほしい

- ・人権を守らないといけないというスタンスでは人権侵害はなくなる。正義で囲ってしまうと反発する人が出てくると思う。それよりも、人権侵害で苦しむ人の話を聞いたり、助けられる、味方になってあげられるネットワークを強化してほしい。(女性 30 代)

19 情報入手源

Q49 普段、情報を入手する際に利用する情報源(MA)

(Q 4 9 あなたが普段、情報を入手する際に利用する情報源を教えてください。)

(全体)

➤ 普段、情報を入手する際に利用する情報源としては、「1 位 テレビ (地上波)」が突出して多いが、回答が多い順に以下であった。

1 位	テレビ (地上波)	: 79.6%
2 位	インターネットサイト (P C)	: 48.5%
3 位	新聞 (全国紙)	: 30.4%
4 位	テレビ (B S ・ C S ・ C A T V)	: 27.6%
5 位	スマートフォンサイト	: 26.5%
6 位	家族・友人・知人の口コミ	: 21.9%
7 位	新聞折込チラシ	: 20.7%
8 位	新聞 (地方紙)	: 19.8%
9 位	ブログ・S N S	: 17.0%
10 位	交通広告	: 15.5%
11 位	地域情報誌	: 14.8%
12 位	ラジオ (A M)	: 14.7%
13 位	雑誌	: 14.6%
14 位	ラジオ (F M)	: 12.9%
15 位	メールマガジン	: 12.2%
16 位	ダイレクトメール	: 9.4%
17 位	店舗内広告	: 8.9%
18 位	屋外広告	: 8.5%
19 位	シネアド	: 3.6%

(性別)

➤ 男女で上位 1～2 位まで同順位であった。

➤ これ以外の情報源についての回答割合順位は男女で異なるが、男女で 5P 以上の差がある情報源としては以下がある。

(男性>女性)

- ・ インターネットサイト (P C) : 10P (男性 53.3%>女性 43.7%)
- ・ ラジオ (A M) : 6P (男性 17.7%>女性 11.7%)

(女性＞男性)

- ・ 家族・友人・知人のクチコミ : 11P (女性 27.5%＞男性 16.1%)
- ・ 地域情報誌 : 9P (女性 19.1%＞男性 10.4%)
- ・ テレビ (地上波) : 6P (女性 82.6%＞男性 76.6%)
- ・ 新聞折込チラシ : 6P (女性 23.9%＞男性 17.5%)
- ・ ブログ／SNS : 5P (女性 19.6%＞男性 14.5%)

(年代別)

➤全ての年代で「テレビ」が最も多く、その割合は概ね年代が上がるにつれて多くなる(10・20 歳代 74%強→60・70 歳代 85%強)。

➤これ以外の啓発活動についての回答割合順位は年代によって異なるが、各情報源ごとに以下のような年代別の傾向が見受けられる。

【テレビ (地上波)、テレビ (BS・CS・CATV)、ラジオ (AM)、新聞 (全国紙)、新聞 (地方紙)、新聞折込チラシ】

- ・概ね年代が上がるにつれて多くなるが、50～70 歳代が 10～40 歳代に比べて多い。

【ラジオ (FM)】

- ・ 40・50 歳代が最も多く、年代が上がる下がるにつれて少なくなる。

【雑誌】

- ・ 30 歳代が最も多く、年代が上がる下がるにつれて少なくなる。

【地域情報誌】

- ・ 30～70 歳代が 10・20 歳代に比べて多い。

【交通広告、屋外広告】

- ・ 20・30 歳代が他年代に比べて多い。

【店舗内広告、シネアド、クチコミ】

- ・ 年代による傾向は特に見受けられない。

【ダイレクトメール】

- ・ 50～70 歳代が 10～40 歳代に比べて多い。

【インターネットサイト (PC)】

- ・ 40・50 歳代が最も多く、年代が上がる下がるにつれて少なくなる。

【スマートフォンサイト】

- ・ 10～40 歳代が多く、これより年代が上がるにつれて大きく減少していく。

【ブログ・SNS】

- ・ 10～30 歳代が多く、これより年代が上がるにつれて大きく減少していく。

【メールマガジン】

- ・ 50～70 歳代が 10～40 歳代に比べて多い。

(関与度別)

➤関与度に関わりなく上位 1～3 位まで同順位であった。

➤ほとんどの啓発活動について高関与層の回答割合が最も多く、低関与層との差は以下の情報源で大きい。

- ・新聞（全国紙） : 19P 差（高関与層 42.4%＞低関与層 23.8%）
- ・インターネットサイト（P C） : 17P 差（高関与層 58.9%＞低関与層 42.2%）
- ・テレビ（BS・CS・CATV） : 15P 差（高関与層 37.8%＞低関与層 22.4%）
- ・家族・友人・知人のクチコミ : 15P 差（高関与層 31.8%＞低関与層 16.6%）
- ・地域情報誌 : 15P 差（高関与層 24.1%＞低関与層 9.4%）
- ・交通広告 : 14P 差（高関与層 24.9%＞低関与層 10.7%）

(エリア別)

➤エリア間で 10P 以上の差が発生した情報源は以下であった。

- ・新聞（全国紙）：近畿地方 38.9%、関東甲信越地方 35.0%＞四国地方 19.7%、北海道・九州・沖縄地方 21.6%、中部・中国地方 22.8%、東北地方 25.0%
- ・新聞（地方紙）：東北地方 37.2%、北海道地方 37.1%、四国地方 36.3%、中国地方 32.0%、中部地方 30.1%、九州・沖縄地方 27.7%＞近畿地方 9.7%、関東甲信越地方 11.2%
- ・交通広告 : 関東甲信越・近畿地方 19.3%＞四国地方 3.9%、中国地方 6.6%、東北地方 9.0%

		(n)	テレビ (地上波)	テレビ (BS・CS・CATV)	ラジオ (AM)	ラジオ (FM)	新聞 (全国紙)	新聞 (地方紙)	新聞折り込みチラシ	雑誌	地域情報誌 (ミニコミ誌、フリーペーパー等)	交通広告、 駅での広告等	車体広告、 車内広告や	屋外広告 (屋外の看板、屋外大型ビジョン等)	店舗内広告(スーパ ーやコンビニのレ ジ広告、店内放送等)	シネアド(映画館CM)	ダイレクトメール	インターネット サイト(PC)	スマートフォン サイト	ブログ・SNS(Tw itter、 Facebookなど)	メールマガジン	家族・友人・知 人のクチコミ	その他	特に情報は入 手しない
全体		(18000)	79.6	27.6	14.7	12.9	30.4	19.8	20.7	14.6	14.8	15.5	8.5	8.9	3.6	9.4	48.5	26.5	17.0	12.2	21.9	0.4	7.7	
性別	男性	(8921)	76.6	29.1	17.7	15.0	32.4	20.4	17.5	13.2	10.4	13.8	7.7	6.5	3.0	8.6	53.3	24.4	14.5	11.4	16.1	0.4	9.2	
	女性	(9079)	82.6	26.2	11.7	10.9	28.4	19.1	23.9	15.9	19.1	17.1	9.2	11.2	4.3	10.3	43.7	28.6	19.6	12.9	27.5	0.4	6.3	
年代	10～19歳	(1069)	74.3	17.5	6.3	8.5	15.6	11.6	10.9	11.7	6.1	13.7	7.7	6.5	4.7	4.5	34.1	35.5	29.1	6.3	22.3	0.5	10.7	
	20代	(2293)	74.1	17.4	7.0	10.3	14.8	10.2	11.8	14.7	10.0	17.9	10.3	8.8	5.4	6.6	41.8	45.4	33.5	7.7	20.7	0.3	11.0	
	30代	(2871)	76.1	19.5	8.6	14.0	18.2	13.1	14.8	17.5	16.0	16.9	10.3	8.7	4.1	8.5	44.9	40.1	25.0	9.5	20.0	0.2	9.3	
	40代	(3269)	76.9	22.9	11.0	15.3	23.2	17.8	18.6	16.0	15.1	15.3	8.8	8.5	3.5	8.4	49.4	32.3	16.7	11.8	19.3	0.3	9.0	
	50代	(2755)	80.8	28.3	15.0	15.3	33.1	22.3	23.5	14.3	13.5	14.7	7.8	8.7	3.1	10.1	54.8	21.9	12.0	15.5	21.7	0.5	6.5	
	60代	(3551)	85.7	38.3	22.2	13.0	44.5	28.9	28.4	13.7	17.2	13.8	7.1	10.0	3.2	11.5	52.3	11.1	7.2	15.0	24.4	0.5	4.6	
	70代	(2192)	85.4	42.6	27.6	9.7	54.2	27.5	29.7	11.4	19.6	15.9	7.1	9.3	2.1	13.5	51.8	6.8	6.4	15.2	25.3	0.7	5.6	
関与度	高関与層	(3133)	80.7	37.8	22.2	18.4	42.4	26.0	26.7	22.9	24.1	24.9	14.9	14.9	7.2	15.0	58.9	31.5	25.1	18.4	31.8	1.0	1.9	
	中間与層	(4652)	84.8	32.3	17.2	15.6	36.8	23.8	24.2	17.8	20.4	19.7	10.3	11.1	4.2	11.3	55.2	29.7	19.6	14.3	26.6	0.6	2.3	
	低関与層	(10215)	77.0	22.4	11.2	10.0	23.8	16.0	17.3	10.5	9.4	10.7	5.7	6.0	2.2	6.9	42.2	23.6	13.4	9.3	16.6	0.2	12.0	

以上